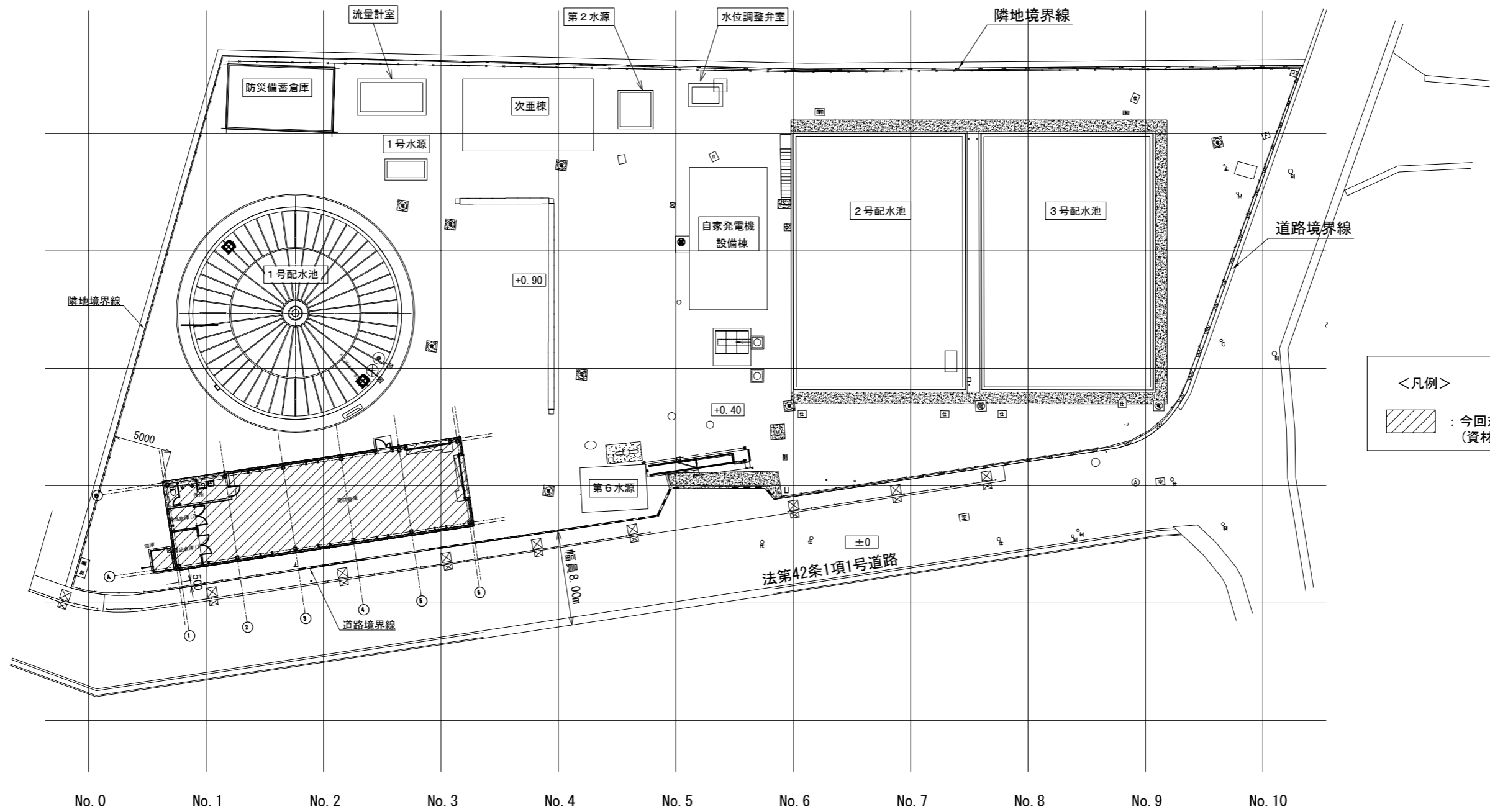
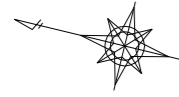



図面番号	名 称	縮 尺	図面番号	名 称	縮 尺
D-1	一般平面図	1/200	S-3	<資材倉庫>構造細目共通図(3)	—
D-2	<資材倉庫>建築工事特記仕様書(その1)	—	S-4	<資材倉庫>構造細目共通図(4)	—
D-3	<資材倉庫>建築工事特記仕様書(その2)	—	S-5	<資材倉庫>構造細目共通図(5)	—
D-4	<資材倉庫>建築工事特記仕様書(その3)	—	S-6	<資材倉庫>構造細目共通図(6)	—
D-5	<資材倉庫>建築工事特記仕様書(その4)	—	S-7	<資材倉庫>構造関係共通事項(鉄骨標準図その1)	—
D-6	<資材倉庫>建築工事特記仕様書(その5)	—	S-8	<資材倉庫>構造関係共通事項(鉄骨標準図その2)	—
D-7	<資材倉庫>建築工事特記仕様書(その6)	—	S-9	<資材倉庫>ベースパック柱脚工法 設計施工標準図1/2	—
D-8	<資材倉庫>建築工事特記仕様書(その7)	—	S-10	<資材倉庫>ベースパック柱脚工法 設計施工標準図2/2	—
D-9	<資材倉庫>建築工事特記仕様書(その8)	—	S-11	<資材倉庫>QLデッキ合成スラブ設計・施工標準	—
D-10	<資材倉庫>建築工事特記仕様書(その9)	—	S-12	<資材倉庫>各階伏図	1/100
D-11	<資材倉庫>建築工事特記仕様書(その10)	—	S-13	<資材倉庫>軸組図	1/100
D-12	<資材倉庫>法規チェックリスト(1)	—	S-14	<資材倉庫>地中梁、スラブリスト	1/30
D-13	<資材倉庫>法規チェックリスト(2)	—	S-15	<資材倉庫>部材リスト(1)	1/15
D-14	<資材倉庫>法規チェックリスト(3)	—	S-16	<資材倉庫>部材リスト(2)	1/20
D-15	<資材倉庫>求積図、面積表	1/100	S-17	<資材倉庫>部材リスト(3)	1/20
D-16	<資材倉庫>仕上表	—	S-18	<資材倉庫>仮設図(参考図)	1/100
D-17	<資材倉庫>平面図、屋根伏図	1/100			
D-18	<資材倉庫>立面図	1/100	AM-1	<資材倉庫>機械設備工事特記仕様書	—
D-19	<資材倉庫>断面図	1/100	AM-2	<資材倉庫>換気設備 系統図	—
D-20	<資材倉庫>平面詳細図	1/50	AM-3	<資材倉庫>換気設備 1F平面図	1/50
D-21	<資材倉庫>断面詳細図	1/50	AM-4	<資材倉庫>換気設備 2F平面図	1/50
D-22	<資材倉庫>雑詳細図	1/10	AM-5	<資材倉庫>換気設備 断面図	1/50
D-23	<資材倉庫>建具平面図、建具表	1/50	AM-6	<資材倉庫>給排水衛生設備 系統図	—
D-24	<ユニット油庫>平面図、立面図、断面図(参考図)	1/25	AM-7	<資材倉庫>給排水衛生設備 1F平面図	1/50
D-25	<資材倉庫>鋼製棚詳細図(1)(参考図)	1/20	AM-8	<資材倉庫>場内整備図	1/100
D-26	<資材倉庫>鋼製棚詳細図(2)(参考図)	1/20			
D-27	<資材倉庫>クレーン仕様書(参考図)	1/25			
S-1	<資材倉庫>構造細目共通図(1)	—			
S-2	<資材倉庫>構造細目共通図(2)	—			



<凡例>

 : 今回対象施設
(資材倉庫・油庫新設)

工事名	R8年度 長泉第1浄水場倉庫建設工事
工事箇所	長泉町 納米里 地内
図面の種類	<資材倉庫> 一般平面図
縮尺	1/200
測量年月日	-
設計年月日	令和8年
事務所名	長泉町上下水道課

<p style="text-align: center;">工事設計図</p> <p style="text-align: center;">令和 年 月 (全 秋)</p>		<p>II 工事仕様</p> <p>1. 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）令和7年版」（以下「標準仕様書」という。）による。</p> <p>2. 電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、電気設備工事及び機械設備工事はそれぞれの特記仕様書を用いる。 なお、電気設備工事の特記仕様書は（ / ）図、機械設備工事の特記仕様書は（ / ）図による。</p> <p>3. 特記仕様書の適用は次による (1) 項目は、○印の付いたものを適用する。 (2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。 ○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。 ○印と○印の付いた場合は、共に適用する。 (3) 特記事項に記載の（ . . . ）内の表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。</p>		<p>○技能士</p> <p>適用 (1.5.2)</p> <p>適用する技能検定の職種及び作業の種別は下表による。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>適用工事種類</th> <th>職 種</th> <th>技能検定の作業の種別</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>仮設工事</td> <td>とび</td> <td>・とび作業</td> </tr> <tr> <td>鉄筋工事</td> <td>鉄筋施工</td> <td>・鉄筋組立作業</td> </tr> <tr> <td>コンクリート工事</td> <td>型枠施工 コンクリート圧送施工</td> <td>○型枠工作業 ○コンクリート圧送工作業</td> </tr> <tr> <td>鉄骨工事</td> <td>鉄工</td> <td>○構造物鉄工作業</td> </tr> <tr> <td>コンクリートブロック・ALCパネル及び押出成形セメント板工事</td> <td>ブロック建築 エーエルシーパネル施工</td> <td>・コンクリートブロック工作業 ・エーエルシーパネル工作業</td> </tr> <tr> <td>防水工事</td> <td>防水施工</td> <td>・アスファルト防水工作業 ・ウレタンゴム系塗膜防水工作業 ・アクリルゴム系塗膜防水工作業 ・合成ゴム系シート防水工作業 ・塩化ビニル系シート防水工作業 ・セメント系防水工作業 ・シーリング防水工作業 ・改質アスファルトシート工法防水工作業 ・改質アスファルトシート常温粘着工法防水工作業 ・FRP防水工作業</td> </tr> <tr> <td>石工事</td> <td>置積施工</td> <td>・石張り作業</td> </tr> <tr> <td>タイル工事</td> <td>タイル張り</td> <td>・タイル張り作業</td> </tr> <tr> <td>木工事</td> <td></td> <td>・大工工作業</td> </tr> <tr> <td>屋根及びびとい工事</td> <td>建築板金</td> <td>・内外装板金作業</td> </tr> <tr> <td>金属工事</td> <td>内装仕上げ施工 建築板金</td> <td>・鋼製下地工作業 ・内外装板金作業</td> </tr> <tr> <td>左官工事</td> <td>左官</td> <td>・左官作業</td> </tr> <tr> <td>建具工事</td> <td>サッシ施工 ガラス施工 自動ドア施工</td> <td>・ビル用サッシ工作業 ・ガラス工作業 ・自動ドア工作業</td> </tr> <tr> <td>カーテンウォール工事</td> <td>カーテンウォール施工 サッシ施工 ガラス施工</td> <td>・金属製カーテンウォール工作業 ・ビル用サッシ工作業 ・ガラス工作業</td> </tr> <tr> <td>塗装工事</td> <td>塗装</td> <td>・建築塗装作業 ・プラスチック系床仕上げ工作業 ・カーペット系床仕上げ作業 ・木質系床仕上げ工作業 ・ボード仕上げ工作業</td> </tr> <tr> <td>内装工事</td> <td>内装仕上げ施工</td> <td>・壁張作業 ・建築配管作業</td> </tr> <tr> <td>排水工事</td> <td>配管</td> <td>・建築配管作業</td> </tr> <tr> <td>舗装工事</td> <td>路面標示施工</td> <td>・溶融ペイントハンドマーカー工作業 ・加熱ペイントマシナーカー工作業</td> </tr> <tr> <td>植栽工事</td> <td>造園</td> <td>・造園工作業</td> </tr> </tbody> </table>		適用工事種類	職 種	技能検定の作業の種別	仮設工事	とび	・とび作業	鉄筋工事	鉄筋施工	・鉄筋組立作業	コンクリート工事	型枠施工 コンクリート圧送施工	○型枠工作業 ○コンクリート圧送工作業	鉄骨工事	鉄工	○構造物鉄工作業	コンクリートブロック・ALCパネル及び押出成形セメント板工事	ブロック建築 エーエルシーパネル施工	・コンクリートブロック工作業 ・エーエルシーパネル工作業	防水工事	防水施工	・アスファルト防水工作業 ・ウレタンゴム系塗膜防水工作業 ・アクリルゴム系塗膜防水工作業 ・合成ゴム系シート防水工作業 ・塩化ビニル系シート防水工作業 ・セメント系防水工作業 ・シーリング防水工作業 ・改質アスファルトシート工法防水工作業 ・改質アスファルトシート常温粘着工法防水工作業 ・FRP防水工作業	石工事	置積施工	・石張り作業	タイル工事	タイル張り	・タイル張り作業	木工事		・大工工作業	屋根及びびとい工事	建築板金	・内外装板金作業	金属工事	内装仕上げ施工 建築板金	・鋼製下地工作業 ・内外装板金作業	左官工事	左官	・左官作業	建具工事	サッシ施工 ガラス施工 自動ドア施工	・ビル用サッシ工作業 ・ガラス工作業 ・自動ドア工作業	カーテンウォール工事	カーテンウォール施工 サッシ施工 ガラス施工	・金属製カーテンウォール工作業 ・ビル用サッシ工作業 ・ガラス工作業	塗装工事	塗装	・建築塗装作業 ・プラスチック系床仕上げ工作業 ・カーペット系床仕上げ作業 ・木質系床仕上げ工作業 ・ボード仕上げ工作業	内装工事	内装仕上げ施工	・壁張作業 ・建築配管作業	排水工事	配管	・建築配管作業	舗装工事	路面標示施工	・溶融ペイントハンドマーカー工作業 ・加熱ペイントマシナーカー工作業	植栽工事	造園	・造園工作業	<p>3 土工</p> <p>○埋戻し及び盛土 (3.2.3)(表3.2.1)</p> <p>○建設発生土の処理 (3.2.5)</p> <p>○試験及び報告書等 (4.2.1)</p> <p>4 地業工事</p> <p>○既製コンクリート杭地業 (4.3.3)</p>	
適用工事種類	職 種	技能検定の作業の種別																																																																	
仮設工事	とび	・とび作業																																																																	
鉄筋工事	鉄筋施工	・鉄筋組立作業																																																																	
コンクリート工事	型枠施工 コンクリート圧送施工	○型枠工作業 ○コンクリート圧送工作業																																																																	
鉄骨工事	鉄工	○構造物鉄工作業																																																																	
コンクリートブロック・ALCパネル及び押出成形セメント板工事	ブロック建築 エーエルシーパネル施工	・コンクリートブロック工作業 ・エーエルシーパネル工作業																																																																	
防水工事	防水施工	・アスファルト防水工作業 ・ウレタンゴム系塗膜防水工作業 ・アクリルゴム系塗膜防水工作業 ・合成ゴム系シート防水工作業 ・塩化ビニル系シート防水工作業 ・セメント系防水工作業 ・シーリング防水工作業 ・改質アスファルトシート工法防水工作業 ・改質アスファルトシート常温粘着工法防水工作業 ・FRP防水工作業																																																																	
石工事	置積施工	・石張り作業																																																																	
タイル工事	タイル張り	・タイル張り作業																																																																	
木工事		・大工工作業																																																																	
屋根及びびとい工事	建築板金	・内外装板金作業																																																																	
金属工事	内装仕上げ施工 建築板金	・鋼製下地工作業 ・内外装板金作業																																																																	
左官工事	左官	・左官作業																																																																	
建具工事	サッシ施工 ガラス施工 自動ドア施工	・ビル用サッシ工作業 ・ガラス工作業 ・自動ドア工作業																																																																	
カーテンウォール工事	カーテンウォール施工 サッシ施工 ガラス施工	・金属製カーテンウォール工作業 ・ビル用サッシ工作業 ・ガラス工作業																																																																	
塗装工事	塗装	・建築塗装作業 ・プラスチック系床仕上げ工作業 ・カーペット系床仕上げ作業 ・木質系床仕上げ工作業 ・ボード仕上げ工作業																																																																	
内装工事	内装仕上げ施工	・壁張作業 ・建築配管作業																																																																	
排水工事	配管	・建築配管作業																																																																	
舗装工事	路面標示施工	・溶融ペイントハンドマーカー工作業 ・加熱ペイントマシナーカー工作業																																																																	
植栽工事	造園	・造園工作業																																																																	
<p>特記仕様書</p> <p>I 工事概要</p> <p>1. 工事場所 静岡県長泉町納米里地内</p> <p>2. 敷地面積 3514.24㎡</p> <p>3. 工事種目</p> <table border="1"> <tr> <td>(1) (倉庫) S造、地上2階、延面積233.04㎡</td> <td>新築1棟</td> </tr> <tr> <td>(2) (油庫) S造、地上1階、延面積3.20㎡</td> <td>新築1棟</td> </tr> </table> <p>4. 工事範囲</p> <p>※「3. 工事種目」全てを工事範囲とする。 ・「3. 工事種目」のうち 倉庫、油庫 の全てを工事範囲とする。 ○「3. 工事種目」のうち 倉庫、油庫 の工事範囲は下記表のとおりとする。ただし、その他の工事種目は全て今回工事範囲とする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工事種目</th> <th>工事範囲</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2 仮設工事</td> <td>倉庫新設に関わる全て</td> </tr> <tr> <td>3 土工</td> <td>倉庫新設に関わる全て</td> </tr> <tr> <td>4 地業工事</td> <td>図示による</td> </tr> <tr> <td>5 鉄筋工事</td> <td>図示による</td> </tr> <tr> <td>6 コンクリート工事</td> <td>図示による</td> </tr> <tr> <td>7 鉄骨工事</td> <td>図示による</td> </tr> <tr> <td>8 コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9 防水工事</td> <td>図示による</td> </tr> <tr> <td>10 石工事</td> <td></td> </tr> <tr> <td>11 タイル工事</td> <td></td> </tr> <tr> <td>12 木工事</td> <td></td> </tr> <tr> <td>13 屋根及びびとい工事</td> <td>図示による</td> </tr> <tr> <td>14 金属工事</td> <td>図示による</td> </tr> <tr> <td>15 左官工事</td> <td>図示による</td> </tr> <tr> <td>16 建具工事</td> <td>図示による</td> </tr> <tr> <td>17 カーテンウォール工事</td> <td></td> </tr> <tr> <td>18 塗装工事</td> <td>図示による</td> </tr> <tr> <td>19 内装工事</td> <td>図示による</td> </tr> <tr> <td>20 ユニット及びその他の工事</td> <td>図示による</td> </tr> <tr> <td>21 排水工事</td> <td>土工事とする</td> </tr> <tr> <td>22 舗装工事</td> <td>土工事とする</td> </tr> <tr> <td>23 植栽及び壁上緑化工事</td> <td>土工事とする</td> </tr> </tbody> </table>		(1) (倉庫) S造、地上2階、延面積233.04㎡	新築1棟	(2) (油庫) S造、地上1階、延面積3.20㎡	新築1棟	工事種目	工事範囲	2 仮設工事	倉庫新設に関わる全て	3 土工	倉庫新設に関わる全て	4 地業工事	図示による	5 鉄筋工事	図示による	6 コンクリート工事	図示による	7 鉄骨工事	図示による	8 コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事		9 防水工事	図示による	10 石工事		11 タイル工事		12 木工事		13 屋根及びびとい工事	図示による	14 金属工事	図示による	15 左官工事	図示による	16 建具工事	図示による	17 カーテンウォール工事		18 塗装工事	図示による	19 内装工事	図示による	20 ユニット及びその他の工事	図示による	21 排水工事	土工事とする	22 舗装工事	土工事とする	23 植栽及び壁上緑化工事	土工事とする	<p>章 項 目 特 記 事 項</p> <p>1 各章共通事項</p> <p>○一般事項</p> <p>適用基準等 図面、本特記仕様書、標準仕様書に記載のない事項は次による。 ・建築物解体工事共通仕様書 令和4年版 国土交通省大臣官房官庁営繕部 ・建築工事写真撮影要領 令和5年版 国土交通省大臣官房官庁営繕部 ○建築工事標準詳細図 令和4年版 国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課</p> <p>○工事実績情報システム(コリンズ)への登録 (1.1.4)</p> <p>○書面の書式及び取扱い 情報共有システムの適用及び機能要件 (1.1.5) ○適用する機要件 ○現場説明書による</p> <p>○関係法令等の遵守 法令等の適用区分 建築基準法に基づく風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。 (1.1.13) ○風圧力 風速 (V₀ = 30m/s) 地表面粗度区分 (Ⅰ Ⅱ ○Ⅲ Ⅳ) ・積雪荷重 平成12年5月31日建設省告示第1455号における区域別表</p> <p>・遠隔臨場の実施 遠隔臨場の適用及び実施内容 (1.1.14) ・適用する実施内容 (現場説明書による)</p> <p>○実施工程表 概成工期 (1.2.1) ○有り ○現場説明書による ・無し</p> <p>○工事の記録等 報告に用いる書式等 (1.2.4) ・現場説明書による ○標準仕様書1.2.4(4)により整備する工事写真については次による 『宮崎工事写真撮影ガイドブック建築工事編及び解体工事編 令和5年版』 国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課</p> <p>・電気保安技術者 配置 (1.3.3) ・する</p> <p>○施工条件 標準仕様書1.3.5(1)以外の施工条件 (1.3.5) ○現場説明書による</p> <p>○発生材の処理等 処理等 (1.3.11) ○発注者に引渡しを要するもの ○現場説明書による ○特別管理産業廃棄物の種類及び処理方法 ○現場説明書による ○工事現場において再利用及び再資源化を図るもの ○現場説明書による</p> <p>○材料の品質等 品質等 (1.4.2) (1) 本工事に使用する材料は、設計図面に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。 (2) 備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は監督職員の承諾を受ける。 (3) 標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。 (4) 本工事に使用する材料のうち、(5)に指定する材料の製造業者等は、次の①から⑥の事項を満たすものとし、その証明となる資料（外部機関〔(一社)公共建築協会が発行する「建築材料・設備機材等品質評価事業」]の評価書の写し等）を監督職員に提出して承諾を受ける。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りでない。 ①品質及び性能に関する試験データを整備していること。 ②生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。 ③安定的な供給が可能であること。 ④法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。 ⑤製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 ⑥販売、保守等の営業体制を整えていること。 (5) 製造業者等に関する資料の提出を求める材料 ○(一社)公共建築協会の「建築材料・設備機材等品質評価事業」において評価書が発行されている材料 床型枠用鋼製デッキプレート、鉄骨柱下無収縮モルタル、無収縮グラウト材、押出成形セメント板、成形伸縮目地材、乾式保護材、セラミックタイル、既調合モルタル、既調合目地材、ルーフレン、吸水調整材、防水剤、アルミニウム製建具（コンクリート系下地及び鉄骨下地）、樹脂製建具（コンクリート系下地及び鉄骨下地）、鋼製建具、鋼製軽量建具、ステンレス製建具、錠前類、クローザ類、自動ドア機構、自閉式上吊り引戸機構、重量シャッター、軽量シャッター、オーバーヘッドドア、ガラス、現場発泡断熱材、フリーアクセスフロア、可動間仕切、移動間仕切、トイレブース、天井点検口、床床点検口、グレーチング、屋上緑化システム、トップライト、ポリマーセメントモルタル、鋳鉄製ふた</p>		<p>2 仮設工事</p> <p>○監督職員事務所等 (2.3.1)</p> <p>監督職員事務所等 建物 ○設置する ・設置しない 規模、仕上げの程度 ○現場説明書による 設備 ※監督職員との協議による ・現場説明書による 備品等の種類及び数量 ○現場説明書による</p> <p>○工事用水 構内既存の施設 (1.7.3) ○利用できない ・利用できる (・有償 ・無償)</p> <p>○工事用電力 構内既存の施設 (1.7.3) ○利用できない ・利用できる (・有償 ・無償)</p>													
(1) (倉庫) S造、地上2階、延面積233.04㎡	新築1棟																																																																		
(2) (油庫) S造、地上1階、延面積3.20㎡	新築1棟																																																																		
工事種目	工事範囲																																																																		
2 仮設工事	倉庫新設に関わる全て																																																																		
3 土工	倉庫新設に関わる全て																																																																		
4 地業工事	図示による																																																																		
5 鉄筋工事	図示による																																																																		
6 コンクリート工事	図示による																																																																		
7 鉄骨工事	図示による																																																																		
8 コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事																																																																			
9 防水工事	図示による																																																																		
10 石工事																																																																			
11 タイル工事																																																																			
12 木工事																																																																			
13 屋根及びびとい工事	図示による																																																																		
14 金属工事	図示による																																																																		
15 左官工事	図示による																																																																		
16 建具工事	図示による																																																																		
17 カーテンウォール工事																																																																			
18 塗装工事	図示による																																																																		
19 内装工事	図示による																																																																		
20 ユニット及びその他の工事	図示による																																																																		
21 排水工事	土工事とする																																																																		
22 舗装工事	土工事とする																																																																		
23 植栽及び壁上緑化工事	土工事とする																																																																		
		<p>材料及び工法 (3.2.3)(表3.2.1)</p> <p>※標準仕様書 表3.2.1による ・A種 施工箇所 () ○B種 施工箇所 (倉庫) ・C種 施工箇所 ()土質 () 受渡場所 () ・D種 施工箇所 ()</p> <p>○構外搬出 (搬出先：サンウッド (株)) ○構内指定場所に堆積 ・構内指定場所に散均し ○上記については積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではない。なお、受注者の提示する施設と異なる場合においても設計変更の対象としない。ただし、現場条件や数量の変更等、受注者の責によるものでない事項についてはこの限りではない。</p> <p>直接基礎 (4.2.1) 支持地盤の位置及び土質（基礎底部の位置含む） ○図示による 試験掘り（掘切り底の状態の確認等） ・行う ○行わない 位置等 ・図示による</p> <p>杭基礎 (4.2.2)(4.3.4)(4.3.5)(4.5.5)(4.5.6) 支持層の位置及び土質（杭先端の位置含む） ・図示による 試験杭の位置、本数及び寸法 ・図示による</p> <p>杭の載荷試験 (4.2.3) ・適用する ・適用しない 載荷試験の方法 ・鉛直載荷試験 ・地盤工学会基準JGS()による ・ ・水平載荷試験 ・地盤工学会基準JGS 1831 による ・ 載荷試験の試験杭の位置、本数及び載荷荷重 ・図示による 報告書の記載事項 ・</p> <p>地盤の載荷試験 (4.2.4) ○適用する ・適用しない 載荷試験の方法 平板載荷試験 ○地盤工学会基準JGS 1521 による ・ 載荷試験の位置、載荷荷重 ・図示による 報告書の記載事項 ・</p> <p>材料 (4.3.3) 杭の種類 ・適心力高強度プレストレストコンクリート杭（PHC杭） ・プレストレスト鉄筋コンクリート杭（PRC杭） ・外殻鋼管付きコンクリート杭（SC杭） SC杭の鋼管材料 ・SKK400 ・SKK490 ・ 杭の性能及び曲げ強度等による区分等 ・図示による 杭の寸法、継手の箇所数等 ・図示による 杭先端部形状 (4.3.3) ・開放形 ・半開放形 ・閉そく形 ・</p> <p>工法 (4.3.1)(4.3.4) ・セメントミルク工法 (4.3.1)(4.3.4) 掘削深さ ・図示による 杭の支持層への掘入れ長さ ・図示による 杭の水平方向の位置ずれ精度 ・杭径の1/4かつ100mm以下 根固め液及び杭周固定液の管理試験 ※標準仕様書4.3.4(6)(a)による ・ ・特定埋込杭工法 (4.3.1)(4.3.5) ・プレローリング拡大根固め工法掘削深さ ・中掘り拡大根固め工法 ・ ・平成13年国土交通省告示第1113号第6による地盤の許容支持力式でα=250を採用できる工法 ・平成13年国土交通省告示第1113号第6による地盤の許容支持力式のうちα、β、γが以下の値を採用できる工法 α=()、β=()、γ=() (4.3.3)(4.3.6)(7.2.5)</p> <p>継手 (4.3.3)(4.3.6)(7.2.5) 杭の継手の工法 ・溶接継手 溶接材料 ・標準仕様書7.2.5(1)(2)による ・ ・機械式継手</p> <p>杭頭処理 (4.3.8) ・処理する ・処理しない 処理方法（切断に伴う補強方法含む） ・図示による</p>																																																																	
		<table border="1"> <tr> <td>工事名</td> <td>R8年度 長泉第1浄水場倉庫建設工事</td> </tr> <tr> <td>工事箇所</td> <td>長泉町 納米里 地内</td> </tr> <tr> <td>図面の種類</td> <td><資材倉庫> 建築工事特記仕様書（その1）</td> </tr> <tr> <td>縮尺</td> <td>- D-2</td> </tr> <tr> <td>測量年月日</td> <td>- 設計年月日 令和8年</td> </tr> <tr> <td>事務所名</td> <td>長泉町上下水道課</td> </tr> </table>		工事名	R8年度 長泉第1浄水場倉庫建設工事	工事箇所	長泉町 納米里 地内	図面の種類	<資材倉庫> 建築工事特記仕様書（その1）	縮尺	- D-2	測量年月日	- 設計年月日 令和8年	事務所名	長泉町上下水道課																																																				
工事名	R8年度 長泉第1浄水場倉庫建設工事																																																																		
工事箇所	長泉町 納米里 地内																																																																		
図面の種類	<資材倉庫> 建築工事特記仕様書（その1）																																																																		
縮尺	- D-2																																																																		
測量年月日	- 設計年月日 令和8年																																																																		
事務所名	長泉町上下水道課																																																																		

4 地業工事	・鋼杭地業 材料 鋼杭の材料 図示による (4.4.3) 工法 特定埋込杭工法 (4.3.5) (4.4.4) ・中掘り拡大根固め工法 ・平成13年国土交通省告示第1113号第6による地盤の許容支持力式で $\alpha=250$ を採用できる工法 ・平成13年国土交通省告示第1113号第6による地盤の許容支持力式のうち α 、 β 、 γ が以下の値を採用できる工法 $\alpha = ()$ 、 $\beta = ()$ 、 $\gamma = ()$ 継手 杭の継手の工法 (4.4.3) (4.4.5) (7.2.5) ・溶接継手 ・溶接材料 ・標準仕様書 7.2.5(1)(2)による ・機械式継手 杭頭の処理等 (4.3.8) (4.4.6) ・処理する ・処理しない ・処理方法(切断に伴う補強方法含む) ・図示による ・場所打ちコンクリート杭地業 材料その他 鉄筋の種類 (4.5.4) (5.2.1)	○澆コンクリート地業 (4.6.4) 澆コンクリートの厚さ ※50mm (4.6.4) 範囲 ○基礎下、基礎梁下、土に接するスラブ下 ・図示による コンクリートの種類 ※普通コンクリート (4.6.4) (6.14.1) 標準仕様書 表6.2.1以外のコンクリートを用いる場合 ・図示による 設計基準強度 ※18N/mm ² (4.6.4) (6.14.1) スラブ ※15cm又は18cm (4.6.4) (6.14.1) ・床下防湿層 防湿層 (4.6.5) ・適用する 材料 ※ポリエチレンフィルム厚さ0.15mm以上 (4.6.2) 範囲 ・建物内の土間スラブ及び土間コンクリート下(ピット下を除く) ・図示による (4.6.5) 材料 固化材の種類 ・セメント固化材 (4.7.2) 工法 方式 ※機械攪拌方式 改良体の設計基準強度(Fc)、改良体長さ、改良率、改良体幅 ・図示による 固化材の配合量及び水固化材比を決定するための対象とする地層 ・図示による 室内配合試験における一軸圧縮試験の供試体数 ・図示による 特殊な地盤等での試験施工 ・図示による 改良工事完了後の試験 一軸圧縮試験の検査対象、コア採取方法、供試体数、検査方法 ・図示による 六価クロム溶出試験 ・適用する ・適用しない ・地盤改良(深層混合処理工法) 材料 固化材の種類 ・セメント固化材 (4.8.2) 工法 方式 ※原位置混合方式 (4.8.3) 改良体の設計基準強度(Fc)、改良対象土、改良範囲、改良厚さ ・図示による 固化材の配合量を決定するための対象とする地層 ・図示による 室内配合試験における一軸圧縮試験の供試体数 ・図示による 改良工事完了後の試験 一軸圧縮試験の検査対象、コア採取方法、供試体数、検査方法 ・図示による 六価クロム溶出試験 ・適用する ・適用しない	○鉄筋のなぶり厚さ及び間隔(溶接金網を含む) (5.3.5) 最小なぶり厚さ(目地底から算出を行う) ※標準仕様書 表5.3.6による 柱及び梁の主筋にD29以上の使用の有無 ・有り 適用箇所() 主筋のなぶり厚さを径の1.5倍以上確保する 軽量コンクリートの適用の有無 ・有り 適用箇所() 最小なぶり厚さに加える厚さ ()mm 耐久性上不利な箇所の有無(塩害等を受けるおそれのある部分等) ・有り 適用箇所() 最小なぶり厚さに加える厚さ ()mm ○図示による ○各部配筋 (5.3.7) 各部配筋 ○図示による ○圧接完了後の圧接部の試験 (5.4.10) (5.4.11) 抜取試験 ※超音波探傷試験 標準仕様書5.4.10(f)による ・引張試験 試験方法等 図示による ・機械式継手 (5.5.3) 工法 適用箇所 ・図示による 平成12年建設省告示第1463号に適合する性能 ・A級 機械式継手の種類 ・図示による 鉄筋相互のあき ・評定等の内容による 図示による 施工完了後の継手部の試験 (5.5.5) 外観試験 試験項目及び可否判定 ※標準仕様書 表5.5.1~表5.5.3による ・図示による 外観試験で不合格となった場合の措置 ※標準仕様書5.5.6(1)による ・図示による ・超音波測定試験 試験対象 ・図示による 超音波測定試験で不合格となった場合の措置 ・図示による 工法 適用箇所 ・図示による 平成12年建設省告示第1463号に適合する性能 ・A級 溶接継手の工法 ・図示による 鉄筋相互のあき ・図示による	○混和材料 (6.3.1) 混和材料の適用及び種類 ○混和剤 混和剤の種類 ※標準仕様書 6.3.1(4)(a)による ・混和剤 混和剤の種類 ※標準仕様書 6.3.1(4)(b)による 標準仕様書6.3.2(f)(F)の①~③以外の混和材料 使用方法及び使用量 ※監督職員の承諾による ○コンクリートの調査 (6.3.2) 調査管理強度 構造体強度補正値(S) ※標準仕様書 表6.3.2による ○打継ぎの位置、ひび割れ誘発目地、打継目地 (6.6.4) 打継ぎの位置 梁及びスラブ ※スパンの中央又は端から1/4の付近 ・図示による 柱及び壁 ※スラブ、壁梁又は基礎の上端 ・図示による 目地の寸法 (6.6.4) (6.8.1) (9.7.3) ※標準仕様書 9.7.3(1)(7)による ・図示による ひび割れ誘発目地の位置、形状 ・図示による ○打増し厚さ(打放し仕上げ部) (6.8.1) 打増し厚さ ○打放し仕上げの打増し厚さ(外部に面する部分に限る) ○20mm ・打放し仕上げの打増し厚さ(内部に面する部分に限る) ・10mm ・20mm 打増し範囲 ○図示による ○型枠 (6.8.2) せき板の材料 ※標準仕様書6.8.2(1)(7)、(4)による ・合板(厚さ:※12mm) ・断熱材を兼用した型枠 使用箇所 ・図示による ・MCR工法用シート 適用箇所 ・図示による スリーブの材質・規格等 ・図示による ○AM図による 型枠の最小存置期間 (6.8.4) ・セメントの種類が普通エコセメントの場合 () ・軽量コンクリート (6.10.1) 適用箇所 ・図示による 種類 ・1種 ・2種 気乾単位容積重量 () t/m ³ スラブ ※21cm ・寒中コンクリート (6.11.1) 適用期間 ・図示による 構造体強度補正値(S) ・標準仕様書6.11.2(3)(7)による ・積算温度を基に定める () ・暑中コンクリート (6.12.2) スラブ ※21cm 構造体強度補正値(S) ※標準仕様書 表6.12.1による ・マスコンクリート (6.13.1) 適用箇所 ・図示による セメントの種類 (6.13.2) ・普通ポルトランドセメント ・中熱ポルトランドセメント ・低熱ポルトランドセメント ・高炉セメントB種 ・フライアッシュセメントB種 ・シリカセメント 混和材料 (6.13.2) ・混和剤 混和剤の種類 ※標準仕様書6.13.2(2)(7)による ・混和材 混和材の種類 ※標準仕様書6.13.2(4)による スラブ ※15cm (6.13.2) 構造体強度補正値(s) ※標準仕様書 表6.13.1による	○砂利地業 (4.6.2) ○再生クラッシュラン 切込砂利 切込砕石 砂利地業の厚さ (4.6.3) ※60mm 範囲 ○基礎下、基礎梁下、土に接するスラブ下、土間コンクリート下 ・図示による ・砂地業 (4.6.2) 材料 ・シルト ・山砂 ・川砂 ・砕砂 砂地業の厚さ (4.6.3) ※60mm 範囲 ・図示による	5 鉄筋工事 ○鉄筋 (5.2.1) 鉄筋の種類等 (5.2.1) 種類の記号 呼び径(mm) 備考 ○SD295 ○D16以下 ○SD345 ○D19以上 ・溶接金網 (5.2.2) 鉄線の形状等 (5.2.2) 種類 種類の記号 鉄線の形状、網目寸法、鉄線の径(mm) 使用部位 ・溶接金網 ・加工 (5.3.2) 鉄筋の折曲げ形状及び寸法 (5.3.2) ・鉄筋の折曲げ角度が90°未満の折曲げ内法直径(D) ()以上 ○継手及び定着 (5.3.4) 鉄筋の継手の方法等(構造細目共通図による) (5.3.4) 部 位 継手の方法 呼び径(mm) 柱及び梁主筋 ・ガス圧接 ・機械式継手 ・溶接継手 ・重ね継手 耐力壁の鉄筋 ・重ね継手 基礎、耐圧スラブ、土圧壁 ・重ね継手 ・ガス圧接 上記以外() ・重ね継手 継手位置 (5.3.4) ○図示による 柱及び梁主筋の重ね継手の長さ (5.3.4) ○図示による 耐力壁の重ね継手の長さ (5.3.4) ※標準仕様書5.3.4(3)(7)による ・図示による ・先組み工法等で、柱及び梁の主筋のうち、隣り合う継手を同一箇所()に設ける場合 ・図示による 鉄筋の定着長さ (5.3.4) ※標準仕様書 表5.3.4による ○図示による 標準仕様書5.3.4(4)(f)の場合の折曲げ定着の方法 (5.3.4) ※標準仕様書図5.3.3により5.3.4(5)(f)を全て満足する ○図示による 機械式定着工法 (5.3.4) ・適用する ○適用しない 適用箇所 図示による 種類 図示による	6 コンクリート工事 ○コンクリートの種類 (6.2.1) (表6.2.1) コンクリートの類別 (6.2.1) (表6.2.1) ※I類(JIS A 5308への適合を認証されたコンクリート) ・II類(JIS A 5308に適合したコンクリート) ○普通コンクリート (6.2.1) (表6.2.2) 設計基準強度(N/mm ²) スラブ(cm) 適用箇所 ○24 ※15又は18 基礎、基礎梁、土間スラブ ○24 ※18 柱、梁、スラブ、壁 ・軽量コンクリート (6.2.1) (6.10.2) ・建築基準法第37条第二号の規定に基づき認定を受けたコンクリート (6.2.1) 適用箇所() ○構造体コンクリートの仕上り (6.2.5) (表6.2.4) 種 別 適用箇所 ・A種 図示による ○B種 ○図示による ・C種 図示による コンクリートの仕上げの平たんさ (6.2.5) (表6.2.5) 種 別 適用箇所 ・a種 図示による ○b種 図示による ○継壁 ・c種 図示による ○セメント (6.3.1) 種類 ※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種 適用箇所(※下記以外全て) ・高炉セメントB種 適用箇所() ・フライアッシュセメントB種 適用箇所() ・普通エコセメント 適用箇所() ○骨材 (6.3.1) フェロニッケルスラグ骨材、鋼スラグ骨材及び電気炉酸化スラグ骨材 (6.3.1) ・使用する 適用箇所() 再生骨材H(普通エコセメントを使用するコンクリート) (6.3.1) ・使用する 適用箇所() ○使用しない アルカリシリカ反応性による区分 (6.3.1) ※A ・B	工 事 名 R8年度 長泉第1浄水場倉庫建設工事 工 事 箇 所 長泉町 納米里 地内 図 面 の 種 類 <資材倉庫> 建築工事特記仕様書(その2) 縮 尺 - D-3 測 量 年 月 日 - 設 計 年 月 日 令和8年 事 務 所 名 長泉町上下水道課
-----------	--	--	--	--	---	---	--	--

6 コンクリート工事	・無筋コンクリート	コンクリートの種類 ※普通コンクリート 設計基準強度 ※18(N/mm ²) スランブ ※15cm又は18cm 適用箇所 ※標準仕様書 6.14.1(4)による ・図示による ・標準仕様書 表6.2.1以外のコンクリートを用いる場合 ()	(6.14.1) (6.14.1) (6.14.1) (6.14.1) (6.14.1)	○床構造用のデッキプレート	材質、形状及び寸法 (7.2.7) ・デッキプレート単独の構法 ○デッキプレートとコンクリートとの合成スラブとする構法 図示	○アンカーボルトの設置等	構造用アンカーボルトの形状及び寸法 (7.10.3) ○図示による 構造用アンカーボルトの保持及び埋込み ※適切な鋼製アンカーフレーム等を設置して固定する方法 ・図示による 建方用アンカーボルトの保持及び埋込み方法 (7.10.3)(表7.10.1) 種別 ・A種 ・B種 柱底均しモルタルの厚さ及び工法の種別 (7.10.3)(表7.10.2) 厚さ ・ mm 種別 ※A種 ボルト接合方法 (7.11.2) ・普通ボルト接合	・押出成形セメント板(ECP)	材料、構法 (8.5.2~8.5.4)(表8.5.1)(表8.5.2) パネルの種類 形状 厚さ (mm) 幅 (mm) 工法の種別 備考 ・外壁 パネル ・F(フラットパネル) ・D(デザインパネル) ・T(タイルベースパネル) ・間仕切 壁パネル ・F(フラットパネル) ・D(デザインパネル) ・T(タイルベースパネル) ・外壁パネル工法 耐風圧性能 () 耐震性能 () ・間仕切壁パネル工法 耐震性能 () 耐火構造以外の目地及び隙間の処理 ※パネルの製造所の仕様による パネル幅の最小限度 ・300mm未満 (・図示による) パネルの相互の目地幅 (8.5.3)(8.5.4) パネル幅 900mm以下の場合 900mmを超える場合 長辺の目地幅 ※10mm以上 ・ ※15mm以上 ・ 短辺の目地幅 ※15mm以上 ・ ※15mm以上 ・ 出隅及び入隅のパネル接合部の伸縮目地の目地幅 (8.5.3)(8.5.4) ※15mm程度(シーリング材を充填) ・図示による 溝掘及び開口部の措置 (8.5.5) やむを得ず設備開口等を設ける場合のパネルの開口寸法等の限度 ・図示による
	・流動化コンクリート	適用箇所 ・図示による 空質量 ※4.5%	(6.15.1)	○スタッド	種類等 (7.2.8) 呼び名 呼び長さ (mm) 適用箇所 ○16 100 図示による 19 22	・軽量形鋼構造	・補強コンクリートブロック造	・アスファルト防水	屋根保護防水 (9.2.2)(9.2.3)(表9.2.3~表9.2.6) 防水層の種類 種別 施工箇所 断熱材 絶縁用シート ・A-1 ・A-2 ・A-3 ・B-1 ・B-2 ・A1-1 ・A1-2 ・A1-3 ・B1-1 ・B1-2 ※ポリエチレンフィルム 厚さ0.15mm以上又は フラットヤーークロス 70g/m ² 程度 ※フラットヤーークロス 70g/m ² 程度 改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ (9.2.2) ※標準仕様書 表9.2.3及び表9.2.4による ・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 材料構成による区分 ・R種 ・N種 厚さ ・ mm以上 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ (9.2.2) ※標準仕様書 表9.2.5及び表9.2.6による ・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 材料構成による区分 ・R種 ・N種 厚さ ・ mm以上 押え金物の材質及び形状寸法 (9.2.2) ※アルミニウム製L-30×15×2.0mm程度 立上り部への断熱材及び絶縁用シートの設置 (表9.2.4)(表9.2.6) ・適用する ・適用しない 屋根露出防水 (9.2.2)(9.2.3)(表9.2.7)(表9.2.8) 防水層の種類 種別 施工箇所 断熱材 仕上り材料 種類 使用量 ・D-1 ・D-2 ・D1-1 ・D1-2 ※製造所の仕様による 改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ (9.2.2) ※標準仕様書 表9.2.8による ・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 材料構成による区分 ・R種 ・N種 厚さ ・ mm以上 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ (9.2.2) ※標準仕様書 表9.2.7及び表9.2.8による ・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 材料構成による区分 ・R種 ・N種 厚さ ・ mm以上 押え金物の材質及び形状寸法 (9.2.2) ※アルミニウム製L-30×15×2.0mm程度 絶縁工法及び断熱絶縁工法の脱気装置の種類及び設置数量 (9.2.3) 種類 ※アスファルトルーフィング類の製造所の指定 設置数量 ※アスファルトルーフィング類の製造所の指定 値 屋内防水 (9.2.2)(9.2.3)(表9.2.9) 防水層の種類 種別 施工箇所 種別 施工箇所 ・E-1 ・E-2
7 鉄骨工事	○鉄骨製作工場	鉄骨製作工場の加工能力 ・国土交通大臣から構造方法等の認定を取得している鉄骨製作工場 又は同等以上の能力のある工場 ()グレード以上 ○監督職員の承諾する工場	(7.1.3)	・溶接作業を行う 技能資格者	技量付加試験 ・行う ・行わない 試験の要領 ・図示による	・コンクリートブロック 帳壁及び壁	・コンクリートブロック 帳壁及び壁	9 防水工事	改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ (9.2.2) ※標準仕様書 表9.2.3及び表9.2.4による ・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 材料構成による区分 ・R種 ・N種 厚さ ・ mm以上 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ (9.2.2) ※標準仕様書 表9.2.5及び表9.2.6による ・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 材料構成による区分 ・R種 ・N種 厚さ ・ mm以上 押え金物の材質及び形状寸法 (9.2.2) ※アルミニウム製L-30×15×2.0mm程度 立上り部への断熱材及び絶縁用シートの設置 (表9.2.4)(表9.2.6) ・適用する ・適用しない 屋根露出防水 (9.2.2)(9.2.3)(表9.2.7)(表9.2.8) 防水層の種類 種別 施工箇所 断熱材 仕上り材料 種類 使用量 ・D-1 ・D-2 ・D1-1 ・D1-2 ※製造所の仕様による 改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ (9.2.2) ※標準仕様書 表9.2.8による ・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 材料構成による区分 ・R種 ・N種 厚さ ・ mm以上 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ (9.2.2) ※標準仕様書 表9.2.7及び表9.2.8による ・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 材料構成による区分 ・R種 ・N種 厚さ ・ mm以上 押え金物の材質及び形状寸法 (9.2.2) ※アルミニウム製L-30×15×2.0mm程度 絶縁工法及び断熱絶縁工法の脱気装置の種類及び設置数量 (9.2.3) 種類 ※アスファルトルーフィング類の製造所の指定 設置数量 ※アスファルトルーフィング類の製造所の指定 値 屋内防水 (9.2.2)(9.2.3)(表9.2.9) 防水層の種類 種別 施工箇所 種別 施工箇所 ・E-1 ・E-2
	・施工管理技術者	鉄骨製作工場における施工管理技術者 ・適用する	(7.1.3)(7.1.4)	○溶接接合	開先の形状 ○図示による 鋼製エンドタブを切断する箇所及び切断範囲 ○図示による 切断面の仕上げ ※標準仕様書7.6.7(1)(a)(b)による 低応力高サイクル疲労を受ける部位 ○図示による スカラップの形状 ○図示による	・ALCパネル	・ALCパネル		
○鋼材	種類等 (7.2.1) 種類の記号 適用箇所 (主要な部分) 規格 BCR295 柱 ○JISによる ・JISによる SMA00B 柱、梁 ○JISによる ・JISによる BPM-SD490 柱 ○JISによる ・JISによる ・JISによる	(7.2.1)	○溶接部の試験	溶接部の外観試験 (7.6.12) 平成12年建設省告示第1464号第二号に関する試験 試験方法等 ○突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル (鉄骨製作管理技術者登録機) 3.5.2 受入検査による。 ※抜き取り検査② ・抜き取り検査① ・ JASS 6 付則 6の付表3「溶接」に関する試験 試験方法等 ・JASS 6 10.4 [受入検査] e. 溶接部の外観検査(1)~(5)による。 ただし、完全溶込み溶接部の外観検査の検査箇所は、超音波探傷試験の試験箇所と同一とする。 ・ 完全溶込み部の超音波探傷試験 (7.6.12) ○適用する ・適用しない 工場溶接の場合 AQL ※レベルII ・レベルI 節 ・全て 検査水準 ※第6水準	・ALCパネル	・ALCパネル	○断止め塗装 (7.8.2) 塗料の種類 耐火被覆材の接着する面の塗装範囲 ・図示による 耐火被覆材の接着する面以外の塗装範囲 ※標準仕様書7.8.2(1)による ・図示による 下記以外の塗料の種類は、18章による ・鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブで鉄骨に溶接されたものの内側の断止め塗料の種類 ※As種 ・Bs種 (7.8.4)(表18.3.1) ・耐火被覆が接着する面の塗料の種類 種類、材料、工法等 (7.9.2~7.9.8) 種類 材料・工法 耐火性能(時間) 適用箇所(部位・部分) ・乾式吹付け ロックウール ・半乾式吹付け ロックウール ・耐火材吹付け ロックウール ・湿式 ロックウール ・ ・繊維混入けい酸 カルシウム板 ・ ・高断熱 ロックウール ・ ・ラス張り モルタル塗り ・耐火塗料		
○高力ボルト	高力ボルトの種類 (7.2.2) ○トルシヤ高力ボルト ・JIS高力ボルト ・溶融亜鉛めっき高力ボルト ・建築基準法に基づき認定を受けた高力ボルト	(7.2.2)	○錆止め塗装 (7.8.2)	塗料の種類 耐火被覆材の接着する面の塗装範囲 ・図示による 耐火被覆材の接着する面以外の塗装範囲 ※標準仕様書7.8.2(1)による ・図示による 下記以外の塗料の種類は、18章による ・鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブで鉄骨に溶接されたものの内側の断止め塗料の種類 ※As種 ・Bs種 (7.8.4)(表18.3.1) ・耐火被覆が接着する面の塗料の種類 種類、材料、工法等 (7.9.2~7.9.8) 種類 材料・工法 耐火性能(時間) 適用箇所(部位・部分) ・乾式吹付け ロックウール ・半乾式吹付け ロックウール ・耐火材吹付け ロックウール ・湿式 ロックウール ・ ・繊維混入けい酸 カルシウム板 ・ ・高断熱 ロックウール ・ ・ラス張り モルタル塗り ・耐火塗料	・ALCパネル	・ALCパネル	○錆止め塗装 (7.8.2)	○錆止め塗装 (7.8.2)	
○ボルト	ボルトの寸法 (7.2.2) ねじの呼び ○図示による ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ○図示による 摩擦面の性能及び処理 (7.4.2) ○すべり試験 試験の方法等 ・図示による ・溶融亜鉛めっき面の摩擦面の処理方法 ※標準仕様書7.12.5(1)(7)、(4)による JIS高力ボルトの締付け(本締め) (7.4.7) ナット回転法の場合で、ボルトの長さがねじの呼びの5倍を超える場合の回転量 ・図示による ・普通ボルト (7.2.3) ボルト及びナットの種類 ※標準仕様書 表7.2.3による ボルトの形状及び寸法 (7.2.3) ねじの呼び ・図示による ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 (7.3.2) ・図示による 母屋又は鋼線の取付けに使用するボルトの孔径 (7.3.8) ※ねじの呼び径+1.0mm ・アンカーボルト (7.2.4) 種類 構造用アンカーボルト ・ABR400 ・ABR490 ・建方用アンカーボルト ・SS400 アンカーボルト及びナットのねじの公差域クラス及び仕上げの程度 ※標準仕様書 表7.2.3による ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 (7.3.2) ・図示による 溶接材料 (7.2.5) 溶接材料 ※標準仕様書 7.2.5(1)、(2)による ・図示による ○タンパックス (7.2.6) 種類 建築用タンパックスボルト ※羽子板ボルト 建築用タンパックス鋼 ※割棒 ねじの呼び等 (7.2.6) ○図示による	(7.2.2) (7.2.3) (7.2.3) (7.3.2) (7.3.8) (7.2.4) (7.3.2) (7.2.5) (7.2.6)	○錆止め塗装 (7.8.2)	塗料の種類 耐火被覆材の接着する面の塗装範囲 ・図示による 耐火被覆材の接着する面以外の塗装範囲 ※標準仕様書7.8.2(1)による ・図示による 下記以外の塗料の種類は、18章による ・鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブで鉄骨に溶接されたものの内側の断止め塗料の種類 ※As種 ・Bs種 (7.8.4)(表18.3.1) ・耐火被覆が接着する面の塗料の種類 種類、材料、工法等 (7.9.2~7.9.8) 種類 材料・工法 耐火性能(時間) 適用箇所(部位・部分) ・乾式吹付け ロックウール ・半乾式吹付け ロックウール ・耐火材吹付け ロックウール ・湿式 ロックウール ・ ・繊維混入けい酸 カルシウム板 ・ ・高断熱 ロックウール ・ ・ラス張り モルタル塗り ・耐火塗料	・ALCパネル	・ALCパネル	○錆止め塗装 (7.8.2)	○錆止め塗装 (7.8.2)	
○溶接材料	溶接材料 ※標準仕様書 7.2.5(1)、(2)による ・図示による	(7.2.5)	○錆止め塗装 (7.8.2)	塗料の種類 耐火被覆材の接着する面の塗装範囲 ・図示による 耐火被覆材の接着する面以外の塗装範囲 ※標準仕様書7.8.2(1)による ・図示による 下記以外の塗料の種類は、18章による ・鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブで鉄骨に溶接されたものの内側の断止め塗料の種類 ※As種 ・Bs種 (7.8.4)(表18.3.1) ・耐火被覆が接着する面の塗料の種類 種類、材料、工法等 (7.9.2~7.9.8) 種類 材料・工法 耐火性能(時間) 適用箇所(部位・部分) ・乾式吹付け ロックウール ・半乾式吹付け ロックウール ・耐火材吹付け ロックウール ・湿式 ロックウール ・ ・繊維混入けい酸 カルシウム板 ・ ・高断熱 ロックウール ・ ・ラス張り モルタル塗り ・耐火塗料	・ALCパネル	・ALCパネル	○錆止め塗装 (7.8.2)	○錆止め塗装 (7.8.2)	
○タンパックス	種類 建築用タンパックスボルト ※羽子板ボルト 建築用タンパックス鋼 ※割棒 ねじの呼び等 ○図示による	(7.2.6)	○錆止め塗装 (7.8.2)	塗料の種類 耐火被覆材の接着する面の塗装範囲 ・図示による 耐火被覆材の接着する面以外の塗装範囲 ※標準仕様書7.8.2(1)による ・図示による 下記以外の塗料の種類は、18章による ・鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブで鉄骨に溶接されたものの内側の断止め塗料の種類 ※As種 ・Bs種 (7.8.4)(表18.3.1) ・耐火被覆が接着する面の塗料の種類 種類、材料、工法等 (7.9.2~7.9.8) 種類 材料・工法 耐火性能(時間) 適用箇所(部位・部分) ・乾式吹付け ロックウール ・半乾式吹付け ロックウール ・耐火材吹付け ロックウール ・湿式 ロックウール ・ ・繊維混入けい酸 カルシウム板 ・ ・高断熱 ロックウール ・ ・ラス張り モルタル塗り ・耐火塗料	・ALCパネル	・ALCパネル	○錆止め塗装 (7.8.2)	○錆止め塗装 (7.8.2)	

工事名	R8年度 長泉第1浄水場倉庫建設工事
工事箇所	長泉町 納米里 地内
図面の種類	<資材倉庫> 建築工事特記仕様書 (その3)
縮尺	- D-4
測量年月日	- 設計年月日 令和8年
事務所名	長泉町上下水道課

9 防水工事	<p>保護層 ・設ける (・図示による) ・設けない</p> <p>E-1の工程3を行う場合の部位 (表9.2.9)</p> <p>※貯水槽、浴槽等の常時水に接する部位</p> <p>施工 (9.2.4)</p> <p>防水層の下のモルタル塗り (9.2.4)</p> <p>・適用する (施工範囲) ・図示による (・) ・適用しない</p> <p>防水層の下地、立上りコンクリート打放し仕上げ (9.2.4)</p> <p>※標準仕様書 表6.2.4のB種</p> <p>絶縁断熱工法のルーフレンド回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置 (9.2.4)</p> <p>・図示による</p> <p>保護層等の施工 (9.2.5)</p> <p>平場の保護コンクリートの厚さ (9.2.5)</p> <p>こて仕上げ ※80mm 以上</p> <p>床タイル張り ※60mm 以上</p> <p>立上り部の保護工法 (9.2.5)</p> <p>・乾式保護材</p> <p>乾式保護材の材料 (9.2.2)</p> <p>・コンクリート押入</p> <p>・モルタル押入 (屋上等)</p> <p>・れんが押入 (・図示による) (・)</p> <p>れんがの材料 (9.2.2)</p> <p>・JIS R 1250 (普通れんが及び化粧れんが)</p> <p>屋上排水溝の設置 (9.2.5)</p> <p>・図示による</p> <p>改質アスファルトシート防水 (9.3.2) (9.3.3) (表9.3.1~表9.3.3)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">種別</th> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th rowspan="2">断熱材</th> <th rowspan="2">防湿用シート</th> <th colspan="2">仕上塗料</th> </tr> <tr> <th>種類</th> <th>使用量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・AS-T1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※製造所の仕様による</td> </tr> <tr> <td>・AS-T2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・AS-T3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・AS-T4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・AS-J1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・AS1-T1</td> <td></td> <td>種類</td> <td>・設ける</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・AS1-J1</td> <td></td> <td>厚さ mm</td> <td>・設けない</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>改質アスファルトシートの種類及び厚さ (9.3.2)</p> <p>※標準仕様書 表9.3.1から表9.3.3による</p> <p>粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ (9.3.2)</p> <p>※標準仕様書 表9.3.2及び表9.3.3による</p> <p>部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ (9.3.2)</p> <p>※標準仕様書 表9.3.2及び表9.3.3による</p> <p>押入金物の材質及び形状寸法 (9.3.2)</p> <p>※アルミニウム製L-30×15×2.0mm程度</p> <p>屋根露出防水絶縁工法、屋根露出防水絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量 (9.3.3)</p> <p>種類 ※改質アスファルトシートの製造所の指定</p> <p>設置数量 ※改質アスファルトシートの製造所の指定</p> <p>備</p> <p>改質高分子系ルーフィングシート防水 (9.4.2~9.4.4) (表9.4.1) (表9.4.2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">種別</th> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th rowspan="2">可変剤移行防止シートの材質</th> <th rowspan="2">断熱材</th> <th rowspan="2">歩行の仕様</th> <th colspan="2">仕上塗料</th> </tr> <tr> <th>種類</th> <th>使用量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・S-F1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※非歩行用 ・軽歩行用</td> <td></td> <td>※製造所の仕様による</td> </tr> <tr> <td>・S-F2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・非歩行用 ・軽歩行用</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・S-M1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※非歩行用 ・軽歩行用</td> <td></td> <td>※製造所の仕様による</td> </tr> <tr> <td>・S-M2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・非歩行用 ・軽歩行用</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・SI-F1</td> <td></td> <td></td> <td>種類</td> <td></td> <td></td> <td>※製造所の仕様による</td> </tr> <tr> <td>・SI-F2</td> <td></td> <td></td> <td>厚さ mm</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・SI-M1</td> <td></td> <td></td> <td>種類</td> <td></td> <td></td> <td>※製造所の仕様による</td> </tr> <tr> <td>・SI-M2</td> <td></td> <td></td> <td>厚さ mm</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>屋内外防水層の種類 (9.4.2~9.4.4) (表9.4.3)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">種別</th> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th colspan="3">保護層</th> </tr> <tr> <th>平場のモルタル塗り 塗厚(mm)</th> <th>工法</th> <th>立上り部の保護 モルタル塗り厚さ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・S-C1</td> <td></td> <td></td> <td>・床塗り ・下地モルタル塗り</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>ルーフィングシートの種類及び厚さ (9.4.2)</p> <p>※標準仕様書 表9.4.1から表9.4.3による</p> <p>固定金具の材質及び形状 (9.4.2)</p> <p>材質 ※防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板又はそれらの鋼板の片面及び両面に樹脂を積層加工したもの</p> <p>厚さ ※0.4mm以上</p>	種別	施工箇所	断熱材	防湿用シート	仕上塗料		種類	使用量	・AS-T1					※製造所の仕様による	・AS-T2						・AS-T3						・AS-T4						・AS-J1						・AS1-T1		種類	・設ける			・AS1-J1		厚さ mm	・設けない			種別	施工箇所	可変剤移行防止シートの材質	断熱材	歩行の仕様	仕上塗料		種類	使用量	・S-F1				※非歩行用 ・軽歩行用		※製造所の仕様による	・S-F2				・非歩行用 ・軽歩行用			・S-M1				※非歩行用 ・軽歩行用		※製造所の仕様による	・S-M2				・非歩行用 ・軽歩行用			・SI-F1			種類			※製造所の仕様による	・SI-F2			厚さ mm				・SI-M1			種類			※製造所の仕様による	・SI-M2			厚さ mm				種別	施工箇所	保護層			平場のモルタル塗り 塗厚(mm)	工法	立上り部の保護 モルタル塗り厚さ	・S-C1			・床塗り ・下地モルタル塗り		<p>接着工法の場合の脱気装置の種類及び設置数量 (9.4.3)</p> <p>種類 ※ルーフィングシートの製造所の仕様</p> <p>設置数量 ※ルーフィングシートの製造所の仕様</p> <p>個</p> <p>断熱工法 (S1-M1、S1-M2の場合)の防湿用フィルム (表9.4.2)</p> <p>・設置する ・設置しない</p> <p>接着工法の場合のP Cコンクリート部材防水下地の目地処理 (9.4.4)</p> <p>・行う (・図示による) ・行わない</p> <p>P Cコンクリート下地の入隅部の増張り (S-F1、S1-F1の場合) (9.4.4)</p> <p>・行う (・図示による) ・行わない</p> <p>機械的固定工法の場合のルーフィングシートの張付け (9.4.4)</p> <p>建築基準法に基づく風圧力に対応した工法</p> <p>・図示による</p> <p>・塗膜防水</p> <p>防水層の種類 (9.5.3) (表9.5.1) (表9.5.2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">種別</th> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th colspan="2">仕上塗料</th> <th rowspan="2">保護層</th> </tr> <tr> <th>種類</th> <th>使用量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・X-1</td> <td></td> <td></td> <td>※製造所の仕様による</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・X-2</td> <td></td> <td></td> <td>※製造所の仕様による</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・Y-1</td> <td>※地下外壁防水</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・Y-2</td> <td>※屋内防水</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>ウレタンゴム系塗膜防水 X-1 (絶縁工法)の脱気装置の種類及び設置数量 (9.5.3)</p> <p>種類 ※主材料の製造所の仕様</p> <p>設置数量 ※主材料の製造所の仕様</p> <p>個</p> <p>防水層の下地 (壁及び天井) (9.6.4)</p> <p>※コンクリート打放し仕上げ (標準仕様書 表6.2.4の B種)</p> <p>下地処理 (9.6.4)</p> <p>コンクリートの打継箇所の処理</p> <p>※標準仕様書9.6.4(2)(7)による</p> <p>標準仕様書9.6.4(2)(i)及び(j)以外の下地処理</p> <p>・図示による</p> <p>材料 (9.7.2)</p> <p>種類及び施工箇所</p> <p>※下表以外は、標準仕様書 表9.7.1による</p> <p>ただし、外壁タイル接着剤張り目地の場合のシーリングは11章に、カーテンウォール目地の場合のシーリングは17章による。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>シーリング材の種類 (記号)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>図示による</td> <td>MS-2</td> </tr> </tbody> </table> <p>仕上げを行わない施工箇所 ()</p> <p>シーリング材の目地寸法 (9.7.3)</p> <p>※標準仕様書9.7.3(1)による</p> <p>接着性試験 (9.7.5)</p> <p>※簡易接着性試験 ・引張接着性試験</p> <p>・施工 (10.1.3)</p> <p>・石材等 (10.2.1) (表10.2.1) (表10.2.2)</p> <p>天然石 (10.2.1) (表10.2.1) (表10.2.2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>岩石の種類</th> <th>形状及び寸法</th> <th>表面仕上げの種類</th> <th>バフ仕上げの有無</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td>・図示による</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>テラズブロック (10.2.1) (表10.2.1) (表10.2.2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>種石の種類</th> <th>種石の大きさ (mm)</th> <th>形状による区分</th> <th>仕上げ面による区分</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>表面仕上げの種類</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>※大理石 ・花こう岩</td> <td>※1.5~12</td> <td>・平もの ・役もの</td> <td>・片面 ・両面</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>テラズタイル (10.2.1) (表10.2.1) (表10.2.2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>種石の種類</th> <th>種石の大きさ (mm)</th> <th>寸法による区分 (mm)</th> <th>表面仕上げの種類</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>※大理石 ・花こう岩</td> <td>※1.5~12</td> <td>・300×300 ・400×400</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>その他の材料 (10.2.3)</p> <p>・セメントモルタル</p> <p>・取付け用モルタル</p> <p>※専門工事業者の指定する製品</p> <p>・既調合の目地モルタル</p> <p>※専門工事業者の指定する製品</p> <p>・浸透性吸水防止剤</p> <p>※専門工事業者の指定する製品</p> <p>・石裏面処理材</p> <p>※専門工事業者の指定する製品</p> <p>・裏打ち処理材</p> <p>※専門工事業者の指定する製品</p> <p>・金物の固定に使用する充填材等</p> <p>※専門工事業者の指定する製品</p> <p>・外壁湿式工法 (10.2.2)</p> <p>受金物 (10.2.2)</p> <p>材質、形状及び寸法 ・図示による</p> <p>アンカーの材質及び寸法 (10.2.2)</p> <p>材質：※SS400 寸法：</p> <p>あと施工アンカーの種類、材質及び寸法</p> <p>種類： 材質： 寸法：</p> <p>上記以外の金物の材質、形状及び寸法</p> <p>・図示による</p> <p>ドレンパイプの材質 (10.2.3)</p> <p>・樹脂ネット製パイプ クロスメッシュ巻き 25~35φ</p> <p>石材の厚さ (10.3.2)</p> <p>石裏面処理 ・適用する ・適用しない</p> <p>裏打ち処理 ・適用する ・適用しない</p> <p>下地ごしらえ ※あと施工アンカー・横筋流し工法 (10.3.3)</p> <p>・流し筋工法</p> <p>・あと施工アンカー工法</p> <p>目地 (10.3.3)</p> <p>一般目地</p> <p>目地幅 ・ mm (6~10mm)</p> <p>シーリング材</p> <p>・適用する (標準仕様書9.7による) ・適用しない</p> <p>伸縮調整目地 (9.7.3) (10.3.3)</p> <p>位置 ※標準仕様書 表11.1.1による</p> <p>シーリング材の目地寸法</p> <p>※幅・深さとも10mm以上</p> <p>・図示による</p> <p>・内壁空積工法 (10.2.2)</p> <p>受金物 (10.2.2)</p> <p>材質、形状及び寸法 ・図示による</p> <p>アンカーの材質及び寸法 (10.2.2)</p> <p>材質：※SS400 寸法：</p> <p>あと施工アンカーの種類、材質及び寸法</p> <p>種類： 材質： 寸法：</p> <p>上記以外の金物の材質、形状及び寸法</p> <p>・図示による</p> <p>石材の厚さ (10.4.2)</p> <p>石裏面処理 ・適用する ・適用しない</p> <p>裏打ち処理 ・適用する ・適用しない</p> <p>下地ごしらえ ※あと施工アンカー・横筋流し工法 (10.4.3)</p> <p>・あと施工アンカー工法</p> <p>目地 (10.4.3)</p> <p>一般目地</p> <p>目地幅 ・ mm (6~10mm)</p> <p>シーリング材</p> <p>・適用する (標準仕様書9.7による) ・適用しない</p> <p>伸縮調整目地 (9.7.3) (10.4.3)</p> <p>位置 ※6m程度ごと</p> <p>シーリング材の目地寸法</p> <p>※幅・深さとも10mm以上</p> <p>・図示による</p> <p>・外壁乾式工法 (10.2.2)</p> <p>外壁乾式工法方式による金物の種類、形状、寸法等 (10.2.2)</p> <p>※標準仕様書 表10.2.4による</p> <p>方式 ・スライド方式 ・ロッキング方式</p> <p>・図示による</p> <p>アンカーの材質及び寸法 (10.2.2)</p> <p>材質：※ステンレス (SUS304) 製</p> <p>寸法：</p> <p>あと施工アンカーの種類、材質及び寸法</p> <p>種類： 材質： 寸法：</p> <p>上記以外の金物の材質、形状及び寸法</p> <p>・図示による</p> <p>石材の厚さ (10.5.2)</p> <p>mm (30mm以上)</p> <p>だぼ用の穴の位置</p> <p>※標準仕様書10.5.2(2)(7)による</p> <p>・図示による</p> <p>裏打ち処理 ・適用する ・適用しない</p> <p>建築基準法に基づく風圧力に対応した工法 (10.5.3)</p> <p>・図示による</p> <p>目地 (10.5.3)</p> <p>目地幅 ・ mm (8mm以上)</p> <p>シーリング材</p> <p>・適用する (※標準仕様書9.7による) ・図示による</p> <p>・適用しない</p> <p>石材の厚さ (10.6.2) (10.6.3)</p> <p>床 (mm) 階段 (mm)</p> <p>床石張り (10.6.2)</p> <p>浸透性吸水防止剤 ・適用する ・適用しない</p> <p>石裏面処理 ・適用する ・適用しない</p> <p>裏打ち処理 ・適用する ・適用しない</p> <p>階段張り (10.6.3)</p> <p>石裏面処理 ・適用する ・適用しない</p> <p>目地 (10.6.2) (10.6.3)</p> <p>一般目地</p> <p>目地幅</p> <p>屋外 ・ mm (4mm以上)</p> <p>屋内 ・ mm (3~6mm)</p> <p>シーリング材 ・適用する ・適用しない</p> <p>伸縮調整目地 (9.7.3) (10.6.2)</p> <p>位置 ※床面積30㎡程度ごと、細長い通路の場合6m程度ごと及び他部材との取り合い部</p> <p>・図示による</p> <p>シーリング材の目地寸法 (10.6.2)</p> <p>※幅・深さとも10mm以上</p> <p>・図示による</p> <p>・笠木、甲板等の石張り (10.2.2) (10.7.2)</p> <p>取付け工法 (10.2.2) (10.7.2)</p> <p>・湿式工法 ・乾式工法</p> <p>特殊部位用金物 (10.2.2)</p> <p>・図示による</p> <p>上記以外の金物の材質、形状及び寸法 (10.2.2)</p> <p>・図示による</p> <p>石材の厚さ (10.7.2)</p> <p>mm</p> <p>石裏面処理 ・適用する ・適用しない</p> <p>湿式工法の場合 (10.3.3) (10.7.2)</p> <p>目地 (10.3.3) (10.7.2)</p> <p>一般目地</p> <p>目地幅 ・ mm (6~10mm)</p> <p>シーリング材</p> <p>・適用する (※標準仕様書9.7による) ・図示による</p> <p>・適用しない</p> <p>伸縮調整目地 (9.7.3) (10.7.2)</p> <p>位置 ※標準仕様書 表11.1.1による</p> <p>・図示による</p> <p>シーリング材の目地寸法 (9.7.3) (10.7.2)</p> <p>※幅・深さとも10mm以上</p> <p>・図示による</p> <p>乾式工法の場合 (10.5.3) (10.7.2)</p> <p>取付け代 (10.5.3) (10.7.2)</p> <p>※標準仕様書10.5.3(2)による</p> <p>石材の取付け ・図示による</p> <p>石材の表面の補強用モルタル ・適用する ・適用しない (10.5.3) (10.7.2)</p> <p>目地 (10.5.3) (10.7.2)</p> <p>目地幅 ・ mm (8mm以上)</p> <p>シーリング材</p> <p>・適用する (※標準仕様書9.7による) ・図示による</p> <p>・適用しない</p> <p>石材の厚さ ※40mm (10.7.3)</p> <p>・伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地 (11.1.3)</p> <p>位置 ※標準仕様書 表11.1.1による</p> <p>・図示による</p> <p>寸法 ※標準仕様書 9.7.3(1)による (9.7.3) (11.1.3)</p> <p>・見本焼、試験施工 (11.1.4)</p> <p>見本焼き ・行う ・行わない</p> <p>試験張り ・行う ・行わない</p> <p>材料等 (11.2.2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th rowspan="2">種類</th> <th rowspan="2">形状寸法 (mm)</th> <th colspan="2">吸水率による区分</th> <th colspan="2">うわぐすり</th> <th colspan="2">役物</th> <th colspan="2">色</th> <th colspan="2">耐凍害性</th> <th rowspan="2">耐滑り性</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>I 類</th> <th>II 類</th> <th>施 用</th> <th>無 用</th> <th>有 り</th> <th>無 し</th> <th>調 準</th> <th>特 注</th> <th>有 り</th> <th>無 し</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>張付け用材料等 (11.2.3)</p> <p>・現場調合モルタル</p> <p>・既調合モルタル</p> <p>施工 (11.2.6)</p> <p>下地モルタル塗りのコンクリート系地面の下地処理方法</p> <p>・目荒し工法 (標準仕様書15.3.4(4)による)</p> <p>・MOR工法 (標準仕様書6.8による)</p> <p>壁タイル張りの工法 (表11.2.3)</p> <p>内外装タイル ・密着張り ・改良圧着張り</p> <p>内装タイル以外のユニットタイル</p> <p>・マスク張り ・モザイクタイル張り</p> <p>材料等 (11.3.2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th rowspan="2">種類</th> <th rowspan="2">形状寸法 (mm)</th> <th colspan="2">吸水率による区分</th> <th colspan="2">うわぐすり</th> <th colspan="2">役物</th> <th colspan="2">色</th> <th colspan="2">耐凍害性</th> <th rowspan="2">耐滑り性</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>I 類</th> <th>II 類</th> <th>施 用</th> <th>無 用</th> <th>有 り</th> <th>無 し</th> <th>調 準</th> <th>特 注</th> <th>有 り</th> <th>無 し</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>接着剤のホルムアルデヒド放散量 (11.3.3)</p> <p>※F☆☆☆☆</p> <p>外装タイルにおける目地詰め (11.3.3) (11.3.5)</p> <p>・行う ・行わない</p> <p>目地のシーリング材 (11.3.4)</p> <p>打継ぎ目地</p> <p>※ポリウレタン系シーリング材</p> <p>ひび割れ誘発目地</p> <p>※ポリウレタン系シーリング材</p> <p>伸縮調整目地</p> <p>※変成シリコン系シーリング材</p> <p>その他の目地</p> <p>※変成シリコン系シーリング材</p> <p>施工 (11.3.5)</p> <p>下地調整塗材塗りを行うコンクリート系地面の下地処理方法</p> <p>・目荒し工法 (標準仕様書15.3.4(4)による)</p> <p>・MOR工法 (標準仕様書6.8による)</p>	種別	施工箇所	仕上塗料		保護層	種類	使用量	・X-1			※製造所の仕様による		・X-2			※製造所の仕様による		・Y-1	※地下外壁防水				・Y-2	※屋内防水				施工箇所	シーリング材の種類 (記号)	図示による	MS-2	施工箇所	岩石の種類	形状及び寸法	表面仕上げの種類	バフ仕上げの有無	備考			・図示による				施工箇所	種石の種類	種石の大きさ (mm)	形状による区分	仕上げ面による区分	寸法 (mm)	表面仕上げの種類	備考		※大理石 ・花こう岩	※1.5~12	・平もの ・役もの	・片面 ・両面				施工箇所	種石の種類	種石の大きさ (mm)	寸法による区分 (mm)	表面仕上げの種類	備考		※大理石 ・花こう岩	※1.5~12	・300×300 ・400×400			施工箇所	種類	形状寸法 (mm)	吸水率による区分		うわぐすり		役物		色		耐凍害性		耐滑り性	備考	I 類	II 類	施 用	無 用	有 り	無 し	調 準	特 注	有 り	無 し				・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・					・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・					・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・		施工箇所	種類	形状寸法 (mm)	吸水率による区分		うわぐすり		役物		色		耐凍害性		耐滑り性	備考	I 類	II 類	施 用	無 用	有 り	無 し	調 準	特 注	有 り	無 し				・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・					・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・					・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・		<p>工事名 R8年度 長泉第1浄水場倉庫建設工事</p> <p>工事箇所 長泉町 納米里 地内</p> <p>図面の種類 <資材倉庫> 建築工事特記仕様書 (その4)</p> <p>縮尺 - D-5</p> <p>測量年月日 - 設計年月日 令和8年</p> <p>事務所名 長泉町上下水道課</p>
	種別					施工箇所	断熱材	防湿用シート	仕上塗料																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
種類		使用量																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
・AS-T1					※製造所の仕様による																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
・AS-T2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
・AS-T3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
・AS-T4																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
・AS-J1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
・AS1-T1		種類	・設ける																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・AS1-J1		厚さ mm	・設けない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
種別	施工箇所	可変剤移行防止シートの材質	断熱材	歩行の仕様	仕上塗料																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
					種類	使用量																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
・S-F1				※非歩行用 ・軽歩行用		※製造所の仕様による																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
・S-F2				・非歩行用 ・軽歩行用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
・S-M1				※非歩行用 ・軽歩行用		※製造所の仕様による																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
・S-M2				・非歩行用 ・軽歩行用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
・SI-F1			種類			※製造所の仕様による																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
・SI-F2			厚さ mm																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・SI-M1			種類			※製造所の仕様による																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
・SI-M2			厚さ mm																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
種別	施工箇所	保護層																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
		平場のモルタル塗り 塗厚(mm)	工法	立上り部の保護 モルタル塗り厚さ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
・S-C1			・床塗り ・下地モルタル塗り																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
種別	施工箇所	仕上塗料		保護層																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
		種類	使用量																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・X-1			※製造所の仕様による																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・X-2			※製造所の仕様による																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・Y-1	※地下外壁防水																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
・Y-2	※屋内防水																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
施工箇所	シーリング材の種類 (記号)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
図示による	MS-2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
施工箇所	岩石の種類	形状及び寸法	表面仕上げの種類	バフ仕上げの有無	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
		・図示による																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
施工箇所	種石の種類	種石の大きさ (mm)	形状による区分	仕上げ面による区分	寸法 (mm)	表面仕上げの種類	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	※大理石 ・花こう岩	※1.5~12	・平もの ・役もの	・片面 ・両面																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
施工箇所	種石の種類	種石の大きさ (mm)	寸法による区分 (mm)	表面仕上げの種類	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	※大理石 ・花こう岩	※1.5~12	・300×300 ・400×400																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
施工箇所	種類	形状寸法 (mm)	吸水率による区分		うわぐすり		役物		色		耐凍害性		耐滑り性	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
			I 類	II 類	施 用	無 用	有 り	無 し	調 準	特 注	有 り	無 し																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
施工箇所	種類	形状寸法 (mm)	吸水率による区分		うわぐすり		役物		色		耐凍害性		耐滑り性	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
			I 類	II 類	施 用	無 用	有 り	無 し	調 準	特 注	有 り	無 し																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									

12 木 工 事	・表面仕上げ	見え掛り面の仕上げの程度 ※ブレンダー加工仕上げ 施工箇所（・図示による） ・超自動機械かん掛け仕上げ 施工箇所（・図示による） ・サンダー掛け仕上げ 施工箇所（・図示による）	(12.1.4)	・合板等	・JAS 3079Iに基づく直交集成板(C.L.T.) (12.2.1) 施工部位 品名 強度等級(曲げ性能) 種別 接着性能(使用環境) 樹種名 寸法(mm)	・防蟻・防蟻処理	木材への防蟻・防蟻処理 ・工場における薬剤の加圧注入処理による防蟻・防蟻処理 適用部材 ・K2 ・K3 ・K4 ・K2 ・K3 ・K4	・粘土瓦礫	材料 (13.4.2) 施工箇所 製法による区分 形状による区分 寸法による区分 産地 没物瓦の種類 雷止め瓦の使用
	・施工一般	ホルムアルデヒド放散量 ※標準仕様書12.2.1(1)(9)のいずれかによる	(12.2.1)	・JAS 0233Iに基づく普通合板 (12.2.1)(12.3.2) 施工部位 品名 厚さ(mm) 強度等級 接着の程度 板面の品質 防虫処理	・JAS 0233Iに基づく普通合板 (12.2.1)(12.3.2) 施工部位 品名 厚さ(mm) 強度等級 接着の程度 板面の品質 防虫処理	・薬剤の塗布等による防蟻・防蟻処理 適用部材 薬剤の種類 処理の方法 JIS K 1571Iに適合する表面処理用木材保存剤又は同等品 ※薬剤の製造所の仕様による JIS K 1571I付属書Aに基づく表面処理用木材保存剤 ※薬剤の製造所の仕様による(種類:)	材料 JIS A 5208Iに基づく凍害試験 行う 行わない 瓦葺木 材質 ※杉 寸法 ※幅21×高さ15(mm)以上 棟補強用芯材 材質 ※杉 寸法 ※幅40×高さ30(mm)以上		
	・製材	・JAS 1083-5Iに基づく下地用製材 (12.2.1)(表12.2.1) 施工部位 寸法(mm) 等級 含水率 保存処理	(12.2.1)(表12.2.1)	・JAS 1083-5Iに基づく下地用製材 (12.2.1)(表12.2.1) 施工部位 寸法(mm) 等級 含水率 保存処理	・JAS 0233Iに基づく構造用合板 (12.2.1)(12.3.2) 施工部位 品名 厚さ(mm) 等級 単板の樹種名 板面の品質 保存処理 防虫処理 強度等級	・JAS 0233Iに基づく構造用合板 (12.2.1)(12.3.2) 施工部位 品名 厚さ(mm) 等級 単板の樹種名 板面の品質 保存処理 防虫処理 強度等級	・薬剤の接着剤への混入による防蟻・防蟻処理 適用部材: ()	瓦葺結用釘又はねじの種類 径 長さ 棟補強等に使用する金物等 材質 ・ステンレス製 ・溶融亜鉛めっき処理を行った鋼製 形状 寸法 留め付け方法	
	・造作用集成材	・JAS 1083-2Iに基づく造作用製材 (12.2.1)(表12.2.1) 板類で枠、顔縁、敷居、かまち等の見え掛り面 上記以外	(12.2.1)(表12.2.1)	・JAS 1083-2Iに基づく造作用製材 (12.2.1)(表12.2.1) 板類で枠、顔縁、敷居、かまち等の見え掛り面 上記以外	・JAS 0233Iに基づく化粧ばり構造用合板 (12.2.1)(12.3.2) 施工部位 品名 厚さ(mm) 単板の樹種名 防虫処理	・JAS 0233Iに基づく化粧ばり構造用合板 (12.2.1)(12.3.2) 施工部位 品名 厚さ(mm) 単板の樹種名 防虫処理	・合板等の加圧注入処理等による防蟻・防蟻処理 適用部材: ()	工法 建築基準法に基づく風圧力又は地震力に対応した瓦の緊結方法などの工法 ・図示による	
	・造作用集成材	・JAS 1083-6Iに基づく広葉樹製材 (12.2.1)(表12.2.1) 施工部位 寸法(mm) 等級 含水率 保存処理	(12.2.1)(表12.2.1)	・JAS 1083-6Iに基づく広葉樹製材 (12.2.1)(表12.2.1) 施工部位 寸法(mm) 等級 含水率 保存処理	・JAS 0233Iに基づく化粧ばり構造用合板 (12.2.1)(12.3.2) 施工部位 品名 厚さ(mm) 単板の樹種名 防虫処理	・JAS 0233Iに基づく化粧ばり構造用合板 (12.2.1)(12.3.2) 施工部位 品名 厚さ(mm) 単板の樹種名 防虫処理	・不燃処理木材等 (12.3.3) 不燃材料、準不燃材料又は難燃材料 ・不燃材料 (使用箇所:) ・準不燃材料 (使用箇所:) ・難燃材料 (使用箇所:)	瓦葺結用釘又はねじの有効長さの最小値 mm 瓦葺木の留付け工法 図示による 棟の工法 ・7寸丸伏せ棟 ・F型冠瓦伏せ棟 ・し積み棟	
	・造作用集成材	・JAS 1083以外の製材 (12.2.1)(表12.2.1)(表12.2.2)(12.3.2) 施工部位 寸法(mm) 材面の品質 含水率 防虫処理	(12.2.1)(表12.2.1)(表12.2.2)(12.3.2)	・JAS 1083以外の製材 (12.2.1)(表12.2.1)(表12.2.2)(12.3.2) 施工部位 寸法(mm) 材面の品質 含水率 防虫処理	・JAS 0233Iに基づく化粧ばり構造用合板 (12.2.1)(12.3.2) 施工部位 品名 厚さ(mm) 単板の樹種名 防虫処理	・JAS 0233Iに基づく化粧ばり構造用合板 (12.2.1)(12.3.2) 施工部位 品名 厚さ(mm) 単板の樹種名 防虫処理	・内部間仕切軸組及び床組 (12.4.1) 間仕切軸組に用いる木材 ・製材 ※杉又は松 ・ (材質:)	面戸、省口、葺土の露出する瓦接合部の仕上げ ・行う(・モルタル ・瓦葺き用しっくい) ・行わない	
	・造作用集成材	・JAS 1152Iに基づく造作用集成材 (12.2.1) 施工部位 品名 樹種名 寸法(mm) 見付け材面 見付け材面の品質	(12.2.1)	・JAS 1152Iに基づく造作用集成材 (12.2.1) 施工部位 品名 樹種名 寸法(mm) 見付け材面 見付け材面の品質	・JAS 0233Iに基づく化粧ばり構造用合板 (12.2.1)(12.3.2) 施工部位 品名 厚さ(mm) 接着の程度 表面性能 単板の樹種名 化粧加工の方法 防虫処理	・JAS 0233Iに基づく化粧ばり構造用合板 (12.2.1)(12.3.2) 施工部位 品名 厚さ(mm) 接着の程度 表面性能 単板の樹種名 化粧加工の方法 防虫処理	・窓、出入口その他 (12.5.1) 窓、出入口その他に用いる木材 ・製材 吊元枠、水掛りの下枠及び敷居 ※ひのき その他 ・ ※松又は杉 ・ (材質:)	材料 といその他 材質等 ・配管用鋼管 ○硬質ポリ塩化ビニル管 ・硬質ポリ塩化ビニル雨どい ・表面処理鋼板((種類:)) ・ステンレス鋼板	
	・造作用集成材	・JAS 1152Iに基づく化粧ばり造作用集成材 (12.2.1) 施工部位 品名 樹種名 寸法(mm) 化粧薄板の厚さ(mm) 見付け材面 見付け材面の品質	(12.2.1)	・JAS 1152Iに基づく化粧ばり造作用集成材 (12.2.1) 施工部位 品名 樹種名 寸法(mm) 化粧薄板の厚さ(mm) 見付け材面 見付け材面の品質	・JAS 0233Iに基づく化粧ばり構造用合板 (12.2.1)(12.3.2) 施工部位 品名 厚さ(mm) 接着の程度 表面性能 単板の樹種名 化粧加工の方法 防虫処理	・JAS 0233Iに基づく化粧ばり構造用合板 (12.2.1)(12.3.2) 施工部位 品名 厚さ(mm) 接着の程度 表面性能 単板の樹種名 化粧加工の方法 防虫処理	・床板張り (12.6.1) 縁甲板及び上がりがまに用いる木材 ・製材 ※ひのき ・ (材質:)	とい受金物 とい受金物の材質、形状、取付け間隔 ※標準仕様書 表13.5.2による ・多雪地域の場合の軒どいの取付け間隔0.5m以下 足金物の材質、形状、取付け間隔 ※標準仕様書 表13.5.2による	
	・造作用集成材	・JAS 1152I以外の造作用集成材 (12.2.1) 施工部位 樹種名 寸法(mm) 見付け材面の品質 含水率	(12.2.1)	・JAS 1152I以外の造作用集成材 (12.2.1) 施工部位 樹種名 寸法(mm) 見付け材面の品質 含水率	・JAS 0233Iに基づく化粧ばり構造用合板 (12.2.1)(12.3.2) 施工部位 品名 厚さ(mm) 接着の程度 表面性能 単板の樹種名 化粧加工の方法 防虫処理	・JAS 0233Iに基づく化粧ばり構造用合板 (12.2.1)(12.3.2) 施工部位 品名 厚さ(mm) 接着の程度 表面性能 単板の樹種名 化粧加工の方法 防虫処理	・壁及び天井下地 (12.7.1) 壁及び天井下地に用いる木材 ・製材 ※杉又は松 ・ (材質:)	防露材のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆	
	・造作用集成材	・JAS 1152I以外の化粧ばり造作用集成材 (12.2.1) 施工部位 樹種名 寸法(mm) 化粧薄板の厚さ(mm) 見付け材面の品質 含水率	(12.2.1)	・JAS 1152I以外の化粧ばり造作用集成材 (12.2.1) 施工部位 樹種名 寸法(mm) 化粧薄板の厚さ(mm) 見付け材面の品質 含水率	・JAS 0233Iに基づく化粧ばり構造用合板 (12.2.1)(12.3.2) 施工部位 品名 厚さ(mm) 接着の程度 表面性能 単板の樹種名 化粧加工の方法 防虫処理	・JAS 0233Iに基づく化粧ばり構造用合板 (12.2.1)(12.3.2) 施工部位 品名 厚さ(mm) 接着の程度 表面性能 単板の樹種名 化粧加工の方法 防虫処理	・長尺金属板葺 (13.2.2)(12.3.2)(表13.2.1) 材料 (13.2.2)(12.3.2)(表13.2.1) 施工箇所 板及びゴイルの種類 塗膜の種類、塗膜の耐久性の種類 めっき付着量等 厚さ(mm) 屋根葺形式 葺板の寸法・厚さ 留め付け方法	工法 建築基準法に基づく風圧力に対応した工法 ・図示による ・屋根の重ねのけらば納め ・つかみ込み納め ・けらば包み納め 雪止め ・設置する(・図示による)	
・造作用集成材	・JAS 0701Iに基づく造作用単板積層材 (12.2.1)(12.3.2) 施工部位 品名 寸法(mm) 表面の品質(表面の化粧加工) 防虫処理	(12.2.1)(12.3.2)	・JAS 0701Iに基づく造作用単板積層材 (12.2.1)(12.3.2) 施工部位 品名 寸法(mm) 表面の品質(表面の化粧加工) 防虫処理	・JIS A5905Iに基づくミディアムデンシティファイバーボード(MDF) (12.2.1) 施工部位 厚さ(mm) 表表面の状態による区分 曲げ強さによる区分 耐水性による区分 難燃性による区分	・JIS A5905Iに基づくミディアムデンシティファイバーボード(MDF) (12.2.1) 施工部位 厚さ(mm) 表表面の状態による区分 曲げ強さによる区分 耐水性による区分 難燃性による区分	・屋根及びびと工 (13.2.3) 下葺材 ・アスファルトルーフィング940 ・改質アスファルトルーフィング下葺材 (・一般タイプ ・粘着層付タイプ)	工法 建築基準法に基づく風圧力に対応した工法を施工計画書として提出する		
・造作用集成材	・JAS 0701I以外の造作用単板積層材 (12.2.1)(12.3.2) 施工部位 寸法(mm) 表面の品質(表面の化粧加工) 含水率 防虫処理	(12.2.1)(12.3.2)	・JAS 0701I以外の造作用単板積層材 (12.2.1)(12.3.2) 施工部位 寸法(mm) 表面の品質(表面の化粧加工) 含水率 防虫処理	・JIS A5905Iに基づくミディアムデンシティファイバーボード(MDF) (12.2.1) 施工部位 厚さ(mm) 表表面の状態による区分 曲げ強さによる区分 耐水性による区分 難燃性による区分	・JIS A5905Iに基づくミディアムデンシティファイバーボード(MDF) (12.2.1) 施工部位 厚さ(mm) 表表面の状態による区分 曲げ強さによる区分 耐水性による区分 難燃性による区分	○折板葺 (13.3.2)(表13.2.1) 材料 (13.3.2)(表13.2.1) 施工箇所 形式 山高・山ピッチによる区分 耐水性による区分 材料による区分 厚さ(mm) 軒先面戸板	・鉄鋼の垂鉛めっき (14.2.2)(表14.2.2) 鉄鋼の垂鉛めっき 表面処理方法 種類 施工箇所(手すり、タラップ以外)		
・造作用集成材	・JAS 0701Iに基づく造作用単板積層材 (12.2.1)(12.3.2) 施工部位 品名 寸法(mm) 表面の品質(表面の化粧加工) 防虫処理	(12.2.1)(12.3.2)	・JAS 0701Iに基づく造作用単板積層材 (12.2.1)(12.3.2) 施工部位 品名 寸法(mm) 表面の品質(表面の化粧加工) 防虫処理	・JIS A5905Iに基づくミディアムデンシティファイバーボード(MDF) (12.2.1) 施工部位 厚さ(mm) 表表面の状態による区分 曲げ強さによる区分 耐水性による区分 難燃性による区分	・JIS A5905Iに基づくミディアムデンシティファイバーボード(MDF) (12.2.1) 施工部位 厚さ(mm) 表表面の状態による区分 曲げ強さによる区分 耐水性による区分 難燃性による区分	・折板葺 (13.3.3) 工法 建築基準法に基づく風圧力に対応した工法を施工計画書として提出する	・鉄鋼の垂鉛めっき (14.2.2)(表14.2.2) 鉄鋼の垂鉛めっき 表面処理方法 種類 施工箇所(手すり、タラップ以外)		
・造作用集成材	・JAS 0701I以外の造作用単板積層材 (12.2.1)(12.3.2) 施工部位 寸法(mm) 表面の品質(表面の化粧加工) 含水率 防虫処理	(12.2.1)(12.3.2)	・JAS 0701I以外の造作用単板積層材 (12.2.1)(12.3.2) 施工部位 寸法(mm) 表面の品質(表面の化粧加工) 含水率 防虫処理	・JIS A5905Iに基づくミディアムデンシティファイバーボード(MDF) (12.2.1) 施工部位 厚さ(mm) 表表面の状態による区分 曲げ強さによる区分 耐水性による区分 難燃性による区分	・JIS A5905Iに基づくミディアムデンシティファイバーボード(MDF) (12.2.1) 施工部位 厚さ(mm) 表表面の状態による区分 曲げ強さによる区分 耐水性による区分 難燃性による区分	・折板葺 (13.3.3) 工法 建築基準法に基づく風圧力に対応した工法を施工計画書として提出する	・鉄鋼の垂鉛めっき (14.2.2)(表14.2.2) 鉄鋼の垂鉛めっき 表面処理方法 種類 施工箇所(手すり、タラップ以外)		

工事名	R8年度 長泉第1浄水場倉庫建設工事
工事箇所	長泉町 納米里 地内
図面の種類	<資材倉庫> 建築工事特記仕様書(その5)
縮尺	- D-6
測量年月日	- 設計年月日 令和8年
事務所名	長泉町上下水道課

14 金属工事	○軽量鉄骨天井下地	材料 野縁等の種類 屋外 ※25形 ・19形 屋内 ※19形 ・25形 形状及び寸法 ・屋外の場合 野縁受、つりボルト、インサートの間隔及び周辺部端からの距離 ・図示による 野縁の間隔 ・図示による 工法 ・つりボルトの間隔が900mmを超える場合の補強方法 ・図示による ・天井のふところ高が3.0mを超える場合の補強方法 ・図示による ・天井下地材における耐震性を考慮した補強 補強箇所、補強方法 ・図示による ・屋外の軒、ピロティ等の天井における耐風圧性を考慮した補強 補強箇所、補強方法 ・図示による	(14.4.2)(表14.4.1)	・モルタル塗り	モルタル ・現場調合材料 ・既調合材料 (15.3.2) 規制目地材 (15.3.2) ・設ける 施工箇所 () 形状 (・図示による) ・設けない 床の目地 (15.3.5) ・設ける 目地割 ※2㎡程度 (最大目地間隔3m程度) 種類 ※押し目地 ・設けない 外装タイル張り下地等の下地モルタル塗り及び下地調整塗材塗りの接着力試験 ・行う ・行わない (15.3.5) 建物内部に使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ (15.6.2) 材料 ・薄付け仕上塗材 (表15.6.1)(その1)	○仕上塗材仕上げ	呼び名 仕上げの形状 工法 吸放湿性 防火材料 ・外装薄塗材Si ・砂壁状 ・吹付け ・適用する ・ゆず肌状 ・ローラー ・適用しない ・さざ波状 塗り ・可とう形外装薄塗材Si ・砂壁状 ・吹付け ・適用する ・ゆず肌状 ・ローラー ・適用しない ・さざ波状 塗り ・外装薄塗材E ・砂壁状 ・吹付け ・適用する ・ゆず肌状 ・こて塗り ・適用しない ・平たん状 ・ローラー 塗り ・凹凸状 ・さざ波状 ・着色骨材砂壁状 ・可とう形外装薄塗材E ・砂壁状 ・吹付け ・適用する ・ゆず肌状 ・こて塗り ・適用しない ・平たん状 ・ローラー 塗り ・凹凸状 ・さざ波状 ・防水形外装薄塗材E ・ゆず肌状 ・吹付け ・適用する ・さざ波状 ・ローラー 塗り ・凹凸状 ・外装薄塗材S ・砂壁状 ・吹付け ・適用する ・適用しない ・内装薄塗材C ・凹凸状 ・吹付け ・適用する ・内装薄塗材L ・平たん状 ・こて塗り ・適用しない ・ゆず肌状 ・ローラー 塗り ・さざ波状 ・内装薄塗材Si ・砂壁状じゅらく ・吹付け ・適用する ・内装薄塗材E ・ゆず肌状 ・こて塗り ・適用しない ・平たん状 ・ローラー 塗り ・凹凸状 ・さざ波状 ・内装薄塗材W ・京壁状じゅらく ・吹付け ・適用する ・ゆず肌状 ・こて塗り ・適用しない ・平たん状 ・凹凸状	○複層仕上塗材 ・軽量骨材仕上塗材 (表15.6.1)(その3) 呼び名 仕上げの形状 工法 吸放湿性 防火材料 ・複層塗材OE ・凸部処理 ・吹付け ・耐侯形3種 ・防火材料 ・複層塗材RE ・凹凸状 ・ローラー 塗り ・適用しない ・複層塗材SE ・かき落とし ・ゆず肌状 ・複層塗材E ・可とう形複層塗材OE ・凸部処理 ・吹付け ・耐侯形3種 ・適用する ・凹凸状 ・ローラー 塗り ・適用しない ・ゆず肌状 ・防水形複層塗材OE ・凸部処理 ・吹付け ・耐侯形3種 ・適用する ・防水形複層塗材RE ・凹凸状 ・ローラー 塗り ・適用しない ・防水形複層塗材E ・ゆず肌状 塗り ・吹付け用軽量塗材 ・砂壁状 ・吹付け ・適用する ・こて塗り用軽量塗材 ・平たん状 ・こて塗り ・適用する ・適用しない 複合仕上塗材の上塗材 (15.6.2)(表15.6.2) 樹脂 ・アクリル系 ・シリカ系 ○ポリウレタン系 ・アクリルシリコン系 ・ふっ素系 外観 ○つや有り ・つや無し ・メタリック 溶媒 ・溶剤系 ・弱溶剤系 ○水系 下地の種類 (15.10.1) ・標準仕様書15.10.11による場合以外の下地への適用 材料 (15.10.2) ・既調合しつくい 色しつくい ・適用する ・適用しない ・現場調合しつくい 調合及び塗厚 (15.10.3)(表15.10.1~表15.10.4) 既調合しつくい ※標準仕様書15.10.3(1)による 現場調合しつくい ※標準仕様書15.10.3(2)による 既調合しつくいの上塗り仕上げ工法 (15.10.4)(表15.10.5) ・押し仕上げ ・なで切り仕上げ ・パターン仕上げ 材料 (15.11.2) 土壁用ののりの種類 ※つまた ・ふのり ・ぎんなんそう ・粉末海苔 砂壁用ののりの種類 ※ふのり ・つまた ・こんにゃくのり ・にかわ ・合成高分子系混和剤 色土の種類 ・土物仕上げ () ・大津仕上げ () 色砂の種類 ・天然砂と岩石の砕砂 ・人工的に着色・製造したもの 調合 下塗りの調合 (15.11.3) ※標準仕様書 表15.11.2による 塗厚 ※標準仕様書 表15.11.8による 建築基準法に基づく耐力壁の指定がある場合 ・図示による 工程 こまい壁 ※A種 ・B種 (15.11.5)(表15.11.9) 土物仕上げの工法 (15.11.7) ・土物仕上げ工法 ・水こね土物1工法 ・水こね土物2工法 ・のりさし土物工法 ・のりごね土物工法 ・砂壁仕上げ工法 ・切返し仕上げ工法 ちりじゃくり ・図示による 大津仕上げの工法 (15.11.8) ・普通大津仕上げ工法 ・大津みがき仕上げ工法 ちりじゃくり ・図示による ロックウールのホルムアルデヒド放散量 (15.12.2) ※F☆☆☆☆ 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 仕上げ吹付け厚さ (mm) (15.12.3) ・図示による	○網戸等 ・樹脂製建具 ○鋼製建具 ・鋼製軽量建具 ・ステンレス製建具	ステンレス鋼板の種類 (16.2.3)(16.6.3) ※SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1 ステンレス製くつずりの仕上げ (16.2.4)(16.4.4) ※HL 結露水の処理方法 ・図示による (16.2.4) 水切り板、ぜん板 ・図示による (16.2.5) 木下地の内付け建具 (16.2.5) ・適用する (建具の製造所の仕様) ・適用しない 防虫網の材料 (16.2.3) 種類 材質 線径 網目 ○防虫網 ※合成樹脂製 ※0.25mm以上 ※16~18 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ステンレス(SUS 316)製 ・メッシュ 性能値等 (建具符号、枠の見込み寸法は建具表による) (16.3.2) 耐風圧性等級、気密性等級、水密性等級 ※外部に面する建具の種類は標準仕様書 表16.3.1、表16.3.2による ・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・E種 ・防音ドア、防音サッシ 遮音性の等級 (・T-1 ・T-2) ・断熱ドア、断熱サッシ ※外部に面する建具の断熱性の等級は標準仕様書 表16.3.3による ・H-4 ・H-5 ・H-6 ・H-7 ・H-8 外部に面する建具 日射熱取得性の等級 () ガラス ※複層ガラス (16.3.3) ステンレス製くつずりの仕上げ (16.3.4)(16.2.4) ※HL 表面色 ・標準色 ・特注色 (16.3.4) 水切り板、ぜん板 (16.3.5)(16.2.5) ・図示による 木下地の内付け建具 (16.3.5)(16.2.5) ・適用する (建具の製造所の仕様) ・適用しない 性能値等 (建具符号は建具表による) (16.4.2) ・外部に面する建具の耐風圧性 (表16.2.1) ・S-4 ・S-5 ・S-6 ・簡易気密型ドアセット ・耐震ドア 面内変形追随性の等級 () ・防音ドア、防音サッシ 遮音性の等級 () ・断熱ドア、断熱サッシ 断熱性の等級 () ステンレス鋼板の種類 (16.4.3)(16.6.3) ※SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1 点検口の類のくつずりの材料 (16.4.3) 鋼板類の厚さ (mm) (16.4.4) ※標準仕様書 表16.4.2による ステンレス製くつずりの仕上げ ※HL (16.4.4) 標準型鋼製建具の有効内法寸法 (16.4.6)(表16.4.5) ・建具表による 性能値等 (建具符号は建具表による) (16.5.2) ・簡易気密型ドアセット ・耐震ドア 面内変形追随性の等級 () ・防音ドア、防音サッシ 遮音性の等級 () ・断熱ドア、断熱サッシ 断熱性の等級 () 鋼板の種類 (16.5.3) ・垂れめつき鋼板 ・ビニル被覆鋼板 ・カラー鋼板 ・ステンレス鋼板 ステンレス鋼板の種類 (16.5.3)(16.6.3) ※SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1 召合せ、縦小口包み板の材質 ※鋼板 (16.5.3) 戸の心材 (16.5.3) 防音性能を求める場合の充填材 ・グラスウール ・ロックウール (16.5.4) 鋼板の厚さ (mm) ※標準仕様書 表16.5.1による ・図示による ステンレス製くつずりの仕上げ (16.5.4)(16.2.4) ※HL 標準型鋼製軽量建具の有効内法寸法 (16.5.6)(表16.4.5) ・建具表による 性能値等 (建具符号は建具表による) (16.6.2) ・簡易気密型ドアセット ・外部に面する建具の耐風圧性 (表16.2.1) ・S-4 ・S-5 ・S-6 ・耐震ドア 面内変形追随性の等級 () ・防音ドア、防音サッシ 遮音性の等級 () ・断熱ドア、断熱サッシ 断熱性の等級 () ステンレス鋼板の種類 (16.6.3) ※SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1 表面仕上げ ※HL (16.6.4) ステンレス製くつずりの仕上げ (16.6.4)(16.2.4) ※HL ステンレス鋼板の曲げ加工 (16.6.5) ※普通通げ ・角出し曲げ
	○軽量鉄骨壁下地	スタッド、ランナ等の種類 (14.5.3) ※標準仕様書 表14.5.1によるスタッドの高さによる区分に応じた種類 ・図示による スタッドの高さが5.0mを超える場合 ・図示による 出入口及びこれに準ずる開口部の補強 (14.5.4) ※標準仕様書14.5.4(5)による ・図示による ・金属成形板張り (14.6.2) 種別 ・図示による 表面処理 ・図示による 取付け用下地 (14.6.3) ※標準仕様書14.4による ・図示による 伸縮調整継手 (14.6.3) ・設ける (施工箇所 ・図示による) ・設けない ・アルミニウム製笠木 (14.7.2)(表14.7.1) 部材の種類 ・250形 ・300形 ・350形 表面処理 種類 () 種 (14.7.2)(表14.2.1) 笠木の固定金具の工法等 (14.7.3) 建築基準法に基づく風圧力に対応した工法 ・図示による	呼び名 仕上げの形状 工法 吸放湿性 防火材料 ・外装薄塗材Si ・砂壁状 ・吹付け ・適用する ・ゆず肌状 ・ローラー ・適用しない ・さざ波状 塗り ・可とう形外装薄塗材Si ・砂壁状 ・吹付け ・適用する ・ゆず肌状 ・ローラー 塗り ・凹凸状 ・外装薄塗材E ・砂壁状 ・吹付け ・適用する ・ゆず肌状 ・こて塗り ・適用しない ・平たん状 ・ローラー 塗り ・凹凸状 ・さざ波状 ・着色骨材砂壁状 ・可とう形外装薄塗材E ・砂壁状 ・吹付け ・適用する ・ゆず肌状 ・こて塗り ・適用しない ・平たん状 ・ローラー 塗り ・凹凸状 ・さざ波状 ・防水形外装薄塗材E ・ゆず肌状 ・吹付け ・適用する ・さざ波状 ・ローラー 塗り ・凹凸状 ・外装薄塗材S ・砂壁状 ・吹付け ・適用する ・適用しない ・内装薄塗材C ・凹凸状 ・吹付け ・適用する ・内装薄塗材L ・平たん状 ・こて塗り ・適用しない ・ゆず肌状 ・ローラー 塗り ・さざ波状 ・内装薄塗材Si ・砂壁状じゅらく ・吹付け ・適用する ・内装薄塗材E ・ゆず肌状 ・こて塗り ・適用しない ・平たん状 ・ローラー 塗り ・凹凸状 ・さざ波状 ・内装薄塗材W ・京壁状じゅらく ・吹付け ・適用する ・ゆず肌状 ・こて塗り ・適用しない ・平たん状 ・凹凸状	・こまい壁塗り	・ロックウール吹付け	・防火戸 ・見本の制作等 ・防犯建物部品 ○アルミニウム製建具	・防火戸 (16.1.3) ・建具表による 防火戸の自動閉鎖機構及び防火戸について、運動させる装置等 ・建具表による ・見本の制作等 (16.1.4) 建具見本の製作 ・行う (建具符号:) ・行わない 特殊な建具の取組 ・行う (建具符号:) ・行わない ・防犯建物部品 (16.1.6) ・適用する (適用箇所: ・建具表による) ・適用しない ○アルミニウム製建具 (16.2.2) 性能値等 (建具符号、枠の見込み寸法は建具表による) (16.2.2) 耐風圧性等級、気密性等級、水密性等級 ※外部に面する建具の種類は標準仕様書 表16.2.1、表16.2.2による ・A種 ○B種 ・C種 ・D種 ・E種 ・建具表による ・図示による ・防音ドア、防音サッシ 遮音性の等級 () ・断熱ドア、断熱サッシ 断熱性の等級 () 表面処理 (16.2.4) 外部に面する建具 (表14.2.1) 種別 ○BB-1種 ・BB-2種 着色 ○標準色 ・特注色 屋内の建具 (表14.2.1) 種別 ・BC-1種 ・BC-2種 着色 ・標準色 ・特注色	・ラス系下地 (15.2.4) 下地の種類 (15.2.4) ・通気構法 (・二層下地 ・単層下地) ・直張り工法 (・ラスモルタル下地 ・ラスシートモルタル下地) 外張断熱工法で断熱材の外側に野縁を施工する形式の通気構法を行う場合 ・図示による 材料 (15.2.4) ラス材及び補強用ラス 材料記号 (※K) 種類及び単位面積当たりの質量 ・二層下地通気構法 ・波形ラス(W700) ・こぶラス(K800) ・カ骨付きラス(BP700) ・単層下地通気構法 ※リプラスC(RC800)に裏打ち材と一体化したラス ラスシートの山高、山ピッチ、質量及び溶接ピッチによる区分 耐力壁以外 ・LS1 ・LS2 ・LS3 ・LS4 耐力壁 ※LS4 ステーブルの形状及び寸法 リプラス ※L92STS以上(リプラスC(RC800)の場合) 波形ラス ※L1019JS以上(波形ラス(W700)の場合) 施工 (15.2.4) 二層下地通気構法 換気口部の措置 ※講ずる ・講じない 直張り工法 (ラスシートモルタル下地の場合) 建築基準法に基づく耐力壁として使用する場合のラスシートの施工 ・図示による ・せっこうボード その他のボード下地 (15.2.5) 材料 せっこうボード、せっこうラスボード及び木質系セメント板の種類及び厚さ せっこうボード 種類 () 厚さ (mm) せっこうラスボード 種類 () 厚さ (mm) 木質系セメント板 種類 () 厚さ (mm) ・こまい下地 (15.2.6) 建築基準法に基づく耐力壁の指定 ・無し ・有り () ・木ずり下地 (15.2.7) 材料 木ずり用小幅板の材種 ※杉 (心去り材)	・ラス系下地 (15.2.4) 下地の種類 (15.2.4) ・通気構法 (・二層下地 ・単層下地) ・直張り工法 (・ラスモルタル下地 ・ラスシートモルタル下地) 外張断熱工法で断熱材の外側に野縁を施工する形式の通気構法を行う場合 ・図示による 材料 (15.2.4) ラス材及び補強用ラス 材料記号 (※K) 種類及び単位面積当たりの質量 ・二層下地通気構法 ・波形ラス(W700) ・こぶラス(K800) ・カ骨付きラス(BP700) ・単層下地通気構法 ※リプラスC(RC800)に裏打ち材と一体化したラス ラスシートの山高、山ピッチ、質量及び溶接ピッチによる区分 耐力壁以外 ・LS1 ・LS2 ・LS3 ・LS4 耐力壁 ※LS4 ステーブルの形状及び寸法 リプラス ※L92STS以上(リプラスC(RC800)の場合) 波形ラス ※L1019JS以上(波形ラス(W700)の場合) 施工 (15.2.4) 二層下地通気構法 換気口部の措置 ※講ずる ・講じない 直張り工法 (ラスシートモルタル下地の場合) 建築基準法に基づく耐力壁として使用する場合のラスシートの施工 ・図示による ・せっこうボード その他のボード下地 (15.2.5) 材料 せっこうボード、せっこうラスボード及び木質系セメント板の種類及び厚さ せっこうボード 種類 () 厚さ (mm) せっこうラスボード 種類 () 厚さ (mm) 木質系セメント板 種類 () 厚さ (mm) ・こまい下地 (15.2.6) 建築基準法に基づく耐力壁の指定 ・無し ・有り () ・木ずり下地 (15.2.7) 材料 木ずり用小幅板の材種 ※杉 (心去り材)	

工事名	R8年度 長泉第1浄水場倉庫建設工事
工事箇所	長泉町 納米里 地内
図面の種類	<資材倉庫> 建築工事特記仕様書 (その6)
縮尺	- D-7
測量年月日	- 設計年月日 令和8年
事務所名	長泉町上下水道課

18 塗装工事

○錆止め塗料塗り

種類	(18.3.2)(18.3.3)(表18.3.1~表18.3.4)	
	錆止め塗料の種類	工程の種類
鉄鋼面	下地面等	SOP Aa種 標準仕様書 表18.3.4
		DP 1回目 Cs種 標準仕様書 表18.3.4 2、3回目 Ds種 表18.3.4
	見え隠れ部分	EP-G ※Bb種・As種 ※A種・B種
		SOP Aa種 ※B種・A種 DP 1回目 Cs種 標準仕様書 表18.3.4 2、3回目 Ds種 表18.3.4 EP-G ※Bb種・As種 ※B種・A種
垂鉛めっき鋼面	鋼製建具等	SOP ※Aa種・Bz種 ※A種・B種 DP Bz種 標準仕様書 表18.3.6
		EP-G Cz種 ※A種・B種
	鋼製建具以外	SOP ※Bz種・Aa種 ※B種・A種 DP Bz種 標準仕様書 表18.3.6 EP-G Cz種 ※B種・A種

鉄鋼面で錆止めの塗装のままの場合の種類
見え隠れ部分 ※A種
見え隠れ部分 ※B種

○塗装

種類	塗装	種類
○合成樹脂顔合ベント塗り(SOP)	木部屋外 ※A種・B種 木部屋内 ※B種・A種 鉄鋼面 ※B種・A種 垂鉛めっき鋼面 標準仕様書 表18.4.3	○クリヤラッカー塗り(CL) ※B種・A種 ○アクリル樹脂系非水分散型塗料塗り(NAD) ※B種・A種
○耐候性塗料塗り(DP)	鉄鋼面 標準仕様書 表18.7.1 垂鉛めっき鋼面 標準仕様書 表18.7.2	
○つや有合成樹脂エマルジョンベント塗り(EP-G)	コンクリート面及び押出成形セメント板面	○コンクリート面、モルタル面等
	木部	
	屋内の鉄鋼面	標準仕様書 表18.8.4
	垂鉛めっき鋼面	標準仕様書 表18.8.4
○合成樹脂エマルジョンベント塗り(EP)	鉄鋼面 ※B種・A種	○ウレタン樹脂ワニス塗り(UO) ※B種・A種 ○ビグメントステイン塗り - ○木材保護塗料塗り(WP) 屋内 ※B種・A種

塗料の種類等 (表18.5.1)
クリヤラッカー塗り(CL)
種類がA種の場合における、標準仕様書 表18.5.1の工程2
塗料の種類 ()
耐候性塗料塗り(DP) (表18.7.2)
上塗り塗料の等級 鉄鋼面 () 級
垂鉛めっき鋼面 (A) 級
ウレタン樹脂ワニス塗り(UO) (表18.10.2)
標準仕様書 表18.10.1の工程1の着色 ・適用する

・ゴム床タイル (19.2.2)

・カーペット敷き (19.3.2)(表19.3.1)

・合皮樹脂塗床 (19.4.2)

・フローリング張り (19.5.2)

・畳敷き (19.6.2)(表19.6.1)

種類 ・単層品 ・積層品
色柄 ()
寸法 (mm)
厚さ ・3.0mm ・4.5mm ・6.0mm ・9.0mm

・縦じゅうたん (19.3.2)(表19.3.1)

種類	織り方	パイル形状	帯電性	備考
・ウィルトンカーペット	・カットパイル	・カットパイル	・適用する	
・ダブルフェースカーペット	・ループパイル	・ループパイル	・適用しない	
・アキスミンスターカーペット	・カット・ループ併用			

色柄、パイル糸の種類等
※色柄は模様のない無地のもの
種類 ・A種 ・B種 ・C種 (表19.3.1)

下敷き材
※JIS L 3204(反毛フェルト)の第2種1号 呼び厚さ8mm

見切り、押え金物
・適用する(材質、形状等 ・図示による)
・適用しない

縦じゅうたんの接合方法 (19.3.3)
※ヒートボンド工法
・タフテッドカーペット (19.3.2)(19.3.3)(表19.3.2)

パイルの形状	パイル長(mm)	工法	帯電性	備考
・カットパイル	-	・グリッパー工法	・適用する	
・ループパイル	-	・全面接着工法	・適用しない	
・カット・ループ併用	-	-	-	

下敷き材(グリッパー工法の場合)
※JIS L 3204(反毛フェルト)の第2種1号 呼び厚さ8mm

見切り、押え金物
・適用する(材質、形状等 ・図示による)
・適用しない

・タイルカーペット (19.3.2)(19.3.3)

種類	パイル形状	寸法(mm)	総厚さ(mm)	施工箇所	備考
※第一種	※ループパイル	※500×500	※6.5		
※第二種					
・第一種	・カットパイル	※500×500	※6.5		
・第二種					
・第一種	・カット、ループ併用	※500×500	※6.5		
・第二種					

見切り、押え金物
・適用する(材質、形状等 ・図示による)
・適用しない

タイルカーペットの敷き方
平場 ※市松敷き ・模様流し
階段部分 ※模様流し ・市松敷き

合成樹脂塗床材のホルムアルデヒド放散量 (19.4.2)
※F☆☆☆☆

種類	種類	工法	仕上げの種類	施工箇所
・厚膜型塗床材 (弾性ウレタン樹脂系塗床材)			※平滑仕上げ ・防汚仕上げ ・つや消し仕上げ	
・厚膜型塗床材 (エポキシ樹脂塗床材)		・薄膜流しのべ工法 ・厚膜流しのべ工法 ・樹脂モルタル工法	・平滑仕上げ ・防汚仕上げ	
・薄膜型塗床材 (エポキシ樹脂塗床材)			※平滑仕上げ	

フローリングのホルムアルデヒド放散量 (19.5.2)
※標準仕様書19.5.2(2)による

種類	工法	樹種	厚さ、幅及び長さ
・フローリングボード1等	・釘留め工法 (根太張り)	・	※標準仕様書 表19.5.11による
・フローリングボード2等	・釘留め工法 (直張り)	・	※標準仕様書 表19.5.3による
	・接着工法	・	※標準仕様書 表19.5.5による
・フローリングブロック1等	・接着工法	・	

複合フローリング (19.5.2~19.5.5)

種類	工法	樹種	厚さ、幅及び長さ
・複合フローリング (天然木化粧)	・釘留め工法 (根太張り)	・	標準仕様書 表19.5.2による ・A種 ・B種 ・C種
	・釘留め工法 (直張り)	・	標準仕様書 表19.5.4による ・A種 ・B種 ・C種
	・接着工法	・	標準仕様書 表19.5.6による ・A種 ・B種 ・C種

接着工法の場合の不陸緩衝材 (19.5.5)
※合成樹脂発泡シート

種類 (19.6.2)(表19.6.1)

種類	仕様
・A種 (畳表：・JS ・J1)	
・B種	
・C種 (畳床：・PS-C20 ・PS-C25 ・PS-C30)	
・D種 (畳床：・KT-I ・KT-II ・KT-III ・KT-K ・KT-N)	

・衝撃緩和型畳
畳表(JIS A 5902) ・C1 ・C2

○せっこうボード、その他ボード及び合板張り

○壁紙張り

材料 (19.7.2)(表19.7.1)

規格名称	種類	厚さ(mm)等					
木質系セメント板	・硬質木毛セメント板	・15 ・20 ・25					
	・中質木毛セメント板	・15 ・20 ・25					
	・普通木毛セメント板	・15 ・20 ・25					
	・硬質木片セメント板	・12 ・15 ・18 ・21					
	・普通木片セメント板	・30					
繊維強化セメント板 火山性ガラス質複層板(VSボード)	・けい酸カルシウム板	タイプ2(無糸線) ・6 ・8					
	・火山性ガラス質複層板	・図示による					
繊維板	・ミディアムデンシティファイバーボード(MDF)	・3 ・7 ・9 ・12					
	・ハードボード(素地)	・無研磨板 (・スタンダード・テンパード) ・研磨板 (・スタンダード・テンパード) ・2.5 ・3.5 ・5 ・7					
	・ハードボード(化粧)	・内装用 ・外装用 ・2.5 ・3.5 ・5 ・7					
	・インシュレーションボード	A級 (・天井仕上 ・内装仕上) ・9 ・12 ・15 ・18					
パーティクルボード	・単板張りパーティクルボード	・無研磨板 ・研磨板 ・10 ・12 ・15 ・18					
	・化粧パーティクルボード	・単板オーバーレイ ・プラスチックオーバーレイ ・塗装 ・10 ・12					
吸音材料	・ロックウール化粧吸音板	・フラットタイプ (・9(不燃)・12(不燃) ・凹凸タイプ (・9(不燃)・12(不燃))					
	・ロックウール吸音ボード1号	・25					
	・グラスウール吸音ボード32K	・25(ガラスクロス包)					
せっこうボード製品	○せっこうボード	○12.5(不燃)・15(不燃) ・					
	・不燃積層せっこうボード	・化粧無(下地張り用) ・化粧有(「ほろ」柄模様) ・9.5(不燃) ・					
	○シージングせっこうボード	・12.5(不燃) ・					
	・強化せっこうボード	・12.5(不燃) ・15(不燃)					
	・せっこうラスボード	・9.5					
	・化粧せっこうボード(木目)	模様(・柱目 ・板目) 専用下地材有り ・12.5(不燃) 幅440mm程度					
	・化粧せっこうボード(トラバーチン模様)	・9.5(準不燃)					
	パーティクルボード及びMDFのホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆	・					
ボード表面への化粧張仕上げの有無 ・有り(種類：)							
天井のボードの重ね張りの張り付け方法 (ロックウール吸音板を除く) ()							
せっこうボードの目地工法 (19.7.3)							
種類	規格	防虫処理					
・普通合板	品名 () 厚さ(※5.5mm) 板面の品質 広葉樹(※2等以上) 針葉樹(※C-D以上) 単板の樹種名 ()	・行う ・行わない					
	・天然木化粧合板	厚さ (mm) 化粧板の単板の樹種名 ()	・行う ・行わない				
・特殊加工化粧合板	品目 () 厚さ (mm) 接着の程度 () 単板の樹種名 () 化粧加工の方法 ・オーバーレイ ・プリント ・塗装	・行う ・行わない					
施工箇所	壁紙の種類					防火性能	備考
	紙	繊維	プラスチック	無機質	塩化ビニル		
・	・	・	・	・	・	・不燃 ・準不燃 ・難燃	

○断熱材 (19.9.3)

種類	種類(記号)	厚さ(mm)	施工箇所	
			・	・
・ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材 ・押出法ポリスチレンフォーム断熱材 (スキム層無し) ・硬質ウレタンフォーム断熱材 ・フェノールフォーム断熱材				
フェノールフォームを使用した断熱材及び開口部等補修のための張付け用接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆				
○断熱材現場発泡工法 (19.9.4) 断熱材の種類 ・A種I ○A種IH 吹付け厚さ ・25mm 施工箇所 ○図示による				
20 ユニット及びその他の工事 (20.2.2)				
・フリーアクセスフロア 材料等 (20.2.3) 構造形式の種類 構造形式の種類 ・スタッド式(内蔵) ・スタッド式(露出) ・スタッドパネル式 ・パネル式				
帯電防止性能 ・U値(クラス1) ・U値(クラス2) 漏えい抵抗 R _e ≥1.0×10 ¹⁰ Ω 耐荷重性能、耐衝撃性能、ローリングロード性能、耐燃焼性能の試験方法 ※標準仕様書20.2.2(2)(4)による 寸法精度 ※標準仕様書20.2.2(2)(4)による				
材料及び性能等 (20.2.4) 操作手法による種類 ・手動式 ・電動式 ・部分電動式				
ハンガーレールの取付け下地 ※標準仕様書20.2.4(3)(7)による ・図示による ハンガーレール ※標準仕様書20.2.4(3)(8)による ・図示による ランナー ※標準仕様書20.2.4(4)による ・図示による パネルをランナーに取り付ける部品 ※標準仕様書20.2.4(9)による ・図示による あと施工アンカー ・使用する ・使用しない				
材料等 (20.2.5) パネル表面材の材質 ○メラミン樹脂系化粧板 ・ポリエステル樹脂系化粧板				
パネル材料のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆				
材料の種類 ○ 鋼材 (20.2.6) 仕上げ ○ SOP塗装				
材料等 (20.2.7) 材種 ・ステンレス製(SUS304) ・ひも型 ・黄銅製押出型材 ・タイヤ型 ・アルミニウム製押出型材				
・黒板及びホワイトボード (20.2.9) ・黒板 区分 ※焼付け 種類 ・鋼製黒板 ・ほうろう黒板 (20.2.9) ・ホワイトボード				
取付箇所 (洗面化粧台) (20.2.10) 寸法 ○図示による 厚さ ※5mm				
工事名 R8年度 長泉第1浄水場倉庫建設工事				
工事箇所 長泉町 納米里 地内				
図面の種類 <資材倉庫> 建築工事特記仕様書(その8)				
縮尺 - D-9				
測量年月日 - 設計年月日 令和8年				
事務所名 長泉町上下水道課				

20 ユニフォーム その他工事	・表示	<p>・衝突防止表示 形状、寸法（・30φ） 材質（・ステンレス製） ・非常用出入口等の表示等 ※消防法に適合する市販品</p> <p>室名札、ピクトグラフ、案内板等の形状、寸法、材質、色、書体、印刷等の種別、取付け形式 ・図示による</p> <p>・タラップ 材料の種類 ※ステンレス製 仕上げ ※研磨等の仕上げを行わない</p> <p>・煙突ライニング 煙突用成形ライニング材 適用安全使用温度 °C 工法（）</p> <p>・ブラインド 材料等 ・横形ブラインド 種類 ※ギア式 ・コード式 ・操作棒式 幅、高さ ・図示による スラットの幅 ※25mm 材質 スラット ※アルミニウム合金製 ヘッドボックス ※鋼製 ボトムレール ※鋼製 ・縦形ブラインド 幅、高さ ・図示による 開閉方式 ・片開き ・両開き 操作方法 ※2本操作コード方式 ・1本操作コード方式 スラットの材質 ・焼付け塗装仕上げのアルミスラット ・消防法で定める防災性能の表示がある特殊樹脂加工クロスラット スラットの幅 mm</p> <p>・ロールスクリーン 材料等 ・ポリエステル ・電動式 ・スプリング式 ・チェーン式 巻取りタイプ、ウェイトバー、操作コード又は操作チェーンその他の材料 ※製造所の仕様による</p> <p>・カーテン 材料等 形式 開閉操作方式 ひだの種類 生地の種類、品質、特殊加工等 取付箇所 備考 ・シングル ・片引き ・手引き ・つまみひだ ・ダブル ・引分け ・ひも引き ・二つ山ひだ ・電動 ・箱ひだ ・片ひだ ・プレーンひだ</p> <p>・カーテンレール 材料等 レール及びブラケットの強さによる区分 ※10-90 レールの材料による区分 ※アルミニウム及びアルミニウム合金の押出し成型材 ・ステンレス製 レールの仕上げ ※アルマイト レールの形状 ※角形 カーテン付属物 フック（ひるかん） ※鋼製 ・樹脂製</p> <p>・プレキャストコンクリート 補強鉄線の径及び網目寸法 ・図示による</p> <p>製作 コンクリートの設計基準強度（F_c） ※水セメント比55%以下、単位セメント量の最小値300kg/m を満足するように定める ・図示による 配筋 ※監督職員の承諾による ・図示による 取付け方法 ・図示による</p> <p>・間知石及びコンクリート間知ブロック積み 材料等 材料 材質 種類 質量区分 備考 ・間知石 ・花こう岩 ・凝灰岩 ・コンクリート間知ブロック ・A ・B</p> <p>工法 積み方 ※谷積み ・布積み 目塗り ・図示による 伸縮調整目地 材質 ・図示による 厚さ ・図示による</p>	<p>・ブラインドボックス及びカーテンボックス 溝幅×深さ ・90×150mm ※120×80mm ・120×150mm ・150×80mm ・図示による 材質 ・集成材（仕上げ） ・アルミニウム製 押出し型材（市販品） 種類（標準仕様書 表14.2.1） ・BC-1種 ・BC-2種 色合い ・標準色（） ・特注色（） ・鋼製（仕上げ）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>材質</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>形式</th> <th>外枠</th> <th>内枠</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アルミニウム製</td> <td>450×450 600×600</td> <td>一般形</td> <td>屋内外用 ・隠縁タイプ ・屋内用 ・目地タイプ</td> <td>隠縁タイプ ・目地タイプ</td> </tr> </tbody> </table> <p>天井直検口</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>材質</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>形式</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アルミニウム製 ・ステンレス製 ・鋼製</td> <td>450×450 600×600</td> <td>一般形 ○密閉形</td> <td>屋内外用 ・隠付き ○屋内用</td> </tr> </tbody> </table> <p>床点検口</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>方向</th> <th>タイプ</th> <th>耐火性能</th> <th>防水性能</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・垂直方法 ・水平方向</td> <td>・完全（全貫通型） ・非射火型</td> <td>・耐火型 ・非耐火型</td> <td>・有り ・無し</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>耐震スリット</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目地</th> <th>内壁</th> <th>外壁</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目地材 ・シーリング材（見え掛り部のみ）</td> <td>・シーリング材（見え掛り部のみ）</td> <td>・シーリング材（内外とも）</td> </tr> </tbody> </table> <p>目地寸法 (mm) ・幅20×深さ10 ・幅20×深さ10</p> <p>目地材の材質は標準仕様書 9.7.2による</p> <p>形式 ・差込式 ・据置式 ・壁張り式 施工箇所 ・図示による</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>材質</th> <th>クリアランス</th> <th>耐火性能</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アルミニウム製 ・ステンレス製</td> <td>・50 ・100 ・150</td> <td>・有り（） ・無し</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>（注）外部は止水型とする</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>材質</th> <th>受け枠</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・塩化ビニル又はゴム製 ・硬質アルミニウム合金製 ・ステンレス鋼（SUS304）製</td> <td>・ステンレス鋼（SUS04） ・硬質アルミニウム合金</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th>材質</th> <th colspan="3">寸法 (mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <th>W</th> <th>D</th> <th>H</th> <td></td> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・流し台</td> <td>・1,200 ・1,500 ・1,800</td> <td>・550 ・600 ・650</td> <td>・800 ・850</td> <td>市販品 トラップ付き 天板ステンレス製</td> </tr> <tr> <td>・コンロ台</td> <td>・600</td> <td>・550 ・600 ・650</td> <td>・620 ・670</td> <td>市販品 バックガード有り 天板ステンレス製</td> </tr> <tr> <td>・つり戸棚</td> <td>・1,200 ・900</td> <td>・450 ・700</td> <td>・500</td> <td>市販品</td> </tr> <tr> <td>・水切り</td> <td>・1,200</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>市販品 ステンレス製 ・1段式</td> </tr> </tbody> </table> <p>品質・性能 ・図示による 形状 ・図示による</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>材質</th> <th>形式</th> <th>高さ (m)</th> <th>操作方法</th> <th>固定方法</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アルミニウム合金製</td> <td>・テーパー型 ・同一断面型</td> <td></td> <td>・ハンドル式 ・ロープ式</td> <td>・埋込み式 ・ベース式 ・バンド式</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>材質 ・ステンレス製（SUS304）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>形式</th> <th>材質</th> <th>柱径・肉厚 (mm)</th> <th>高さ (mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>上下式鎖内蔵型</td> <td>・標準品 ・スプリング式</td> <td>・ステンレス製</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>・フェンス フェンスの種類 ・ビニル被覆エキスパンドフェンス ・樹脂塗装メッシュフェンス ・鋼管フェンス ・アルミフェンス 高さ ・図示による</p> <p>・鋼製書架及び物品棚</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>規格等</th> <th>積載質量による種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・鋼製書架 ・鋼製物品棚</td> <td>JIS S 1039による</td> <td>・1種 ・2種 ・3種 ・4種 ・5種 ・6種</td> </tr> </tbody> </table> <p>・屋内掲示板 枠の材質 ・アルミニウム製 表面の材質 ・塩ビ発泡シート張り</p> <p>○洗面カウンター 材質 ○ラミン樹脂化粧板張り（心材：集成材） ・人工大理石 奥行き ○約450 mm ・約600 mm</p>	材質	寸法 (mm)	形式	外枠	内枠	アルミニウム製	450×450 600×600	一般形	屋内外用 ・隠縁タイプ ・屋内用 ・目地タイプ	隠縁タイプ ・目地タイプ	材質	寸法 (mm)	形式	備考	アルミニウム製 ・ステンレス製 ・鋼製	450×450 600×600	一般形 ○密閉形	屋内外用 ・隠付き ○屋内用	方向	タイプ	耐火性能	防水性能	備考	・垂直方法 ・水平方向	・完全（全貫通型） ・非射火型	・耐火型 ・非耐火型	・有り ・無し		目地	内壁	外壁	目地材 ・シーリング材（見え掛り部のみ）	・シーリング材（見え掛り部のみ）	・シーリング材（内外とも）	材質	クリアランス	耐火性能	備考	アルミニウム製 ・ステンレス製	・50 ・100 ・150	・有り（） ・無し		材質	受け枠	備考	・塩化ビニル又はゴム製 ・硬質アルミニウム合金製 ・ステンレス鋼（SUS304）製	・ステンレス鋼（SUS04） ・硬質アルミニウム合金		材質	寸法 (mm)			備考		W	D	H		・流し台	・1,200 ・1,500 ・1,800	・550 ・600 ・650	・800 ・850	市販品 トラップ付き 天板ステンレス製	・コンロ台	・600	・550 ・600 ・650	・620 ・670	市販品 バックガード有り 天板ステンレス製	・つり戸棚	・1,200 ・900	・450 ・700	・500	市販品	・水切り	・1,200	—	—	市販品 ステンレス製 ・1段式	材質	形式	高さ (m)	操作方法	固定方法	備考	アルミニウム合金製	・テーパー型 ・同一断面型		・ハンドル式 ・ロープ式	・埋込み式 ・ベース式 ・バンド式		形式	材質	柱径・肉厚 (mm)	高さ (mm)	上下式鎖内蔵型	・標準品 ・スプリング式	・ステンレス製		種類	規格等	積載質量による種類	・鋼製書架 ・鋼製物品棚	JIS S 1039による	・1種 ・2種 ・3種 ・4種 ・5種 ・6種	<p>・防煙垂れ壁</p> <p>・固定式</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>材質</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>高さ (mm)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・網入り磨き板ガラス ・線入り磨き板ガラス</td> <td>・6.8</td> <td>・500</td> <td>アルミ製特付き</td> </tr> </tbody> </table> <p>・可動式</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>材質</th> <th>高さ (mm)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・垂直降下式（巻取り型）</td> <td>・不燃布（不燃認定品）</td> <td>・500 ・800</td> <td>ガイドレール ・固定式（壁埋込み型）</td> </tr> <tr> <td>・回転降下式</td> <td>鋼板製又はアルミ製</td> <td>・500 ・800</td> <td>表面仕上げ ・天井材張り</td> </tr> </tbody> </table> <p>（注）降下機構 煙感知器連動及び手動開放装置（埋込み型）</p> <p>材質形状、寸法 ・図示による 合板、集成材、MDF、パーティクルボード等のホルムアルデヒド放散量 ・F☆☆☆☆</p> <p>照明器具 ・有り ・無し 旋錠 ・有り ・無し</p> <p>種類 ・コンクリートブロック製（市販品） ・花こう石類（文字記号等入り）</p> <p>・収納家具</p> <p>・屋外掲示板</p> <p>・敷地境界石標</p>	材質	厚さ (mm)	高さ (mm)	備考	・網入り磨き板ガラス ・線入り磨き板ガラス	・6.8	・500	アルミ製特付き	種類	材質	高さ (mm)	備考	・垂直降下式（巻取り型）	・不燃布（不燃認定品）	・500 ・800	ガイドレール ・固定式（壁埋込み型）	・回転降下式	鋼板製又はアルミ製	・500 ・800	表面仕上げ ・天井材張り	<p>・路床</p> <p>路床材料 (22.1.3) (22.2.2) (22.2.3)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>材料</th> <th>厚さ (mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・盛土</td> <td>標準仕様書 表3.2.11より ・A種 ・B種 ・C種 ・D種</td> <td>・図示による</td> </tr> <tr> <td>・凍上抑制層</td> <td>※再生クラッシュラン ・クラッシュラン ・切込み砂利 ・砂</td> <td>・図示による</td> </tr> </tbody> </table> <p>透水性舗装に用いるフィルター層の厚さ ・図示による</p> <p>路床安定処理 ・適用する ・適用しない 安定処理の方法 ・置き換え工法 ・安定処理工法 添加材料 (表22.2.1)</p> <p>種類 ・普通ポルトランドセメント ・高炉セメントB種 ・フライアッシュセメントB種 ・生石灰（・特号 ・1号） ・消石灰（・特号 ・1号） 添加量を定めるために用いるC B R（）</p> <p>試験 (22.2.4)</p> <p>路床土の支持力比（CBR）試験 ・行う ・行わない 路床締固め度の試験（現場密度） ・行う ・行わない 現場CBR試験 ・行う ・行わない</p> <p>路盤の厚さ (22.3.2) (22.4.1) (22.5.1) (22.6.1) (22.7.1) (22.8.1) ・図示による</p> <p>路盤材料 (22.1.3) (22.3.3) (表22.3.1)</p> <p>※再生クラッシュラン ・クラッシュラン ・粒度調整砕石 ※再生粒度調整砕石 ・クラッシュラン鉄鋼スラグ ・粒度調整鉄鋼スラグ ・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ</p> <p>・アスファルト舗装 アスファルト舗装の構成及び厚さ (22.4.2) ・図示による</p> <p>材料 (22.1.3) (22.4.3)</p> <p>アスファルト ※再生アスファルト（・60~80 ・80~100） ・ストレートアスファルト</p> <p>加熱アスファルト混合物の種類 (22.4.4) (表22.4.5)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>地域</th> <th>種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">表層</td> <td>・一般地域</td> <td>・密粒度アスファルト混合物 (13)</td> </tr> <tr> <td>・寒冷地域</td> <td>・細粒度アスファルト混合物 (13) ・密粒度アスファルト混合物 (13F)</td> </tr> </tbody> </table> <p>試験 (22.4.6)</p> <p>アスファルト混合物等の抽出試験 ・行う ・行わない 舗装の平坦性 (22.4.2) ※通行の支障となる水たまりを生じない程度</p> <p>コンクリート舗装の厚さ (22.5.2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>舗装の種類</th> <th>部位</th> <th>構成</th> <th>厚さ (mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>コンクリート舗装</td> <td>歩行者用通路</td> <td>・図示</td> <td>※70 ・図示</td> </tr> <tr> <td></td> <td>車路及び駐車場</td> <td>・図示</td> <td>・図示</td> </tr> </tbody> </table> <p>材料 (22.5.3)</p> <p>コンクリート ※普通コンクリート、標準仕様書 表22.5.11による ・図示による 早強ポルトランドセメント ・使用する ・使用しない 注入目地材料 ※低弾性タイプ ・高弾性タイプ</p> <p>施工 (22.5.4)</p> <p>目地 種類、間隔、構造 ※標準仕様書 表22.5.3及び図22.5.11による ・図示による</p> <p>舗装の平坦性 (22.5.2) ※通行の支障となる水たまりを生じない程度</p> <p>・カラー舗装 ・加熱系カラー舗装 (22.6.2~22.6.4) (表22.6.1) 構成・厚さ ・図示による 表層に用いる加熱系混合物の割合 ・アスファルト混合物 ・石油樹脂系混合物 顔料の添加量（%） 加熱系混合物に添加する材料 ・着色骨材（） ・自然石（） アスファルト混合物の抽出試験 ・行う ・行わない</p> <p>・常温系カラー舗装 (22.6.2~22.6.4) (表22.6.1) 工法 ・ニート工法 ・塗布工法 着色部の下部 ・アスファルト舗装 ・コンクリート舗装 ニート工法及び塗布工法の配合等</p> <p>舗装の平坦性 (22.6.6) ※通行の支障となる水たまりを生じない程度</p>	種別	材料	厚さ (mm)	・盛土	標準仕様書 表3.2.11より ・A種 ・B種 ・C種 ・D種	・図示による	・凍上抑制層	※再生クラッシュラン ・クラッシュラン ・切込み砂利 ・砂	・図示による	区分	地域	種類	表層	・一般地域	・密粒度アスファルト混合物 (13)	・寒冷地域	・細粒度アスファルト混合物 (13) ・密粒度アスファルト混合物 (13F)	舗装の種類	部位	構成	厚さ (mm)	コンクリート舗装	歩行者用通路	・図示	※70 ・図示		車路及び駐車場	・図示	・図示	<p>・現場打ちの場合の鉄筋 ※SD295 凍上抑制層に用いる材料 ・行う ・行わない 砂を用いる場合の粒度試験 ・行う ・行わない</p> <p>(21.3.1) (21.3.1)</p> <p>(21.2.1) (表21.2.1)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>材質</th> <th>種類・記号</th> <th>形状</th> <th>呼び径</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・遠心力鉄筋コンクリート管</td> <td>外圧管 (1種)</td> <td>・B形管</td> <td>・図示</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・硬質ポリ塩化ビニル管</td> <td>・VP</td> <td></td> <td>・図示</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・VU</td> <td></td> <td>・図示</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・硬質ポリ塩化ビニル管継手</td> <td>・RS-VU</td> <td></td> <td>・図示</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・DV ・VU継手</td> <td></td> <td>・図示</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>基礎の厚さ及び種類 ・図示による 硬質ポリ塩化ビニル管の継手に用いる材料 (21.2.2) ※接着剤 ・ゴム輪 側溝の形状及び寸法 ・図示による 排水樹の種類 ・図示による 砂地業に用いる材料 (21.2.1) ・シルト ・山砂 ・川砂 ・砕砂 砂利地業に用いる材料 (21.2.1) ・再生クラッシュラン ・切込砂利 ・切込砕石 ・現場打ちの場合のコンクリート (21.2.1) ※普通コンクリート 設計基準強度 ※18N/mm² スランプ ※15cm又は18cm ・現場打ちの場合の鉄筋 (21.2.1) ※SD295 凍上抑制層に用いる材料 砂を用いる場合の粒度試験 ・行う ・行わない ・標準仕様書21.2.2(6) (ウ)の排水樹を現場打ちとする場合の足掛け金物 ・幅400mm、径22mmのステンレス製 ・径22mmの防錆処理を行った鋼製 ・径19mmの合成樹脂被覆加工を行ったもの</p> <p>種類 (21.2.1)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>種類</th> <th>適用荷重</th> <th>鍵</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鋼鉄製</td> <td>・水封形 ・簡易密閉形（パッキン式） ・密閉形（テーパー・パッキン式） ・中ふた付き密閉形（テーパー・パッキン式）</td> <td>・T-2用 ・T-6用 ・T-20用</td> <td>・有り ・無し</td> <td>左記以外の品質等は（公社）空気調和衛生工学会 SHASE-S209Iによる。</td> </tr> </tbody> </table> <p>材料等 (21.2.1)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>材質</th> <th>形式</th> <th>用途</th> <th>適用荷重</th> <th>メインバーピッチ</th> <th>墨鉛めつき（付着量）</th> <th>上面形状</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">・鋼製</td> <td rowspan="2">・受枠付き、ボルト固定</td> <td rowspan="2">・溝ふた（横断用） ・溝ふた（側溝用） ・樹ふた用 ・U字溝用</td> <td rowspan="2">・歩行用</td> <td rowspan="2">・細目</td> <td rowspan="2">-</td> <td>・凹凸形（）</td> </tr> <tr> <td>・平形（）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ステンレス製</td> <td rowspan="2">・受枠付き、ボルト固定</td> <td rowspan="2">・溝ふた（横断用） ・溝ふた（側溝用） ・樹ふた用 ・U字溝用</td> <td rowspan="2">・歩行用</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">-</td> <td>・凹凸形</td> </tr> <tr> <td>・平形</td> </tr> </tbody> </table> <p>※B種（標準仕様書 表3.2.1）</p> <p>材料 (21.3.1) (表21.3.1)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>形状、寸法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・街きよ、緑石</td> <td>・図示による</td> </tr> <tr> <td>・L形側溝</td> <td>・図示による</td> </tr> <tr> <td>・U形側溝</td> <td>・図示による</td> </tr> <tr> <td>・U形側溝ふた</td> <td>・図示による</td> </tr> </tbody> </table> <p>砂地業の材料 (21.3.1) ・シルト ・山砂 ・川砂 ・砕砂</p> <p>砂利地業に用いる材料 (21.3.1) ・再生クラッシュラン ・切込砂利 ・切込砕石</p> <p>砂利地業の厚さ ※100mm ・図示による (21.3.2) ・現場打ちの場合のコンクリート (21.3.1) ※普通コンクリート 設計基準強度 ※18N/mm² スランプ ※15cm又は18cm</p>	材質	種類・記号	形状	呼び径	備考	・遠心力鉄筋コンクリート管	外圧管 (1種)	・B形管	・図示		・硬質ポリ塩化ビニル管	・VP		・図示		・VU		・図示		・硬質ポリ塩化ビニル管継手	・RS-VU		・図示		・DV ・VU継手		・図示		名称	種類	適用荷重	鍵	備考	鋼鉄製	・水封形 ・簡易密閉形（パッキン式） ・密閉形（テーパー・パッキン式） ・中ふた付き密閉形（テーパー・パッキン式）	・T-2用 ・T-6用 ・T-20用	・有り ・無し	左記以外の品質等は（公社）空気調和衛生工学会 SHASE-S209Iによる。	材質	形式	用途	適用荷重	メインバーピッチ	墨鉛めつき（付着量）	上面形状	・鋼製	・受枠付き、ボルト固定	・溝ふた（横断用） ・溝ふた（側溝用） ・樹ふた用 ・U字溝用	・歩行用	・細目	-	・凹凸形（）	・平形（）	・ステンレス製	・受枠付き、ボルト固定	・溝ふた（横断用） ・溝ふた（側溝用） ・樹ふた用 ・U字溝用	・歩行用	-	-	・凹凸形	・平形	種類	形状、寸法	・街きよ、緑石	・図示による	・L形側溝	・図示による	・U形側溝	・図示による	・U形側溝ふた	・図示による	<p>・現場打ちの場合の鉄筋 (21.3.1) 凍上抑制層に用いる材料 (21.3.1) 砂利地業の厚さ ※100mm ・図示による (21.3.2) ・現場打ちの場合のコンクリート (21.3.1) ※普通コンクリート 設計基準強度 ※18N/mm² スランプ ※15cm又は18cm</p>	<p>22 舗装工事</p> <p>・路盤</p> <p>路盤の厚さ (22.3.2) (22.4.1) (22.5.1) (22.6.1) (22.7.1) (22.8.1) ・図示による</p> <p>路盤材料 (22.1.3) (22.3.3) (表22.3.1)</p> <p>※再生クラッシュラン ・クラッシュラン ・粒度調整砕石 ※再生粒度調整砕石 ・クラッシュラン鉄鋼スラグ ・粒度調整鉄鋼スラグ ・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ</p> <p>・アスファルト舗装 アスファルト舗装の構成及び厚さ (22.4.2) ・図示による</p> <p>材料 (22.1.3) (22.4.3)</p> <p>アスファルト ※再生アスファルト（・60~80 ・80~100） ・ストレートアスファルト</p> <p>加熱アスファルト混合物の種類 (22.4.4) (表22.4.5)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>地域</th> <th>種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">表層</td> <td>・一般地域</td> <td>・密粒度アスファルト混合物 (13)</td> </tr> <tr> <td>・寒冷地域</td> <td>・細粒度アスファルト混合物 (13) ・密粒度アスファルト混合物 (13F)</td> </tr> </tbody> </table> <p>試験 (22.4.6)</p> <p>アスファルト混合物等の抽出試験 ・行う ・行わない 舗装の平坦性 (22.4.2) ※通行の支障となる水たまりを生じない程度</p> <p>コンクリート舗装の厚さ (22.5.2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>舗装の種類</th> <th>部位</th> <th>構成</th> <th>厚さ (mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>コンクリート舗装</td> <td>歩行者用通路</td> <td>・図示</td> <td>※70 ・図示</td> </tr> <tr> <td></td> <td>車路及び駐車場</td> <td>・図示</td> <td>・図示</td> </tr> </tbody> </table> <p>材料 (22.5.3)</p> <p>コンクリート ※普通コンクリート、標準仕様書 表22.5.11による ・図示による 早強ポルトランドセメント ・使用する ・使用しない 注入目地材料 ※低弾性タイプ ・高弾性タイプ</p> <p>施工 (22.5.4)</p> <p>目地 種類、間隔、構造 ※標準仕様書 表22.5.3及び図22.5.11による ・図示による</p> <p>舗装の平坦性 (22.5.2) ※通行の支障となる水たまりを生じない程度</p> <p>・カラー舗装 ・加熱系カラー舗装 (22.6.2~22.6.4) (表22.6.1) 構成・厚さ ・図示による 表層に用いる加熱系混合物の割合 ・アスファルト混合物 ・石油樹脂系混合物 顔料の添加量（%） 加熱系混合物に添加する材料 ・着色骨材（） ・自然石（） アスファルト混合物の抽出試験 ・行う ・行わない</p> <p>・常温系カラー舗装 (22.6.2~22.6.4) (表22.6.1) 工法 ・ニート工法 ・塗布工法 着色部の下部 ・アスファルト舗装 ・コンクリート舗装 ニート工法及び塗布工法の配合等</p> <p>舗装の平坦性 (22.6.6) ※通行の支障となる水たまりを生じない程度</p>	区分	地域	種類	表層	・一般地域	・密粒度アスファルト混合物 (13)	・寒冷地域	・細粒度アスファルト混合物 (13) ・密粒度アスファルト混合物 (13F)	舗装の種類	部位	構成	厚さ (mm)	コンクリート舗装	歩行者用通路	・図示	※70 ・図示		車路及び駐車場	・図示	・図示	<p>工事名 R8年度 長泉第1浄水場倉庫建設工事</p> <p>工事箇所 長泉町 納米里 地内</p> <p>図面の種類 <資材倉庫> 建築工事特記仕様書（その9）</p> <p>縮尺 - D-10</p> <p>測量年月日 - 設計年月日 令和8年</p> <p>事務所名 長泉町上下水道課</p>
	材質	寸法 (mm)	形式	外枠	内枠																																																																																																																																																																																																																																																								
	アルミニウム製	450×450 600×600	一般形	屋内外用 ・隠縁タイプ ・屋内用 ・目地タイプ	隠縁タイプ ・目地タイプ																																																																																																																																																																																																																																																								
	材質	寸法 (mm)	形式	備考																																																																																																																																																																																																																																																									
	アルミニウム製 ・ステンレス製 ・鋼製	450×450 600×600	一般形 ○密閉形	屋内外用 ・隠付き ○屋内用																																																																																																																																																																																																																																																									
	方向	タイプ	耐火性能	防水性能	備考																																																																																																																																																																																																																																																								
	・垂直方法 ・水平方向	・完全（全貫通型） ・非射火型	・耐火型 ・非耐火型	・有り ・無し																																																																																																																																																																																																																																																									
	目地	内壁	外壁																																																																																																																																																																																																																																																										
	目地材 ・シーリング材（見え掛り部のみ）	・シーリング材（見え掛り部のみ）	・シーリング材（内外とも）																																																																																																																																																																																																																																																										
	材質	クリアランス	耐火性能	備考																																																																																																																																																																																																																																																									
アルミニウム製 ・ステンレス製	・50 ・100 ・150	・有り（） ・無し																																																																																																																																																																																																																																																											
材質	受け枠	備考																																																																																																																																																																																																																																																											
・塩化ビニル又はゴム製 ・硬質アルミニウム合金製 ・ステンレス鋼（SUS304）製	・ステンレス鋼（SUS04） ・硬質アルミニウム合金																																																																																																																																																																																																																																																												
材質	寸法 (mm)			備考																																																																																																																																																																																																																																																									
	W	D	H																																																																																																																																																																																																																																																										
・流し台	・1,200 ・1,500 ・1,800	・550 ・600 ・650	・800 ・850	市販品 トラップ付き 天板ステンレス製																																																																																																																																																																																																																																																									
・コンロ台	・600	・550 ・600 ・650	・620 ・670	市販品 バックガード有り 天板ステンレス製																																																																																																																																																																																																																																																									
・つり戸棚	・1,200 ・900	・450 ・700	・500	市販品																																																																																																																																																																																																																																																									
・水切り	・1,200	—	—	市販品 ステンレス製 ・1段式																																																																																																																																																																																																																																																									
材質	形式	高さ (m)	操作方法	固定方法	備考																																																																																																																																																																																																																																																								
アルミニウム合金製	・テーパー型 ・同一断面型		・ハンドル式 ・ロープ式	・埋込み式 ・ベース式 ・バンド式																																																																																																																																																																																																																																																									
形式	材質	柱径・肉厚 (mm)	高さ (mm)																																																																																																																																																																																																																																																										
上下式鎖内蔵型	・標準品 ・スプリング式	・ステンレス製																																																																																																																																																																																																																																																											
種類	規格等	積載質量による種類																																																																																																																																																																																																																																																											
・鋼製書架 ・鋼製物品棚	JIS S 1039による	・1種 ・2種 ・3種 ・4種 ・5種 ・6種																																																																																																																																																																																																																																																											
材質	厚さ (mm)	高さ (mm)	備考																																																																																																																																																																																																																																																										
・網入り磨き板ガラス ・線入り磨き板ガラス	・6.8	・500	アルミ製特付き																																																																																																																																																																																																																																																										
種類	材質	高さ (mm)	備考																																																																																																																																																																																																																																																										
・垂直降下式（巻取り型）	・不燃布（不燃認定品）	・500 ・800	ガイドレール ・固定式（壁埋込み型）																																																																																																																																																																																																																																																										
・回転降下式	鋼板製又はアルミ製	・500 ・800	表面仕上げ ・天井材張り																																																																																																																																																																																																																																																										
種別	材料	厚さ (mm)																																																																																																																																																																																																																																																											
・盛土	標準仕様書 表3.2.11より ・A種 ・B種 ・C種 ・D種	・図示による																																																																																																																																																																																																																																																											
・凍上抑制層	※再生クラッシュラン ・クラッシュラン ・切込み砂利 ・砂	・図示による																																																																																																																																																																																																																																																											
区分	地域	種類																																																																																																																																																																																																																																																											
表層	・一般地域	・密粒度アスファルト混合物 (13)																																																																																																																																																																																																																																																											
	・寒冷地域	・細粒度アスファルト混合物 (13) ・密粒度アスファルト混合物 (13F)																																																																																																																																																																																																																																																											
舗装の種類	部位	構成	厚さ (mm)																																																																																																																																																																																																																																																										
コンクリート舗装	歩行者用通路	・図示	※70 ・図示																																																																																																																																																																																																																																																										
	車路及び駐車場	・図示	・図示																																																																																																																																																																																																																																																										
材質	種類・記号	形状	呼び径	備考																																																																																																																																																																																																																																																									
・遠心力鉄筋コンクリート管	外圧管 (1種)	・B形管	・図示																																																																																																																																																																																																																																																										
・硬質ポリ塩化ビニル管	・VP		・図示																																																																																																																																																																																																																																																										
	・VU		・図示																																																																																																																																																																																																																																																										
・硬質ポリ塩化ビニル管継手	・RS-VU		・図示																																																																																																																																																																																																																																																										
	・DV ・VU継手		・図示																																																																																																																																																																																																																																																										
名称	種類	適用荷重	鍵	備考																																																																																																																																																																																																																																																									
鋼鉄製	・水封形 ・簡易密閉形（パッキン式） ・密閉形（テーパー・パッキン式） ・中ふた付き密閉形（テーパー・パッキン式）	・T-2用 ・T-6用 ・T-20用	・有り ・無し	左記以外の品質等は（公社）空気調和衛生工学会 SHASE-S209Iによる。																																																																																																																																																																																																																																																									
材質	形式	用途	適用荷重	メインバーピッチ	墨鉛めつき（付着量）	上面形状																																																																																																																																																																																																																																																							
・鋼製	・受枠付き、ボルト固定	・溝ふた（横断用） ・溝ふた（側溝用） ・樹ふた用 ・U字溝用	・歩行用	・細目	-	・凹凸形（）																																																																																																																																																																																																																																																							
						・平形（）																																																																																																																																																																																																																																																							
・ステンレス製	・受枠付き、ボルト固定	・溝ふた（横断用） ・溝ふた（側溝用） ・樹ふた用 ・U字溝用	・歩行用	-	-	・凹凸形																																																																																																																																																																																																																																																							
						・平形																																																																																																																																																																																																																																																							
種類	形状、寸法																																																																																																																																																																																																																																																												
・街きよ、緑石	・図示による																																																																																																																																																																																																																																																												
・L形側溝	・図示による																																																																																																																																																																																																																																																												
・U形側溝	・図示による																																																																																																																																																																																																																																																												
・U形側溝ふた	・図示による																																																																																																																																																																																																																																																												
区分	地域	種類																																																																																																																																																																																																																																																											
表層	・一般地域	・密粒度アスファルト混合物 (13)																																																																																																																																																																																																																																																											
	・寒冷地域	・細粒度アスファルト混合物 (13) ・密粒度アスファルト混合物 (13F)																																																																																																																																																																																																																																																											
舗装の種類	部位	構成	厚さ (mm)																																																																																																																																																																																																																																																										
コンクリート舗装	歩行者用通路	・図示	※70 ・図示																																																																																																																																																																																																																																																										
	車路及び駐車場	・図示	・図示																																																																																																																																																																																																																																																										

<p>22 舗装工事</p> <p>・透水性アスファルト舗装 (22.7.2) (22.7.3)</p> <p>・ブロック系舗装 (22.8.2) (22.8.3)</p> <p>・砂利敷き (22.9.2) (表22.9.1)</p>	<p>舗装の構成 ・図示による (22.7.2)</p> <p>材料 (22.1.3) (22.7.3)</p> <p>アスファルト</p> <p>※再生アスファルト (・60~80 ・80~100)</p> <p>・ストレートアスファルト</p> <p>試験 (22.7.6)</p> <p>開粒度アスファルト混合物等の抽出試験</p> <p>・行う ・行わない</p> <p>舗装の平坦性 (22.7.2)</p> <p>※著しい不陸がないもの</p> <p>・コンクリート平板舗装 (22.8.2) (22.8.3)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>目地材</th> </tr> <tr> <td>・普通平板 (N)</td> <td>・300角</td> <td>※60</td> <td>・砂</td> </tr> <tr> <td>・透水性平板 (P)</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・モルタル</td> </tr> <tr> <td>・保水性平板 (M)</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </table> <p>クッション材 ・砂 ・空線モルタル (22.8.2)</p> <p>仕上がり面の平坦性 (22.8.2)</p> <p>※コンクリート平板間の段差3mm以内</p> <p>・</p> <p>コンクリート平板の割付け (22.8.4)</p> <p>・図示による</p> <p>・インターロッキングブロック舗装 (22.8.2) (22.8.3)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>部位</th> <th>形状、寸法</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>曲げ強度 (N/mm²)</th> <th>色彩、表面加工等</th> </tr> <tr> <td>※普通ブロック (N)</td> <td>車路</td> <td>・図示</td> <td>※80</td> <td>※5.0</td> <td>・標準品</td> </tr> <tr> <td>・透水性ブロック (P)</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・保水性ブロック (M)</td> <td>歩行者用通路</td> <td>・図示</td> <td>※60</td> <td>※3.0</td> <td>・</td> </tr> </table> <p>仕上がり面の平坦性 (22.8.2)</p> <p>※インターロッキングブロック間の段差3mm以内</p> <p>・</p> <p>インターロッキングブロックの割付け (22.8.4)</p> <p>・図示による</p> <p>・舗石舗装 (22.8.2) (22.8.3)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>形状、寸法</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>割付け</th> <th>基層 (mm)</th> </tr> <tr> <td>・小舗石 (花こう岩)</td> <td>・図示</td> <td>・80</td> <td>・図示</td> <td>・アスファルト混合物 (※50)</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・コンクリート版 (※70)</td> </tr> </table> <p>クッション材 ・砂 ・空線モルタル (22.8.2)</p> <p>仕上がり面の平坦性 (22.8.2)</p> <p>※舗石間の段差3mm以内</p> <p>・</p> <p>舗石の割付け (22.8.4)</p> <p>・図示による</p> <p>種別 (22.9.2) (表22.9.1)</p> <p>通路 ※A種 ・図示による</p> <p>建築物周囲その他 ※B種 ・図示による</p> <p>()</p>	種類	寸法 (mm)	厚さ (mm)	目地材	・普通平板 (N)	・300角	※60	・砂	・透水性平板 (P)	・	・	・モルタル	・保水性平板 (M)	・	・	・	種類	部位	形状、寸法	厚さ (mm)	曲げ強度 (N/mm ²)	色彩、表面加工等	※普通ブロック (N)	車路	・図示	※80	※5.0	・標準品	・透水性ブロック (P)	・	・	・	・	・	・保水性ブロック (M)	歩行者用通路	・図示	※60	※3.0	・	種類	形状、寸法	厚さ (mm)	割付け	基層 (mm)	・小舗石 (花こう岩)	・図示	・80	・図示	・アスファルト混合物 (※50)	・	・	・	・	・コンクリート版 (※70)	<p>・植栽地の確認等 (23.1.3)</p> <p>・植栽及び屋上緑化工事</p> <p>・植栽基盤の整備 (23.2.2) (表23.2.1) (表23.2.2)</p> <p>・植込み用土 (23.2.3)</p> <p>・土壌改良材 (23.2.3) (23.2.4)</p> <p>・樹木 (23.3.2)</p> <p>・支柱 (23.3.2)</p> <p>・幹巻き用材料 (23.3.2)</p> <p>・芝 (23.4.2)</p> <p>・吹付けは種 (23.4.2)</p> <p>・地被類 (23.4.2)</p> <p>・新植、移植樹木、芝等の枯保証 (23.3.4) (23.4.7)</p> <p>・移樹樹木の枯損処置を行う期間 (23.3.6)</p> <p>・屋上緑化 (23.5.2) (23.5.3)</p>	<p>土壌の水素イオン濃度指数 (pH) 試験 (23.1.3)</p> <p>・行う ・行わない</p> <p>電気伝導度 (EC) の試験 (23.1.3)</p> <p>・行う ・行わない</p> <p>整備内容 (23.2.2) (表23.2.1) (表23.2.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>植栽</th> <th>工法</th> <th>有効土層の厚さ (cm)</th> <th>整備範囲 (面積)</th> <th>土壌改良材</th> </tr> <tr> <td>・樹木</td> <td>※A種 ・B種 ・C種 ・D種</td> <td>樹高12m以上 (※100 ・120 ・150) 樹高7m以上~12m未満 (※80 ・100) 樹高3m以上~7m未満 (※60 ・80) 樹高3m未満 (※50 ・60)</td> <td>・葉張り部分 ・植栽部分 ・図示による</td> <td>・適用する ・適用しない</td> </tr> <tr> <td>※芝、地被類</td> <td>※B種</td> <td>※20 (※50 ・60)</td> <td>・植栽部分 ・図示による</td> <td>・適用する ・適用しない</td> </tr> </table> <p>植栽基盤の排水設備 (23.2.2)</p> <p>(暗きよ、開きよ、排水層縦穴排水等)</p> <p>・設ける (・図示による)</p> <p>・設けない</p> <p>・現場発生土の良質土 ・客土 (23.2.3)</p> <p>種類、指定量 (23.2.3) (23.2.4)</p> <p>・バーク堆肥</p> <p>施工箇所 ・植栽範囲 ・図示による</p> <p>指定量 植栽基盤面積1㎡当たり (・ L ・)</p> <p>・汚泥発酵肥料 (下水汚泥コンポスト)</p> <p>施工箇所 ・植栽範囲 ・図示による</p> <p>指定量 植栽基盤面積1㎡当たり (・ L ・)</p> <p>樹種、寸法、株立数 ・図示による</p> <p>刈込みものの適用 ・適用する (数量:)</p> <p>・適用しない</p> <p>支柱材の種類 (23.3.2)</p> <p>※丸太 (間伐材) ・真竹</p> <p>防虫処理方法</p> <p>※加圧式防虫処理丸太材</p> <p>形式 (23.3.3)</p> <p>・添え柱形 ・鳥居形 ・ハツ掛け形</p> <p>・布掛け形 ・ワイヤ掛け形 ・地下埋設形</p> <p>材料 ※幹巻き用テープ ・わら ・こも (23.3.2)</p> <p>種類 (23.4.2)</p> <p>※コウライシバ ・ノシバ</p> <p>芝張りの工法 (23.4.3)</p> <p>平地 ※目地張り ・べた張り</p> <p>法面 ※目地張り ・べた張り</p> <p>種類等 (23.4.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>種子の種類</th> <th>種子の量 (g/m²)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>※洋芝類</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>種類等 (23.4.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>植物の種類</th> <th>芽立数</th> <th>径</th> <th>単位面積当たりの株数</th> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </table> <p>新植樹木の枯補償の期間 (23.3.4) (23.4.7)</p> <p>(芝張り、吹付けは種及び地被類を含む)</p> <p>※引渡しの日から1年 ・無し</p> <p>移植樹木の枯損処置を行う期間 (23.3.6)</p> <p>※引渡しの日から1年 ・無し</p> <p>植栽基盤及び材料 (23.5.2) (23.5.3)</p> <p>・屋上緑化システム</p> <p>土壌層の厚さ ・図示による</p> <p>排水層 ・軽量骨材 (層の厚さ:)</p> <p>・透水排水管</p> <p>・板状成形品</p> <p>植込み用土 ※改良土 ・人工軽量土</p> <p>・屋上緑化軽量システム (23.5.3)</p> <p>樹木、芝及び地被類</p> <p>樹種、寸法、株立数 ・図示による</p> <p>刈込みものの適用 ・適用する (数量:)</p> <p>・適用しない</p> <p>見切り材、舗装材、水抜き管、マルチング材等 (23.5.3)</p> <p>・図示による</p> <p>工法 (23.5.4)</p> <p>建築基準法に基づく風圧力に対応した工法</p> <p>・図示による</p> <p>支柱 (23.5.4)</p> <p>・設置する (形式 ・図示による)</p> <p>かん水装置 (23.5.4)</p> <p>・設置する (種類 ・図示による)</p>	植栽	工法	有効土層の厚さ (cm)	整備範囲 (面積)	土壌改良材	・樹木	※A種 ・B種 ・C種 ・D種	樹高12m以上 (※100 ・120 ・150) 樹高7m以上~12m未満 (※80 ・100) 樹高3m以上~7m未満 (※60 ・80) 樹高3m未満 (※50 ・60)	・葉張り部分 ・植栽部分 ・図示による	・適用する ・適用しない	※芝、地被類	※B種	※20 (※50 ・60)	・植栽部分 ・図示による	・適用する ・適用しない	種子の種類	種子の量 (g/m ²)	備考	※洋芝類			・			植物の種類	芽立数	径	単位面積当たりの株数	・	・	・	・	・	・	・	・
種類	寸法 (mm)	厚さ (mm)	目地材																																																																																											
・普通平板 (N)	・300角	※60	・砂																																																																																											
・透水性平板 (P)	・	・	・モルタル																																																																																											
・保水性平板 (M)	・	・	・																																																																																											
種類	部位	形状、寸法	厚さ (mm)	曲げ強度 (N/mm ²)	色彩、表面加工等																																																																																									
※普通ブロック (N)	車路	・図示	※80	※5.0	・標準品																																																																																									
・透水性ブロック (P)	・	・	・	・	・																																																																																									
・保水性ブロック (M)	歩行者用通路	・図示	※60	※3.0	・																																																																																									
種類	形状、寸法	厚さ (mm)	割付け	基層 (mm)																																																																																										
・小舗石 (花こう岩)	・図示	・80	・図示	・アスファルト混合物 (※50)																																																																																										
・	・	・	・	・コンクリート版 (※70)																																																																																										
植栽	工法	有効土層の厚さ (cm)	整備範囲 (面積)	土壌改良材																																																																																										
・樹木	※A種 ・B種 ・C種 ・D種	樹高12m以上 (※100 ・120 ・150) 樹高7m以上~12m未満 (※80 ・100) 樹高3m以上~7m未満 (※60 ・80) 樹高3m未満 (※50 ・60)	・葉張り部分 ・植栽部分 ・図示による	・適用する ・適用しない																																																																																										
※芝、地被類	※B種	※20 (※50 ・60)	・植栽部分 ・図示による	・適用する ・適用しない																																																																																										
種子の種類	種子の量 (g/m ²)	備考																																																																																												
※洋芝類																																																																																														
・																																																																																														
植物の種類	芽立数	径	単位面積当たりの株数																																																																																											
・	・	・	・																																																																																											
・	・	・	・																																																																																											

工事名	R8年度 長泉第1浄水場倉庫建設工事
工事箇所	長泉町 納米里 地内
図面の種類	<資材倉庫> 建築工事特記仕様書 (その10)
縮尺	- D-11
測量年月日	- 設計年月日 令和8年
事務所名	長泉町上下水道課

建築概要		
建物名	資材倉庫	油庫
敷地面積	3514.24m ²	
構造・規模	S造	S造
建築面積	198.03m ²	3.20m ²
延べ面積	233.04m ²	3.20m ²
軒高さ	6.60m	2.808m
最高の高さ	6.98m	2.915m

地域・地区			
審査項目	法令条項		該当事項
	法	令	
都市計画法	都市計画区域・準都市計画	5 5-2	都市計画区域
	区域区分	7	-
	地区計画	8	-
建築基準法	敷地等と道路の関係	43	前面道路:11002上士狩駅上線(幅員8.00m)、法第42条1項1号道路
	用途地域	48	工業地域
	容積率	52	200%
	建ぺい率	53	60%
高さ制限	斜線制限	56	有
	日影規制	56の2	無
	防火・準防火地域内の建築物	61	対象外

建築基準法(令)			
審査項目	法令条項		判定
	法	令	
防火・準耐火構造等	地域・規模による構造制限	61 136の2	防火地域 - 階数() 延べ面積(m ²) 構造() [階数3以上又は延べ面積100m ² を超えるもの 耐火] [階数2以下かつ延べ床面積100m ² 以下のもの 耐火又は準耐火] 準防火地域 - 階数() 延べ面積(m ²) 構造() [地上4以上又は延べ面積1,500m ² を超えるもの 耐火] [地上3で延べ床面積1,500m ² 以下のもの又は地上2以下かつ延べ床面積500m ² を超え、1,500m ² 以下のもの 耐火又は準耐火]
	屋根の構造	22 62 109の8 136の2の2	構造(鉄骨造) 屋根材(カラーガルバリウム鋼板) ・法第22条の区域 [H12建告第1361号] ・法第62条の区域 [H12建告第1365号] ○区域外
居室の採光・換気等	居室の採光及び換気	28 20	[別表の計算書による]
	換気設備の技術的基準	28 20の2 20の3	居室の換気のための窓その他開口部 [別表の計算書による] 換気方法() 火を使用する室の有無 ・有 - 室名()、換気方法() ・無
	換気設備(自然換気)	28 20の2 129の2の5	給気口高さ(m) / 天井高さ(m) ≤ 1/2 排気口高さ(m) > 給気口高さ(m)
	窓その他開口部を有しない居室等	35 116の2	採光(無窓)居室 ・有(室名:) ・無 排煙(無窓)居室 ・有(室名:) ・無
	無窓居室の主要構造部	35の3 111	構造() [耐火構造又は不燃材料]
階段・廊下	2以上の直通階段(5階以下の階の場合)	35 117 121	居室の床面積 避難階の直上階(m ²) > 200m ² (準耐火構造又は不燃材料でつくられた建築物の場合は400m ²) その他の階(m ²) > 100m ² (準耐火構造又は不燃材料でつくられた建築物の場合は200m ²) ・有(直通階段2以上) ・無
	避難階の設置及び特別避難階段	35 122	地上()階、地下()階 ・避難階段又は特別避難階段[5階以上、地下2階以下] ・特別避難階段[15階以上、地下3階以下] ・該当せず()

建築基準法(令)			
審査項目	法令条項		判定
	法	令	
階段・廊下	直通階段・歩行距離	35 117 120	【主要構造部が準耐火構造又は、不燃材料で作られている場合】 採光無窓居室：歩行距離(m) ≤ 30m・(40m:廊下・階段・その他通路の壁及び天井の仕上げを準不燃材料以上) その他の居室：歩行距離(m) ≤ 50m・(60m:廊下・階段・その他通路の壁及び天井の仕上げを準不燃材料以上) 【2以上の直通階段を設ける場合】 重複距離(m) ≤ 当該歩行距離の2分の1
	階段・踊場の幅・けあげ・踏み面寸法	36 23	直上階居室の合計(m ²) > 200m ² 地階又は地下工作物の居室の合計(m ²) > 100m ² ・階段幅(cm) ≥ 120cm、踊場の幅(cm) ≥ 120cm、 けあげ(cm) ≤ 20cm、踏面(cm) ≥ 24cm 上記外 ・階段幅(cm) ≥ 75cm、踊場の幅(cm) ≥ 75cm けあげ(cm) ≤ 22cm、踏面(cm) ≥ 21cm
	踊場の位置及び直通階段の踏幅	36 24	階高(m) ・4mまで ・階高(m) ≥ 4m、踊場()力所、踏幅(m) ≥ 120cm
	階段及び踊場の手すり等	36 25	階段の幅：(m) > 3.0m、高さ(m) > 1.0m 一般手すり 両側設置 ・有 ・無 中間手すり(幅 > 3m、ただし高さ1m以下の階段の部分には適用しない) ・設置 ・不要 [けあげ:(cm) ≤ 15cm、踏面:(cm) ≥ 30cm]
	階段に代わる傾斜路	36 26	勾配(/) ≤ 1/8 表面仕上材()
	廊下幅	35 117 119	その階の床面積の合計(m ²) ≥ 200m ² (地階の場合、100m ²) 両側居室(m) ≥ 1.6m、片側居室(m) ≥ 1.2m
	屋外階段	35 23 121の2	直通階段の幅(cm) ≥ 90cm、その他の階段(cm) ≥ 60cm 直通階段の構造() [木造以外]
	屋上広場・バルコニー等の手摺	35 117 126	高さ(m) ≥ 1.1m
防火区画・防火戸	面積区画	36 112-1 112-4 112-5	・耐火建築物 [別表の計算書による・すべて1,500m ² 以内] ・外壁耐火 [別表の計算書による・すべて500m ² 以内] ・不燃構造 [別表の計算書による・すべて1,000m ² 以内]
	壁穴区画	36 112-11	居室を有する階数(地上) ≥ 3、(地下) [吹抜き、階段、昇降機の昇降路、ダクトスペース、その他]
	防火区画に接する部分の構造等	36 112-16 112-17 112-19	90cm以内の壁面等の構造() [準耐火構造・H12建告第1358号] 50cm以上突き出した庇、床、袖壁等の構造() 防火戸面積(m ²) ≤ 3m ² ・常時閉鎖式 ・随時閉鎖式 [防火設備等の構造:S48建告第2563号] [遮煙性能を有する防火設備等の構造:S48建告第2564号] [特定防火設備の構造:H12建告第1369号]
	防火区画を貫通する配管の隙間等の処理	36 112-20	防火区画を貫通する配管と防火区画との隙間(使用材料:) 防火区画を貫通する配管の構造 ・貫通部分から1m以内の部分の構造() ・大臣認定(名称: 、認定番号:) [貫通する給水管、配電管その他の管の外径:H12建告第1422号]
	防火区画を貫通するダンパーの構造等	36 112-21	AM No. (図)による [防火設備の構造:S48建告第2565号] [風道に防火設備を設ける方法:H12建告第1376号]
	防火戸その他の防火設備	2-9の2 2-9の3 109 109の2	延焼のおそれのある部分 ・有 [建具表による] ○無
排煙	排煙設備の設置	35 126の2	・要 ・階数3以上で延べ床面積500m ² を超える (防煙壁による100m ² ごとの区画 ・有(室名:) ・無) ・排煙無窓居室 ・延べ床面積1,000m ² 超の建築物で床面積200m ² 超の居室(室名:) ○不要()

202304

工事名	R8年度 長泉第1浄水場倉庫建設工事
工事箇所	長泉町 納米里 地内
図面の種類	<資材倉庫・油庫> 法規チェックリスト(1)
縮尺	- D-12
測量年月日	- 設計年月日 令和8年
事務所名	長泉町上下水道課

建築基準法(令)				
審査項目	法令条項		チェック	判定
	法	令		
排煙設備の構造	35	126の3	各部分から排煙口までの水平距離() ≤ 30m ・ 手動開放装置の床面からの高さ 壁付1.5m ≥ () ≥ 0.8m ・ 手動開放装置のうち、手で操作する部分は、天井吊下げ() = 床面からおおむね1.8m ・ 防煙区画 () ≤ 床面積500㎡ 排煙口面積[別表計算書による] ・ 全て自然排煙 ・ 一部機械排煙 [S45建告第1829号]	-
非常照明の設置	35	126の4	・ 設置 ・ 階数が3以上で延べ面積500㎡を超える建築物の居室 ・ 延べ面積1,000㎡を超える建築物の居室及びこれらの居室から地上に通ずる廊下、階段、その他通路並びにこれらに類する建築物の部分で照明装置の設置を通常要する部分 ・ 採光無窓居室 ○ 不要 ()	適合
非常照明の構造	35	126の5	設置を要する部分() [S45建告第1830号] ・ (電灯の種類: Lx) ≥ 1Lx(蛍光灯、LED 2Lx) ・ 予備電源(30分間継続点灯)	-
非常用進入口の設置	35	126の6	階数() ・ 設置の階[≥ 3階] ・ 代用進入口の間隔(m ≤ 10m) ・ 非常用進入口の間隔(m ≤ 40m) ・ 不要	-
非常用進入口の構造	35	126の7	代用進入口の幅、高さ、大きさ、及び開閉方法 ・ (幅 cm ≥ 75cm、高さ m ≥ 1.2m、大きさ m ≥ 直径1.0mの円が内接) ・ 開閉方法(引違い・片開き・嵌殺し) ・ ガラスの種類・厚さ(mm) 非常用進入口の幅、高さ、及び下端の床面からの高さ [S45建告第1831号] ・ (幅: cm ≥ 75cm、高さ: m ≥ 1.2m、床面からの高さ: cm ≤ 80cm) ・ バルコニー(奥行き: m ≥ 1.0m、長さ: m ≥ 4.0m) ・ ガラスの種類・厚さ(mm)	-
敷地内通路	35	128	・ 該当する ・ 道又は公園、広場その他の区内に通ずる道の幅員(m ≥ 1.5m) ○ 該当しない	-
内装制限	35の2	128の4	・ 該当する ・ 自動車車庫 ・ 階数が3以上で、延べ面積500㎡を超える建築物 ・ 階数が2で延べ面積1,000㎡を超える建築物 ・ 階数が1で延べ面積3,000㎡を超える建築物 ・ 火を使用する調理室等 ○ 該当しない()	-
特殊建築物等の内装	35の2	128の5	・ 該当する[H12建告第1439号・H21国交告第225号] ・ 地上に通ずる主たる通路の壁及び天井の室内に面する部分の仕上げを準不燃材料 ・ 居室及び廊下・階段・その他の通路の壁及び天井の室内に面する部分の仕上げは準不燃材料 ○ 該当しない	-
その他	33	129の14	・ 設置 ・ 最高の高さ(m) > 20m ・ 指定数量の10倍以上の危険物の製造所・貯蔵庫 * 消防法(危険物の規制に関する政令、第9条第1項第十九号、第10条第1項第十四号) ○ 不要	-
石綿その他の物質の飛散、又は発散に対する衛生上の措置	28の2	20の4 ~ 20の8	化学物質を発散する建築材料を使用する居室[H14国交告第1112、1113、1114、1115、H15国交告第273、274] ・ 有 室名 () 換気方式 () ○ 無	-
特定天井及び特定天井の構造	20	39-3	・ 該当する[H25国交告第771号] ・ 居室、廊下その他の人が日常立ち入る場所に設けられている ・ 天井高さ(m) > 6mかつ、その水平投影面積() > 200㎡ ・ 天井面構成部材等の質量(kg/㎡) > 2kg/㎡ ・ 腐食、腐朽、その他の劣化の措置方法 室名() ○ 該当しない	-

消防法(令)				
審査項目	法令条項		チェック	判定
	法	令		
消火設備	17	10	延べ面積(233.04、3.20㎡) 地階・無窓階又は3階以上の階の床面積 室名(-) 面積(- ㎡) ○ 設置[延べ面積150㎡以上又は地階等の部分で床面積50㎡以上] ・ 不要	適合
屋内消火栓設備	17	11	延べ面積(233.04、3.20㎡) 構造(鉄骨造) 地階・無窓階・4階以上の階の床面積 室名(-) 面積(- ㎡) ・ 設置[耐火構造で延べ面積2,100㎡以上又は地階等の部分で床面積450㎡以上] (主要構造部を耐火構造とし、かつ、壁・天井の仕上げを難燃材料) ○ 不要	-
水噴霧消火設備等	17	13~18	発電機室・電気室・ボイラー室等の床面積 室名(-) 面積(- ㎡) ・ 設置[発電機室等の部分で床面積200㎡以上] ・ 緩和申請する(スプリンクラー設備を設置) ○ 不要	-
屋外消火栓設備	17	19	地上階の1階又は、1及び2階の部分の床面積の合計(236.24㎡)、耐火建築物等(その他)建築物相互の外壁間の中心線からの水平距離が1階にあつては3m以下、2階にあつては5m以下の部分を有するものは1の建築物とみなす ・ 設置[耐火建築物で床面積9,000㎡以上] ○ 不要	-
警報設備	17	21	延べ面積(233.04、3.20㎡) 地階・無窓階・3階以上の階の床面積 室名(-) 面積(- ㎡) ・ 設置[延べ面積500㎡以上又は地階等の部分で床面積300㎡以上] ○ 不要	-
非常警報設備	17	24	地階の階数(-) ・ 設置[地下の階数3以上] ○ 不要	-
避難設備	17	26	[避難口誘導灯・通路誘導灯] 地階 ・ 有 ○ 無 無窓階 ・ 有 ○ 無 ・ 設置 [誘導標識] ・ 設置 ○ 不要 [誘導灯の有効範囲内]	-
その他	17	27	敷地面積(3514.24㎡) 床面積(236.24㎡) 耐火建築物等() 建築物相互の外壁間の中心線からの水平距離が1階にあつては3m以下、2階にあつては5m以下である部分を有するもので、かつ、これらの建築物の床面積を耐火建築物(準耐火建築物、その他)にあつては15,000㎡(10,000㎡・5,000㎡)でそれぞれ除した商の和が1以上となるものは1の建築物とみなす ・ 設置[敷地面積が20,000㎡以上かつ、耐火建築物で床面積が15,000㎡以上] ○ 不要	-
連結散水設備	17	28の2	地階の床面積合計() ㎡ ・ 設置[地階の床面積の合計700㎡以上] ○ 不要	-
無窓階	規則5-2		避難上消火活動上有効な開口部 [別表の計算書による] ○ 各階共床面積の1/30以上有り ・ 床面積の1/30未満の階有り () 階	有窓階
緩和適用条項	32		・ 屋内消火栓設備 ・ 水噴霧消火栓設備等 ・ 屋外消火栓設備 ・ 消防用水 ・ 連結散水設備 ・ 自動火災警報装置	-
危険物	10		軽油・重油・潤滑油等の使用量及び保管場所	有
(危険物の規制に関する政令)			○ 少量危険物 ・ 一般取扱所 室名(油庫) ・ 貯蔵所 危険物の量(指定数量1/5以上、1未満) 構造及び仕上(ユニット少量危険物取扱所)	適合

202304

工事名	R8年度 長泉第1浄水場倉庫建設工事
工事箇所	長泉町 納米里 地内
図面の種類	<資材倉庫・油庫> 法規チェックリスト(2)
縮尺	- D-13
測量年月日	- 設計年月日 令和8年
事務所名	長泉町上下水道課

関係法令等

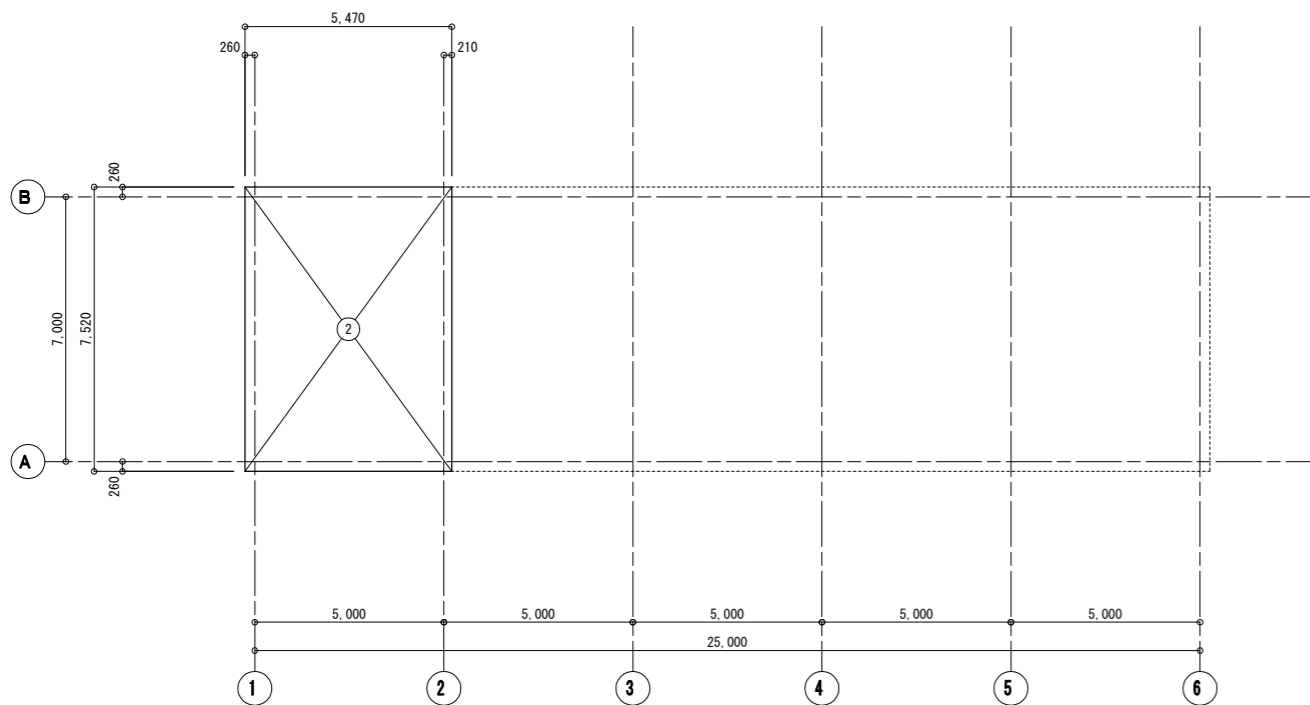
審査項目	法令条項		該当事項
	法	令	
建築物省エネ法	19 2-2	9、10	適合性判定 ○有 建築物全体の規模 床面積(233.04、3.20㎡) ・無 地方公共団体の条例 ・有() ・無
下水道法、都市計画法、建設リサイクル法、宅地造成等規制法、自然公園法、都市公園法、都市緑地法、景観法、バリアフリー法、騒音規制法、振動規制法、農地法、各種保全地域、関係条例、その他			

その他確認事項

項目	該当事項
防火対象物	資材倉庫:(14)項 倉庫、油庫:(15)項 その他
管廊・別棟との接続	
ボンベハウス等の構造	
条例等による制限の附加の有無	

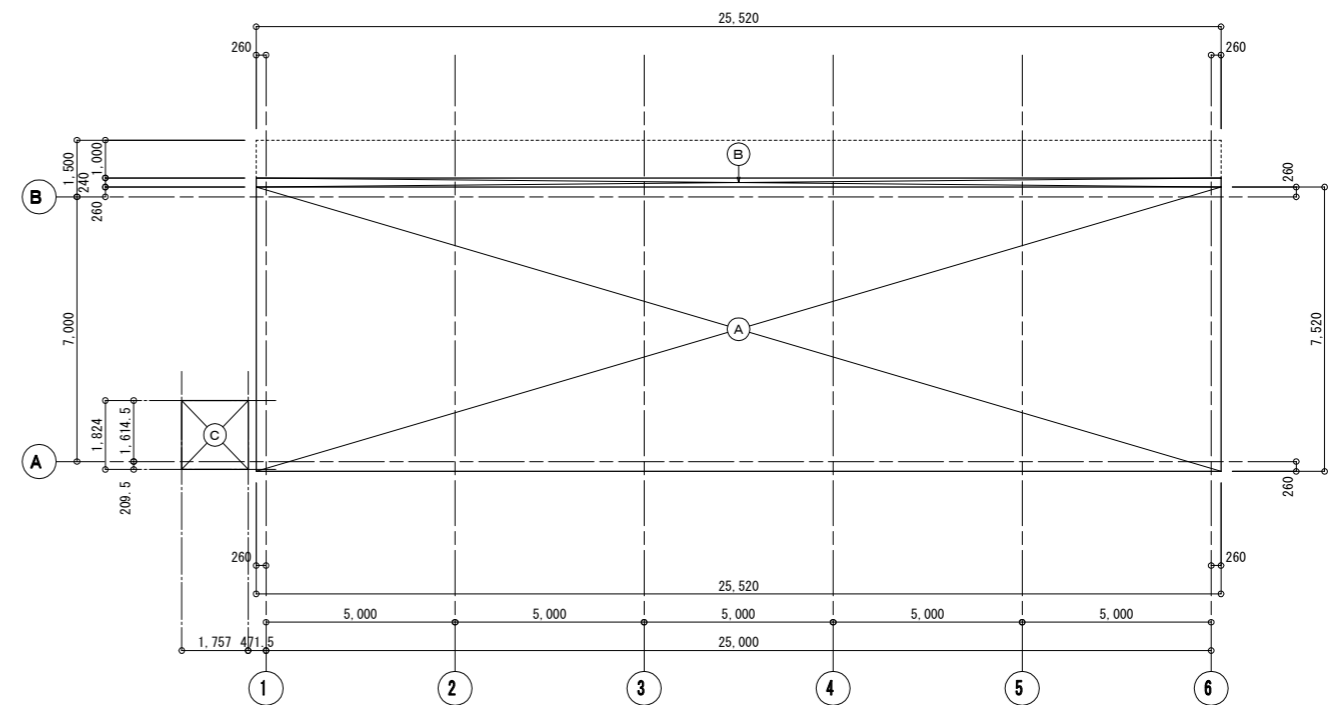
202304

工事名	R8年度 長泉第1浄水場倉庫建設工事
工事箇所	長泉町 納米里 地内
図面の種類	<資材倉庫・油庫> 法規チェックリスト (3)
縮尺	- D-14
測量年月日	- 設計年月日 令和8年
事務所名	長泉町上下水道課



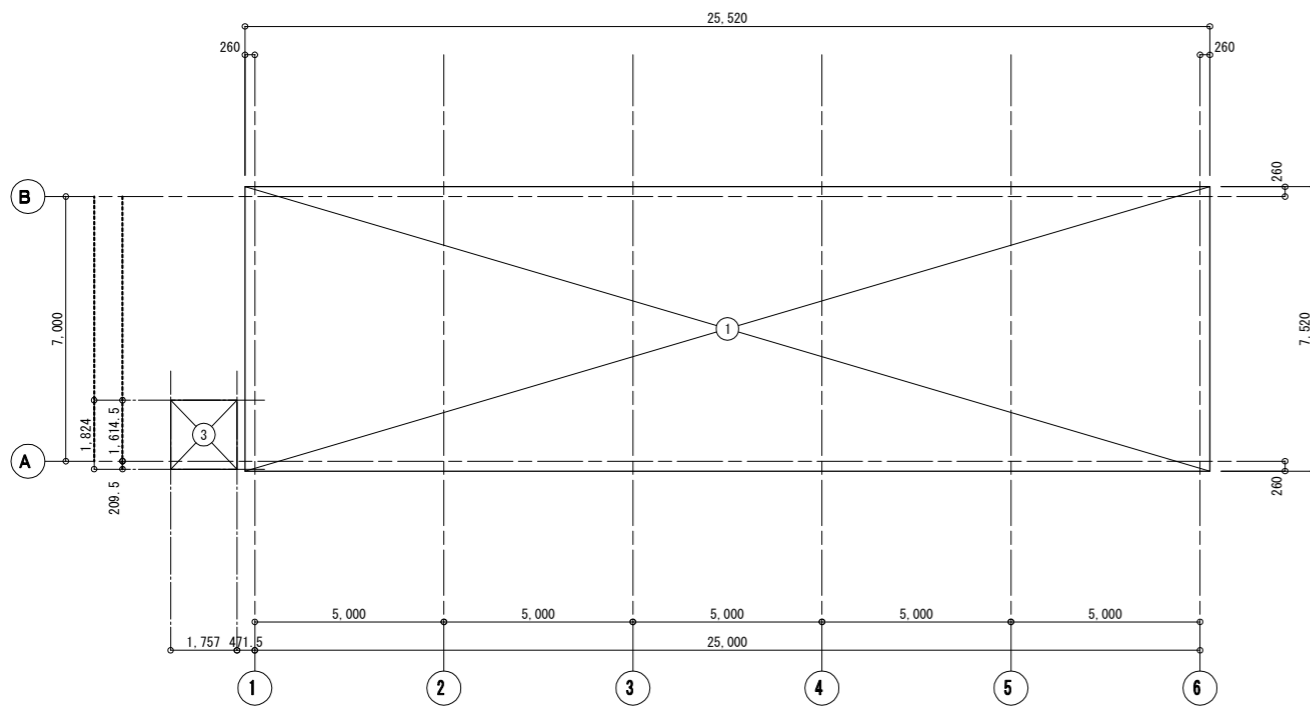
2階床面積求積図 S=1/100

② 5.470 x 7.520 = 41.134400 → 41.13



建築面積求積図 S=1/100

① 25.520 x 7.520 = 191.910400
 ② 25.520 x 0.240 = 6.124800
 ③ 1.757 x 1.824 = 3.204768
 201.239968 → 201.23



1階床面積求積図 S=1/100

① 25.520 x 7.520 = 191.910400 → 191.91
 ③ 1.757 x 1.824 = 3.204768 → 3.20

有窓階・無窓階判定表

建具記号	SD-1	AW-1	AW-3
消防用有効開口部	F1 1.200x2.000=2.400	F2 0.900x1.200=1.080	F3 0.700x1.300=0.910

消防無窓階の検討				
階	必要面積 (㎡)	<	計画面積 (㎡)	判定
2階	41.13 / 30 = 1.37	<	F2 x 2 = 2.16	有窓階
1階	195.11 / 30 = 6.50	<	F1 + F2 x 3 + F3 = 6.55	有窓階

面積表

資材倉庫		計 (㎡)
建築面積	① + ②	198.03
1階床面積	①	191.91
2階床面積	②	41.13
延床面積		233.04

油庫		計 (㎡)
建築面積	③	3.20
床面積	③	3.20

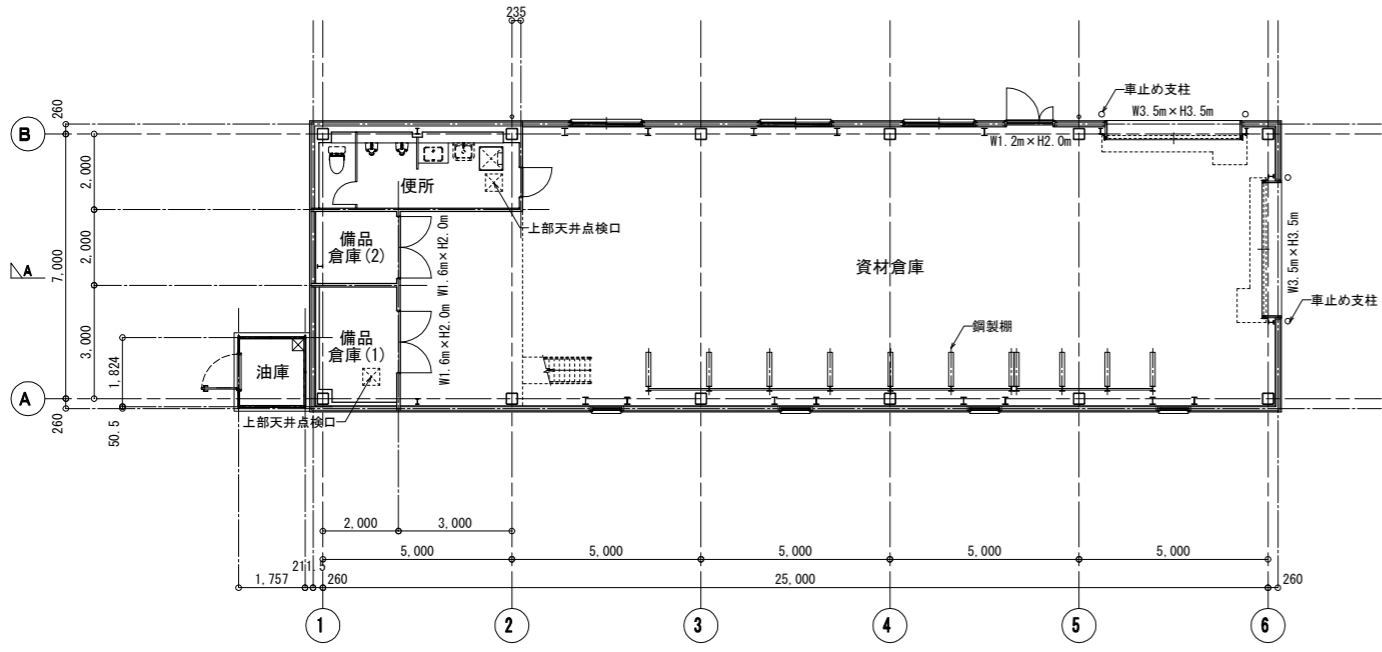
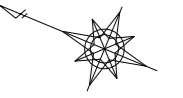
工事名	R8年度 長泉第1浄水場倉庫建設工事
工事箇所	長泉町 納米里 地内
図面の種類	<資材倉庫・油庫> 求積図、面積表
縮尺	1/100
	D-17
測量年月日	設計年月日 令和8年
事務所名	長泉町上下水道課

資材倉庫仕上表						
共通事項	略号	外部付属物及び詳細番号	内部付属物及び詳細番号			
1. 外部仕上表及び内、外部付属物の適用分類、詳細番号は、○印のついたものを適用する。 2. 仕上表に記載の詳細番号のうち、(例) 1-02-3は建築工事標準詳細図(令和4年版)(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修)を示す。 3. 特記以外の木、鉄部の塗装はSOPとする。但し、和室回りは除く。 4. 付属物のうち、室名札、床点検口、掲示板、案内板、ピクトグラフ、階段表示板等は、平面図による。 5. 付属物のうち、カーテンボックス、ブラインドボックス、ブラインド、天井点検口等は天井伏図による。 6. P F板、木毛板等打込み箇所は、別図による。 7. 内壁の見え掛りとなるP F板打込み部分は、G B厚12.5直張り(継目処理工法)とし、塗装は、その部屋の壁面と同様とする。 8. 壁のボード張りは水平方向には原則として継手は設けない。 9. 天井上ボード張りのうち、G B-N C (N T) 及びD R (下地G B共)は突付け張りとし、天井回り縁は、アルミ製、天井付き目地とする。 10. 直接地業工事に接する内部床のコンクリート下地には、防湿層としてポリエチレンフィルム厚0.15の敷込みを行う。ただし、床仕上げがビニル床タイル、ビニル床シート及び合成樹脂塗床、床用塗料の場合とする。 11. 打放し仕上げの出隅部分は、面取りを行う。	C コンクリート下地 C B コンクリートブロック下地 W 木造下地 S 軽量鉄骨下地 G B-R せつこうボード G B-N C (N) 不燃積層せつこうボード(化粧無し:下地張り用) G B-N C (N T) 不燃積層せつこうボード(化粧有り:トラバーチン模様) G B-D (W) 木目化粧せつこうボード G B-S シージングせつこうボード G B-F 強化せつこうボード ケイカル板 D R ロックウール化粧吸音板 トラバーチン模様 D R (凹凸) ロックウール化粧吸音板 凹凸模様 D R (軒天) ロックウール化粧吸音板 軒天井用:トラバーチン模様 D R (軒天凹凸) ロックウール化粧吸音板 軒天井用:凹凸模様 P F板 押出法ポリスチレンフォーム保温材 木毛板 木質系セメント板 T B テラゾーブロック 外装薄塗材 (E) 外装合成樹脂エマルジョン系薄付け仕上塗材 内装薄塗材 (S i) 内装けい酸質系薄付け仕上塗材 内装薄塗材 (E) 内装合成樹脂エマルジョン系薄付け仕上塗材 C (B) コンクリート下地(打放シB) C (C) コンクリート下地(打放シC) M モルタル 軽量吹付 軽量骨材仕上塗材	複層塗材 (E) 合成樹脂エマルジョン系複層仕上塗材 複層塗材 (C E) ポリマーセメント系複層仕上塗材 複層塗材 (R E) 反応硬化形合成樹脂エマルジョン系複層仕上塗材 複層塗材 (S i) けい酸質系複層仕上塗材 C L クリアラッカー塗り F E フタル酸樹脂エナメル塗り A E アクリル樹脂エナメル塗り D P (U E) 2液形ポリウレタンエナメル塗り D P (A S E) アクリルシリコン樹脂エナメル塗り D P (F U E) 常温乾燥形ふっ素樹脂エナメル塗り E P-G つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り E P 合成樹脂エマルジョンペイント塗り E P-M 多彩模様塗料塗り E P-T 合成樹脂エマルジョン模様塗料塗り U C ウレタン樹脂ニス塗り O S オイルステイン塗り S O P 合成樹脂調合ペイント塗り G P グラフアイトペイント塗り A C アクリル樹脂ニス塗り(アクリル樹脂クリヤ塗り) N A D アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り L E ラッカーエナメル塗り W P 木材保護塗料塗り	・屋上点検口 ・5-21-1 ・図 示 ・屋上管類貫通部 ・5-22-1 ・図 示 ・クーリングタワー基礎 ・5-22-2 ・5-22-3 ・テレビアンテナ基礎 ・屋上換気塔 ・5-21-2 ・図 示 ・煙 突 ・図 示 ・タラップ ・8-31-2 ・安全ガード付 8-31-3 ・図 示 ○い ・ルーフトレン ・5-32-1 ・5-33-1 ・図 示 ・トブライト ・E X P . J 金物 ・図 示 ・笠木兼用避雷導体 ・手すり ・アルミ ・ステンレス(図示) ・スチール(図示) ・図 示 ・図 示 ・旗 竿 ・くつきマット ・8-21-2	・くつき洗い流し ・8-22-1 ・8-22-2 ・図 示 ・グレーチング ・電気用ハンドホール蓋 ・図 示 ・文字板 ・戸名板 ・郵便受 ・目地 ・丸環 ・図 示	・流し台 ・6-11-1 ・図 示 ・フード ・6-11-2 ・図 示 ・コンロ台 ・6-11-1 ・図 示 ・流し上部水切り ・6-11-3 ・吊戸棚 ・6-11-5 ・図 示 ・水切棚 ・6-11-5 ・図 示 ・脱衣箱 ・6-32-1 ○天井点検口 ○床点検口 ○既製品 ○便所へだて ・車いす使用者用 ・簡易便房 ・オストメイト用便房 ・6-24-1・2・3・4 ・車いす使用者用便房 ・6-26-2 ・多機能便所 ・6-26-2-2D ・便所手すり ・6-28-4 ・トラフ ・1-21-2 ・くつきマット ・8-21-2 ○タラップ ○図 示 ・8-31-2 ・安全ガード付 8-31-3 ・図 示 ・図 示 ・浴室まわり ・6-31-	・カーテンボックス ・鋼 製 ・3-31-1, 2 ブラインドボックス ・3-32-5・6・7 ・アルミ製 ・3-31-3 ・図 示 ・屋内掲示板 ○手すり ・アルミ ○図 示 ・階段手すり ・アルミ ・図 示 ・屋上取合い 点検口 ・5-21-1 ・図 示 ・図 示 ・吸音壁 ・断熱材打込み ・7-01-1 ・7-01-2 ・押 入 ・6-46-1 ・ホイストレール ・6-26-2-2D ○レンガダー ○出入口 ○図 示 ・図 示 ・マンホール蓋 ・図 示 ○室名札 ○B-43-1 ・ピクトグラフ ・8-44-1 ・庁舎案内板 ・8-42-1・2 ・各階案内板 ・図 示 ・下足箱 ・図 示

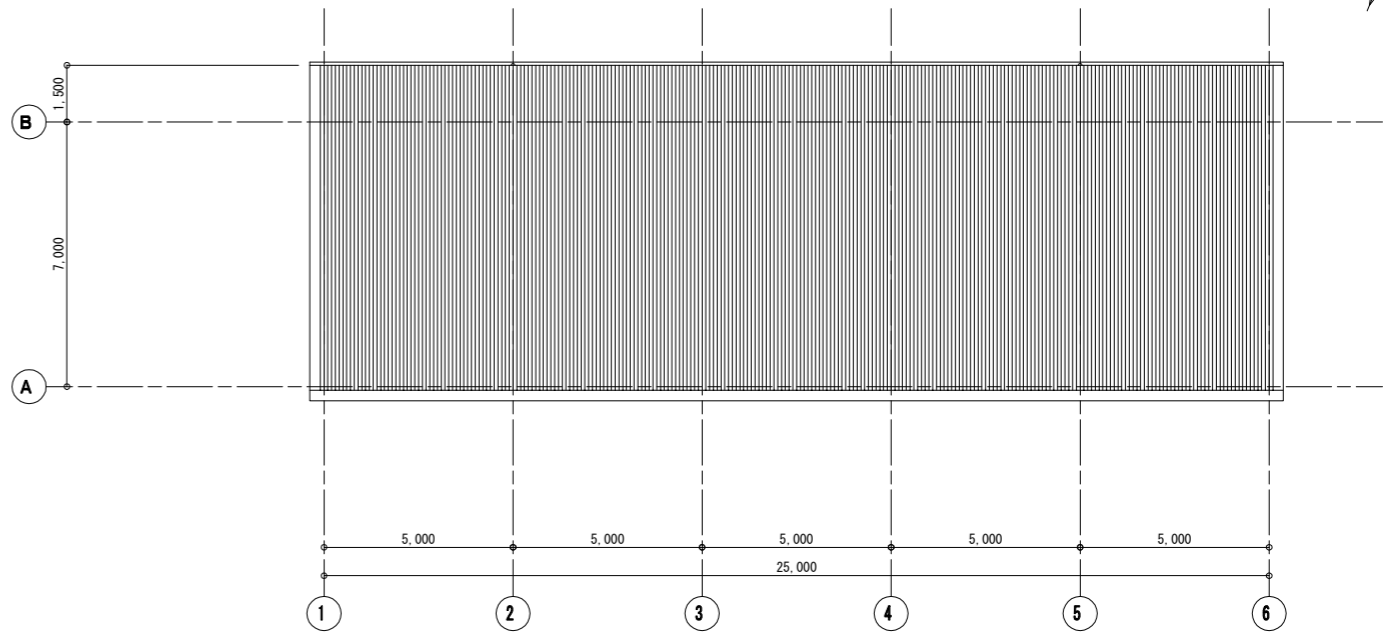
外部仕上表									
床	腰	外 壁	屋 根	庇	備 考				
・床コンクリート直均し仕上	○コンクリート打放し(B)(増打 t=20) 複層塗材 (R E) H=GL+1150	○外壁: カラーガルバリウム鋼板 t=0.5 H=38 断熱材 (ベフト=4mm裏張り)	○折板 H=85: カラーガルバリウム鋼板 t=0.6	○アルミ庇(既製品)					

内部仕上表																								
階	室 名	床			幅 木				腰 壁				壁				天 井				備 考			
		下 地	仕 上	詳細番号	下 地	仕 上	高さ	詳細番号	下 地	仕 上	高さ	詳細番号	下 地	仕 上	詳細番号	柱型仕上	詳細番号	下 地	仕 上	高さ		詳細番号	梁型仕上	詳細番号
1階	資材倉庫	C	床C直均し	1-01-3					C	C打放し仕上(B)	1000	2-02-7	S	カラーガルバリウム鋼板 現し		SOP		S	折板フッ素樹脂鋼板 現し	直天		SOP		ホイストレール(20kN) 可動式安全タラップ
	備品倉庫(1)	C	床C直均し	1-01-3									S	G B-R E P-G	2-03-2	壁に同じ	2-03-11	S	G B-N C (N T)	2700	3-01-2			天井点検口
	備品倉庫(2)	C	床C直均し	1-01-3					C	C打放し仕上(B)	1000	2-02-7	S	カラーガルバリウム鋼板 現し		SOP		S	折板フッ素樹脂鋼板 現し	直天		SOP		
	便所	C	床C直均し(増打t=30) ビニル床シート	1-01-4	S	G B-S ビニル床シート 立ち上げ幅木	75	2-11-2	S	G B-S+ケイカル板 E P-G	2-03-11	壁に同じ	2-03-11	S	G B-N C (N) D R	2500	3-01-4							洗面カウンター ライニング トイレブース 天井点検口 床点検口 足掛金物 洗面台
2階	資材倉庫	C	床C直均し	1-01-3									S	カラーガルバリウム鋼板 現し		SOP		S	折板フッ素樹脂鋼板 現し	直天		SOP		

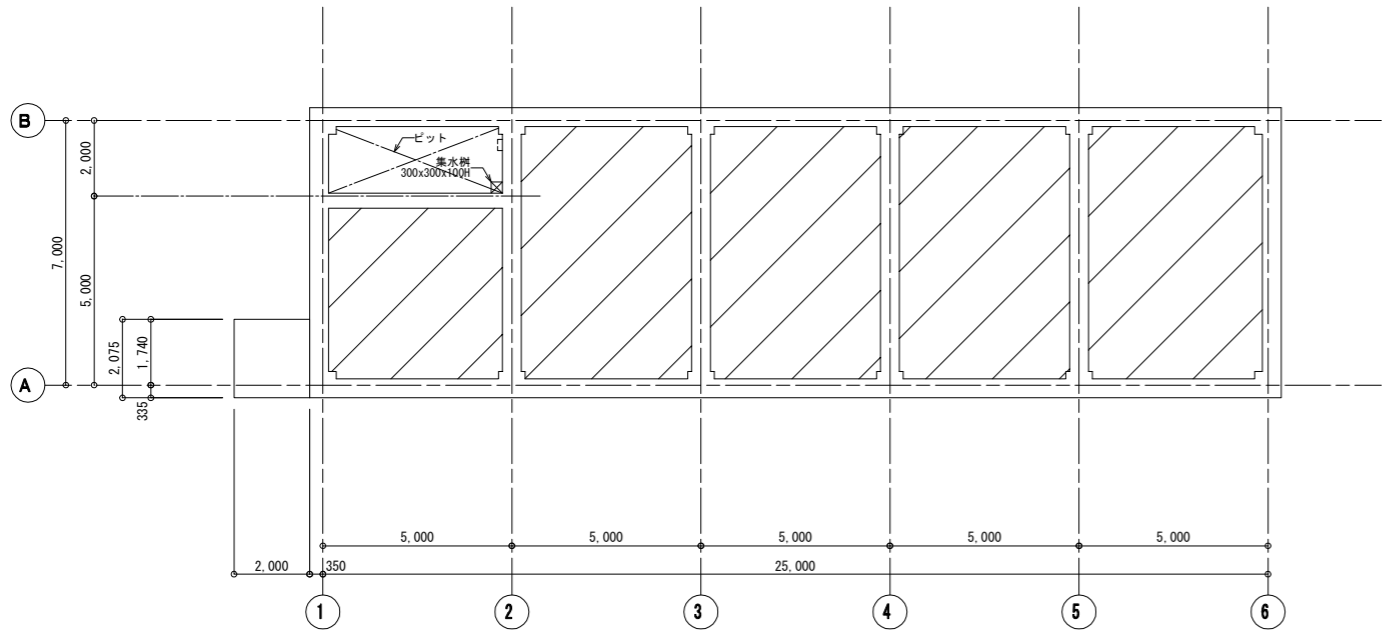
特記なき限り										工 事 名	R8年度 長泉第1浄水場倉庫建設工事			
										工事箇所	長泉町 納米里 地内			
										図面の種類	<資材倉庫> 仕上表			
										縮尺	-	D-16		
										測量年月日	-	設計年月日 令和8年		
										事務所名	長泉町上下水道課			
仕上材の厚さ	材 料 名	種別	壁(m/m)	天井(m/m)	備 考	材 料 名	種別	壁(m/m)	天井(m/m)	備 考	工 事 区 分 略 号	< > (C) :	土木工事	※特記事項 ・使用する建築材料・接着剤・塗料等はF☆☆☆☆または規制対象外の建材をすべて使用する。
	G B-R	仕上	12.5	12.5	NM-8619	けい酸カルシウム板(タイプ2)		6	10	NM-8578		< > (AM) :	建築機械設備工事	
		下地	12.5			押出法ポリスチレンフォーム保温材		2.5	2.5			< > (AE) :	建築電気設備工事	
	G B-N C (N)	下地	9.5		NM-8613 又は同等品	壁 紙 (ビニルクロス)		-	-	QM-0572		< > (PM) :	プラント機械設備工事	
			9.5			グラスウール吸音材		2.5	2.5	NM-8606 又は同等品		< > (PE) :	プラント電気設備工事	
	G B-D (W)			12.5	NM-8614	フレキシブルボード		6	6	NM-2694				
	DR			12	NM-8599	不燃炭酸カルシウム発泡材		2.5		NM-9426				
					硬質ウレタンフォーム現場発泡発泡		2.5							



1階平面図 S=1/100

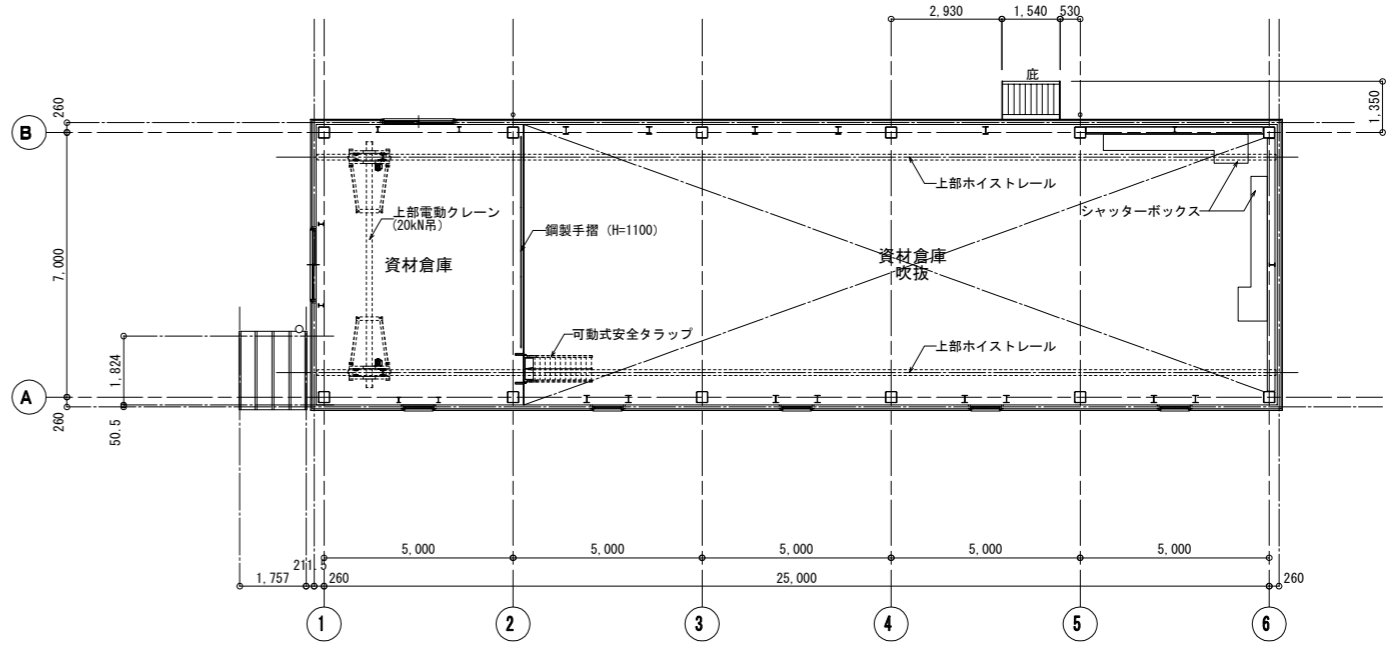


屋根伏図 S=1/100



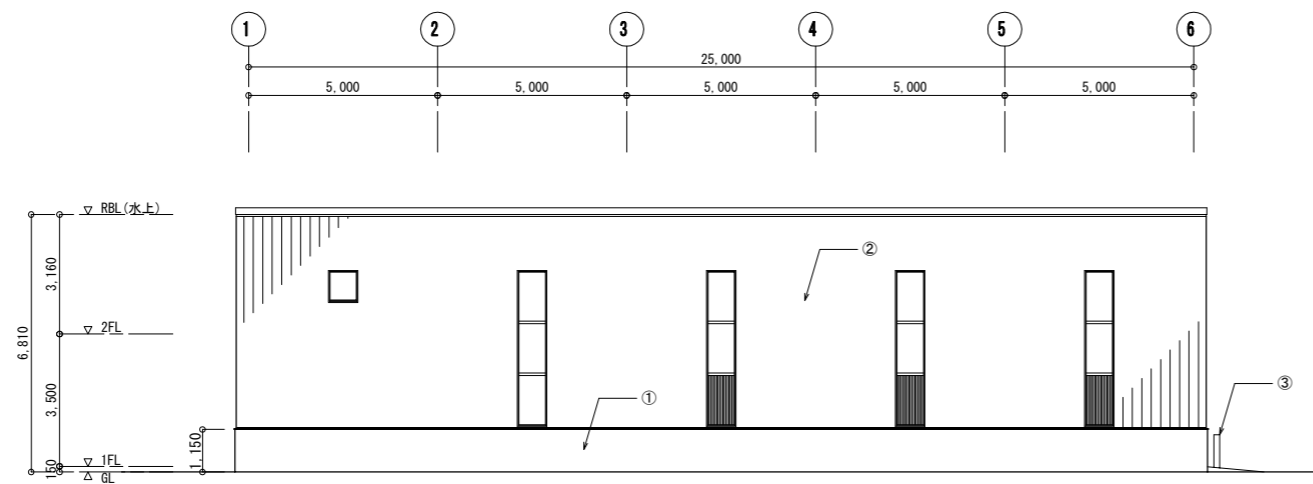
ピット平面図 S=1/100

：土埋戻し範囲を示す。

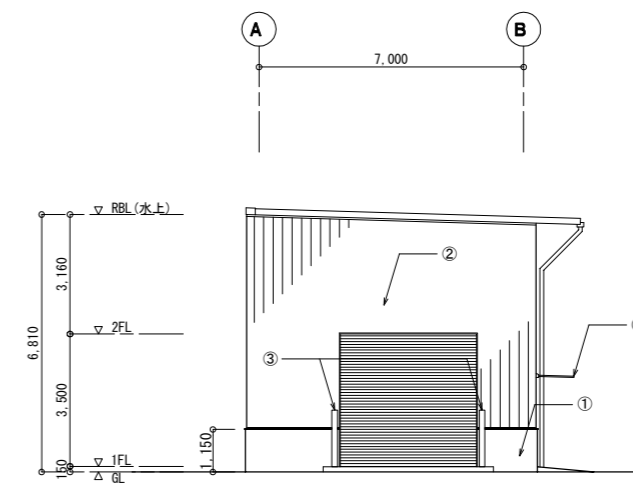


2階平面図 S=1/100

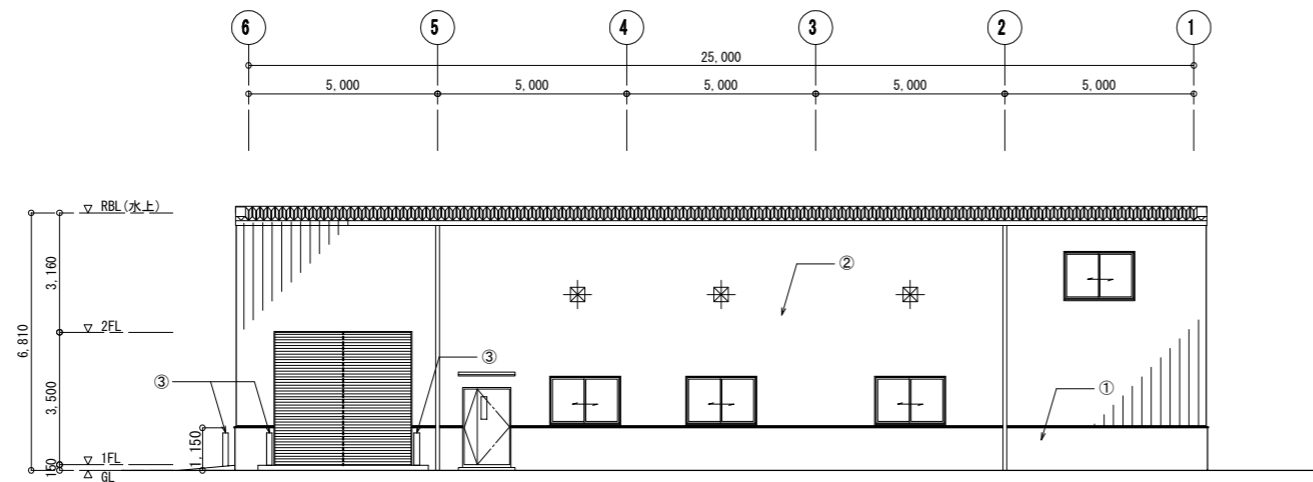
工事名	R8年度 長泉第1浄水場倉庫建設工事
工事箇所	長泉町 納米里 地内
図面の種類	<資材倉庫> 平面図, 屋根伏図
縮尺	1/100 D-17
測量年月日	- 設計年月日 令和8年
事務所名	長泉町上下水道課



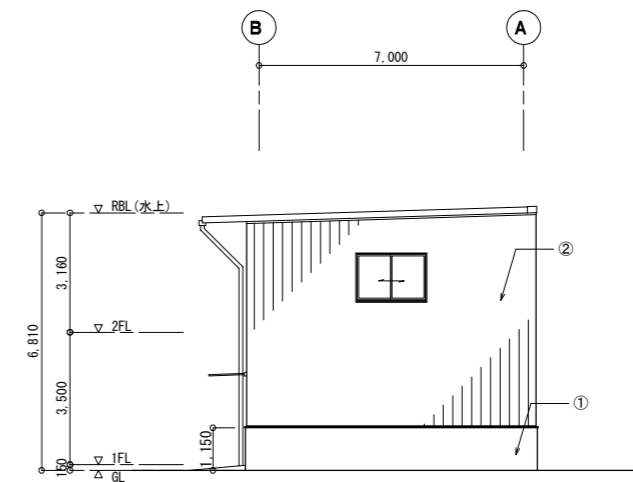
西側立面図 S=1/100



南側立面図 S=1/100



東側立面図 S=1/100

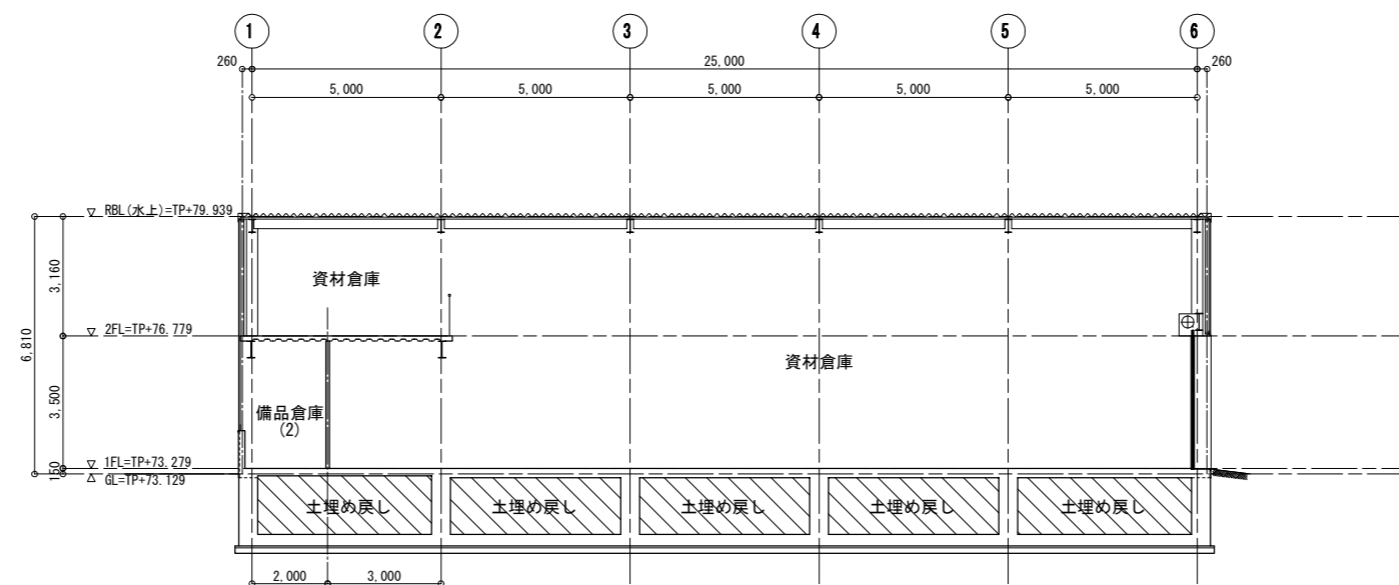


北側立面図 S=1/100

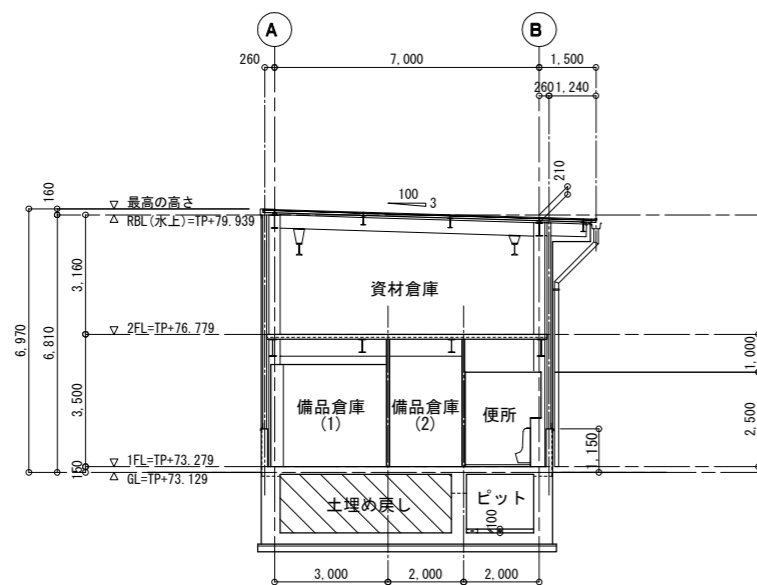
凡例	
外部仕上げ	① 腰壁：コンクリート打放し
	② カラーガルバリウム鋼板 t=0.5 H=38
	③ 雨どい：硬質ポリ塩化ビニル管
	④ 車止め支柱（固定式）：スチール製 H=850
	⑤ アルミ庇（既製品）

※外壁カラーガルバリウム鋼板は三晃金属工業（SK38）同等品とする。

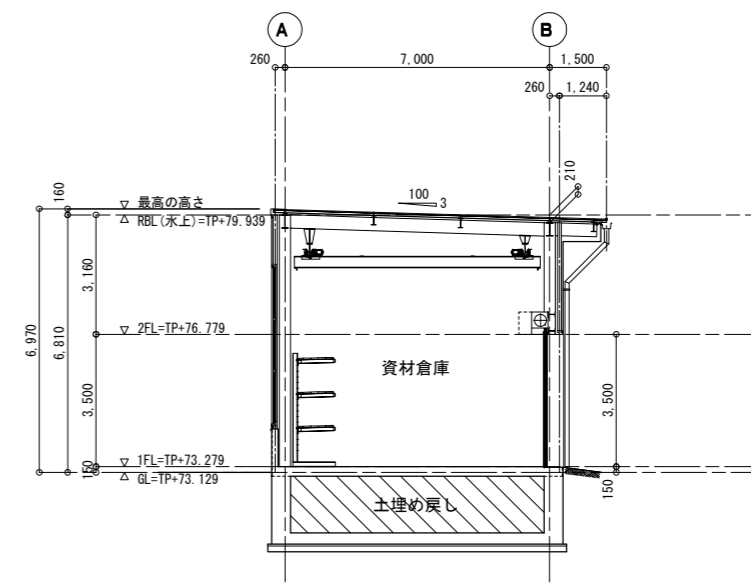
工事名	R8年度 長泉第1浄水場倉庫建設工事
工事箇所	長泉町 納米里 地内
図面の種類	<資材倉庫> 立面図
縮尺	1/100
測量年月日	-
設計年月日	令和8年
事務所名	長泉町上下水道課



A-A 断面図 S=1/100

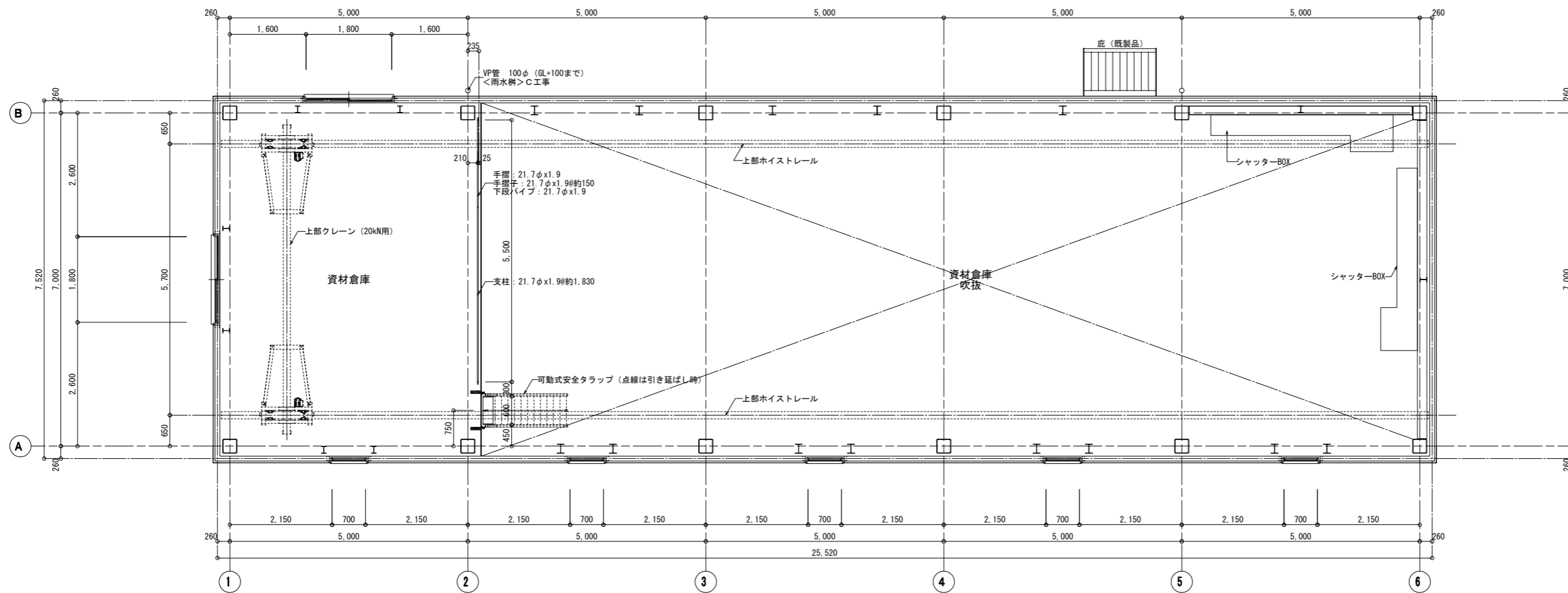


B-B 断面図 S=1/100

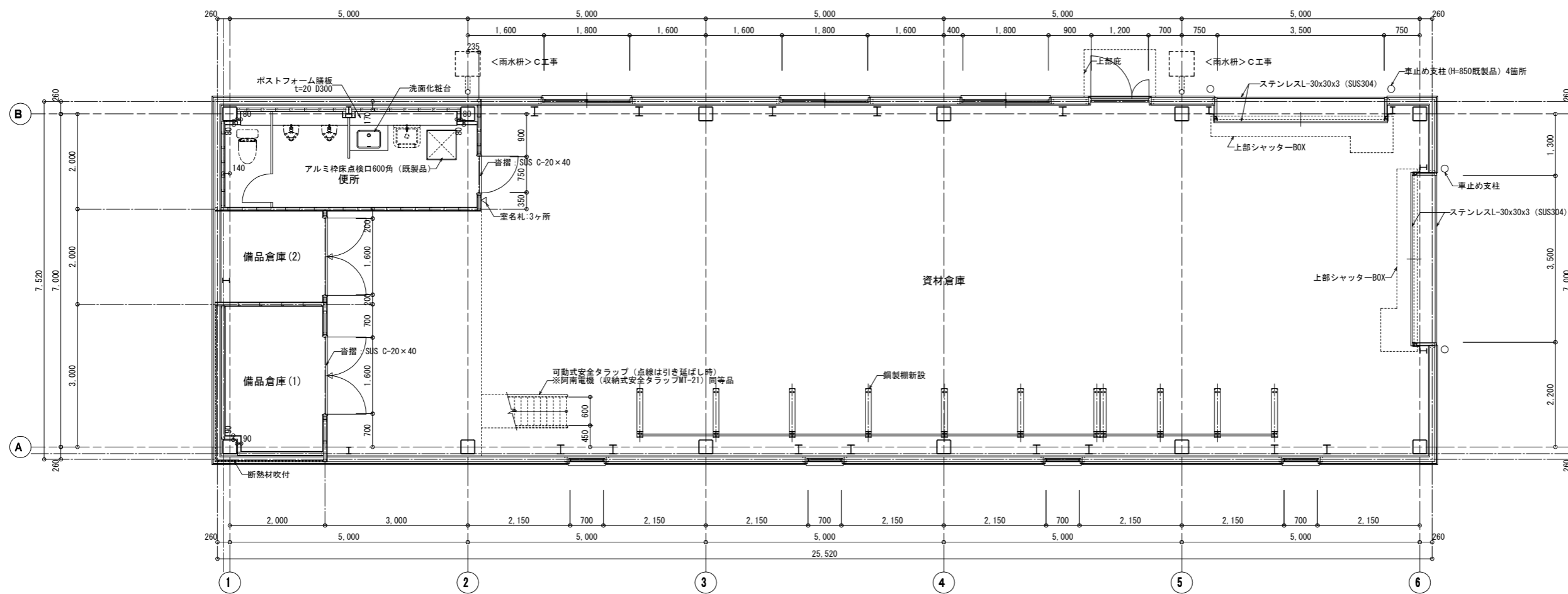


C-C 断面図 S=1/100

工事名	R8年度 長泉第1浄水場倉庫建設工事
工事箇所	長泉町 納米里 地内
図面の種類	<資材倉庫> 断面図
縮尺	1/100
測量年月日	-
設計年月日	令和8年
事務所名	長泉町上下水道課



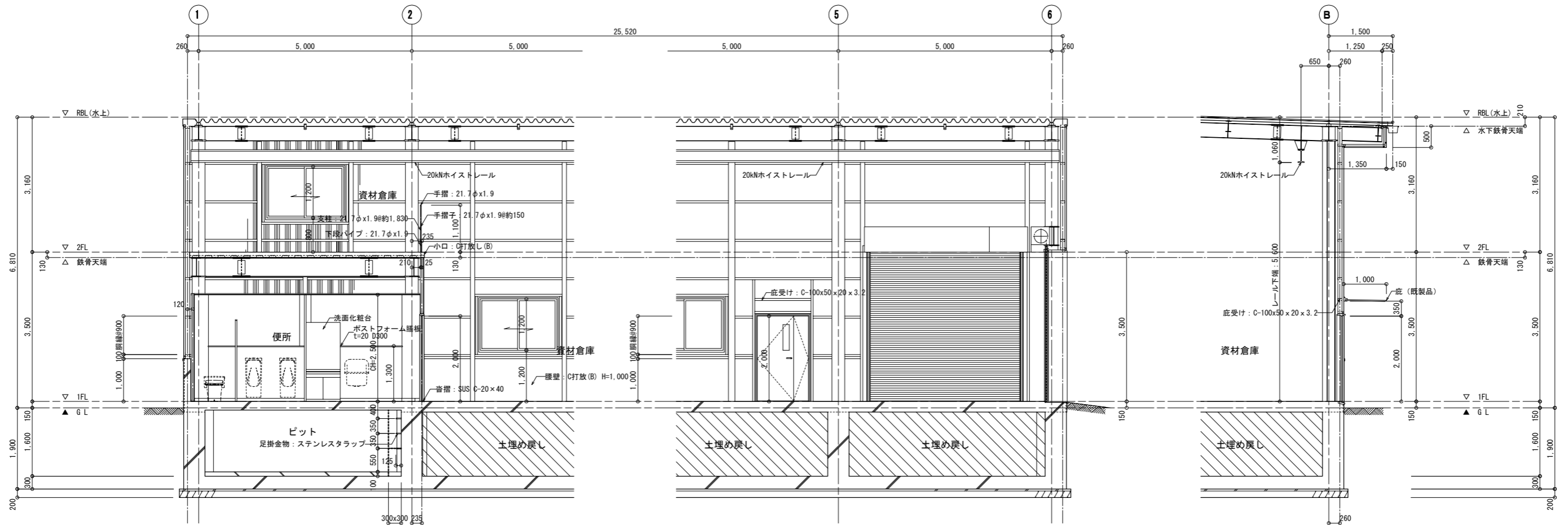
2階平面詳細図 S=1/50



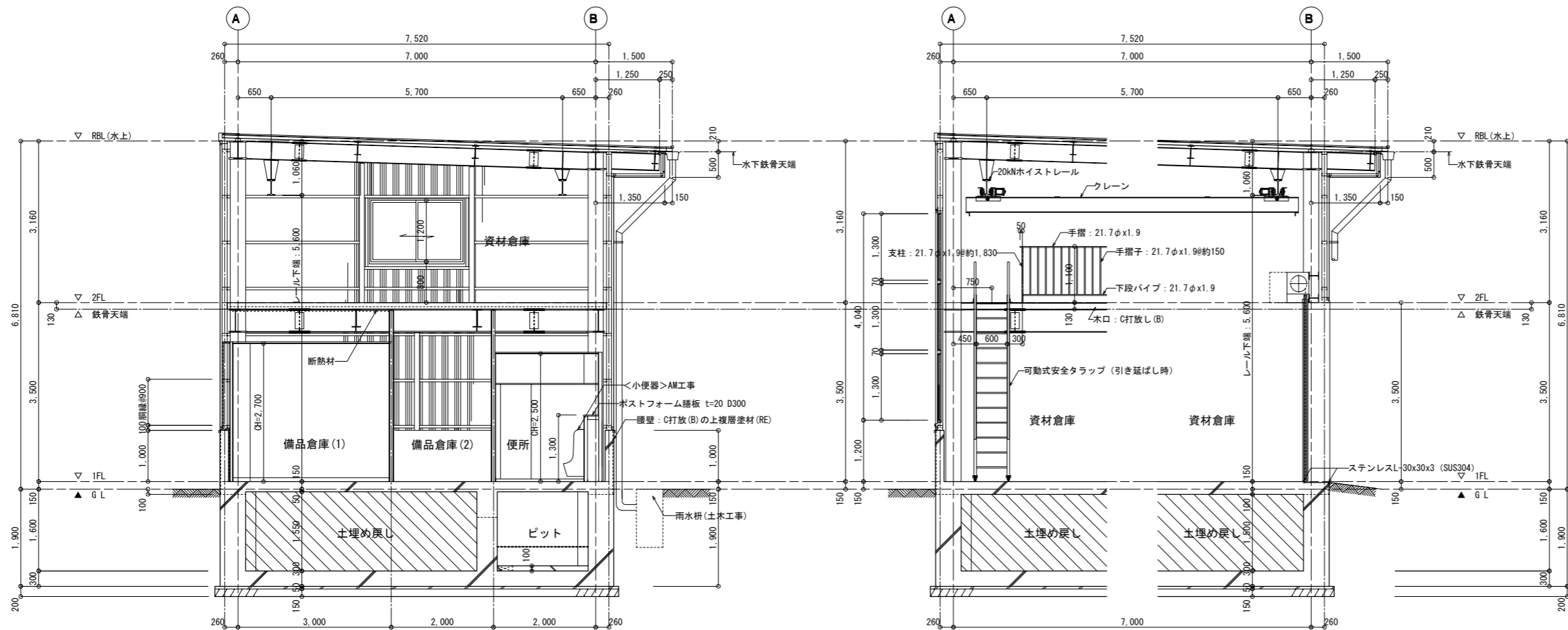
1階平面詳細図 S=1/50

- 特記事項
 1. 特記なき限り、内部鉄部塗装はSOP塗とする。
 2. クレーンは、株式会社キトー 2tローヘッドクレーン同等品とする。
 3. 鋼製梯は、株式会社ゴーリキ ビッカー-500 (片側) 同等品とする。

工事名	R8年度 長泉第1浄水場倉庫建設工事
工事箇所	長泉町 納米里 地内
図面の種類	<資材倉庫> 平面詳細図
縮尺	1/50
測量年月日	設計年月日 令和8年
事務所名	長泉町上下水道課



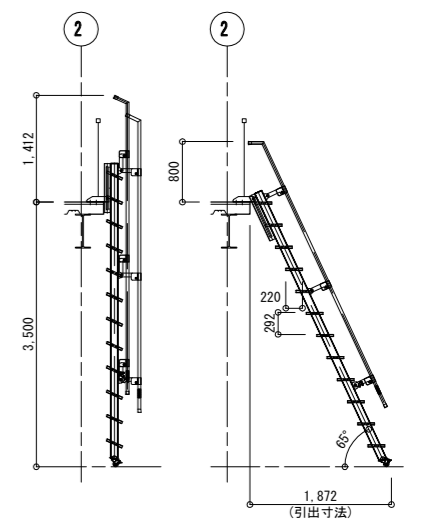
断面詳細図 S=1/50



①~②間断面詳細図 S=1/50

特記事項
 1. 特記なき限り、内部鉄部塗装はSOP塗とする。
 2. クレーンは、株式会社キティー2tローヘッドクレーン同等品とする。
 3. 施工者は走行クレーンと20kNホイストレールの取合いを調整し施工すること。

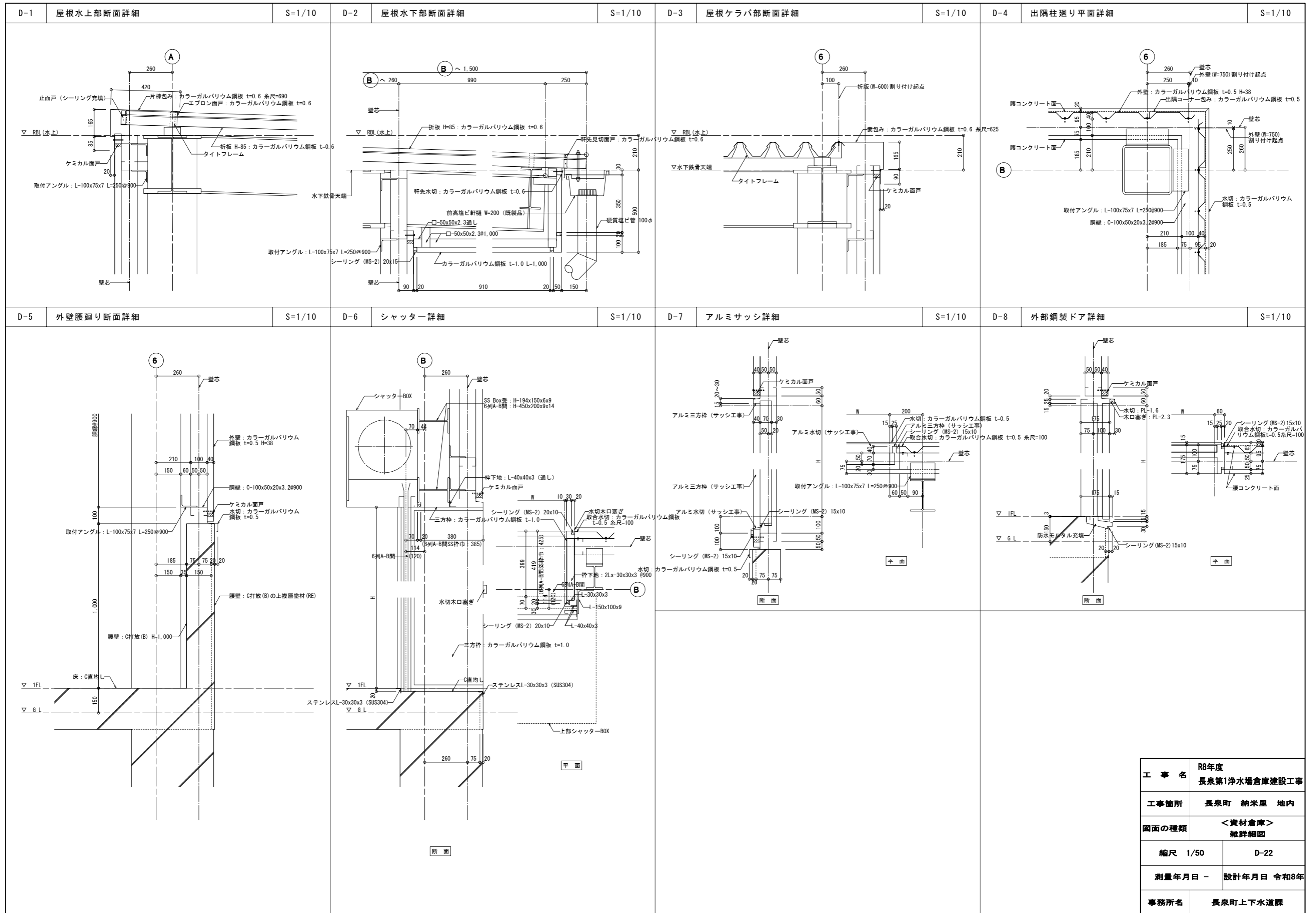
⑤~⑥間断面詳細図 S=1/50



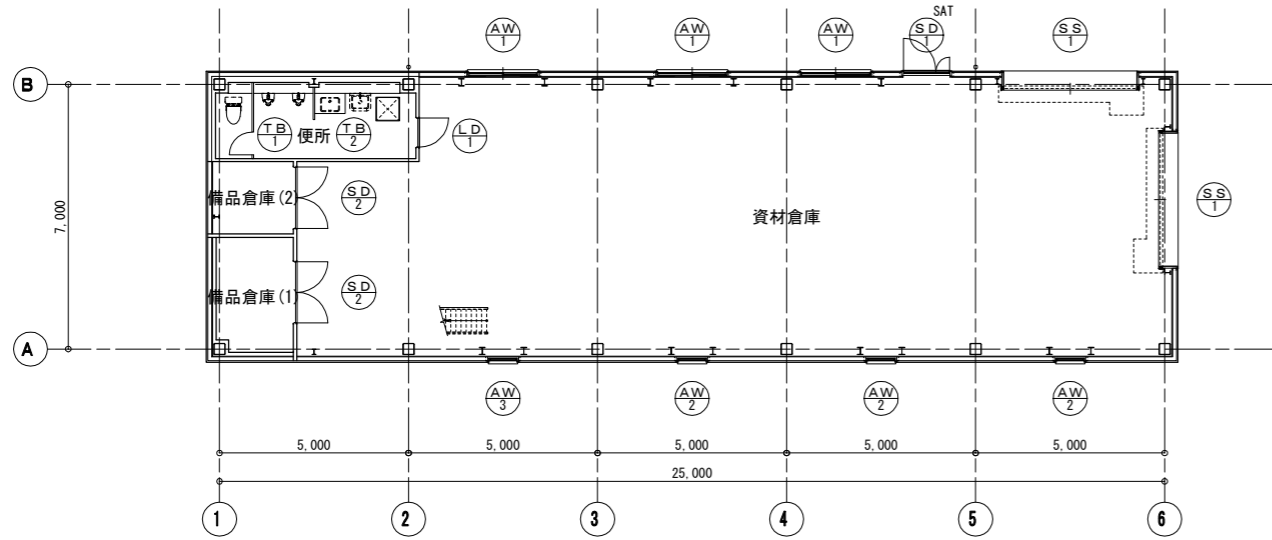
可動式安全タラップ詳細 S=1/50

※阿南電機（収納式安全タラップMT-21）同等品

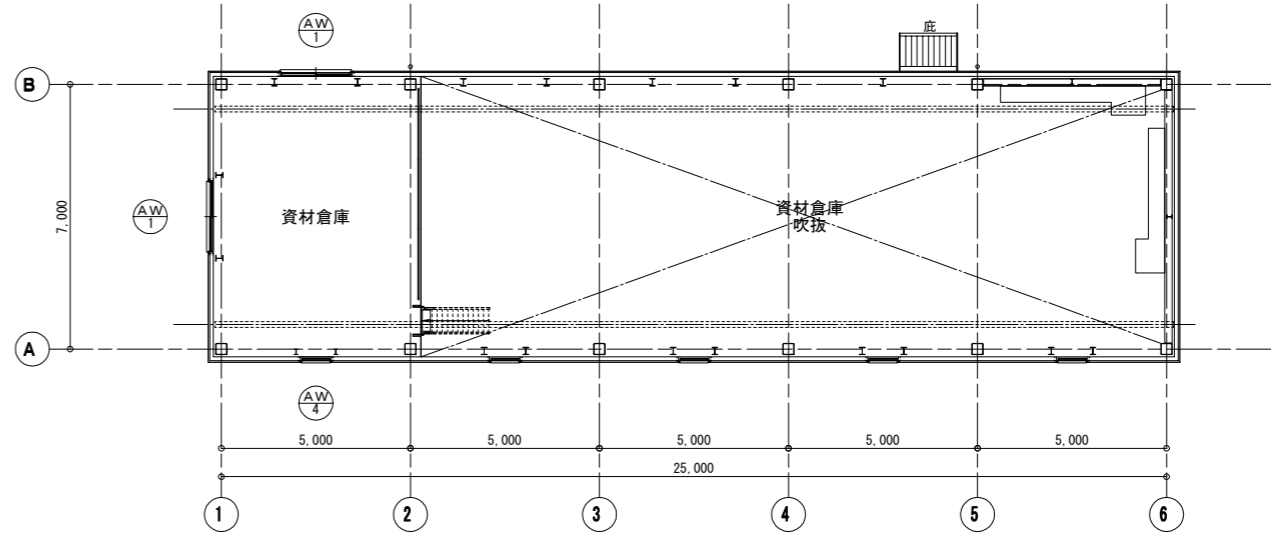
工事名	R8年度 長泉第1浄水場倉庫建設工事
工事箇所	長泉町 納米里 地内
図面の種類	<資材倉庫> 断面詳細図
縮尺	1/50
測量年月日	設計年月日 令和8年
事務所名	長泉町上下水道課



工事名	R8年度 長泉第1浄水場倉庫建設工事
工事箇所	長泉町 納米里 地内
図面の種類	<資材倉庫> 雑詳細図
縮尺	1/50
測量年月日	設計年月日 令和8年
事務所名	長泉町上下水道課

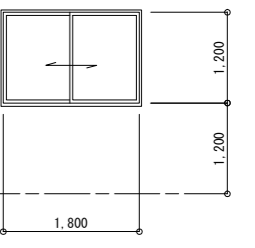
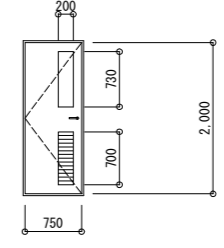
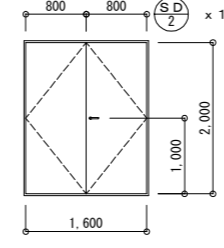
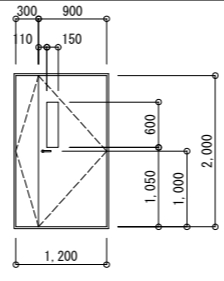
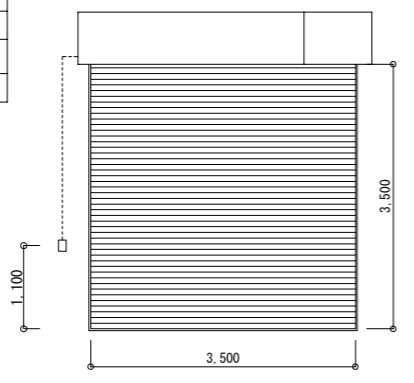


1階建具平面図 S=1/100

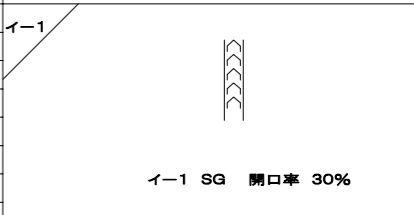
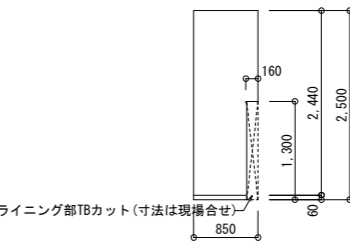
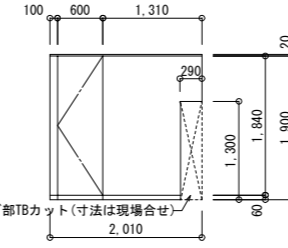
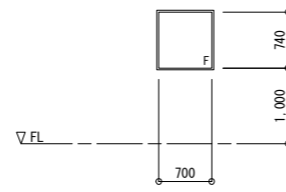
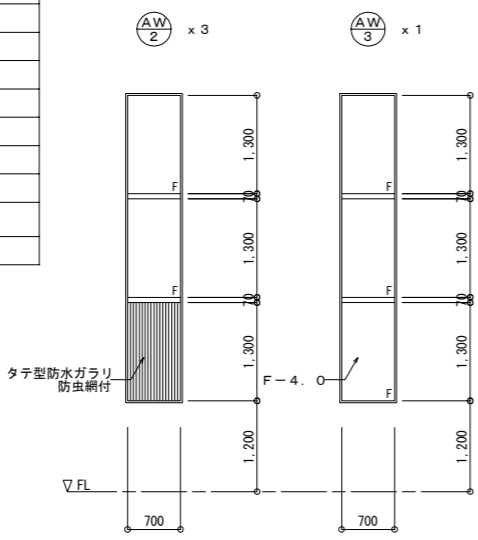


2階建具平面図 S=1/100

符号・名称・個数	(SS1) 鋼製電動シャッター	2	(SD1) 簡易気密鋼製親子開き戸 (SAT)	1	(SD2) 鋼製両開き戸	2	(LD1) 鋼製軽量片開き戸	1	(AW1) アルミ製引違い窓	5
場所	1F 資材倉庫		1F 資材倉庫		1F 備品倉庫(1)(2)		1F 便所		1~2F 資材倉庫	
仕上(枠共)	DP(1級)		DP(1級)		SOP		SOP		BB-1	
建具	見込 (ランマ)	スラットt=1.6	40	40	40	36	F-4.0	F-4.0	N-6.8	
	硝子 (ランマ)									
	ガラリ									
建具枠	見込取合 番摺									
枠記号	番摺(水切)記号									
建具金物	ガイドレール 座板 マグサ(ステンレス製) 附属金物一式		本締め付モノロック(内部サムターン)、普通丁番、フランス落とし		シリンドラ錠(内部サムターン)、普通丁番、フランス落とし		空錠(内部サムターン)、普通丁番		付属金物一式、外部アルミ三方枠(40x25)、アルミ水切り(D=55)	
その他	三相 200V 1.5kW 1600N/m ² 、三倍速、障害物感知装置		DC	DC	DC	DC	DC		網戸	

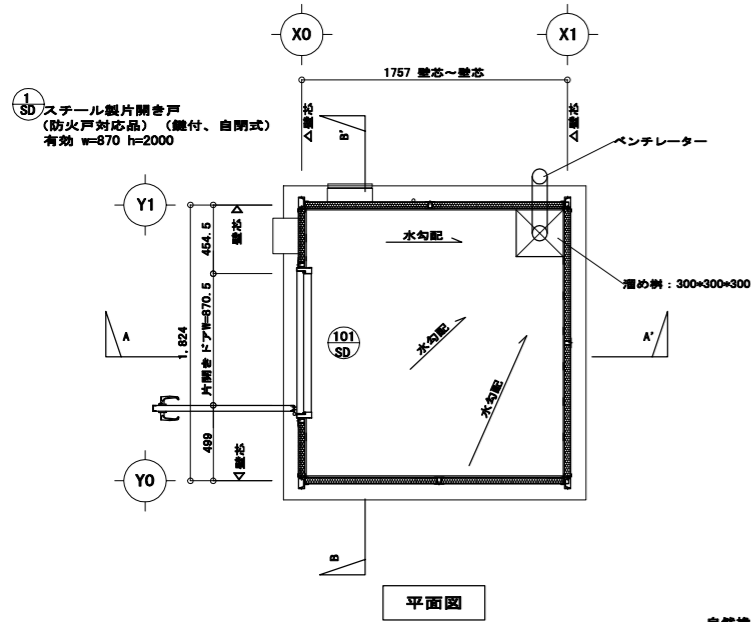


符号・名称・個数	(AW2/3) アルミ製はめ殺し窓 (AW-2: ガラリ付き)	AW-2: 3 AW-3: 1	(AW4) アルミ製はめ殺し窓	1	(LTB) トイレブース	1	(2/2) トイレブース	1		
場所	1~2F 資材倉庫		2F 資材倉庫		1F 便所		1F 便所			
仕上(枠共)	BB-1		BB-1		メラミン樹脂化粧合板		メラミン樹脂化粧合板			
建具	見込 (ランマ)				40		40			
	硝子 (ランマ)	N-6.8 (F-4.0)								
	ガラリ	タテ型防水ガラリ(開口率30%) (AW-2のみ)								
建具枠	見込取合 番摺	70								
枠記号	番摺(水切)記号	A-2								
建具金物	付属金物一式、外部アルミ三方枠(40x25)、アルミ水切り(D=55)		付属金物一式、外部アルミ三方枠(40x25)、アルミ水切り(D=55)		ラバトリーヒンジ ステンレス笠木(SUS304)HL 表示付ボルト		帽子掛け戸当り ステンレス幅木(SUS304)HL 付属金物一式		ステンレス幅木(SUS304)HL	
その他	AW-2のみ: 防虫網付									

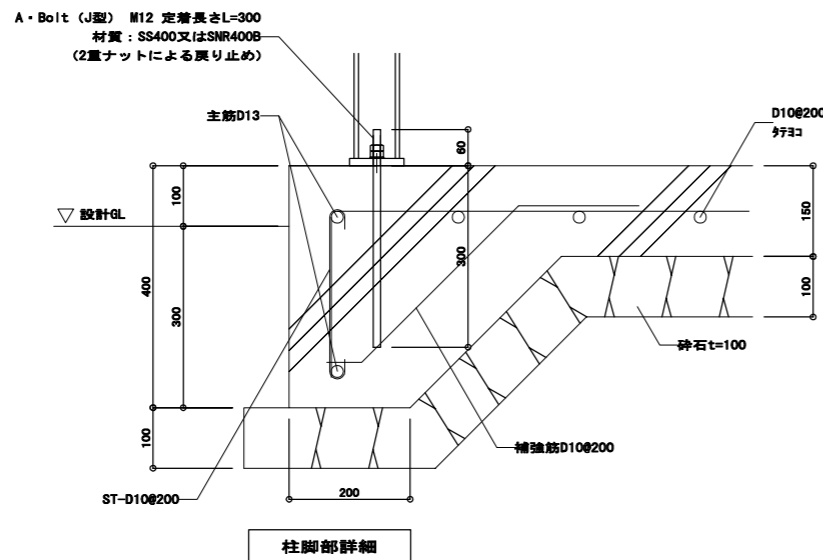
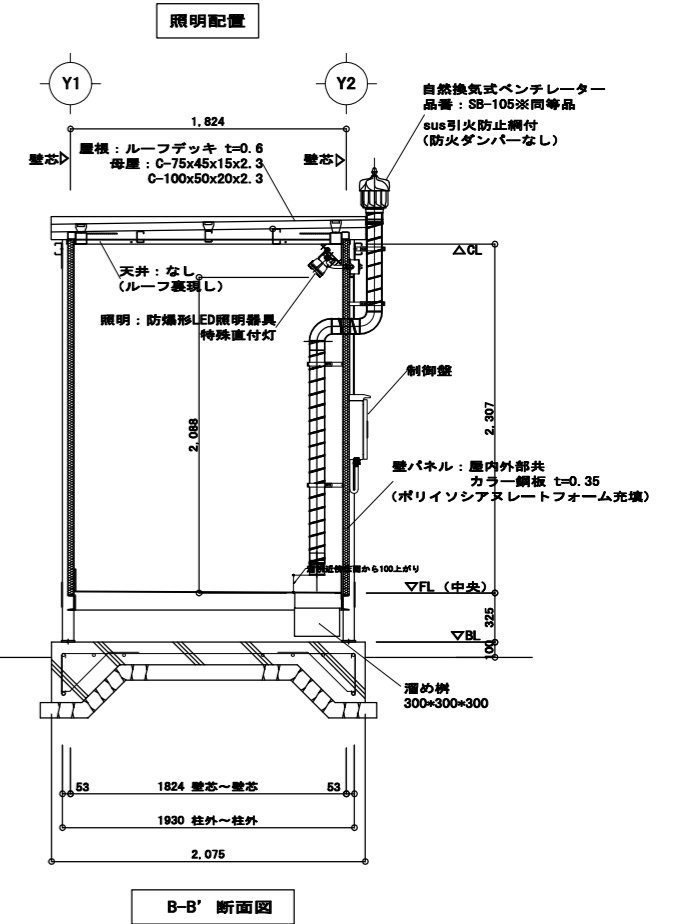
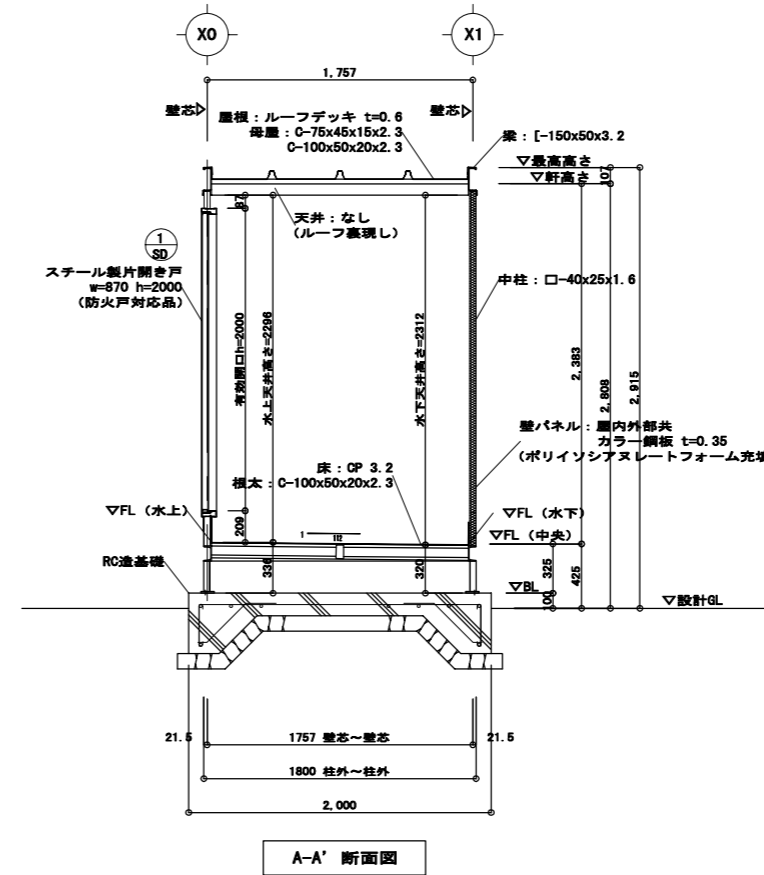
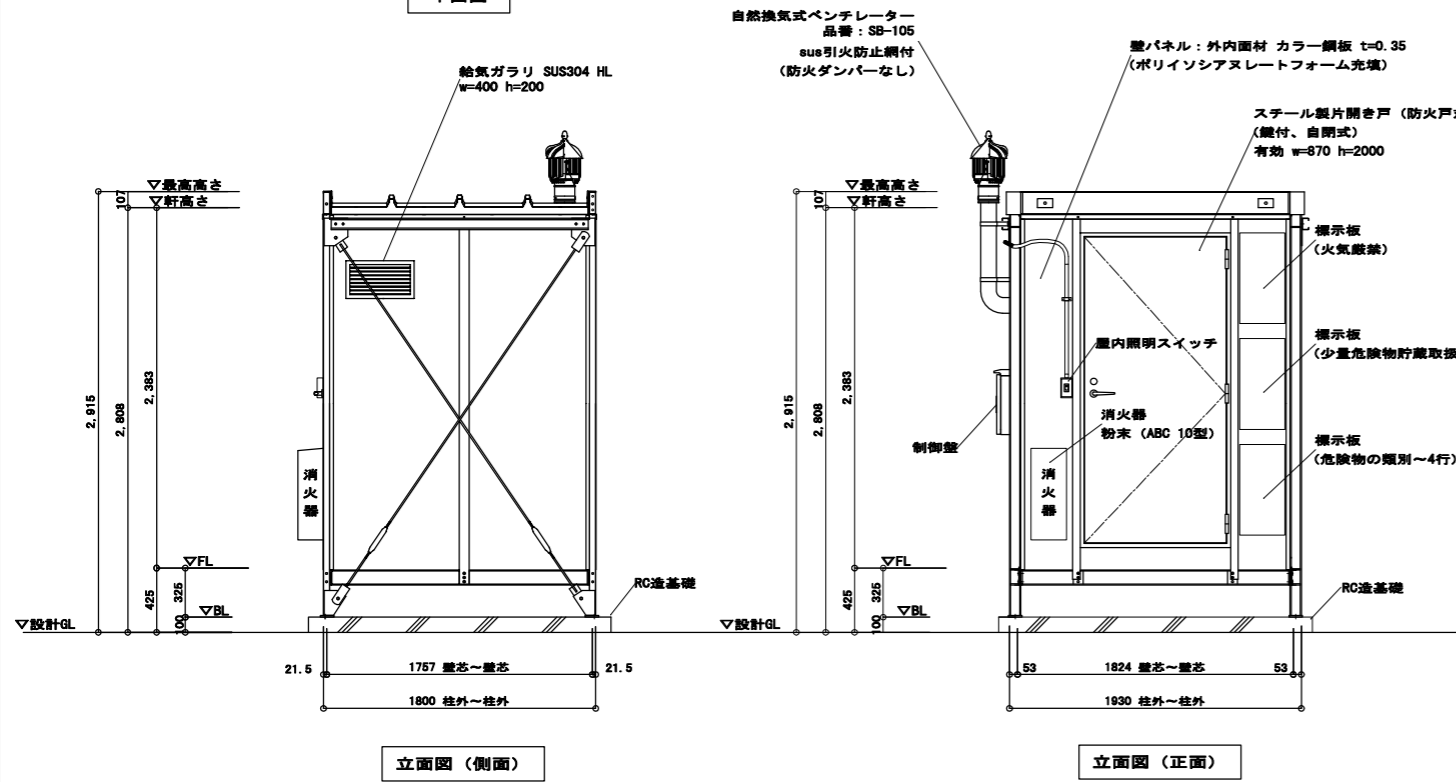
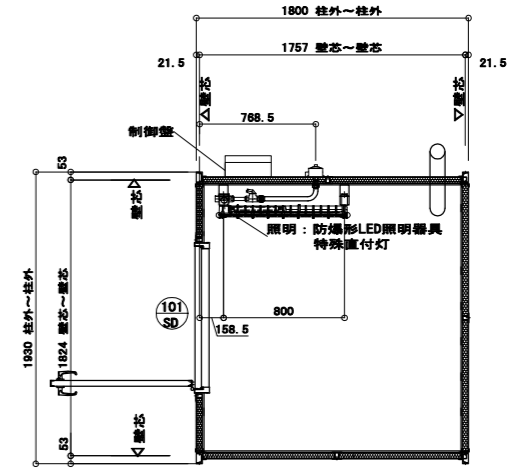


共通事項	1. 特記なき限り外部はシリンドラ錠(内部サムターン)とし内部は本締め付モノロックとする。但し、押板、押棒の場合は、シリンドラ錠とする。	8. 特記なき限り内部建具ガラリはI型とする。(枠廻り詳細による。)	種別	戸	窓	ガラリ	オートヘッド	紙障子	ふすま	シャッター	網戸	AT	種別	納まり	扉内充填材料	略号	
	2. バイブスペース、ダクトスペースの点検扉の鍵はシリンドラ錠(特記なき限り同一キー)とする。(内部はサムターン付)	9. 特記なき限り鋼製戸の見込みは40mmとする。	アルミニウム製	A D	A W	A G	A O D				A S	a W		防音扉	A T	グラスウール	S P
	3. 便所等の施設を必要としない箇所は空錠とし、押板、押棒の場合は錠不要とする。	10. 防火戸の位置は建具配置図による。	鋼製	S D	S W	S G	S O D				S S	S		防臭扉	A T	不要	A T
	4. AH、FHを除きDCの有無にかかわらず出入口には戸当り、あおり止め(防火戸を除く)をつける。壁仕上げボード類の場合は床付とする。(但し、通行に支障のあるものは除く。)	11. 特記なき限り気密扉・簡易気密扉の吸音材の充填は行わないものとする。	鋼製軽量	L D							L S	S		断熱扉	A T、一般	グラスウール	H I
	5. 特記なき限り外部に面するガラリは防虫網付きとする。	12. 階段室の施設を必要としない箇所は空錠とする。	ステンレス製	S S D	S S W	S S G					S S S	S		水密扉	A T	不要	W T
6. アルミニウム製窓の締め金物、排煙口操作レバーの位置は床から1,500以内とする。	13. 特記なき限り両開きの防火戸は順位調整器付とする。	木製	W D	W W	W G		P	H									
7. 大型、気密鋼製建具はシリンドラ錠付きとする。	14. 特記なき限り扉の取手はレバーハンドルとする。																
	15. AT-2、AT-4の補強材はアングル(L-50x50x6)の通し物とする。																

工事名	R8年度 長泉第1浄水場倉庫建設工事
工事箇所	長泉町 納米里 地内
図面の種類	<資材倉庫> 建具平面図 建具表
縮尺	1/50
測量年月日	-
設計年月日	令和8年
事務所名	長泉町上下水道課



仕上表	
屋根	ルーフデッキ t=0.6 ガルバリウム鋼板
外壁	外・内面材：カラー鋼板 t=0.35
内壁	内部：ポリイソシアヌレートフォーム充填 ※不燃材料 認定番号：NM-2849 (ポリイソシアヌレートフォーム充填/両面両面合成樹脂塗装鋼板)
建具	スチール製片開き戸 (防火戸対応品) (鍵付、自閉式)
天井	ガルバリウム鋼板 ルーフデッキ裏返し
床	チェッカープレート t=3.2 (水勾配付 1/100~140) (立上部 H=150) 根太：C-100×50×20×2.3 @234
備考	ベンチレーター：自然換気式 (sus引火防止網付) 品番：SB-105※同等品とする。 メーカー：三和式ベンチレーター株式会社 ※同等品とする。 ガラリ 200×400以上 (SUS引火防止網付) ※防火ダンパーはなし 消火器 (粉末 ABC 10型) 照明：防爆形LED照明器具 [2770lm] 特殊直付灯 防爆構造番号：Exd II B T6X メーカー：岩崎電気株式会社 ※同等品とする。

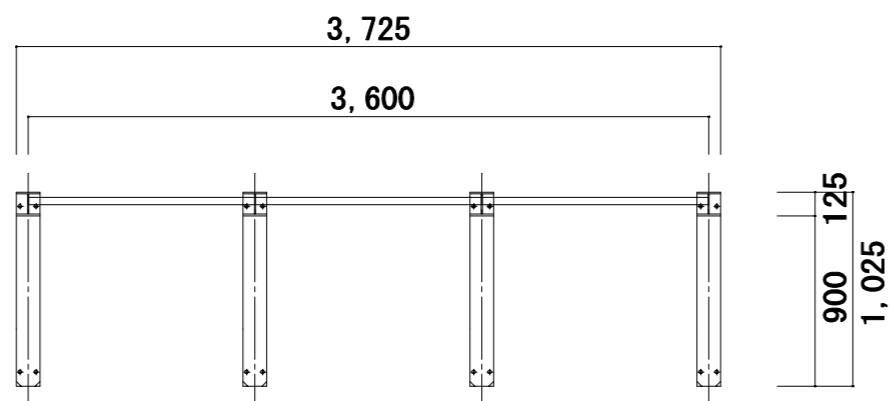


照明：防爆形LED照明器具 [2770lm] 特殊直付灯 防爆構造番号：Exd II B T6X

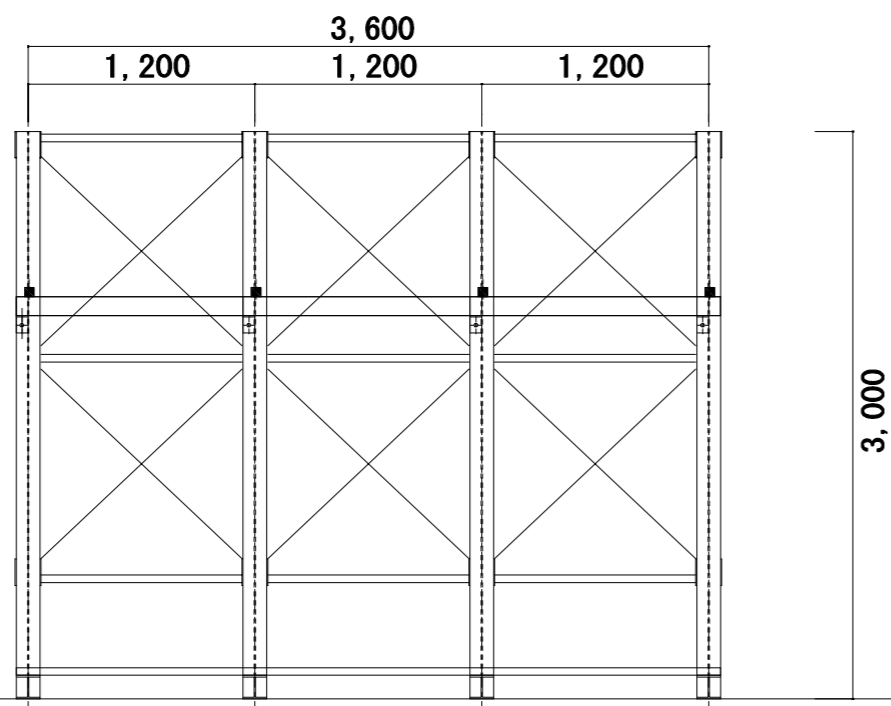
※平板載荷試験を実施し30kN/m²の地耐力を確認する事。
※既製品 (株式会社システムハウスR&C ユニット型少量危険物保管庫1坪タイプ同等品とする。

参考図

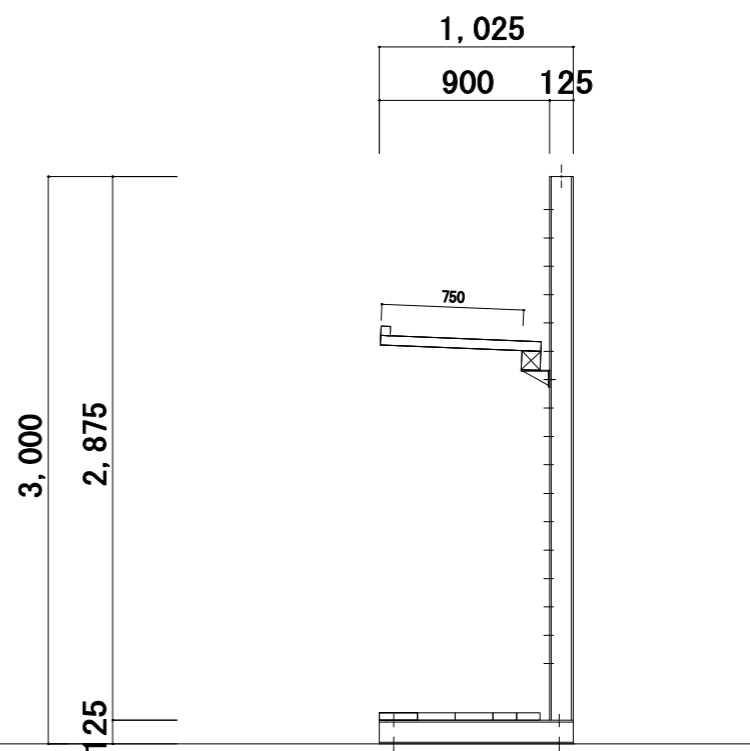
工事名	R8年度 長泉第1浄水場倉庫建設工事
工事箇所	長泉町 納米里 地内
図面の種類	<ユニット油庫> 平面図、立面図、断面図 (参考図)
縮尺	1/25 D-24
測量年月日	設計年月日 令和8年
事務所名	長泉町上下水道課



平面図 S=1/20



立面図 S=1/20



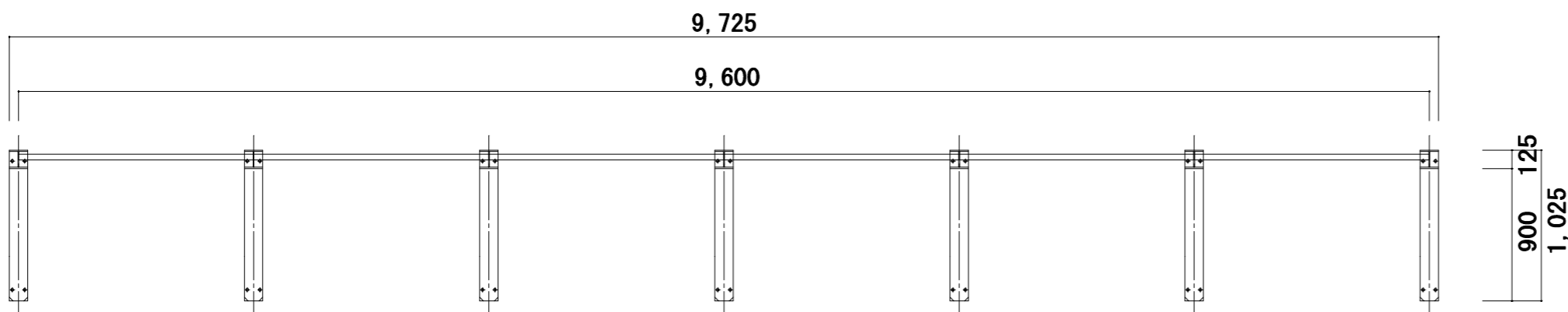
断面図 S=1/20

SPECIFICATION

品名	ピッカー 500 【片側式】 ※同等品とする。		
型式	PL50-1212P3	×7セット	
耐荷重	ポスト	1,500kg	
	アーム	500kg	
段ピッチ	150mm		
数量	ポスト	H3,000mm×7 本 L型	
	アーム	L900mm×14 本	
塗装色	ポスト	青 (69-50T)	
	アーム	アイボリー (25-85B)	
主鋼材	ポスト	H125*125*6.5/10	
	アーム	H100x50x5/7	
設置条件	床：コンクリート (コンクリートアンカーで固定)		
組立方法	ポスト (ボルト式)	/アーム (ボルトレス)	

参考図

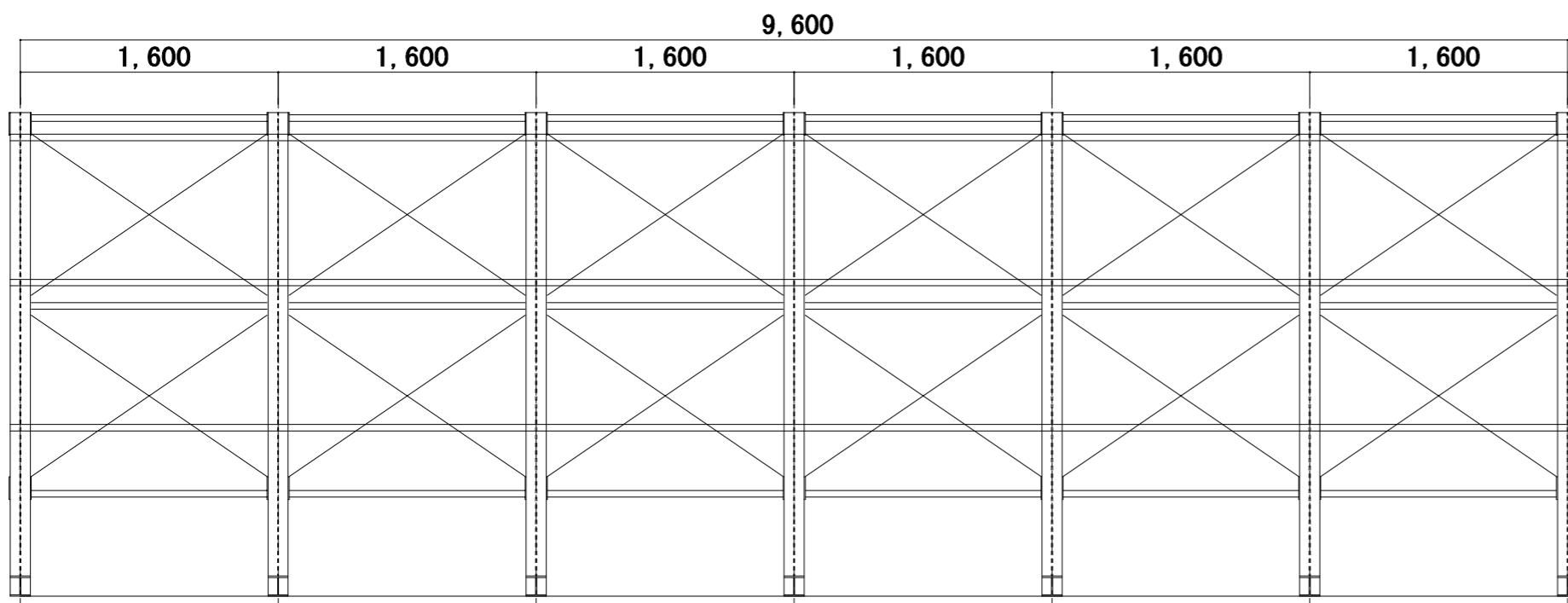
工事名	R8年度 長泉第1浄水場倉庫建設工事		
工事箇所	長泉町 納米里 地内		
図面の種類	<資材倉庫> 鋼製棚詳細図(1) (参考図)		
縮尺	1/20	D-25	
測量年月日	設計年月日 令和8年		
事務所名	長泉町上下水道課		



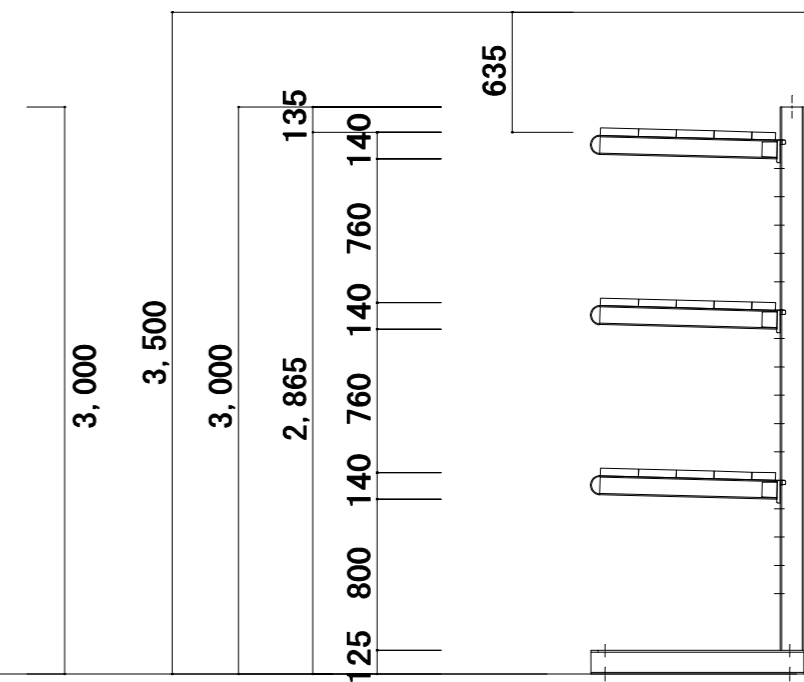
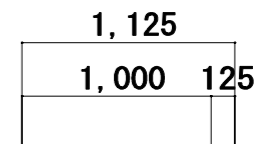
平面図 S=1/20

SPECIFICATION

品名	ピッカー 500 【片側式】 ※同等品とする。
型式	PL50-1212P3 ×7セット
耐荷重	ポスト 1,500kg アーム 500kg
段ピッチ	150mm
数量	ポスト H3,000mm×7 本 L型 アーム L900mm×14 本
塗装色	ポスト 青 (69-50T) アーム アイボリー (25-85B)
主鋼材	ポスト H125*125*6.5/10 アーム H100x50x5/7
設置条件	床: コンクリート (コンクリートアンカーで固定)
組立方法	ポスト (ボルト式) /アーム (ボルトレス)



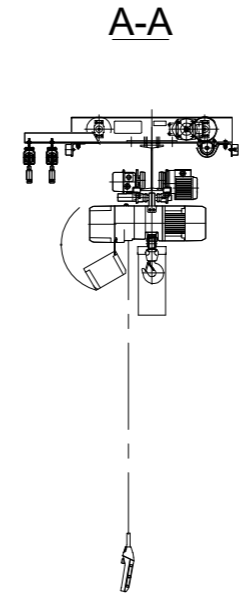
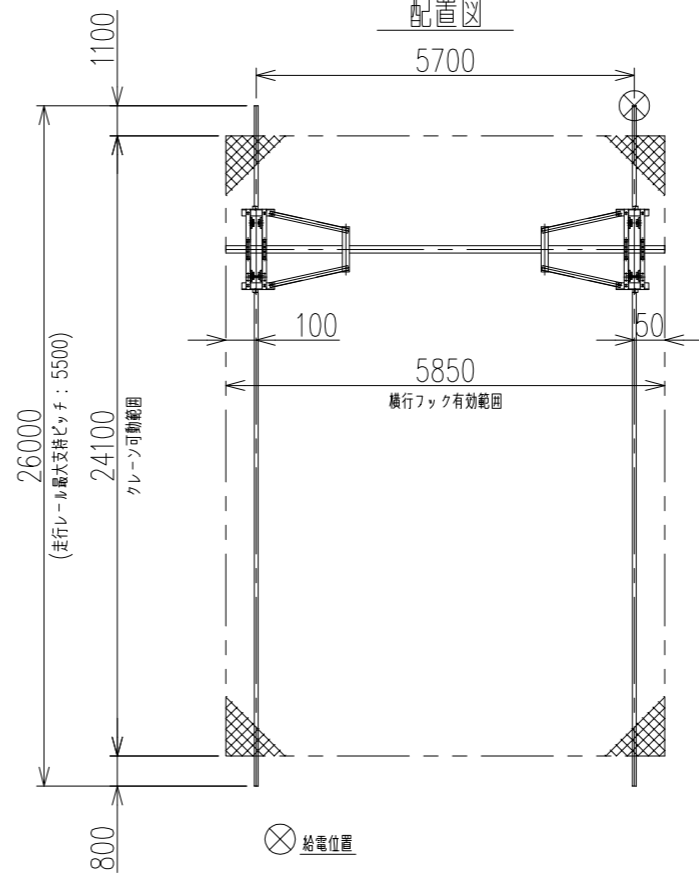
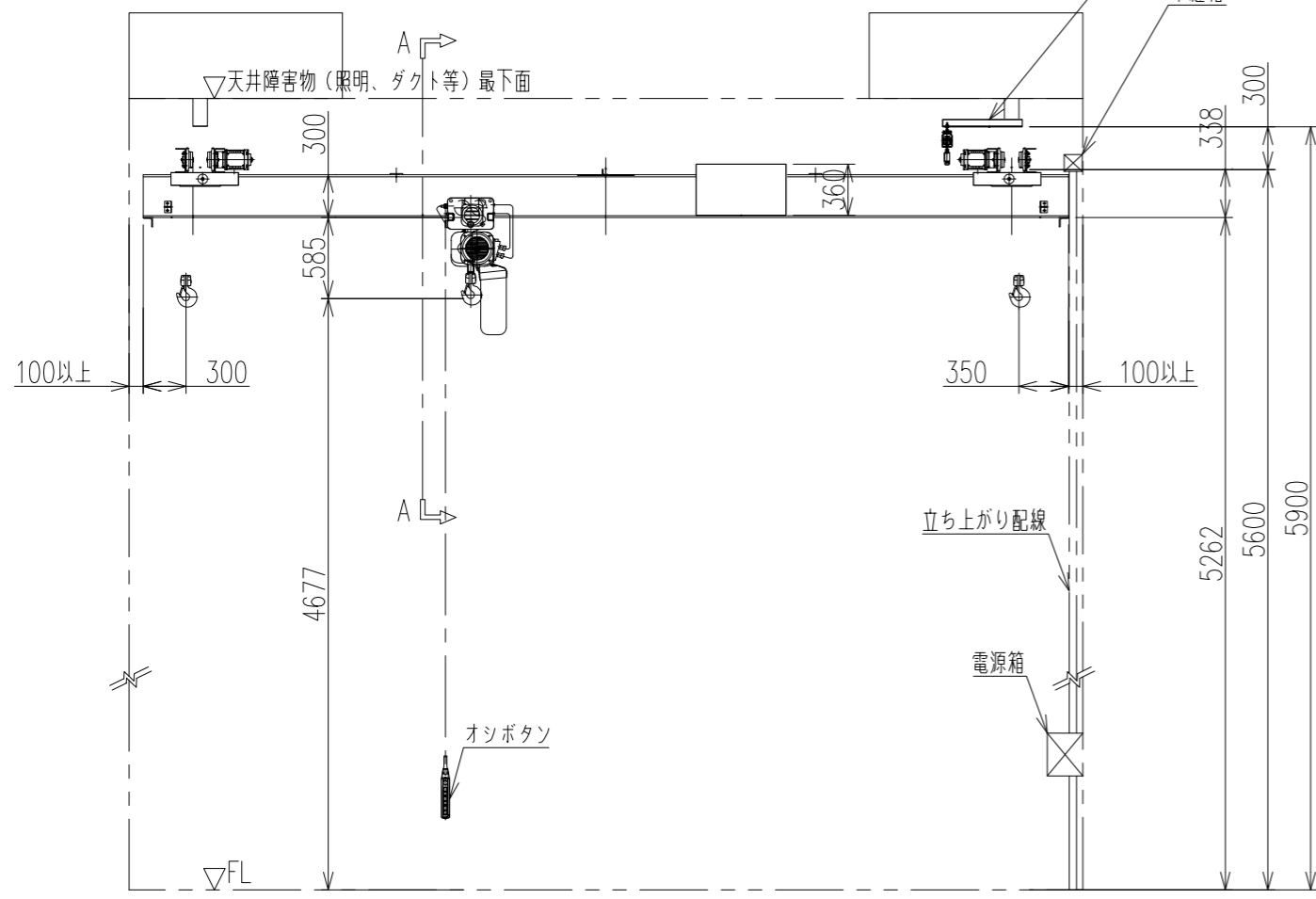
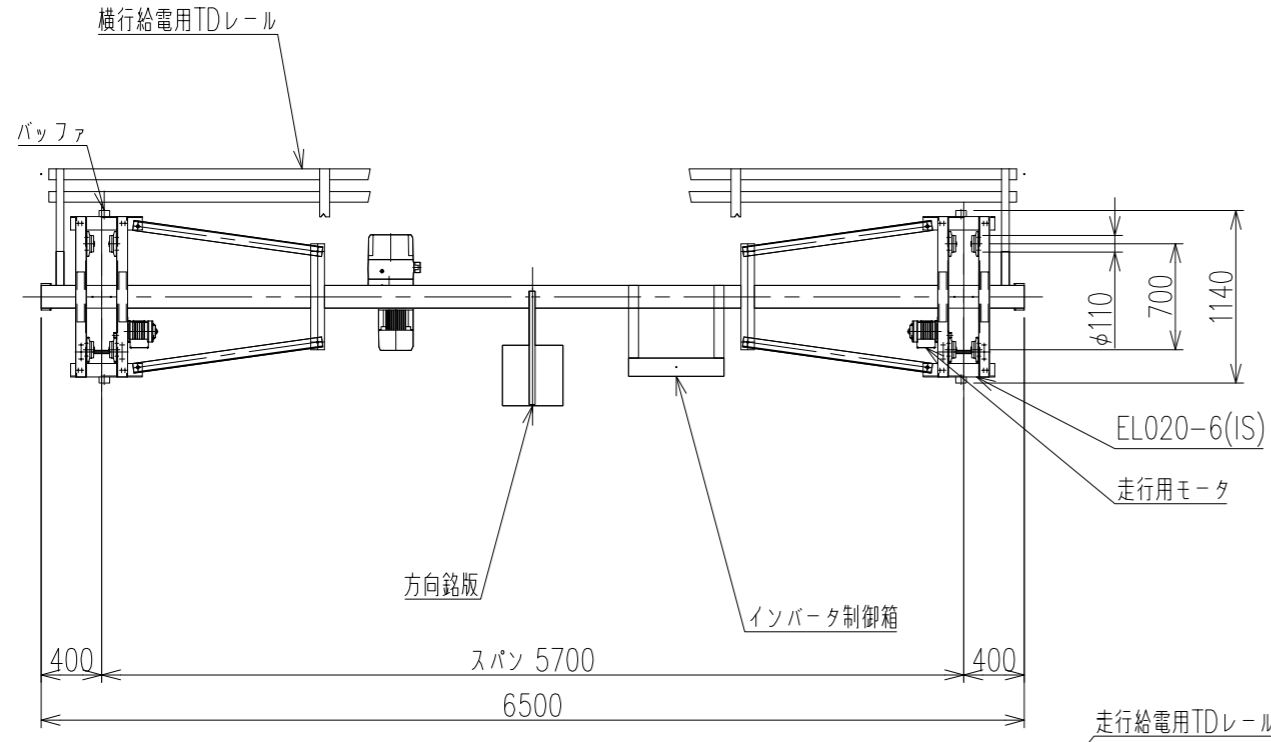
立面図 S=1/20



断面図 S=1/20

参考図

工事名	R8年度 長泉第1浄水場倉庫建設工事
工事箇所	長泉町 納米里 地内
図面の種類	<資材倉庫> 鋼製棚詳細図(2) (参考図)
縮尺	1/20 D-26
測量年月日	- 設計年月日 令和8年
事務所名	長泉町上下水道課



注) 本図は、製作にあたりましては多少変更する場合があります。

【本資料は株式会社キトーに帰属します。下記の事項を厳守願います。】
 【Duty of confidentiality】
 1. 許可無く複製を行わないこと。
 Shall not disclose or divulge information to a third party.
 2. 許可無く第三者に見せないこと。
 Shall not use the confidential information for any other purpose.
 3. 許可無く指定された用途以外に使用しないこと。
 Shall not copy or reproduce the confidential information.

見積用 FOR ESTIMATION

諸元表 (PARTICULARS)	
定格荷重 CAPACITY	2 t
定格荷重+フック質量 LIFTING LOAD	2.004 t
走行レール品コード TRAVELING RAIL	I-300x150x10/18.5
走行レール最長取り付けスパン TRAVELING RAIL MAXIMUM SUPPORT SPAN	(給電側) 5.5 m (非給電側) 5.5 m
走行レール全長 TRAVELING RAIL FULL LENGTH	26.0 m
クレーンスパン SPAN	5.7 m
ガード品コード TRAVERSING RAIL	I-300x150x8x13
巻上機揚程 LIFT	6.0 m
C寸法 MIN. HEADROOM	585 mm
オシボタン長さ LENGTH OF PUSH BUTTON CABLE	4.8 m
走行速度制御 TRAVELING	INV 0.400/0.100 m/sec INV 24/6 m/min
巻上速度制御 LIFTING	INV 0.136/0.0226 m/sec INV 8.2/1.4 m/min
横行速度制御 TRAVERSING	INV 0.400/0.0667 m/sec INV 24/4 m/min
走行 TRAVELING	容量 MOTOR OUTPUT 0.25 kWx2 電流値 CURRENT VALUE 1.6 Ax2
巻上 LIFTING	容量 MOTOR OUTPUT 3.5 kW 電流値 CURRENT VALUE 18.7 A
横行 TRAVERSING	容量 MOTOR OUTPUT 0.4 kW 電流値 CURRENT VALUE 3 A
質量 MASS	ガード(ノ本) GIRDER 373 kg サドル(ノset) END CARRIAGE 156 kg 巻上機 HOIST 136 kg
相数・電圧 PHASE・VOLTAGE	3P, 200V, 60Hz
最大車輪荷重 MAX. ROAD PER WHEEL (2 WHEEL)	11.9 kN
最小車輪荷重 MIN. ROAD PER WHEEL (2 WHEEL)	1.8 kN
試験荷重 TEST LOAD	2.500 t
塗装 COLOR	クレーン CRANE KITO Yellow (7.2YR6.5/14.5 eq.) 巻上機 HOIST KITO Yellow (7.2YR6.5/14.5 eq.)
オプション	
同-フック用クレーン 1台	
施工範囲	
クレーン (CRANE)	製作・手配・施工
走行レール (TRAVELING RAIL)	施工範囲外
ランウェイ架台 (RUNWAY GIRDER)	施工範囲外
走行給電 (POWER SUPPLY FOR TRAVELING)	製作・手配・施工
中継箱 (TERMINAL BOX)	施工範囲外
立ち上がり配線 (RISING WIRING)	施工範囲外
電源箱 (MAIN POWER BOX)	施工範囲外

参考図

工事名	R8年度 長泉第1浄水場倉庫建設工事
工事箇所	長泉町 納米里 地内
図面の種類	<資材倉庫> クレーン仕様書【参考図】
縮尺	1/25 D-27
測量年月日	- 設計年月日 令和8年
事務所名	長泉町上下水道課

構造細目共通図(建築構造物) ＜令和4年版＞

※本図面は(一社)全国上下水道コンサルタント協会が著作権を有するものである。
使用にあたっては、上記協会への使用願いの提出と、配布番号の記載が必要である。
枠外右下の【協会番号】と【配布番号】の記載が無い図面は無効とする。

1 特記事項

1.1 適用範囲

- (1)本構造細目共通図は下水道施設における処理場、ポンプ場の建築構造物に適用する。
(2)図面及び構造細目共通図に記載されていない事項は、下記に基づくものとし、これらに相違がある場合は監督職員に確認し指示を受ける。

1)建築工事特記仕様書	(別紙による。)
2)建築改修工事特記仕様書	(別紙による。)
3)建築工事一般仕様書	(令和 年版)
4)公共建築工事標準仕様書(建築工事編) 国土交通省大臣官房官庁営繕部(令和 4 年版)	
5)公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編) 国土交通省大臣官房官庁営繕部(令和 4 年版)	

- (3)項目は、○印のついたものを適用する。○印のない場合は、※印のあるものを適用する。○印と※印のある場合は、共に適用する。

1.2 鉄筋の仕様

鉄筋の種類及び継手は、別紙建築工事特記仕様書又は建築改修工事特記仕様書による。

1.1表 鉄筋の種類及び継手

種別	種別	径
鉄筋の種類	SD 295	※D16以下
	SD 345	※D19以上
鉄筋の継手	重ね継手	下記以外
	ガス圧接	※D19以上、D29以下の柱、梁主筋
	機械式継手	※図示による。

1.3 コンクリートの仕様

コンクリートの仕様は、別紙建築工事特記仕様書又は建築改修工事特記仕様書による。

1.2表 コンクリートの仕様

分類	コンクリート種別	設計基準強度(N/mm ²)	スラブ厚(cm)	セメントの種類
鉄筋コンクリート	地上	※普通コンクリート	※18	※普通ポルトランドセメント
	地下基礎、基礎梁	※普通コンクリート	※15	※普通ポルトランドセメント
無筋コンクリート	※普通コンクリート	※18	※15	※普通ポルトランドセメント

注1:無筋コンクリートには捨てコンクリートを含む。

1.4 砕石及び捨てコンクリート

砕石及び捨てコンクリートの厚さは、特記がなければ1.3表による。

1.3表 砕石及び捨てコンクリートの仕様

種別	厚さ(mm)
砂利または砕石	※ 60
捨てコンクリート	※ 50

2 共通事項

2.1 記号及び符号

設計図中で使用する記号及び符号は、2.1表及び2.2表を標準とする。

2.1表 鉄筋の断面表示

径	D10	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32
記号	●	×	∅	●	○	⊙	⊗	⊕

2.2表 一般凡例

記号・符号	内容	※印の説明及び注意事項
F※	フーチング断面種別	※ 番号
※1C※2	柱断面種別	※1 階数 ※2 その階の番号
※1G※2	大梁断面種別	※1 階数、地中大梁はFとする ※2 その階の番号 X方向1, 2, 3--- Y方向A, B, C---
CG※	片持大梁断面種別	※ 番号、階別区分はしない
※1B※2	小梁断面種別	※1 地中小梁のみFとする。 ※2 階別区分はしない 地中小梁を除く
CB※	片持小梁断面種別	※ 番号、階別区分はしない
※1W※2	壁配筋種別	※1 E:耐震壁, K:階段壁 D:土圧、水圧を受ける壁 ※2 階別区分はしない 壁厚(cm)
※1S※2※3	床版配筋種別	※1 片持床版のみCとする ※2 床版厚(cm) ※3 配筋種別(英大文字) 階別区分はしない
※1K※2	階段の配筋種別	※1 A:片持床版形 B:二辺固定床版形 ※2 配筋種別(数字) 階別区分はしない
CB※	コンクリートブロック壁	※ 壁厚(cm)
////	打ち増し範囲	
////	梁・床版の上がり下がり	一般には基準FLよりの十、一に 応じた凡例により表示
(※)	床用積載荷重	積載荷重の値(kN/m ²)
STP	あばら筋、スターラップ	梁、基礎梁、小梁
HOOP	帯筋、帯鉄筋、フープ	柱
S.HOOP	スパイラル筋、らせん筋	柱
幅止筋	幅止め筋	柱、梁、壁
組立筋	組立て筋	床版、底版

2.2 一般注意事項

- (1)設計図は監督職員の承諾を得なければ変更してはならない。
変更の必要を生じた場合は、監督職員と協議すること。

3 鉄筋の折曲げ加工

鉄筋の折曲げ加工は、3.1表を標準とする。

- (1)Dは、折曲げ内法直径を示す。
(2)dは、鉄筋直径(呼び名)を示す。

3.1表 鉄筋の折曲げ形状及び寸法(末端部)

曲げ角度	折曲げ図	折曲げ内法直径(D)		使用箇所
		SD295 SD345		
180°		D16以下	D19~D38	柱、梁の主筋 杭基礎のベース筋 D16以上の鉄筋
135°		3d以上	4d以上	D13以下の鉄筋 あばら筋、帯筋、 スパイラル筋
90°		3d以上	4d以上	T形及びL形の梁の あばら筋
135° 90°		3d以上	4d以上	90° 幅止め筋

- (注)1. 片持スラブ先端、壁筋の自由端側の先端で90°フック又は135°フックを用いる場合は、余長を4d以上とする。
2. 90°未満の折曲げの内法直径は図面による。

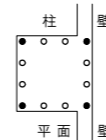
4 異形鉄筋の末端部

4.1 フックを設ける位置

異形鉄筋の末端部には、4.1表によりフックを設ける。

4.1表 フックを設ける位置

部位	継手方式		備考
	重ね継手	圧接継手	
柱	四隅の主筋	—	1)最上階の柱頭部 4.1図の●印 8.1図参照
	上下階の柱断面が異なる場合	—	1)下階の柱主筋を引き通すことができない柱頭部 4.1図の●印 8.2図参照
	帯筋(HOOP)	1)末端部 2)継手部	1)末端部 9.1図参照
梁	あばら筋(STP)	1)末端部 2)継手部	1)末端部 11.1図参照
杭基礎	独立フーチング基礎の底盤筋	1)末端部 2)継手部	1)末端部 20.1図参照
煙突の鉄筋	1)末端部 2)継手部	1)末端部	壁の一部となる場合を含む
幅止め筋	—	—	3.1表参照

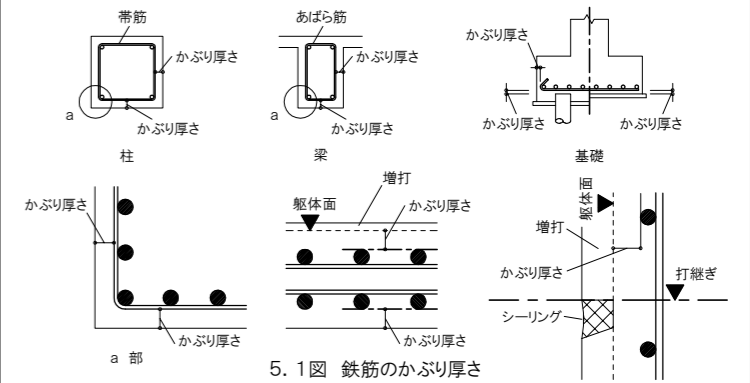


4.1図 異形鉄筋の末端部

5 鉄筋のかぶり及び間隔

5.1 かぶり厚さ

かぶり厚さとは、一番外側の鉄筋(幅止め筋、組立筋を除く)の外面から躯体面までの距離(5.1図)をいう。
鉄筋組立後のかぶり厚さは、最小かぶり厚さ以上を確保し、最小かぶり厚さに許容施工誤差10mmを加えた厚さ以内に納めるものとする。



5.1図 鉄筋のかぶり厚さ

5.2 最小かぶり厚さ

最小かぶり厚さは、5.1表による。

- (1)床版、梁、基礎及び擁壁で、直接土に接する部分のかぶり厚さには、捨てコンクリートの厚さを含まない。
(2)柱及び梁の主筋にD29以上を使用する場合は、主筋のかぶり厚さを径の1.5倍以上として最小かぶり厚さを定める。
(3)溶接金網にも適用する。

5.1表 鉄筋の最小かぶり厚さ(mm)

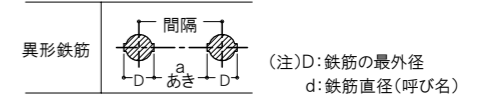
構造部分の種類	塩害区分	※ 通常の施工の場合	・塩害対策を必要とする場合
	一般	床、耐力壁以外の壁	30
土、水に接する部分	柱、梁、耐力壁	40	50
	底版	40	50
煙突等高温を受ける部分	柱、梁、床、壁	40	50
	底版、基礎	60	70
		60	70

- 1:打継目部分は目地底より最小かぶり厚さを確保する。
2:杭基礎の場合の最小かぶり厚さは、杭先端からとし、「21 杭基礎の補強」を参照。
3:仕上なしの場合を標準とする。

5.3 鉄筋相互のあき及び間隔

鉄筋相互のあきは、下記の最大値のもの以上とする。ただし、機械式継手及び溶接継手の場合のあきは図面による。

- (1)粗骨材の最大寸法の1.25倍
(2)最小のあき25mm
(3)隣り合う鉄筋の平均径(呼び名の数値)の1.5倍



5.2図 鉄筋相互のあき及び間隔

5.2表 鉄筋径と鉄筋間隔の関係一覧

鉄筋径(mm)	鉄筋相互のあき:a			最小鉄筋芯間隔 a+D
	(1) 粗骨材径×1.25	(2) 最小あき	(3) 鉄筋径×1.5	
D10	32mm 粗骨材 最大径 25mm の場合	25mm	15mm	43mm
D13			20mm	46mm
D16			24mm	50mm
D19			29mm	53mm
D22			33mm	58mm
D25			38mm	66mm
D29			44mm	77mm

工事名	令和8年度 長泉第1浄水場倉庫建設工事
工事箇所	長泉町 納米里 地内
図面の種類	＜資材倉庫＞ 構造細目共通図 (1)
縮尺	- S-1
測量年月日	- 設計年月日 令和8年
事務所名	長泉町上下水道課

6 鉄筋の継手及び定着

6.1 継手及び定着

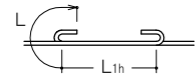
6.1.1 鉄筋の重ね継手

- (1) 鉄筋の重ね継手の長さは、6.1表による。
- (2) 径が異なる鉄筋の重ね継手の長さは、細い鉄筋の径による。
- (3) 主筋及び耐震壁の鉄筋の重ね継手の長さは40dとする。ただし、SD390、SD490を使用する場合は特記による。

6.1表 鉄筋の重ね継手の長さ

鉄筋の種類	コンクリートの設計基準強度 F_c (N/mm ²)	L ₁ (フックなし)		L _{1h} (フックあり)	
		L ₁	L ₂	L _{1h}	L _{2h}
SD295	24, 27	35d	30d	25d	20d
	30	35d	30d	25d	20d
SD345	24, 27	40d	35d	30d	25d
	30	35d	30d	25d	20d

- (注) 1. L₁、L_{1h} : フックなし重ね継手の長さ及びフックあり重ね継手の長さ
 2. フックありの場合のL_{1h} は、6.1図に示すようにフック部分Lを含まない。



6.1図

6.1.2 継手の特記事項

- (1) 継手は、極力応力の小さい位置に設ける。

6.1.3 鉄筋の定着

- (1) 鉄筋の定着の長さは、6.2表による。

6.2表 鉄筋の定着の長さ

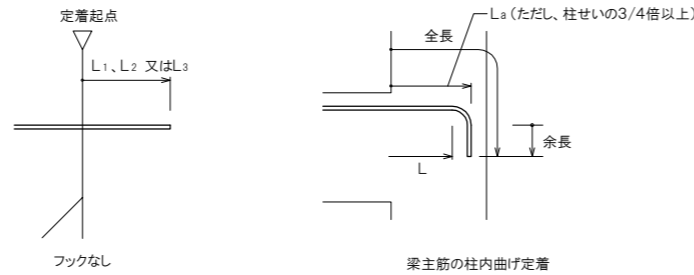
鉄筋の種類	コンクリートの設計基準強度 F_c (N/mm ²)	フックなし				フックあり						
		L ₁	L ₂	L ₃		L _{1h}	L _{2h}	L _{3h}				
				小梁	スラブ			小梁	スラブ			
SD295	24, 27	35d	30d	20d	10d	かつ	150mm	以上	25d	20d	10d	—
	30	35d	30d						25d	20d		
SD345	24, 27	40d	35d	20d	10d	かつ	150mm	以上	30d	25d	10d	—
	30	35d	30d						25d	20d		

- (注) 1. L₁、L_{1h} : 2. 以外の直線定着の長さ及びフックありの長さ
 2. L₂、L_{2h} : 割裂破壊の恐れのない箇所への直線定着の長さ及びフックあり定着の長さ
 3. L₃ : 小梁及びスラブの下端の直線定着の長さ(基礎耐圧スラブ及びこれを受ける小梁を除く)なお、片持小梁及び片持スラブの場合は、20d及び10dを25d以上とする。
 4. L_{3h} : 小梁の下端筋のフックあり定着の長さ
 5. フックあり定着の場合は、6.2図(イ)に示すようにフック部分bを含まない。また、中間部での折曲げは行わない。

6.1.4 定着の方法

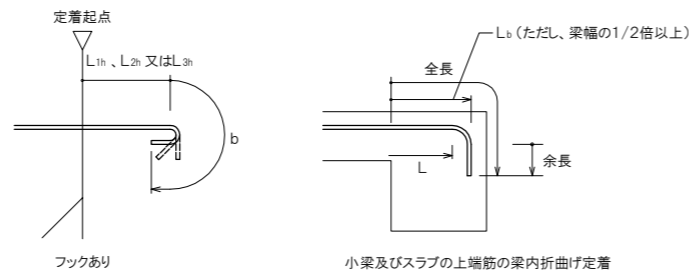
定着の方法は6.2図による。
 なお、(ロ)折曲げ定着の梁主筋の柱内折曲げ定着において、仕口内に縦に折曲げて定着する鉄筋の定着長さLが、6.2表のフックあり定着の長さを確保できない場合は、全長を6.2表に示すフックなし定着長さとし、かつ、余長を8d、仕口面から鉄筋外面までの投影定着長さを6.3表に示す長さをのみみさせる。

- (注) 1. L_a、L_b は、6.3表の鉄筋の投影定着長さを示し、下記条件を満たすものとする。
 ・梁主筋の柱内定着においては、原則として柱せいの3/4倍以上
 ・小梁主筋の大梁内定着においては、原則として大梁幅の1/2倍以上
 ・スラブの梁内定着においては、原則として梁幅の1/2倍以上



フックなし

梁主筋の柱内曲げ定着



フックあり

小梁及びスラブの上端筋の梁内折曲げ定着

(イ)直線定着

(ロ)折曲げ定着

6.2図 定着の方法

6.3表 鉄筋の投影定着長さ

鉄筋の種類	コンクリートの設計基準強度 F_c (N/mm ²)	L _a	L _b
SD295	24, 27	15d	15d
	30	15d	15d
SD345	24, 27	20d	15d
	30	15d	15d

- (注) 1. L_a : 梁主筋の柱内折曲げ定着の投影定着長さ(基礎梁、片持ちスラブを含む)。
 2. L_b : 小梁及びスラブの上端筋の梁内折曲げ定着の投影定着長さ(片持ち小梁及び片持ちスラブを除く。)

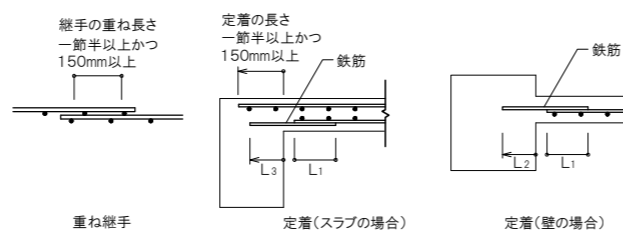
6.2 隣り合う継手の位置及び定着

- (1) 隣り合う継ぎ手の位置は、6.4表により、a寸法を守ること。ただし、壁の場合及びスラブ筋でD16以下の場合を除く。

6.4表 隣り合う継手の位置

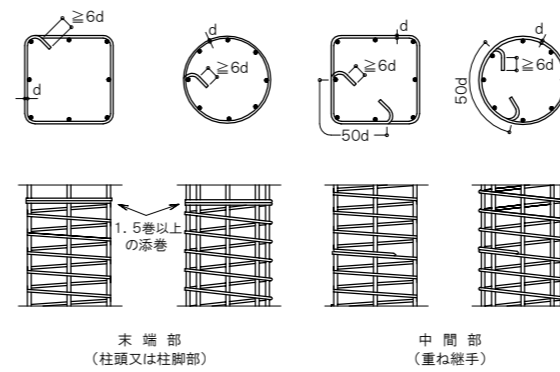
重ね継手	フック有りの場合	L _{1h}	
		L _{1h}	L _{2h}
フック有りの場合		$a = 0.5L_{1h}$	$a \geq 0.5L_{1h}$
		$a = 0.5L_{1h}$	$a \geq 0.5L_{1h}$
フックなしの場合		$a = 0.5L_{1h}$	$a \geq 0.5L_{1h}$
		$a = 0.5L_{1h}$	$a \geq 0.5L_{1h}$
圧接継手		$a \geq 400\text{mm}$	

- (2) 溶接金網の継手及び定着は、6.3図による。



6.3図 溶接金網の継手及び定着要領

(3) スパイラル筋の継手及び定着



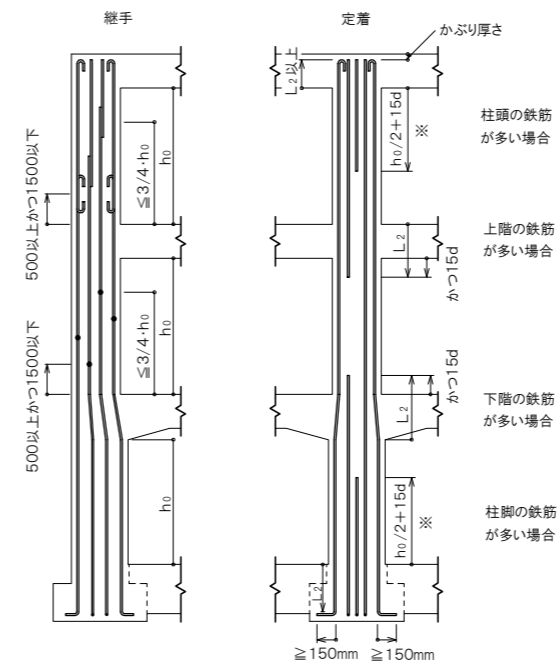
6.4図 スパイラル筋の継手及び定着要領

7 (欠番)

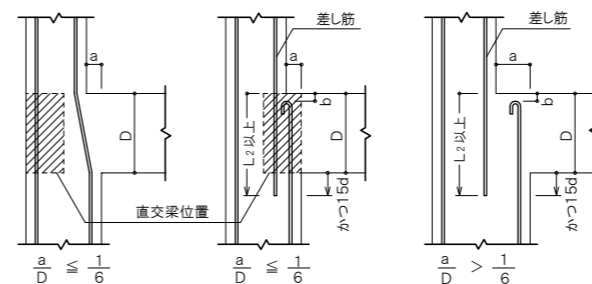
8 柱筋の継手及び定着

8.1 一般事項

- (1) 継手長さはL₁とし、定着及び余長は、8.1図による。
- (2) 柱頭定着長さL₂が確保出来ない場合は、図面による。
- (3) 上下の柱断面が異なる場合の柱主筋の折曲げ及び定着は、8.2図による。
- (4) 柱の継手及び圧接中心位置は、梁上端から500mm以上、1500mm以下かつ3/4h_o (h_oは柱の内法高さ)以下とする。
- (5) ※鉄筋のカットオフの位置及び長さは図面による。



8.1図 柱主筋の継手、定着及び余長

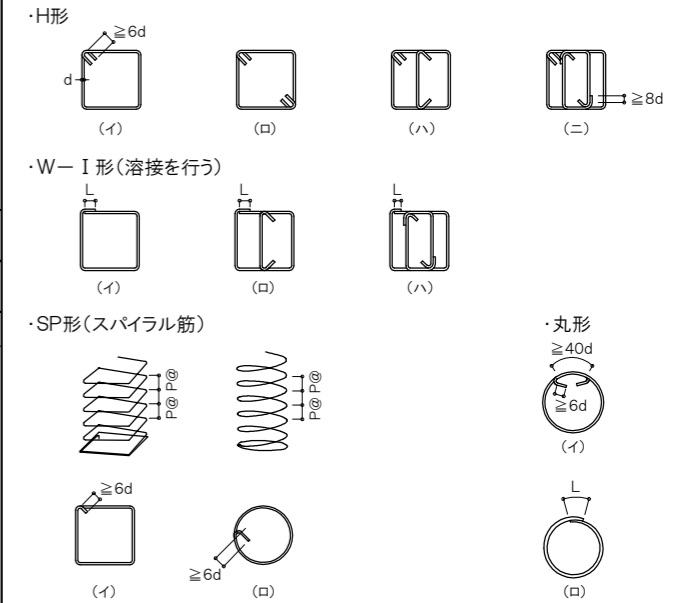


8.2図 上下の柱断面が異なる柱主筋の折曲げ及び定着

9 帯筋

9.1 帯筋の形状

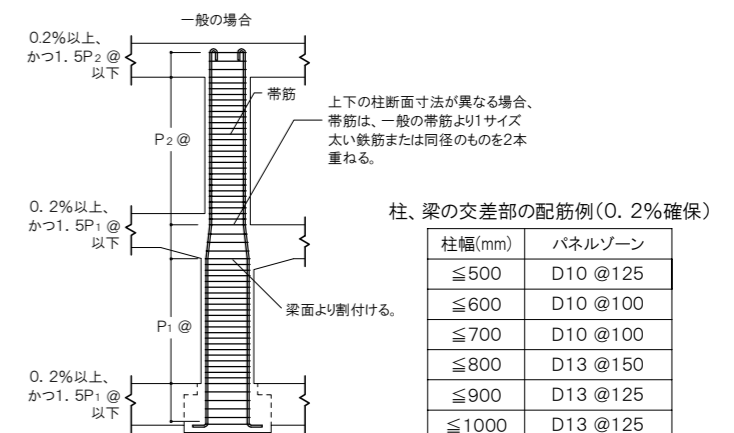
- (1) 帯筋の形状は、9.1図とし、種別は図面による。図面になければ下記による。
 (a) H形を標準とする。
 (b) H形の135°曲げのフックが困難な場合は、W-I形とする。
 (c) 溶接する場合の溶接長さLは、両面フレア溶接の場合は5d以上、片面フレア溶接の場合は10d以上とし、組立前に行う。
 (d) SP形において、柱頭及び柱脚の端部は、1.5巻以上の添巻きを行う。



9.1図 帯筋組立の形

9.2 帯筋の割付け

- (1) フック及び継手の位置は交互とする。
- (2) 帯筋の割付けは、9.2図による。ただし、図面にある場合はそれによる。
- (3) 柱、梁の交差部(パネルゾーン)の帯筋のせん断補強比は、0.2%以上を確保し、補強筋間隔 $\leq 1.5P$ とする。



9.2図 帯筋の割付け

柱、梁の交差部の配筋例(0.2%確保)

柱幅(mm)	パネルゾーン
≤ 500	D10 @125
≤ 600	D10 @100
≤ 700	D10 @100
≤ 800	D13 @150
≤ 900	D13 @125
≤ 1000	D13 @125
≤ 1100	D13 @100
≤ 1200	D13 @100

※1. 5P₁、1.5P₂ のピッチは150mm以下とする。

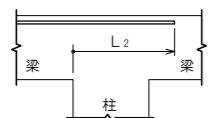
工事名	令和8年度 長泉第1浄水場倉庫建設工事
工事箇所	長泉町 納米里 地内
図面の種類	<資材倉庫> 構造細目共通図 (2)
縮尺	- S-2
測量年月日	- 設計年月日 令和8年
事務所名	長泉町上下水道課

10 大梁筋の継手及び定着

10.1 大梁(基礎梁以外の大梁に限る)主筋の継手、定着及び余長

大梁主筋の継手及び定着の一般事項

- a. 梁主筋は、原則として、柱をまたいで引き通すものとし、引き通すことが出来ない場合は、b. により柱内に定着することができる。ただし、やむを得ず梁内に定着する場合は、10.1図による。

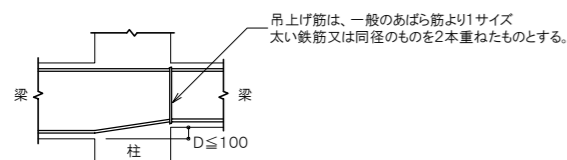


10.1図 梁主筋の梁内定着

- b. 梁主筋を、柱内に折曲げて定着する場合は次による。なお、定着の方法は、6.1.4による。

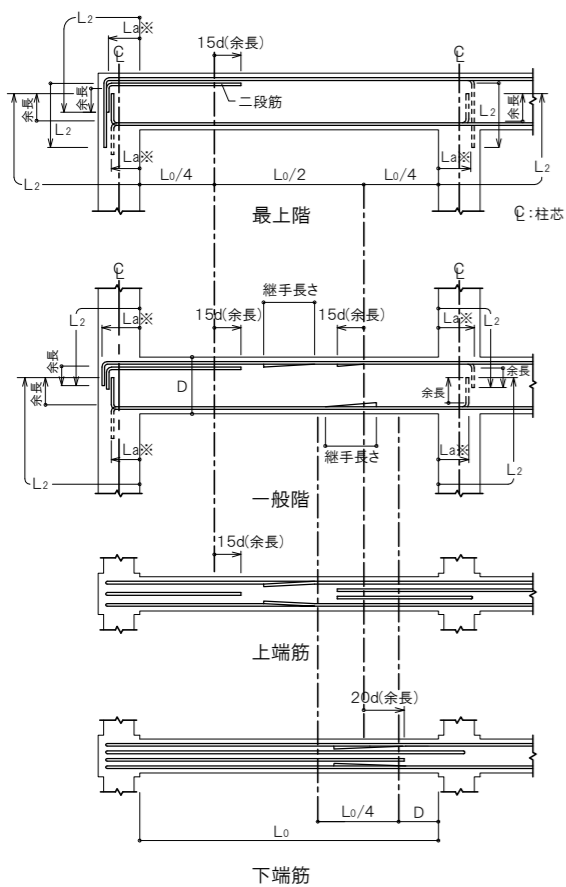
上端筋: 曲げ下ろす。
下端筋: 原則として曲げ上げる。

- c. 段違い梁は10.2図による。



10.2図 段違い梁

10.2 ハンチのない場合

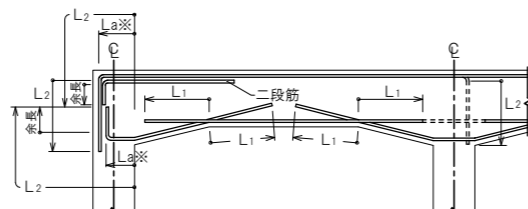


- (注)1. 継手中心位置は次による。
上端筋: 中央 $L_0/2$ 以内
下端筋: 柱より梁せい(D)以上離し、 $L_0/4$ を加えた範囲以内
2. 異形鉄筋の末端部で定めた鉄筋には、フックを付ける。
3. 印は、継手及び余長を示す。
4. 破線は、柱内定着の場合を示す。
5. 梁筋カットオフ位置及び余長は図面による。
※ L_a の数値は、原則として、6.3表の数値かつ柱せいの3/4倍以上とする。

10.3図 大梁の重ね継手、定着及び余長

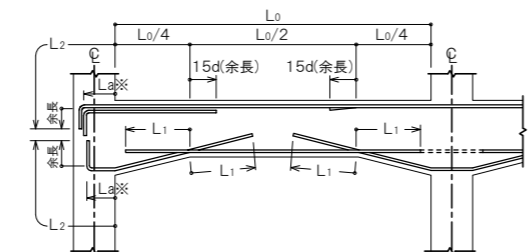
10.3 ハンチのある場合

- (1)最上階の場合



10.4図 ハンチのある大梁の定着及び余長(最上階)

- (2)一般階の場合

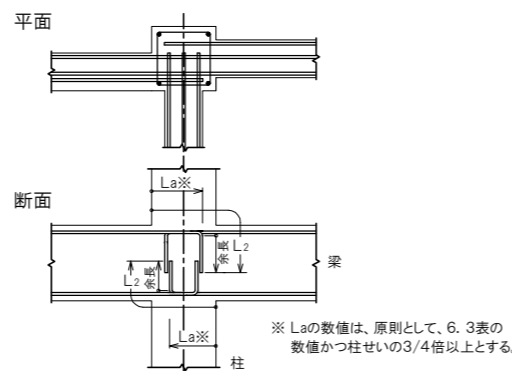


10.5図 ハンチのある大梁の定着及び余長(一般階)

- (注)1. 4. 異形鉄筋の末端部で定めた鉄筋には、フックを付ける。
2. 印は、継手及び余長を示す。
3. 梁内定着の端部下端筋が接近するときは、=====のように引き通すことができる。
4. 破線は、梁内定着の場合を示す。
5. 梁筋カットオフ位置及び余長は図面による。
※ L_a の数値は、原則として、6.3表の数値かつ柱せいの3/4倍以上とする。

10.4 水平段差のある場合

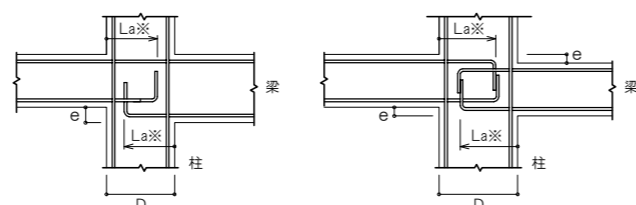
水平段差のある場合



10.6図 大梁の定着及び余長(水平段差のある場合)

10.5 鉛直段差(e)のある場合

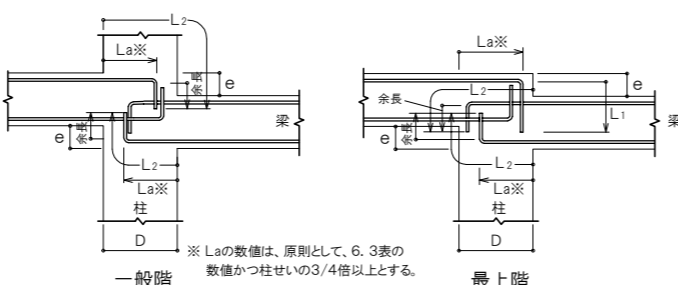
- (1) $e/D \leq 1/6$ の場合



- 定着の長さは、10.3図に準ずる
※ L_a の数値は、原則として、6.3表の数値かつ柱せいの3/4倍以上とする。

10.7図 鉛直段差梁(その1)

- (2) $e/D > 1/6$ の場合



- ※ L_a の数値は、原則として、6.3表の数値かつ柱せいの3/4倍以上とする。

10.8図 鉛直段差梁(その2)

11 梁のあばら筋、腹筋及び幅止め筋

11.1 一般事項

- (1)腹筋に継手を設ける場合の継手長さは、150mm程度とする。
(2)壁梁の場合、腹筋の定着長さ及び継手長さは、 L_2 とする。
(3)土圧、水圧を受ける梁は、図面による。
(4)幅止め筋及び受け用幅止め筋は、D10-1000mmピッチ程度とする。

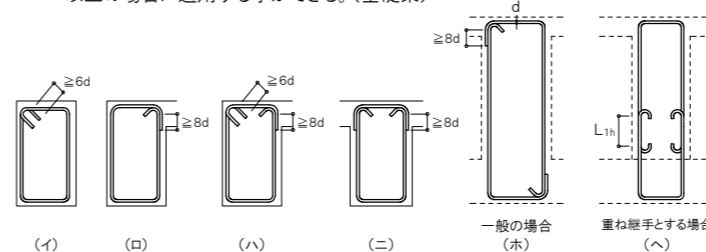
11.2 あばら筋組立の形及びフックの位置

- (1)形は、11.1図(イ)を標準とする。ただし、(イ)によることが出来ない場合は、下記の方法によることができる。

- a. 床版が片側に付く場合は、(ロ)又は(ハ)
b. 床版が両側に付く場合は、(ロ)~(ニ)

- (2)フックの位置

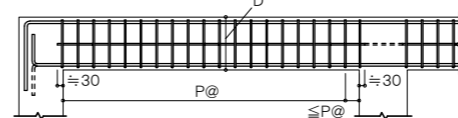
- a. (イ)の場合は交互とする。
b. (ロ)の場合 床版が片側に付く場合は床版の付く側。床版が両側に付く場合は交互。
c. (ハ)の場合は床版の付く側を90°折曲げ、8d確保する。
d. (ホ)~(ヘ)の場合は梁の上下にスラブが付く場合でかつ、梁せいが1.5m以上の場合に適用する事ができる。(基礎梁)



11.1図 あばら筋組立の形及びフックの位置

11.3 あばら筋の割付け

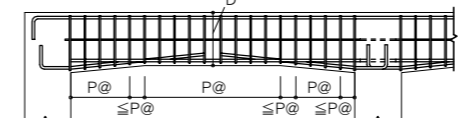
- (1)間隔が一様でハンチのない場合



- (注)1. あばら筋は、柱面の位置から割付ける。
2. 図中のP@は、特記されたあばら筋の間隔を示す。

11.2図 あばら筋の割付け(その1)

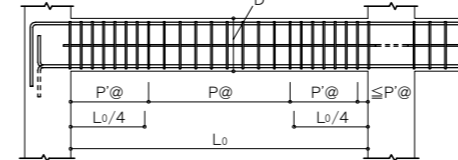
- (2)間隔が一様でハンチのある場合



- (注)1. あばら筋は、柱面の位置及びハンチに切り替わる位置から割付ける。
2. 図中のP@は、特記されたあばら筋の間隔を示す。

11.3図 あばら筋の割付け(その2)

- (3)梁の端部で間隔の異なる場合



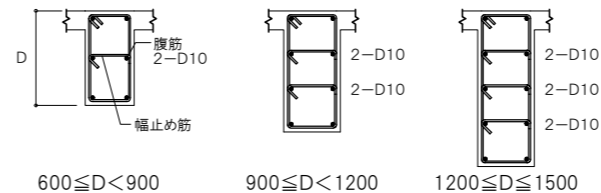
- (注)1. あばら筋は、柱面の位置から割付ける。
2. 図中のP@、P'@は、特記されたあばら筋の間隔を示す。

11.4図 あばら筋の割付け(その3)

11.4 腹筋及び幅止め筋

- (1)一般の梁

- a) 腹筋及び幅止め筋



11.5図 腹筋及び幅止め筋

- (2)特殊な梁

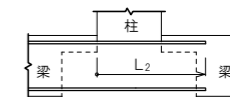
腹筋及び幅止め筋は、図面による。

12 基礎梁及び底版の継手及び定着

12.1 基礎梁主筋の継手、定着及び余長

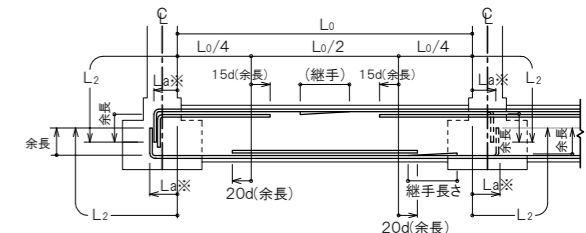
- (1)一般事項

- (a) 梁筋は、連続端で柱に接する梁筋が同数の時は柱をまたいで引き通すものとし、鉄筋の本数が異なる場合は柱内に定着する。やむを得ず梁内に定着する場合は、12.1図による。
(b) 梁筋を柱内に定着する場合は10.1(1)bによる。

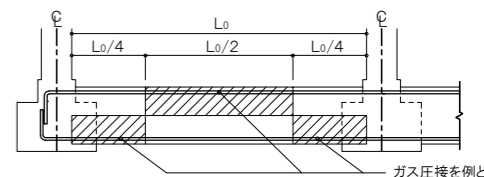


12.1図 梁筋の基礎梁内への定着

- (2)独立基礎で基礎梁(スラブなどの上載荷重を受ける場合)の主筋の継手、定着及び余長

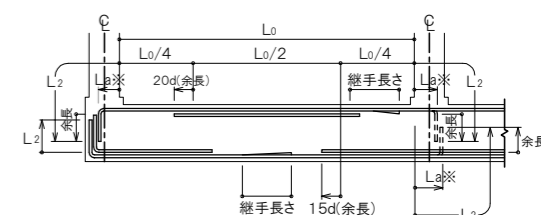


- (注)1. 図示のない事項は、10.1による。
2. 印は、継手及び余長位置を示す。
3. 破線は、柱内定着の場合を示す。
※ L_a の数値は、原則として、6.3表の数値かつ柱せいの3/4倍以上とする。
4. 基礎梁内の主筋カットオフ位置及び余長は図面による。

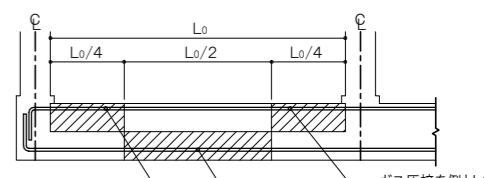


12.2図 主筋の継手、定着及び余長(その1)

- (3)連続基礎及びべた基礎の基礎梁(基礎梁の下方より地反力(抗反力)を受ける場合)の主筋の継手、定着及び余長



- (注)1. 図示のない事項は、10.1による。
2. 印は、継手及び余長位置を示す。
3. 破線は、柱内定着の場合を示す。
※ L_a の数値は、原則として、6.3表の数値かつ柱せいの3/4倍以上とする。
4. 基礎梁内の主筋カットオフ位置及び余長は図面による。

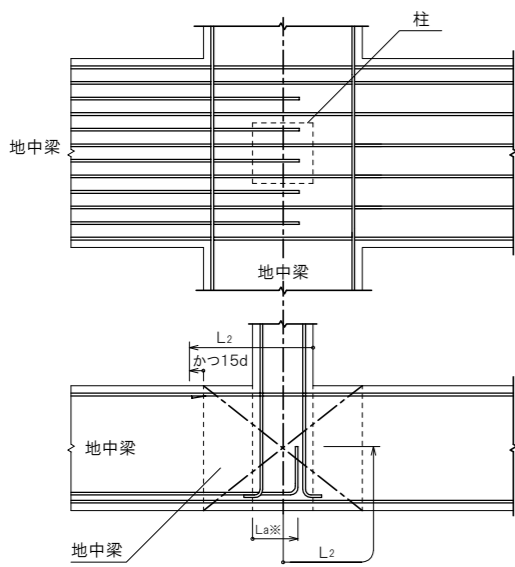


12.3図 主筋の継手、定着及び余長(その2)

工事名	令和8年度 長泉第1浄水場倉庫建設工事
工事箇所	長泉町 納米里 地内
図面の種類	<資材倉庫> 構造細目共通図 (3)
縮尺	- S-3
測量年月日	- 設計年月日 令和8年
事務所名	長泉町上下水道課

(4) 柱幅<梁幅の場合

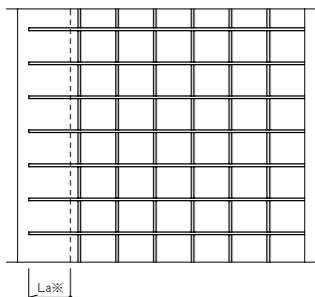
(a) 交差部のスターラップを設ける場合は、図面による。



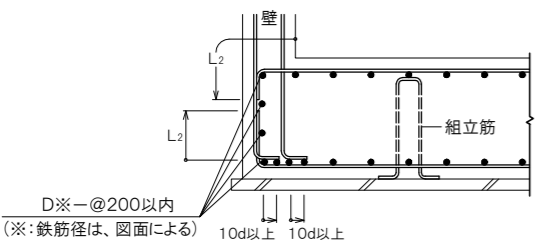
※ Laの数値は、原則として、6.3表の数値かつ柱せいの3/4倍以上とする。
12.4図 主筋の継手、定着及び余長(その3)

12.4 梁形を設けない場合の基礎底版(オイルタンク等)

- (1) 定着の取り方は、壁の面からとする。
- (2) 途中で配筋が変わる場合の定着は、12.2図のように基礎底版筋を梁筋と読みかえる。



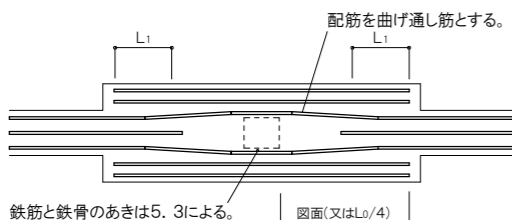
※ Laの数値は、原則として、柱せいの3/4倍以上とする。



D※-@200以内
(※:鉄筋径は、図面による) 10d以上 10d以上

12.5図 主筋の継手、定着及び余長(その4)

(3) 鉄骨造のBOX柱等が埋め込まれる場合の端部と中央部の断面の異なる場合



鉄筋と鉄骨のあきは5.3による。 図面(又はLo/4)
12.6図 主筋の継手、定着及び余長(その5)

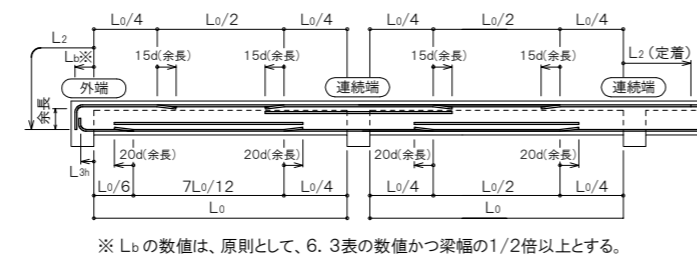
13 小梁及び片持梁の配筋要領

13.1 一般事項

- (1) 図面にない事項は大梁、梁のあばら筋、及び基礎梁の項に準ずる。
- (2) ≡印は、継手及び余長を示す。

13.2 小梁

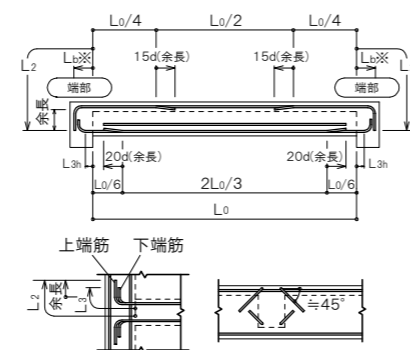
(1) 連続小梁の場合



※ Lbの数値は、原則として、6.3表の数値かつ梁幅の1/2倍以上とする。

13.1図 小梁主筋の継手、定着及び余長(その1)

(2) 単独小梁の場合



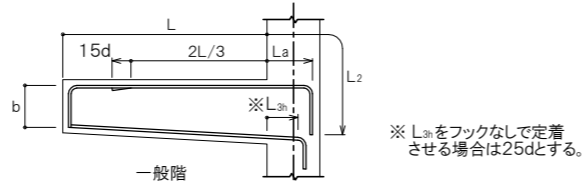
13.2図 小梁主筋の継手、定着及び余長(その2)

- (注)1. ≡印は、継手及び余長を示す。
2. 梁内の定着筋において梁せいが小さく垂直で余長がとれない場合、斜めにしてもよい。
3. 図示のない事項は、10.1及び12.1に準ずる。
※ Lbの数値は、原則として、6.3表の数値かつ梁幅の1/2倍以上とする。

13.3 片持梁筋の定着

(1) 先端に小梁のない場合

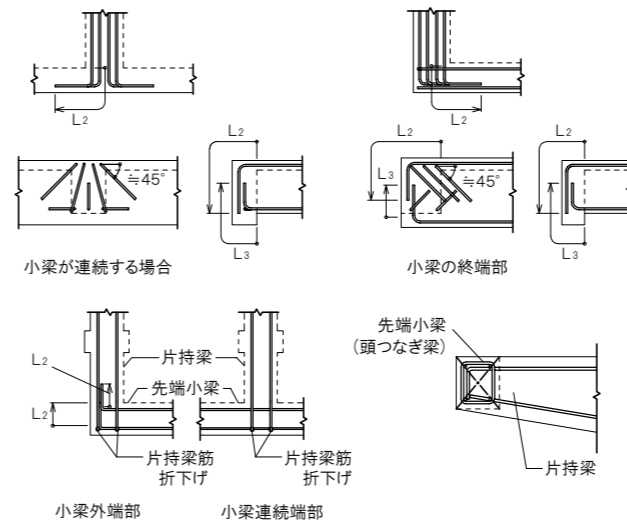
- a. 先端の折曲げの長さbは、梁せいよりかぶり厚さを除いた長さとする。
- b. 梁筋を引き通さない場合は、取り合い部材に定着する。ただし、柱に取り合う場合は、全数を引き通すことができる場合でも、上端筋は、2本以上を柱に定着する。



13.3図 片持梁主筋の定着及び余長(先端に小梁のない場合)

(2) 先端に小梁がある場合

- a. 上端筋は、先端小梁内に斜めに定着する。
- b. 先端小梁終端部の主筋は、片持梁内に水平定着する。
- c. 先端小梁の連続端は、片持梁の先端を貫通する通し筋としてよい。

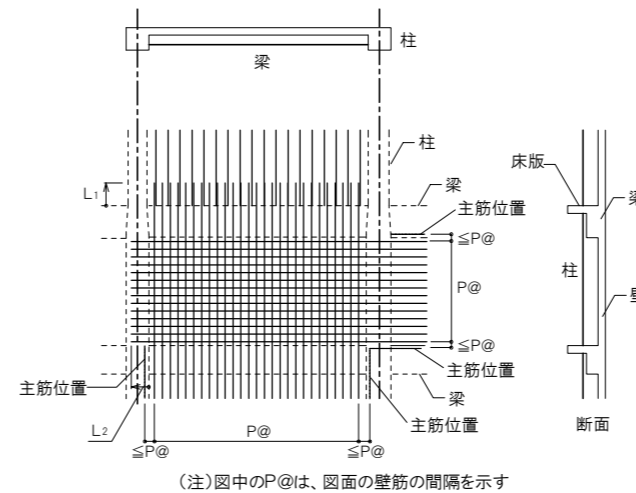


13.4図 片持梁主筋の定着

14 壁の配筋要領

14.1 一般事項

- (1) 一般壁鉄筋の重ね継手の長さはL1とし、耐震壁の鉄筋の重ね継手の長さは40dとする。ただし、SD390、SD490を使用する場合は特記による。また、定着の長さは、L2とし、鉄筋の継手位置は、柱・梁部以外とする。
- (2) 幅止め筋は、縦、横ともD10-@1000を標準とする。
- (3) 打増し部分に、壁及びスラブ等が取りつく場合は、壁及びスラブ筋等の定着長さは打増し部分には含まない。
- (4) 土圧及び水圧などを受ける壁の配筋は、図面による。



(注)図中のP@は、図面の壁筋の間隔を示す

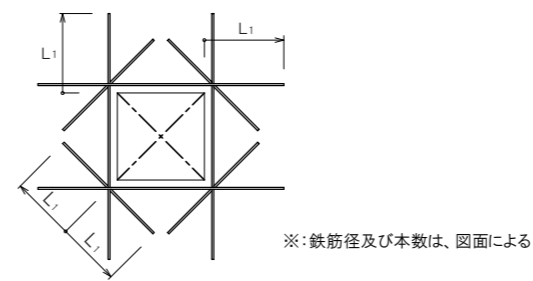
14.1図 壁の配筋

14.2 耐震壁の開口

- (1) 耐震壁等の開口は、図面以外は設けてはならない。
- (2) やむを得ず開口をあける場合は、H19国土交通省告示593号の規定を満足することを構造計算によって確認すること。

14.3 壁開口部の補強

(1) 壁開口部の補強は、図面による。補強筋の長さ及び位置は、14.3図を標準とする。



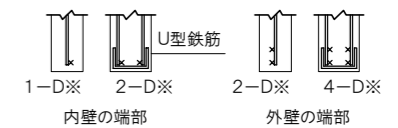
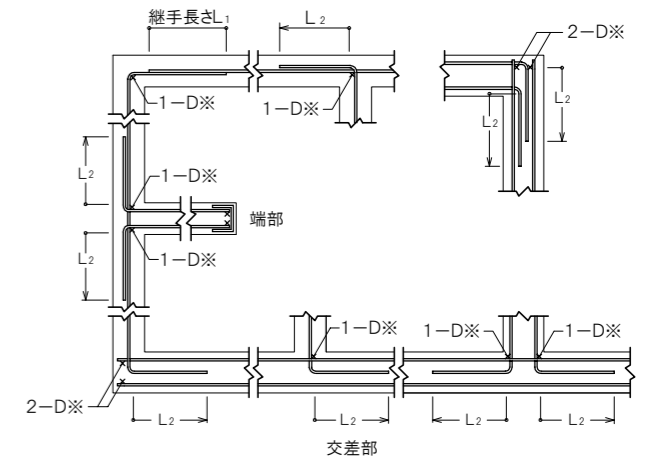
14.3図 壁開口部の補強の定着長さ

(2) 開口部は柱及び梁に接する部分又は鉄筋を緩やかに曲げることにより、開口部を避けて配筋出来る場合は、補強筋を省略することができる。

14.4 壁の交差部及び端部

壁の交差部及び端部の交差部は、14.4図による。

- a. 交差部補強筋D※はD13以上、かつ壁主筋と同径とする。
- b. 壁の端部にU型鉄筋を使用する場合の径及び間隔は、壁筋と同径及びの間隔とする。

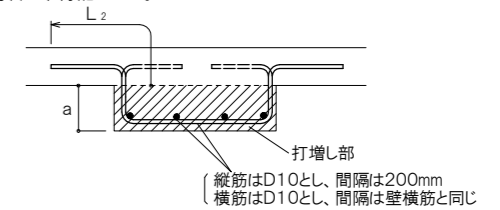


14.4図 壁の交差部及び端部の配筋

※壁構造の場合は、「壁構造配筋指針・同解説」(日本建築学会)に基づき図面による。

14.5 壁の打増し要領

コンセントボックス等を壁に埋め込む場合の補強は、特記によるほか、配管等での壁の打増し補強筋は、14.5図による。打増し厚さのaが50mm以上、200mm以下に適用する。200mmを越える場合は、特記による。



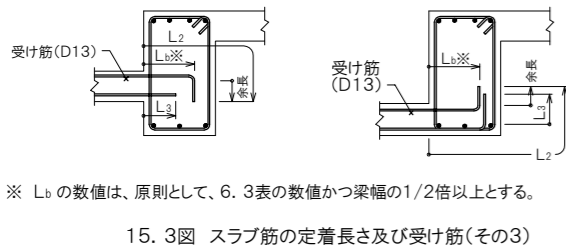
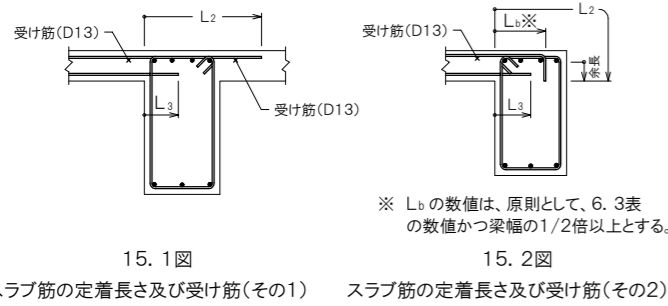
14.5図 壁の打増し補強配筋

工事名	令和8年度 長泉第1浄水場倉庫建設工事
工事箇所	長泉町 納米里 地内
図面の種類	<資材倉庫> 構造細目共通図 (4)
縮尺	- S-4
測量年月日	- 設計年月日 令和8年
事務所名	長泉町上下水道課

15 床の配筋要領

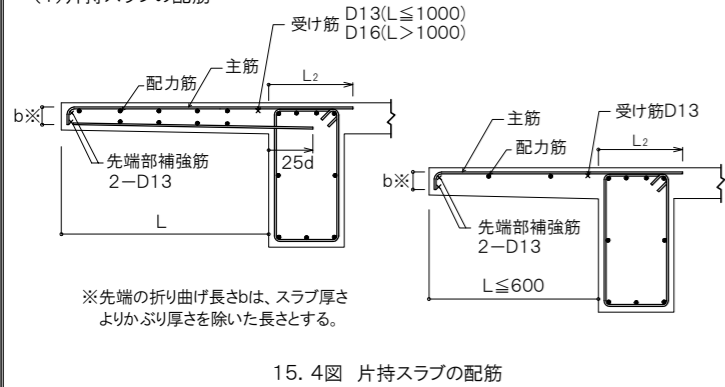
15.1 一般事項

- (1) 鉄筋の継手長さは、 L_1 とする。
- (2) 定着長さ及び受け筋は、15.1図による。ただし、引き通すことができない場合は、15.2図、15.3図により梁内に定着する。
- (3) 基礎梁と床版を一体打ちとしないで、打ち継ぎを設ける場合の補強は図面による。

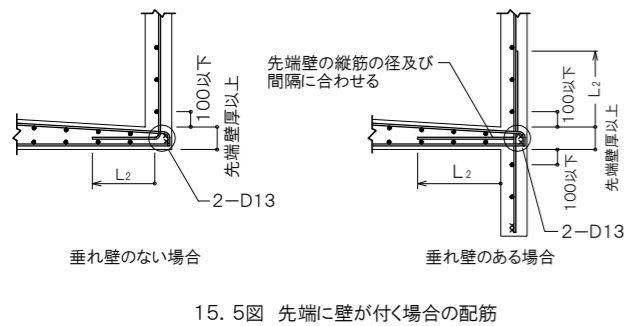


15.2 片持スラブ

(1) 片持スラブの配筋

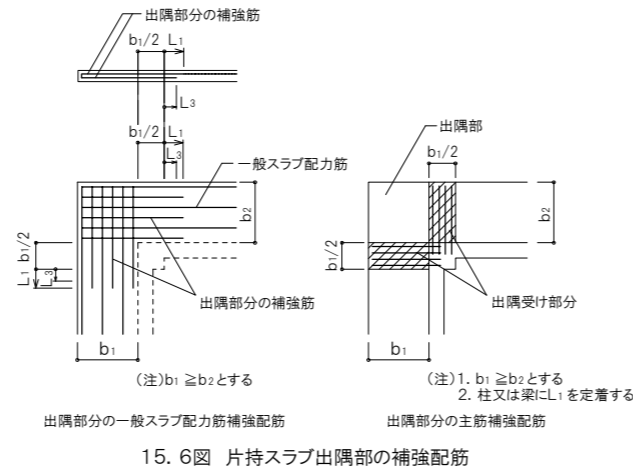


(2) 先端に小梁がなく壁が取り付け場合



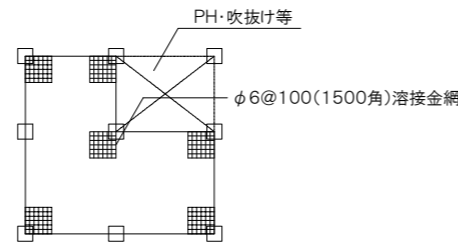
15.3 片持ちスラブ出隅部の補強配筋

- (1) 出隅部の補強筋は図面により、配筋方法は、15.6図による。
- (2) 出隅受け部分(図のハッチ部分)の配筋は、図面による。



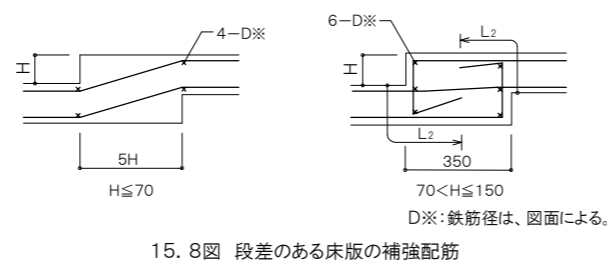
15.4 地上部最上階の屋根床版

- (1) 出隅及び入隅部分には、15.7図により、補強筋(溶接金網)を上端筋の下側に配筋する。
- (2) 陸屋根、勾配屋根共通とする。



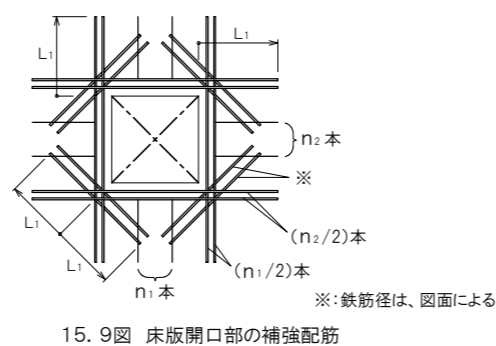
15.5 段差床版の補強

- 同一床版に段差がある場合、15.8図の補強を行う。ただし、 $H > 150$ の場合は、小梁を設ける事を原則とする。



15.6 床版開口部の補強

- (1) 開口の最大径 ≤ 700 の場合は、開口によって切られる鉄筋と同量の鉄筋で周囲を補強し、隅角部には、斜め方向に主筋径以上の鉄筋2本を上下筋の内側に配筋する。(15.9図) 開口の最大径 > 700 の場合は図面による。

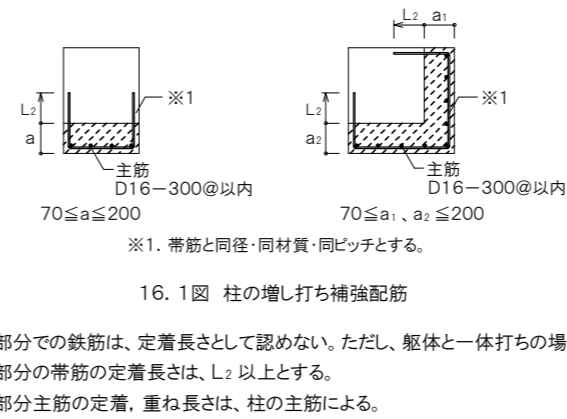


- (2) 床版開口の最大径が両方向の配筋間隔以下で、鉄筋を緩やかに曲げることにより、開口部を避けて配筋できる場合は、補強筋を省略することができる。

16 柱及び梁の増し打ち要領

16.1 柱

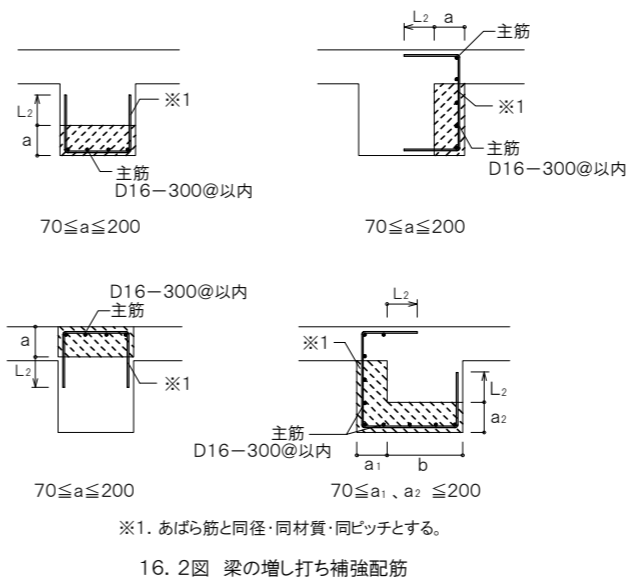
- (1) 増し打ちコンクリートの補強は、16.1図による。ただし、 $a < 70\text{mm}$ の場合、補強は行わない。 $200\text{mm} < a$ の場合は、図面による。



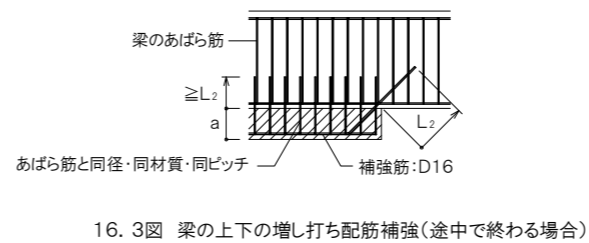
- (2) 増し打ち部分での鉄筋は、定着長さとして認めない。ただし、躯体と一体打ちの場合は除く。
- (3) 増し打ち部分の帯筋の定着長さは、 L_2 以上とする。
- (4) 増し打ち部分主筋の定着、重ね長さは、柱の主筋による。

16.2 梁

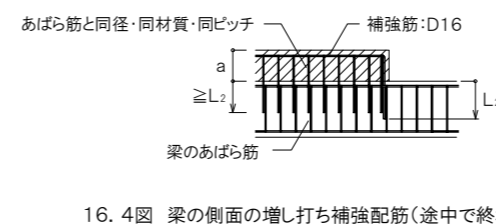
- (1) 増し打ちコンクリートの補強は、16.2図による。 $a < 70\text{mm}$ の場合、補強は行わない。 $200\text{mm} < a$ の場合は、図面による。



- (2) 増し打ち部分での鉄筋は、定着長さとして認めない。ただし、躯体と一体打ちの場合は除く。
- (3) 増し打ち部分のあばら筋の定着長さは、 L_2 以上とする。
- (4) 増し打ち部分の主筋の定着、重ね長さは、梁の主筋による。
- (5) 梁の上下の増し打ちが途中で終わる場合



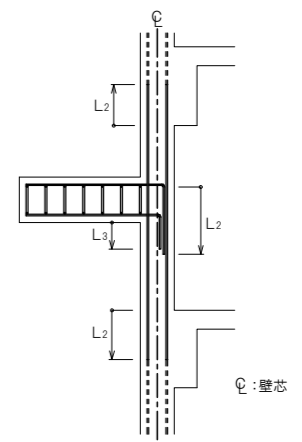
- (6) 梁の側面の増し打ちが途中で終わる場合



18 階段の配筋要領

18.1 階段の配筋要領

- (1) 壁配筋は、図面による。
- (2) 階段主筋は、壁の中心線を越えてから縦に曲げ下ろす。



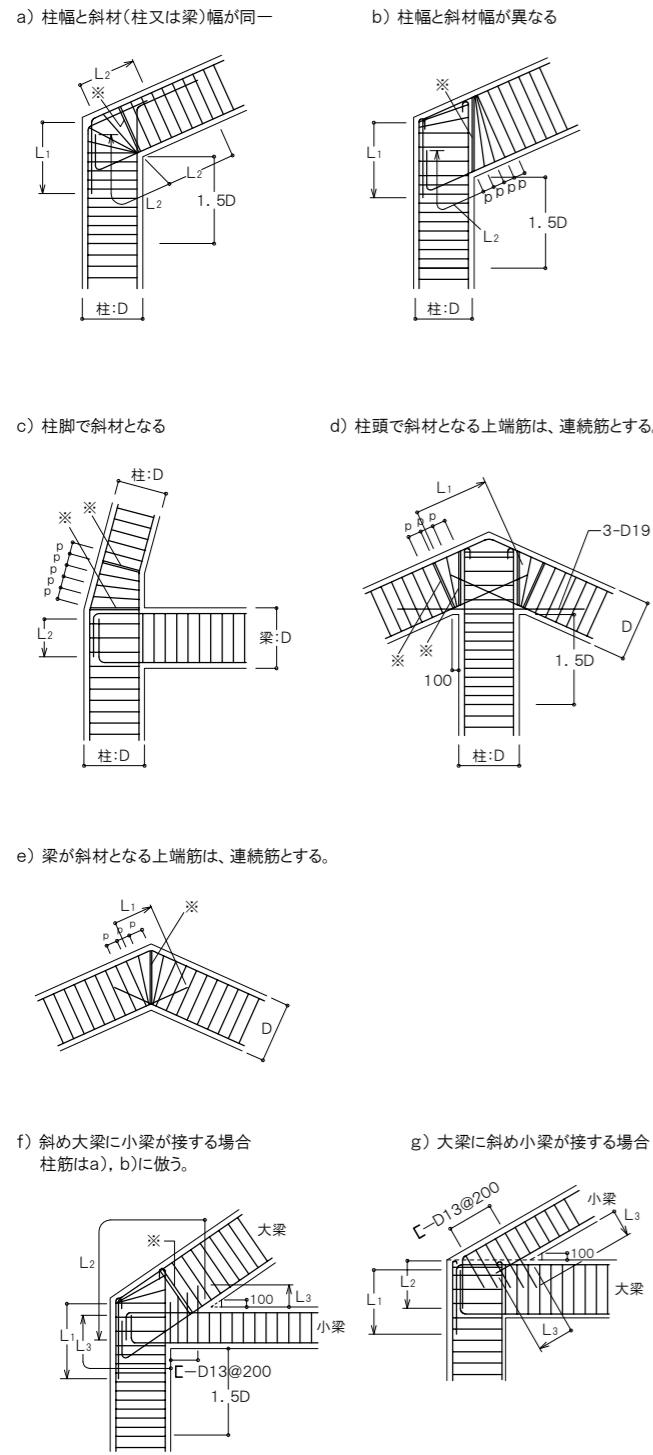
18.1図 片持ちスラブ形階段配筋の定着

工事名	令和8年度 長泉第1浄水場倉庫建設工事
工事箇所	長泉町 納米里 地内
図面の種類	<資材倉庫> 構造細目共通図 (5)
縮尺	- S-5
測量年月日	- 設計年月日 令和8年
事務所名	長泉町上下水道課

19 勾配屋根の取り合い

19.1 斜め柱・斜め梁の取り合い

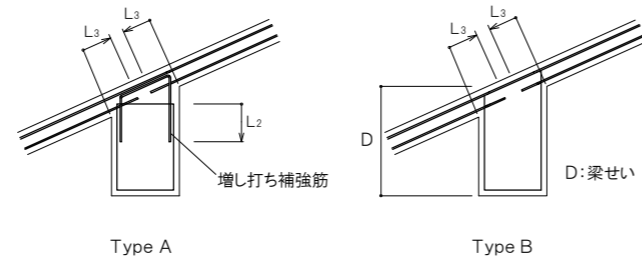
- (1) ※印の鉄筋は、同径以上とし、かつダブル巻きとする。
 (2) 1.5Dの範囲の柱の帯筋は一段太いものか、またはダブル巻きとし@100以下とする。
 (3) 柱の取合い部における斜め梁のせん断補強筋中心間隔は、当該梁部材のせん断補強筋中心間隔p以下とする。



19.1図 斜め柱・斜め梁の取り合い配筋

19.2 梁と床版の取り合い

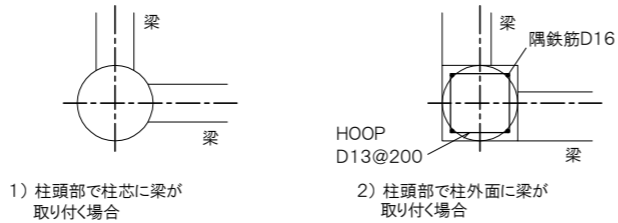
増し打ち補強要領は、16.2Iによる。



19.2図 梁と床版の取り合い配筋

19.3 円柱の取り合い

円柱と梁の取り合い



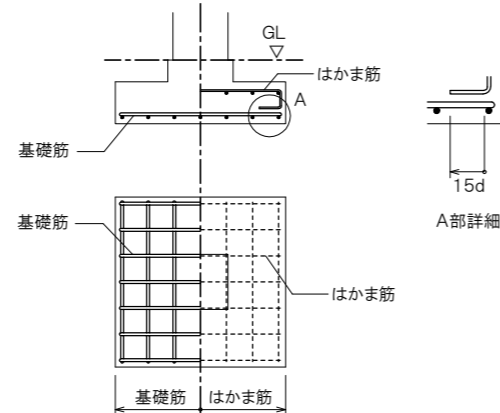
3) 柱脚部の円柱と基礎との取合い

19.3図 円柱の取り合い配筋

20 基礎及び基礎梁の配筋

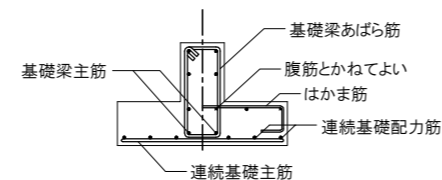
20.1 直接基礎の配筋

(1) 独立基礎



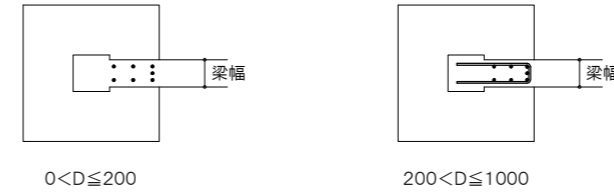
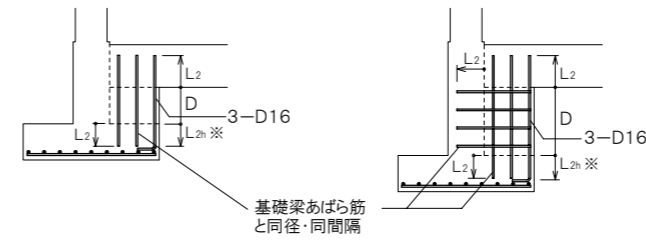
20.1図 独立基礎の配筋

(2) 連続基礎



20.2図 連続基礎の配筋

20.2 基礎接合部の補強配筋



※L_{2n}を確保できない場合は、標仕(5.3.4(e)(2))によることができる。

21.2 基礎接合部の補強

基礎接合部の補強は、20.2Iによる。

工事名	令和8年度 長泉第1浄水場倉庫建設工事
工事箇所	長泉町 納米里 地内
図面の種類	<資材倉庫> 構造細目共通図 (6)
縮尺	- S-6
測量年月日	- 設計年月日 令和8年
事務所名	長泉町上下水道課

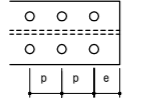
構造関係共通事項（鉄骨標準図）

1.1 縁端距離及びボルト間隔等

(1) 縁端距離及びボルト間隔
縁端距離及びボルト間隔は、表1.1による。
ただし、引張材の接合部分において、せん断力を受けるボルトが応力方向に3本以上並ばない場合の縁端距離は、構造図による。構造図がなければ、ボルト軸径の2.5倍以上とする。
また、アンカーボルトの縁端距離は構造図による。

表1.1 縁端距離及びボルト間隔 (単位: mm)

ねじの呼び	縁端距離 e	ボルト間隔 p
M12	40	60
M16		
M20		
M22		
M24	45	70

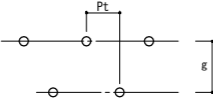


(2) 千鳥打ちのゲージ及びボルト間隔

千鳥打ちのゲージ及びボルト間隔は、表1.2による。

表1.2 千鳥打ちのゲージ及びボルト間隔 (単位: mm)

ゲージ e	千鳥打ちのボルト間隔 Pt	
	ねじの呼び	
	M12, M16, M20, M22	M24
35	50	65
40	45	60
45	40	55
50	35	50
55	25	45
60	-	40



(3) 形鋼のゲージ及びボルトの最大軸径

形鋼のゲージ及びボルトの最大軸径は、表1.3による。

表1.3 形鋼のゲージ及びボルトの最大軸径 (単位: mm)

A又はB	E1	E2	最大軸径	B				
				E1	E2	最大軸径	最大軸径	
45	25	12	100	56	16	50	30	12
50	28	16	125	75	16	65	35	20
60	35	16	150	90	22	70	40	20
65	35	20	175	105	22	75	40	22
70	40	20	200	120	24	80	45	22
75	40	22	250	150	24	90	50	24
80	45	22	300	150	24	100	50	24
80	50	24	350	140	24	70	24	24
90	50	24	400	140	24	90	24	24
100	55	24	400	140	24	90	24	24
125	50	35	24	24	24	24	24	24
130	50	40	24	24	24	24	24	24
150	55	55	24	24	24	24	24	24
175	60	70	24	24	24	24	24	24
200	60	90	24	24	24	24	24	24

※1 千鳥打ちとした場合

1.2 溶接継手の種類別開先標準

突合せ継手の開先標準 (溶接継手記号 B)

H (被覆アーク溶接、ガスシールドアーク溶接及びセルフシールドアーク溶接)		A (サブマージアーク自動溶接)	
1 (片面溶接)	2 (両面溶接)	1 (片面溶接)	2 (両面溶接)
t ≤ 6		t ≤ 12	
6 < t ≤ 19		12 < t ≤ 22	
19 < t ≤ 40		22 < t ≤ 40	

T型継手の開先標準 (溶接継手記号 T)

H (被覆アーク溶接、ガスシールドアーク溶接及びセルフシールドアーク溶接)		A (サブマージアーク自動溶接)	
1 (片面溶接)	2 (両面溶接)	1 (片面溶接)	2 (両面溶接)
t ≤ 6		t ≤ 12	
6 < t ≤ 19		12 < t ≤ 22	
19 < t ≤ 40		22 < t ≤ 40	

部材が直交しない場合の開先標準 (溶接継手記号 T)

H (被覆アーク溶接、ガスシールドアーク溶接及びセルフシールドアーク溶接)		A (サブマージアーク自動溶接)	
1 (片面溶接)	2 (両面溶接)	1 (片面溶接)	2 (両面溶接)
6 < t ≤ 40		19 < t ≤ 40	

かど継手の開先標準 (溶接継手記号 L)

H (被覆アーク溶接、ガスシールドアーク溶接及びセルフシールドアーク溶接)		A (サブマージアーク自動溶接)	
1 (片面溶接)	2 (両面溶接)	1 (片面溶接)	2 (両面溶接)
t ≤ 6		t ≤ 12	
6 < t ≤ 19		12 < t ≤ 19	
19 < t ≤ 40		19 < t ≤ 40	

隅内溶接の開先標準 (溶接継手記号 F)

H (被覆アーク溶接、ガスシールドアーク溶接及びセルフシールドアーク溶接)		A (サブマージアーク自動溶接)	
1 (片面溶接)	2 (両面溶接)	1 (片面溶接)	2 (両面溶接)
t ≤ 16		t ≤ 16	
16 < t ≤ 40		16 < t ≤ 40	

隅内溶接のサイズ

t	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	19	22	25	28	32	36	40
S	3	4	5	5	6	7	8	8	9	10	10	11	12	11	13	15	17	19	21	24

部分溶込み溶接の開先標準 (溶接継手記号 P)

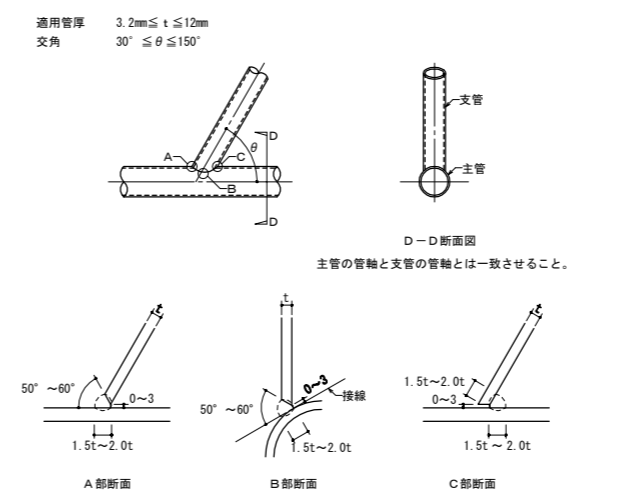
H (被覆アーク溶接、ガスシールドアーク溶接及びセルフシールドアーク溶接)		A (サブマージアーク自動溶接)	
1 (片面溶接)	2 (両面溶接)	1 (片面溶接)	2 (両面溶接)
12 ≤ t ≤ 40		16 ≤ t ≤ 40	

重ねアーク溶接 (フレア溶接) の開先標準 (溶接継手記号 FL)

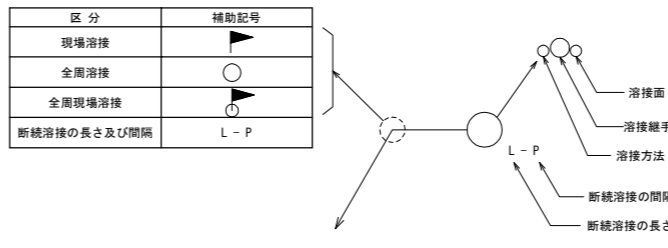
H (被覆アーク溶接、ガスシールドアーク溶接及びセルフシールドアーク溶接)			
1 (丸鋼等片面溶接)	2 (丸鋼等両面溶接)	3 (軽量形鋼V形溶接)	4 (軽量形鋼L形溶接)
t ≥ 3のとき S = t t < 3のとき S = 3			

1.3 鋼管分岐継手詳細

自動機械により開先加工を行う場合はその限りではない。

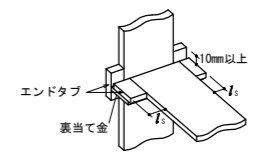


溶接記号、溶接の補助記号 凡例



1.4 鉄骨溶接施工

- (1) エンドタブ・裏当て金の鋼材の種類及び引張強さによる区分は、母材と同等とする。
- (2) エンドタブ
エンドタブの形状は母材と同厚、同開先のものとする。

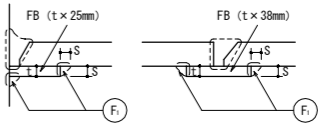


エンドタブの長さ (単位: mm)

溶接方法	長さ
手溶接	35以上
半自動溶接	38以上
自動溶接	70以上

(3) 裏当て金

- 裏当て金の溶接
(ア) 裏当て金の組立溶接は、接合部に影響を与えないように、エンドタブの位置又は梁フランジ幅の1/4の位置に行い、梁フランジ両端から10mm以内の位置には行ってはならない。
- (イ) 完全溶込み溶接の片面溶接に用いる裏当て金は原則としてフランジの内側に設置する。



裏当て金の厚さ (単位: mm)

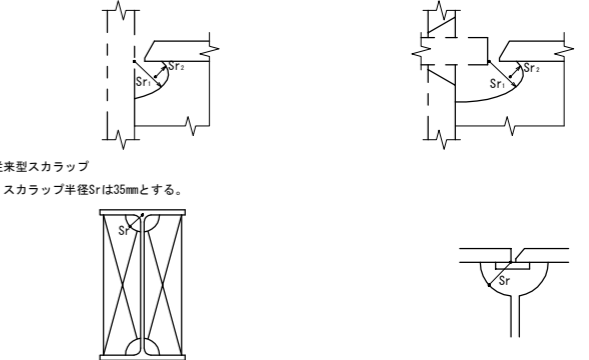
溶接方法	厚さ t
手溶接	6以上
半自動溶接	9以上
自動溶接	12以上

溶接のサイズ (単位: mm)

裏当て金の厚さ	サイズ S
t ≤ 9	5
t > 9	9

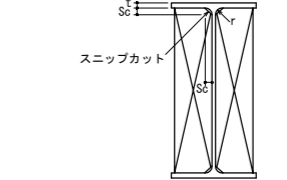
(4) スカラップ

- 改良型スカラップ
(ア) スカラップ半径 Sr1 は35mmとする。Sr2 は10mmとする。
- (イ) スカラップ円弧の曲線は、フランジに滑らかに接するように加工し、複合円は滑らかに仕上げる。



(5) スニップカット

- (ア) スニップカット部は溶接により埋めるものとする。



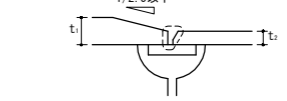
スニップカットの寸法 (単位: mm)

t	6	9	12	16以上
Sc	10	12	14	15

ただし、既製形鋼のスニップカットについては、Sc = r + 2により求めるものとする。

(6) 溶接部分の段差

- (ア) 完全溶込み溶接を行う部分の板厚の差による段差が10mmを超える場合は低応力高サイクル疲労を受ける場合。



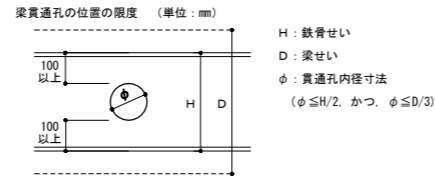
工事名	令和8年度 長泉第1浄水場倉庫建設工事
工事箇所	長泉町 納米里 地内
図面の種類	<資材倉庫>構造関係 共通事項(鉄骨標準図その1)
縮尺	- S-7
測量年月日	- 設計年月日 令和8年
事務所名	長泉町上下水道課

(7) 鋼材と溶接材料の組合せと溶接条件

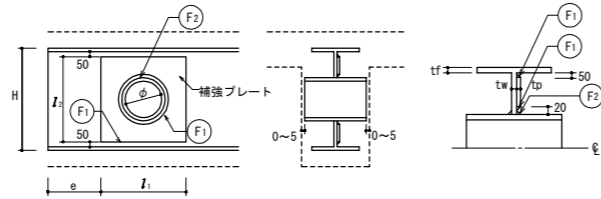
鋼材の種類	規格	溶接材料	入熱 (kJ/cm)	バス間温度 (°C)
400N級炭素鋼 (STKR、BCR及びBCPを除く。)	JIS Z 3211	引張強さ570MPa以上のものを除く	40以下	350以下
	JIS Z 3312	YGW-11, 15	40以下	350以下
		YGW-18, 19	30以下	450以下
	JIS Z 3313	T490Tx-yCA-U	40以下	350以下
		T490Tx-yMA-U	30以下	450以下
		T550Tx-yCA-U T550Tx-yMA-U		
JIS Z 3214	引張強さ570MPa以上のものを除く	40以下	350以下	
JIS Z 3315	G49AOU-CCJ G49AOU-NCG, NCCT等	40以下	350以下	
	JIS Z 3211	引張強さ570MPa以上のものを除く	40以下	350以下
490N級炭素鋼 (STKR及びBCPを除く。)	JIS Z 3312	YGW-11, 15	30以下	250以下
	JIS Z 3312	YGW-18, 19	40以下	350以下
		T490Tx-yCA-U	30以下	250以下
	JIS Z 3313	T490Tx-yMA-U	40以下	350以下
		T550Tx-yCA-U T550Tx-yMA-U		
		JIS Z 3214	引張強さ570MPa以上のものを除く	40以下
JIS Z 3315	G49AOU-CCJ G49AOU-NCG, NCCT等	40以下	350以下	
	JIS Z 3312	YGW-11, 15	30以下	250以下
400N級炭素鋼 (STKR、BCR及びBCPIに限る。)	JIS Z 3312	YGW-18, 19	40以下	350以下
		T490Tx-yCA-U T490Tx-yMA-U	30以下	250以下
490N級炭素鋼 (STKR及びBCPIに限る。)	JIS Z 3312	T550Tx-yCA-U T550Tx-yMA-U	40以下	350以下
		JIS Z 3313	YGW-18, 19	30以下
490N級炭素鋼 (STKR及びBCPIに限る。)	JIS Z 3313	T550Tx-yCA-U T550Tx-yMA-U	30以下	250以下

1.6 梁貫通孔補強

- (1) 鉄骨造及び鉄骨鉄筋コンクリート造の鉄骨梁ウェブ部に貫通孔を設ける場合は、次による。
 (ア) 貫通孔の内径寸法は、鉄骨せいの1/2以下かつ鉄筋コンクリートの梁せいの1/3以下とする。
 (イ) 貫通孔間隔は、両側の貫通孔径の平均値の、鉄骨造で2倍以上、鉄骨鉄筋コンクリート造で3倍以上確保する。

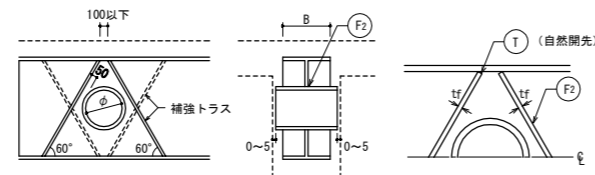


- (2) 貫通孔の補強方法は、構造図による。
 補強プレート法及び補強トラス法の溶接等は、以下による。
 補強プレート法
 (ア) 補強プレートが16mm以上となる場合は、必要な長さの1/2以上の補強プレートをウェブ両面から溶接する。
 (イ) 補強プレートは丸型としても良い。上下フランジとのあき50mmについては施工性を考慮して小さくすることもできる。



I_1 は 3ϕ または I_2 のうち小さい方とする。 ($e \geq H$ とする)
 e : 材端と補強プレートの間隔

補強トラス法
 スリーブの取付けは、全周隅肉溶接とする。



1.5 重ねアーク溶接 (フレア溶接) を行う場合の溶接長さ

鉄筋又は軽量形鋼に重ねアーク溶接 (フレア溶接) を行う場合の溶接長さ (L) は、ビートの始点 (La) 及びクレーター (Lb) を除いた長さとする。

- L : 片面フレア溶接の場合 10d
 両面フレア溶接の場合 5d

L a 及び L b は1d (軽量形鋼については1S) 以上
 d : 異形鉄筋の呼び名に用いた数値
 S : 溶接のサイズ



1.7 その他

- (1) 広幅平鋼の取扱い
 BH材のフランジ及びフランジに使用する外側スプライスプレートは、PL表記であってもFB又はPLとする。
 (2) フィラープレートの材質
 フィラープレートを使用する場合、材質はSS400とする。
 (3) もや、鋼線類の取付け用ボルト
 もや、鋼線類の取付け用ボルトを普通ボルト結合とする場合は、二重ナットとする。

工事名	令和8年度 長泉第1浄水場倉庫建設工事
工事箇所	長泉町 納米里 地内
図面の種類	<資材倉庫>構造関係 共通事項 (鉄骨標準図その2)
縮尺	- S-8
測量年月日	- 設計年月日 令和8年
事務所名	長泉町上下水道課

1. 工法概要

1.1 構成部材

BP 異形 D アンカータイプ, BP 異形 D アンカータイプ, BP 丸鋼アンカータイプ. 1 アンカーボルト, 2 BP N ナット, 3 BP D ナット, 4 BP D ナット(S), 5 BP 丸鋼ナット, 6 BP 位置決めナット, 7 ベースプレート, 8 BP 注入座金, 9 BP 定着板/BP 連結定着板, 10 BP 定着ベルト, 11 ベースパックグラウト, 12 テンプレート, 13 フレームポスト, 14 フレームベース, 15 BP 受け金物, 16 振れ止め金物, 17 ステコンアンカー.

3. 構成部材・寸法

3.1 ベースプレート

●材質 SM490B [JIS G 3136], TMCP385B [建築基準法第37条第二号に基づく国土交通大臣認定材料] ●形状寸法 仕様毎の各寸法は、「ベースパック柱脚工法設計ハンドブック」に記載の値とする.

3.2 アンカー用ボルトセット

3.2.1 アンカーボルト BP 異形 D アンカー, BP 丸鋼アンカー. 3.2.2 ナット BP 異形 D アンカー(BP ナット), BP 異形 D アンカー(端部ナット), BP 丸鋼アンカー(BP ナット).

3.3 定着部材

3.3.1 BP 定着ベルト

BP 異形 D アンカー12本仕様, BP 丸鋼アンカー12本仕様. ベースパック記号, D, E 単位 mm.

3.2.3 BP 注入座金

BP 異形 D アンカー, BP 丸鋼アンカー. ベースパック記号, D, E 単位 mm.

1.2 柱脚の定着方法概要

2. 柱 F値(0/mm²) 鋼種 種別. BCP235, STKR400, SHC400, BCR295, JBCR295, TSC295, BCP325, STKR490, SHC490, BSH325, UBCR365, JBCR385, BCP385.

3.5 アンカーフレーム形状および据付け時諸寸法

●ベースパックの据付け高さ(h寸法)はフレームベース下端からコンクリート柱型天端までを示す. 据付けに最低限必要な高さ(最低h寸法)は「ベースパック柱脚工法設計施工標準図 2/3, 3/3」に記載の値とする.

3.4 フレームベース

wは3.5に記載のフレームベース内法寸法とする. BP 異形 D アンカー, BP 丸鋼アンカー. 単位 mm.

5. 工場製作(溶接)

●ベースプレートの中心に柱材軸心を合わせる. ●溶接方法(完全溶込み溶接) ●完全溶込み溶接とする. (JASS6 鉄骨工事による) ●ベースプレートの予熱 ●気温(鋼材表面温度)が5℃以上のベースプレートの予熱は次に示す予熱温度標準により行う. ●検査方法: 溶接部の検査は超音波探傷検査により行う. 探傷は柱側から行う.

6. 工事場施工

6.1 基礎工事 ●柱脚部の捨てコンの厚さは90mm以上とし、表面は平滑に仕上げる. 6.2 アンカーボルトの据付け ●4本及び8本タイプのアンカーボルトの据付けは、4隅のアンカーボルト4本(8本)で組立を行う. 12本及び16タイプのアンカーボルトの据付けは、予め捨てコン上にセットされたフレーム上に、定着部材・アンカーボルト・テンプレート等でアンカーユニットを組立て、フレームに固定する. ●フレームベースは、ステコンアンカーにより水平に固定する. ●位置決めは、テンプレートの中心位置と地盤等の柱心を合せさせることにより行う. 標準許容差は下図による. 6.3 配筋およびコンクリート打設 ●配筋はアンカーフレームもしくはアンカーユニットおよびフレームとの取り合いを考慮する. ●コンクリート打設前にテンプレート位置精度を確認する. 6.4 建方 ●レベルモルタル施工は、ベースパックグラウト(グラウト材)を使用し、大きさは下図による. 6.5 アンカーボルトの本締め(戻り止め) ●本締めはグラウト材の充填前に行い、BP 異形 D アンカー、BP 異形 D アンカータイプはダブルナットを標準とする. BP 丸鋼アンカータイプはBP 丸鋼ナットによるシングルナットを標準とし、コンクリートに埋込み等の戻り止め処置を行う. 6.6 ベースパックグラウト(グラウト材)の注入 ●グラウト材のカクハンは、グラウト材1袋(25kg)に対して、計量カップで4.0~4.6%の水を加え、電動力カハン機で混練することにより行う. ●グラウト材の注入は、グラウトロートを注入座金にセットし、グラウト材の自重により他の注入座金からグラウト材が噴き出るまで行う.

4. コンクリート柱型

4.1 形状・材質

●コンクリート 普通コンクリートとし、設計基準強度は30N/mm²を上限とする. 設計基準強度の下限は「ベースパック柱脚工法設計施工標準図 2/3, 3/3」に記載の値とする. ●鉄筋 立上り筋: SD295 (D16), SD345 (D19, D22, D25), SD390 (D29) フープ筋: SD295

4.2 配筋・基礎立上り

●立上り筋の下部折曲げは8d以上とする. ●立上り筋の下部折曲げは梁下端筋より下方に配筋する. ●立上り筋の高さは、50mm以下とする. ただし、BP 丸鋼アンカータイプは200mm以下とする. ●立上り筋の頂部にはフックをもうけなくてよい. ●柱型頂部のフープ筋(トップフープ)は、基礎梁主筋より上方へ配置する.

4.3 特記事項

4.1及び4.2によらない場合は下記による. 採用 □鉄筋コンクリート柱として設計 □立上り筋に頂部フックが必要 □立上り筋の下部折曲げ不要

7. 本工法の施工及び施工管理

●本工法は、管理者又は施工者(元請)の管理のもとで実施するものとする. ●本工法のうち6.2アンカーボルトの据付けおよび6.6ベースパックグラウト(グラウト材)の注入は、ベースパック・セレクトベース施工技術委員会によって認定された有資格者(ベースパック施工管理技術者・施工技能者)が施工を実施し、チェックシート等により施工管理を行うものとする. ●ベースプレート溶接部の施工管理は、鉄骨製作業者に関する鉄骨制作管理技術者等による.

Table with 2 columns: 工事名 (令和8年度 長泉第1浄水場倉庫建設工事), 工事箇所 (長泉町 納米里 地内), 図面の種類 (<資材倉庫>ベースパック 柱脚工法 設計施工標準図 1/2), 縮尺 (-), 測量年月日 (-), 設計年月日 (令和8年), 事務所名 (長泉町上下水道課)

採用 柱符号	RC柱 数量 として設計	ベースバック 記号	柱		ベースプレート							アンカーボルト		コンクリート柱型(側・隅柱、中柱用) ^{※2}										コンクリート柱型(独立柱用) ^{※2}										最低 J寸法										
			外径 mm	板厚 mm	材質	形状 タイプ	寸法							本数	呼び	埋込長さ mm	F _c N/mm ²	標準断面 寸法cD	柱型幅上限 ^{※3}		フープ筋 (SD295)	立上り筋本数					F _c N/mm ²	標準断面 寸法cD	柱型幅上限 ^{※3}		フープ筋 (SD295)	立上り筋本数					h寸法 mm							
							φ ₁ D	φ ₁ t	d1	d2	d3	d4	φd						側・隅柱用 ^{※4}					中柱用 ^{※5}					側・隅柱用 ^{※4}						中柱用 ^{※5}									
																			断面寸法					片側幅量					断面寸法						片側幅量									
																			D16 (SD295)	D19 (SD345)		D22 (SD345)	D25 (SD345)	D29 (SD390)	D16 (SD295)	D19 (SD345)			D22 (SD345)	D25 (SD345)		D29 (SD390)	D16 (SD295)		D19 (SD345)	D22 (SD345)		D25 (SD345)	D29 (SD390)	D16 (SD295)	D19 (SD345)	D22 (SD345)	D25 (SD345)	D29 (SD390)
□	15-12F2	□150	≦12	SN490B	(イ)	300	28	50	200	-	-	45	4	MD27	357	21	500	-	-	D13φ100	12	-	-	-	-	12	-	-	-	-	21	500	-	-	D13φ100	12	-	-	-	-	550	135		
□	17-12F2	□175	≦12	SN490B	(イ)	320	32	45	230	-	-	45	4	MD30	397	21	530	-	-	D13φ100	12	-	-	-	-	12	-	-	-	-	21	530	-	-	D13φ100	12	-	-	-	-	600	135		
□	20-09F2	□200	≦9	SN490B	(イ)	360	28	50	260	-	-	45	4	MD30	397	21	560	-	-	D13φ100	16	12	-	-	-	16	12	-	-	-	21	560	-	-	D13φ100	16	12	-	-	-	600	135		
□	20-12F2	□200	≦12	SN490B	(イ)	360	32	50	260	-	-	50	4	MD33	430	21	560	-	-	D13φ100	16	12	-	-	-	16	12	-	-	-	21	560	-	-	D13φ100	16	12	-	-	-	600	135		
□	25-09F2	□250	≦9	SN490B	(イ)	420	32	55	310	-	-	55	4	MD36	460	21	610	-	-	D13φ100	-	16	12	12	-	-	12	12	12	-	21	610	-	-	D13φ100	-	16	12	12	-	650	150		
□	25-12F2	□250	≦12	SN490B	(イ)	420	36	55	310	-	-	55	4	MD39	495	21	630	-	-	D13φ100	-	16	12	12	-	-	12	12	12	-	21	630	-	-	D13φ100	-	20	12	12	-	650	150		
□	25-16F2	□250	≦16	SN490B	(ロ)	450	32	50	80	190	-	50	8	MD33	485	21	650	-	-	D13φ100	-	-	-	20	-	-	20	16	12	-	21	730	-	-	D13φ100	-	-	24	16	-	610	135		
□	30-09F2	□300	≦9	SN490B	(イ)	480	36	60	360	-	-	55	4	MD39	495	21	680	-	-	D13φ100	-	16	12	12	-	-	16	12	12	-	21	680	-	-	D13φ100	-	-	12	12	-	650	150		
□	30-12F2	□300	≦12	SN490B	(ロ)	520	32	50	80	260	-	50	8	MD30	450	21	700	720	10	D13φ100	-	-	16	16	-	-	16	12	12	-	21	710	720	5	D13φ100	-	-	24	16	-	570	135		
□	30-16F2	□300	≦16	SN490B	(ロ)	520	40	50	80	260	-	55	8	MD36	600	21	730	-	-	D13φ100	-	-	-	20	-	-	24	16	16	-	21	770	-	-	D13φ100	-	-	24	16	-	720	150		
□	30-19F2	□300	≦19	SN490B	(ロ)	550	50	50	80	290	-	55	8	MD36	600	21	760	-	-	D13φ100	-	-	-	20	-	-	24	16	16	-	21	790	-	-	D13φ100	-	-	24	16	-	720	150		
□	35-12F2	□350	≦12	SN490B	(ロ)	580	36	50	95	290	-	55	8	D35H	620	21	810	-	-	D13φ100	-	-	-	20	-	-	20	16	16	-	21	840	-	-	D13φ100	-	-	28	16	-	750	170		
□	35-16F2	□350	≦16	SN490B	(ロ)	610	45	50	95	320	-	55	8	D35H	620	21	830	-	-	D13φ100	-	-	-	20	-	-	20	16	16	-	21	870	-	-	D13φ100	-	-	28	16	-	750	170		
□	35-19F2	□350	≦19	SN490B	(ロ)	610	45	60	95	300	-	60	8	D38H	750	21	820	1090	135	D13φ100	-	-	24	20	-	-	20	16	16	-	21	880	1090	105	D13φ100	-	-	20	16	-	880	190		
□	35-22F3	□350	≦22	TMCP385B	(ロ)	610	45	60	95	300	-	65	8	D41H	800	21	850	1090	120	D13φ100	-	-	24	20	-	-	24	20	20	-	21	910	1090	90	D13φ100	-	-	24	20	-	930	195		
□	35-25F3	□350	≦25	TMCP385B	(ホ)	600	50	60	160	160	-	60	12	D38H	750	21	850	1080	115	D16φ100	-	-	24	20	-	-	24	20	20	-	21	910	1080	85	D16φ100	-	-	28	20	-	1090	190		
□	40-16F3	□400	≦16	TMCP385B	(ロ)	670	45	55	95	370	-	60	8	D38H	750	21	870	1160	145	D13φ100	-	-	24	20	-	-	24	20	20	-	21	910	1160	125	D13φ100	-	-	24	20	-	880	190		
□	40-19F3	□400	≦19	TMCP385B	(ロ)	680	50	60	95	370	-	65	8	D41H	800	21	900	1160	130	D13φ100	-	-	28	20	-	-	28	20	20	-	21	950	1160	105	D13φ100	-	-	28	20	-	930	195		
□	40-22F3	□400	≦22	TMCP385B	(ホ)	650	55	55	160	220	-	60	12	D38H	750	21	920	1140	110	D16φ100	-	-	28	20	-	-	28	20	20	-	21	970	1140	85	D16φ100	-	-	28	24	-	1090	190		
□	40-25F3	□400	≦25	TMCP385B	(ホ)	670	55	65	160	220	-	65	12	D41H	800	21	970	1140	85	D16φ100	-	-	32	24	-	-	32	24	24	-	21	1000	1140	70	D16φ100	-	-	32	24	-	1140	195		
□	45-16F3	□450	≦16	TMCP385B	(ロ)	740	45	65	95	420	-	65	8	D41H	800	21	950	1210	130	D16φ100	-	-	24	20	-	-	24	20	20	-	21	950	1210	130	D16φ100	-	-	28	20	-	930	195		
□	45-19F3	□450	≦19	TMCP385B	(ロ)	710	45	60	160	270	-	60	12	D38H	750	21	1000	1190	95	D16φ100	-	-	28	24	-	-	28	20	20	-	21	1020	1190	85	D16φ100	-	-	28	24	-	1090	190		
□	45-22F3	□450	≦22	TMCP385B	(ホ)	710	50	60	160	270	-	65	12	D41H	800	21	1010	1190	90	D16φ100	-	-	32	24	-	-	32	24	24	-	21	1080	1190	55	D16φ100	-	-	32	28	-	1140	195		
□	45-25F3	□450	≦25	TMCP385B	(ホ)	750	55	70	160	290	-	65	12	D41H	800	24	1020	1210	95	D16φ100	-	-	32	28	-	-	32	28	24	-	24	1080	1210	65	D16φ100	-	-	36	28	-	1140	195		
□	45-28F3	□450	≦28	TMCP385B	(ホ)	750	55	70	200	210	-	75	12	D51L	790	24	1020	1210	95	D16φ100	-	-	36	28	-	-	36	28	24	-	24	1080	1210	65	D16φ100	-	-	36	28	-	1130	220		
□	50-19F3	□500	≦19	TMCP385B	(ホ)	760	50	60	160	320	-	65	12	D41H	800	24	1040	1240	100	D16φ100	-	-	36	28	-	-	36	28	20	24	1090	1240	75	D16φ100	-	-	36	28	-	1140	195			
□	50-22F3	□500	≦22	TMCP385B	(ホ)	810	55	75	160	340	-	65	12	D41H	800	24	1060	1260	100	D16φ100	-	-	36	28	-	-	36	28	20	24	1100	1260	80	D16φ100	-	-	36	28	-	1140	195			
□	50-25F3	□500	≦25	TMCP385B	(ホ)	810	55	70	200	270	-	75	12	D51L	790	24	1070	1270	100	D16φ100	-	-	40	28	-	-	40	28	20	24	1100	1260	85	D16φ100	-	-	40	32	-	1130	220			
□	50-28F3	□500	≦28	TMCP385B	(ホ)	810	60	70	200	270	-	75	12	D51H	890	24	1180	1270	45	D16φ100	-	-	48	36	24	-	48	36	24	24	1180	1270	45	D16φ100	-	-	48	36	-	1230	230			
□	50-32F3	□500	≦32	TMCP385B	(ホ)	810	60	70	200	270	-	75	12	D51H	890	24	1180	1270	45	D16φ100	-	-	48	36	24	-	48	36	24	24	1180	1270	45	D16φ100	-	-	48	36	28	1230	230			
□	50-36F3	□500	≦36	TMCP385B	(ホ)	840	65	85	200	270	-	75	12	D51H	890	24	1200	1270	35	D16φ100	-	-	48	36	24	-	48	36	24	24	1200	1270	35	D16φ100	-	-	48	36	28	1230	230			
□	55-19F3	□550	≦19	TMCP385B	(ホ)	850	50	75	160	380	-	65	12	D41H	800	24	1100	1300	100	D16φ100	-	-	36	28																				

QLデッキ合成スラブ設計・施工標準 耐火仕様⑤ JFE 建材 株式会社

QL50-6000 高荷重・耐火補筋筋不要仕様〔耐火認定FP120FL-0180-5, 0181-5用〕

QLデッキ合成スラブの設計・施工は、(一社)日本建築学会「各種合成構造設計指針・同解説」「鉄骨工事技術指針」「建築工事標準仕様書・同解説 JASSS鉄筋コンクリート工事及びJASS6鉄骨工事」、(一社)日本鋼構造協会「デッキプレート床構造設計・施工標準 2018」、QLデッキ設計マニュアル・同施工マニュアルによる。

設計

材料/デッキプレート [ISO 9001 認証取得]

デッキプレート種類	板厚(mm)	表面処理
QL99-50	1.0	○亜鉛めっき [○Z12 ○Z27]
		○JFEエポキシ(高耐食溶融めっき鋼板) [○Y18 ○Y27]
		○その他()
2.0	1.2	○表面防錆処理(一次塗装) QLプライマー(P) ^{※1,2}
		○亜鉛めっき [○Z12 ○Z27]
		○JFEエポキシ(高耐食溶融めっき鋼板) [○Y18 ○Y27]
3.0	1.6	○その他()

材質 JIS G 3352に定めるSDP1T, SDP2, SDP2G

種類	普通コンクリート
設計基準強度	□18 □21 □24 □(24) N/mm ²
厚さ(QLデッキ山)	□80 □85 □90 □95 □100 □() mm

材料/溶接金網・異形鉄筋^{※3}

溶接金網	JIS G 3551 ^{※4}	縦径6-7.5×7.5	横径6-150×150
異形鉄筋	JIS G 3112, 3117 ^{※5}	□D10-150×150 □D10-200×200	□()

接合

デッキプレート端部	頭付キスタッド	JIS B 1198	φ16	φ19	φ22
デッキプレート中間梁	接合方法	下記接合方法を参照する	○	○	○

耐火

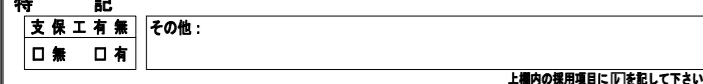
デッキプレート	耐火区分	支持条件	コナリ種別	耐火補筋	認定番号
QL99-50	床2時間	単純	普通	不要	FP120FL-0181-5 FP120FL-0180-5

特記

支保工有無	その他
○無	○有

焼抜き溶接

焼抜き溶接	φ18以上、ピッチ下図の通り(300mm以下)
デッキプレート幅方向(中間梁限定)	QL99-50



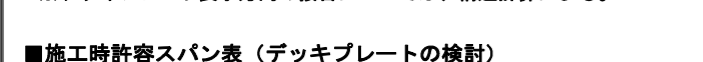
※デッキプレート長手方向の接合については、構造計算による。

■施工時許容スパン表(デッキプレートの検討)

コンクリート厚(mm)	60	70	80	90	100
単独	2.38	2.52	2.75	2.99	3.23
2連続	3.20	3.36	3.61	3.86	4.11
3連続	2.95	3.12	3.40	3.68	3.96

注: 上表を超える場合、別途支保工が必要。 ※() 数値は、表面処理が亜鉛めっきまたは高耐食鋼板の許容スパンを示す。

S造・施工時のスパンの取り方



耐火仕様

○共通事項 支持梁: 鉄骨梁、コンクリート: 設計基準強度18~42 N/mm²の普通コンクリート
溶接金網[JIS G 3551]又は異形鉄筋[JIS G 3112, G 3117] 寸法は下表参照

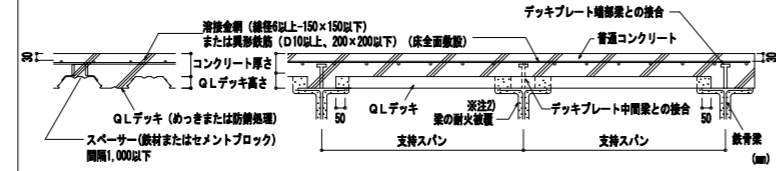
【QL99-50】

デッキプレート品名	支持形式	支持スパン	コンクリート厚さ	許容積載荷重 ^{※1}	溶接金網又は異形鉄筋	梁との接合
QL99-50-10	連続支持	3,400mm以下	80mm以上	算出式参照	縦径6mm以上・100×100以下・D10以上・200×200以下	デッキプレート幅方向 頭付キスタッド(φ18以上) ピッチ300mm以下
QL99-50-12	連続支持	3,400mm以下	80mm以上	算出式参照	縦径6mm以上・100×100以下・D10以上・200×200以下	デッキプレート幅方向 頭付キスタッド(φ18以上) ピッチ300mm以下
QL99-50-16	連続支持	3,400mm以下	80mm以上	算出式参照	縦径6mm以上・100×100以下・D10以上・200×200以下	デッキプレート幅方向 頭付キスタッド(φ18以上) ピッチ300mm以下

○認定番号 [FP120FL-0181-5 (床2時間耐火)]

デッキプレート品名	支持形式	支持スパン	コンクリート厚さ	許容積載荷重 ^{※1}	溶接金網又は異形鉄筋	梁との接合
QL99-50-10	単純支持	3,000mm以下	80mm以上	算出式参照	縦径6mm以上・100×100以下・D10以上・200×200以下	同上
QL99-50-12	単純支持	3,000mm以下	80mm以上	算出式参照	縦径6mm以上・100×100以下・D10以上・200×200以下	同上
QL99-50-16	単純支持	3,000mm以下	80mm以上	算出式参照	縦径6mm以上・100×100以下・D10以上・200×200以下	同上

※1 ひび割れ拡大防止用鉄筋として推奨断面を示す。(150×150mmも使用可)



注1) 許容積載荷重には仕上げ荷重等も含む。
注2) 梁の耐火補筋 梁に所定の耐火性能を要求される場合は、それらに応じて適切な耐火補筋を施す。(本認定仕様外)

許容積載荷重の算出式(耐火仕様)

$$\text{許容積載荷重} = \frac{98.49}{L^2} - DL \text{ かつ } 24.62 - DL \text{ kN/m}^2 \text{ 以下}$$

※1 積載荷重と仕上げ等の総和は15kN/m²以下を推奨

※許容積載荷重は耐火時と常温時で異なるため、常温時でも考慮した許容積載荷重を、JFE建材株式会社ホームページの耐火認定⑤対応合成スラブ許容積載荷重表を参照する。

合成スラブ自重: DL (kN/m²)

普通コンクリート/デッキプレート表面処理: Z12

ひび割れ拡大防止用鉄筋φ6-100×100の場合

デッキ山厚(mm)	80	85	90	95	100
1.0	2.53	2.65	2.76	2.88	2.99
1.2	2.55	2.67	2.78	2.90	3.01
1.6	2.59	2.71	2.82	2.94	3.05

ひび割れ拡大防止用鉄筋φ10-200×200の場合

デッキ山厚(mm)	80	85	90	95	100
1.0	2.54	2.66	2.77	2.89	3.00
1.2	2.56	2.68	2.79	2.91	3.02
1.6	2.60	2.72	2.83	2.95	3.06

許容積載荷重の算出例

QL99-50-12 (Z12), φ6-100×100, スパン L=3.0m

山上スラブ厚80mm、普通コンクリート、設計基準強度21N/mm²の場合

①耐火認定の許容積載荷重: w1

$$w1 = \frac{98.49}{3.0^2} - DL (=2.55: \text{上表より}) = 8.39 \text{ kN/m}^2$$

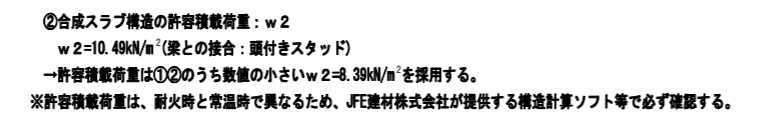
②合成スラブ構造の許容積載荷重: w2

$$w2 = 10.49 \text{ kN/m}^2 \text{ (梁との接合: 頭付キスタッド)}$$

一許容積載荷重は①②のうち数値の小さいw2=8.39kN/m²を採用する。

※許容積載荷重は、耐火時と常温時で異なるため、JFE建材株式会社提供の構造計算ソフト等で必ず確認する。

アクセサリ



施工順序

1) 量出し
2) 敷込み
3) 溶接
4) 溶接金網又は異形鉄筋の敷込み
5) 溶接
6) 溶接金網又は異形鉄筋の敷込み
7) 溶接
8) 溶接金網又は異形鉄筋の敷込み
9) 溶接
10) 溶接金網又は異形鉄筋の敷込み
11) 溶接
12) 溶接金網又は異形鉄筋の敷込み
13) 溶接
14) 溶接金網又は異形鉄筋の敷込み
15) 溶接
16) 溶接金網又は異形鉄筋の敷込み
17) 溶接
18) 溶接金網又は異形鉄筋の敷込み
19) 溶接
20) 溶接金網又は異形鉄筋の敷込み
21) 溶接
22) 溶接金網又は異形鉄筋の敷込み
23) 溶接
24) 溶接金網又は異形鉄筋の敷込み
25) 溶接
26) 溶接金網又は異形鉄筋の敷込み
27) 溶接
28) 溶接金網又は異形鉄筋の敷込み
29) 溶接
30) 溶接金網又は異形鉄筋の敷込み
31) 溶接
32) 溶接金網又は異形鉄筋の敷込み
33) 溶接
34) 溶接金網又は異形鉄筋の敷込み
35) 溶接
36) 溶接金網又は異形鉄筋の敷込み
37) 溶接
38) 溶接金網又は異形鉄筋の敷込み
39) 溶接
40) 溶接金網又は異形鉄筋の敷込み
41) 溶接
42) 溶接金網又は異形鉄筋の敷込み
43) 溶接
44) 溶接金網又は異形鉄筋の敷込み
45) 溶接
46) 溶接金網又は異形鉄筋の敷込み
47) 溶接
48) 溶接金網又は異形鉄筋の敷込み
49) 溶接
50) 溶接金網又は異形鉄筋の敷込み

敷込み

鉄骨梁の場合

1) 量出し
2) 敷込み
3) 溶接
4) 溶接金網又は異形鉄筋の敷込み
5) 溶接
6) 溶接金網又は異形鉄筋の敷込み
7) 溶接
8) 溶接金網又は異形鉄筋の敷込み
9) 溶接
10) 溶接金網又は異形鉄筋の敷込み
11) 溶接
12) 溶接金網又は異形鉄筋の敷込み
13) 溶接
14) 溶接金網又は異形鉄筋の敷込み
15) 溶接
16) 溶接金網又は異形鉄筋の敷込み
17) 溶接
18) 溶接金網又は異形鉄筋の敷込み
19) 溶接
20) 溶接金網又は異形鉄筋の敷込み
21) 溶接
22) 溶接金網又は異形鉄筋の敷込み
23) 溶接
24) 溶接金網又は異形鉄筋の敷込み
25) 溶接
26) 溶接金網又は異形鉄筋の敷込み
27) 溶接
28) 溶接金網又は異形鉄筋の敷込み
29) 溶接
30) 溶接金網又は異形鉄筋の敷込み
31) 溶接
32) 溶接金網又は異形鉄筋の敷込み
33) 溶接
34) 溶接金網又は異形鉄筋の敷込み
35) 溶接
36) 溶接金網又は異形鉄筋の敷込み
37) 溶接
38) 溶接金網又は異形鉄筋の敷込み
39) 溶接
40) 溶接金網又は異形鉄筋の敷込み
41) 溶接
42) 溶接金網又は異形鉄筋の敷込み
43) 溶接
44) 溶接金網又は異形鉄筋の敷込み
45) 溶接
46) 溶接金網又は異形鉄筋の敷込み
47) 溶接
48) 溶接金網又は異形鉄筋の敷込み
49) 溶接
50) 溶接金網又は異形鉄筋の敷込み

合成スラブと梁との接合

1) 溶接
2) 溶接金網又は異形鉄筋の敷込み
3) 溶接
4) 溶接金網又は異形鉄筋の敷込み
5) 溶接
6) 溶接金網又は異形鉄筋の敷込み
7) 溶接
8) 溶接金網又は異形鉄筋の敷込み
9) 溶接
10) 溶接金網又は異形鉄筋の敷込み
11) 溶接
12) 溶接金網又は異形鉄筋の敷込み
13) 溶接
14) 溶接金網又は異形鉄筋の敷込み
15) 溶接
16) 溶接金網又は異形鉄筋の敷込み
17) 溶接
18) 溶接金網又は異形鉄筋の敷込み
19) 溶接
20) 溶接金網又は異形鉄筋の敷込み
21) 溶接
22) 溶接金網又は異形鉄筋の敷込み
23) 溶接
24) 溶接金網又は異形鉄筋の敷込み
25) 溶接
26) 溶接金網又は異形鉄筋の敷込み
27) 溶接
28) 溶接金網又は異形鉄筋の敷込み
29) 溶接
30) 溶接金網又は異形鉄筋の敷込み
31) 溶接
32) 溶接金網又は異形鉄筋の敷込み
33) 溶接
34) 溶接金網又は異形鉄筋の敷込み
35) 溶接
36) 溶接金網又は異形鉄筋の敷込み
37) 溶接
38) 溶接金網又は異形鉄筋の敷込み
39) 溶接
40) 溶接金網又は異形鉄筋の敷込み
41) 溶接
42) 溶接金網又は異形鉄筋の敷込み
43) 溶接
44) 溶接金網又は異形鉄筋の敷込み
45) 溶接
46) 溶接金網又は異形鉄筋の敷込み
47) 溶接
48) 溶接金網又は異形鉄筋の敷込み
49) 溶接
50) 溶接金網又は異形鉄筋の敷込み

ひび割れ拡大防止用鉄筋敷込み

1) 溶接
2) 溶接金網又は異形鉄筋の敷込み
3) 溶接
4) 溶接金網又は異形鉄筋の敷込み
5) 溶接
6) 溶接金網又は異形鉄筋の敷込み
7) 溶接
8) 溶接金網又は異形鉄筋の敷込み
9) 溶接
10) 溶接金網又は異形鉄筋の敷込み
11) 溶接
12) 溶接金網又は異形鉄筋の敷込み
13) 溶接
14) 溶接金網又は異形鉄筋の敷込み
15) 溶接
16) 溶接金網又は異形鉄筋の敷込み
17) 溶接
18) 溶接金網又は異形鉄筋の敷込み
19) 溶接
20) 溶接金網又は異形鉄筋の敷込み
21) 溶接
22) 溶接金網又は異形鉄筋の敷込み
23) 溶接
24) 溶接金網又は異形鉄筋の敷込み
25) 溶接
26) 溶接金網又は異形鉄筋の敷込み
27) 溶接
28) 溶接金網又は異形鉄筋の敷込み
29) 溶接
30) 溶接金網又は異形鉄筋の敷込み
31) 溶接
32) 溶接金網又は異形鉄筋の敷込み
33) 溶接
34) 溶接金網又は異形鉄筋の敷込み
35) 溶接
36) 溶接金網又は異形鉄筋の敷込み
37) 溶接
38) 溶接金網又は異形鉄筋の敷込み
39) 溶接
40) 溶接金網又は異形鉄筋の敷込み
41) 溶接
42) 溶接金網又は異形鉄筋の敷込み
43) 溶接
44) 溶接金網又は異形鉄筋の敷込み
45) 溶接
46) 溶接金網又は異形鉄筋の敷込み
47) 溶接
48) 溶接金網又は異形鉄筋の敷込み
49) 溶接
50) 溶接金網又は異形鉄筋の敷込み

溶接

溶接金網又は異形鉄筋の敷込み

溶接

溶接金網又は異形鉄筋の敷込み

溶接

溶接金網又は異形鉄筋の敷込み

溶接

溶接金網又は異形鉄筋の敷込み

溶接

溶接金網又は異形鉄筋の敷込み

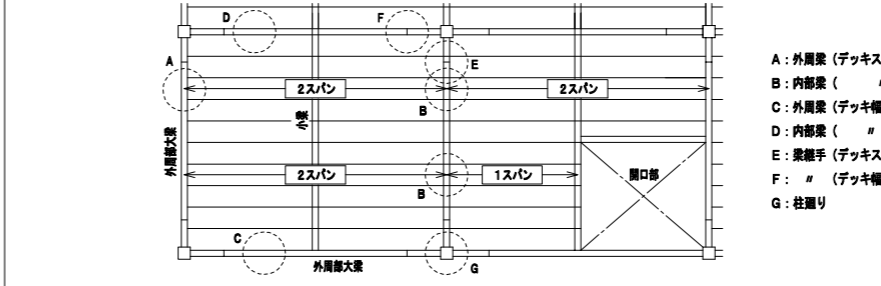
溶接

標準納まり

支持梁: 鉄骨梁

図中※1は、梁に1、2または3時間の耐火性能が要求される場合のみ適用。 ※2 溶接方法は別途検討が必要。(合成スラブ協会QA参照)

※3 コンクリート漏れ等がないように、適切な処理が必要。(隅肉溶接、スポット溶接、ドリル止め等) ※4 設計かかり代



A: 外周梁(デッキスパン方向)
B: 内周梁(")
C: 外周梁(デッキ幅方向)
D: 内周梁(")
E: 梁継手(デッキスパン方向)
F: " (デッキ幅方向)
G: 柱廻り

A部 外周梁 QLデッキスパン方向1
B部 外周梁 QLデッキスパン方向2
C部 外周梁 QLデッキ幅方向
D部 QLデッキを突き合わせた場合
E部 梁継手部 QLデッキスパン方向
F部 梁継手部 QLデッキ幅方向
G部 柱廻り

QLデッキを敷いた場合
QLデッキを連続にした場合
QLデッキを敷いた場合
梁との間に隙間がある場合
柱廻りQLデッキ切欠き

QLデッキを突き合わせた場合
QLデッキを敷いた場合
QLデッキを連続にした場合
QLデッキを敷いた場合
梁との間に隙間がある場合
柱廻りQLデッキ切欠き

QLデッキを敷いた場合
QLデッキを連続にした場合
QLデッキを敷いた場合
梁との間に隙間がある場合
柱廻りQLデッキ切欠き

QLデッキを敷いた場合
QLデッキを連続にした場合
QLデッキを敷いた場合
梁との間に隙間がある場合
柱廻りQLデッキ切欠き

QLデッキを敷いた場合
QLデッキを連続にした場合
QLデッキを敷いた場合
梁との間に隙間がある場合
柱廻りQLデッキ切欠き

QLデッキを敷いた場合
QLデッキを連続にした場合
QLデッキを敷いた場合
梁との間に隙間がある場合
柱廻りQLデッキ切欠き

QLデッキを敷いた場合
QLデッキを連続にした場合
QLデッキを敷いた場合
梁との間に隙間がある場合
柱廻りQLデッキ切欠き

QLデッキを敷いた場合
QLデッキを連続にした場合
QLデッキを敷いた場合
梁との間に隙間がある場合
柱廻りQLデッキ切欠き

QLデッキを敷いた場合
QLデッキを連続にした場合
QLデッキを敷いた場合
梁との間に隙間がある場合
柱廻りQLデッキ切欠き

QLデッキを敷いた場合
QLデッキを連続にした場合
QLデッキを敷いた場合
梁との間に隙間がある場合
柱廻りQLデッキ切欠き

QLデッキを敷いた場合
QLデッキを連続にした場合
QLデッキを敷いた場合
梁との間に隙間がある場合
柱廻りQLデッキ切欠き

QLデッキを敷いた場合
QLデッキを連続にした場合
QLデッキを敷いた場合
梁との間に隙間がある場合
柱廻りQLデッキ切欠き

QLデッキを敷いた場合
QLデッキを連続にした場合
QLデッキを敷いた場合
梁との間に隙間がある場合
柱廻りQLデッキ切欠き

QLデッキを敷いた場合
QLデッキを連続にした場合
QLデッキを敷いた場合
梁との間に隙間がある場合
柱廻りQLデッキ切欠き

QLデッキを敷いた場合
QLデッキを連続にした場合
QLデッキを敷いた場合
梁との間に隙間がある場合
柱廻りQLデッキ切欠き

QLデッキを敷いた場合
QLデッキを連続にした場合
QLデッキを敷いた場合
梁との間に隙間がある場合
柱廻りQLデッキ切欠き

QLデッキを敷いた場合
QLデッキを連続にした場合
QLデッキを敷いた場合
梁との間に隙間がある場合
柱廻りQLデッキ切欠き

QLデッキを敷いた場合
QLデッキを連続にした場合
QLデッキを敷いた場合
梁との間に隙間がある場合
柱廻りQLデッキ切欠き

QLデッキを敷いた場合
QLデッキを連続にした場合
QLデッキを敷いた場合
梁との間に隙間がある場合
柱廻りQLデッキ切欠き

QLデッキを敷いた場合
QLデッキを連続にした場合
QLデッキを敷いた場合
梁との間に隙間がある場合
柱廻りQLデッキ切欠き

QLデッキを敷いた場合
QLデッキを連続にした場合
QLデッキを敷いた場合
梁との間に隙間がある場合
柱廻りQLデッキ切欠き

QLデッキを敷いた場合
QLデッキを連続にした場合
QLデッキを敷いた場合
梁との間に隙間がある場合
柱廻りQLデッキ切欠き

QLデッキを敷いた場合
QLデッキを連続にした場合
QLデッキを敷いた場合
梁との間に隙間がある場合
柱廻りQLデッキ切欠き

QLデッキを敷いた場合
QLデッキを連続にした場合
QLデッキを敷いた場合
梁との間に隙間がある場合
柱廻りQLデッキ切欠き

QLデッキを敷いた場合
QLデッキを連続にした場合
QLデッキを敷いた場合
梁との間に隙間がある場合
柱廻りQLデッキ切欠き

QLデッキを敷いた場合
QLデッキを連続にした場合
QLデッキを敷いた場合
梁との間に隙間がある場合
柱廻りQLデッキ切欠き

QLデッキを敷いた場合
QLデッキを連続にした場合
QLデッキを敷いた場合
梁との間に隙間がある場合
柱廻りQLデッキ切欠き

QLデッキを敷いた場合
QLデッキを連続にした場合
QLデッキを敷いた場合
梁との間に隙間がある場合
柱廻りQLデッキ切欠き

QLデッキを敷いた場合
QLデッキを連続にした場合
QLデッキを敷いた場合
梁との間に隙間がある場合
柱廻りQLデッキ切欠き

QLデッキを敷いた場合
QLデッキを連続にした場合
QLデッキを敷いた場合
梁との間に隙間がある場合
柱廻りQLデッキ切欠き

QLデッキを敷いた場合
QLデッキを連続にした場合
QLデッキを敷いた場合
梁との間に隙間がある場合
柱廻りQLデッキ切欠き

QLデッキを敷いた場合
QLデッキを連続にした場合
QLデッキを敷いた場合
梁との間に隙間がある場合
柱廻りQLデッキ切欠き

QLデッキを敷いた場合
QLデッキを連続にした場合
QLデッキを敷いた場合
梁との間に隙間がある場合
柱廻りQLデッキ切欠き

QLデッキを敷いた場合
QLデッキを連続にした場合
QLデッキを敷いた場合
梁との間に隙間がある場合
柱廻りQLデッキ切欠き

QLデッキを敷いた場合
QLデッキを連続にした場合
QLデッキを敷いた場合
梁との間に隙間がある場合
柱廻りQLデッキ切欠き

QLデッキを敷いた場合
QLデッキを連続にした場合
QLデッキを敷いた場合
梁との間に隙間がある場合
柱廻りQLデッキ切欠き

QLデッキを敷いた場合
QLデッキを連続にした場合
QLデッキを敷いた場合
梁との間に隙間がある場合
柱廻りQLデッキ切欠き

QLデッキを敷いた場合
QLデッキを連続にした場合
QLデッキを敷いた場合
梁との間に隙間がある場合
柱廻りQLデッキ切欠き

QLデッキを敷いた場合
QLデッキを連続にした場合
QLデッキを敷いた場合
梁との間に隙間がある場合
柱廻りQLデッキ切欠き

QLデッキを敷いた場合
QLデッキを連続にした場合
QLデッキを敷いた場合
梁との間に隙間がある場合
柱廻りQLデッキ切欠き

QLデッキを敷いた場合
QLデッキを連続にした場合
QLデッキを敷いた場合
梁との間に隙間がある場合
柱廻りQLデッキ切欠き

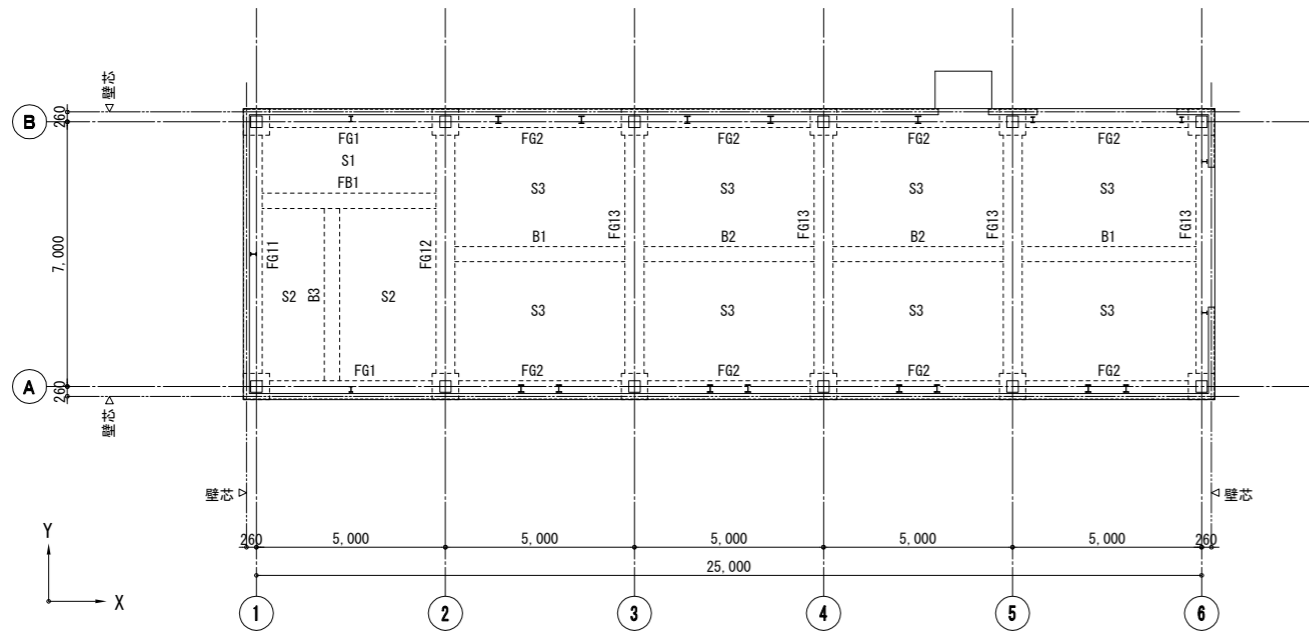
QLデッキを敷いた場合
QLデッキを連続にした場合
QLデッキを敷いた場合
梁との間に隙間がある場合
柱廻りQLデッキ切欠き

QLデッキを敷いた場合
QLデッキを連続にした場合
QLデッキを敷いた場合
梁との間に隙間がある場合
柱廻りQLデッキ切欠き

QLデッキを敷いた場合
QLデッキを連続にした場合
QLデッキを敷いた場合
梁との間に隙間がある場合
柱廻りQLデッキ切欠き

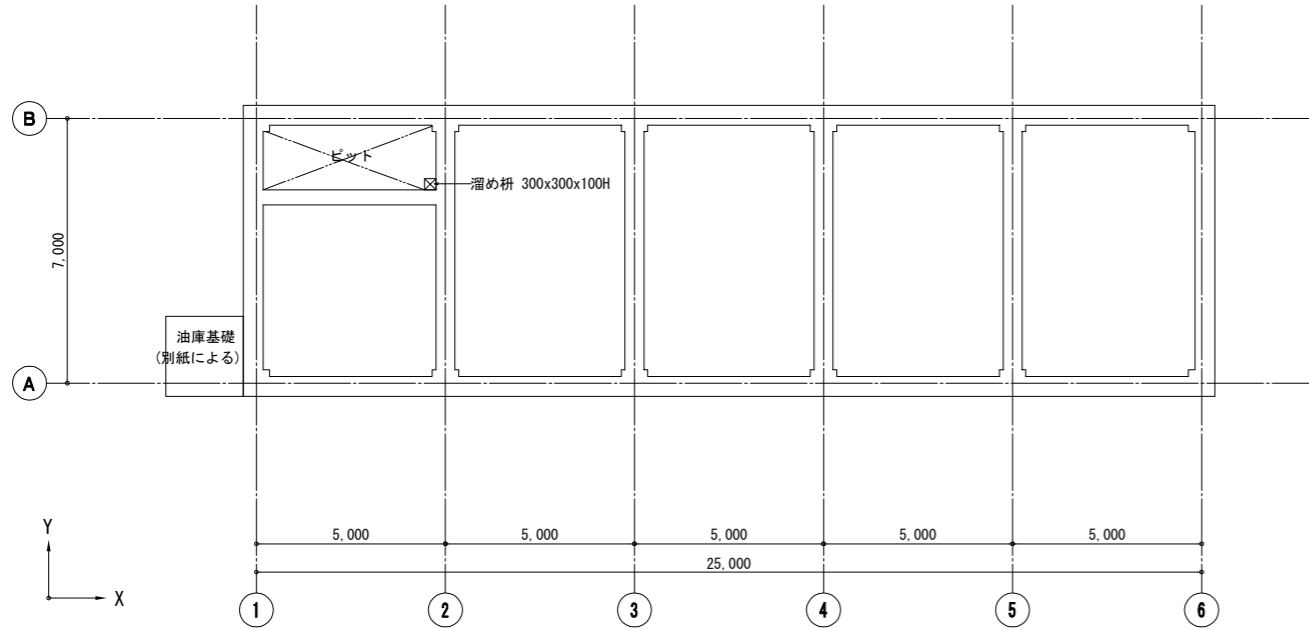
QLデッキを敷いた場合
QLデッキを連続にした場合
QLデッキを敷いた場合
梁との間に隙間がある場合
柱廻りQLデッキ切欠き

QLデッキを敷いた場合
QLデッキを連続にした場合
QLデッキを敷



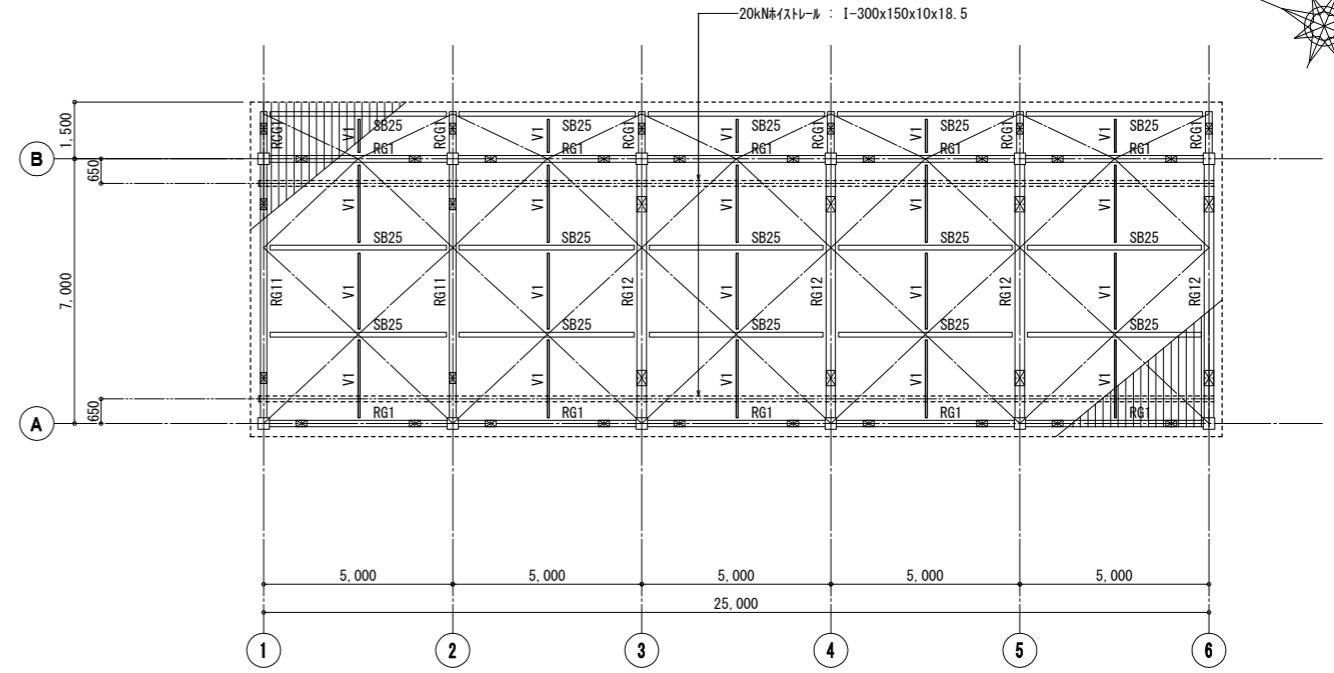
1階伏図 S=1/100

- 特記事項
- ・スラブ天端 : 1FL±0
 - ・梁天端 : 1FL-250
 - ・腰壁 : W15
 - ・()内は1FLからの梁天端レベルを示す



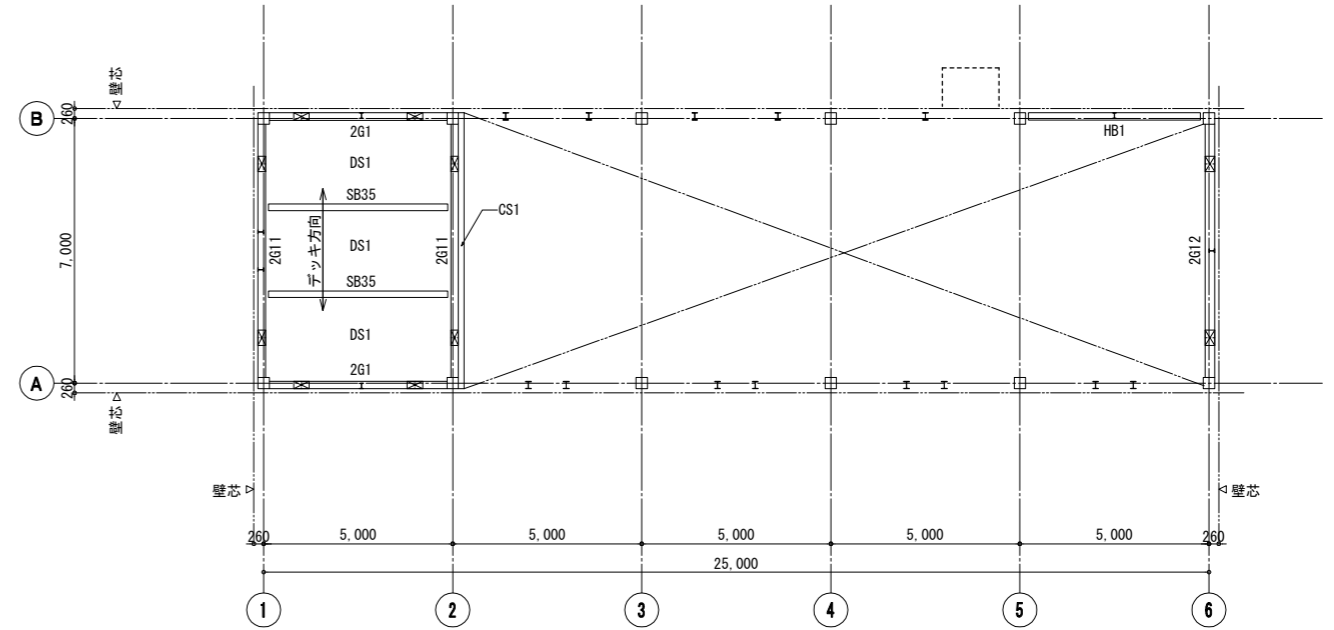
ピット及び基礎 S=1/100

- 特記事項
- ・基礎形式 : 直接基礎 (ベタ基礎)
 - ・支持層 : 玉石混じり砂礫層
 - ・設計地耐力 : $R_f=100\text{kN/m}^2$ (長期) (※平板載荷試験実施)
 - ・底盤符号 : FS30
 - ・底盤の上に土埋め戻し (1階スラブ下まで)



R階伏図 S=1/100

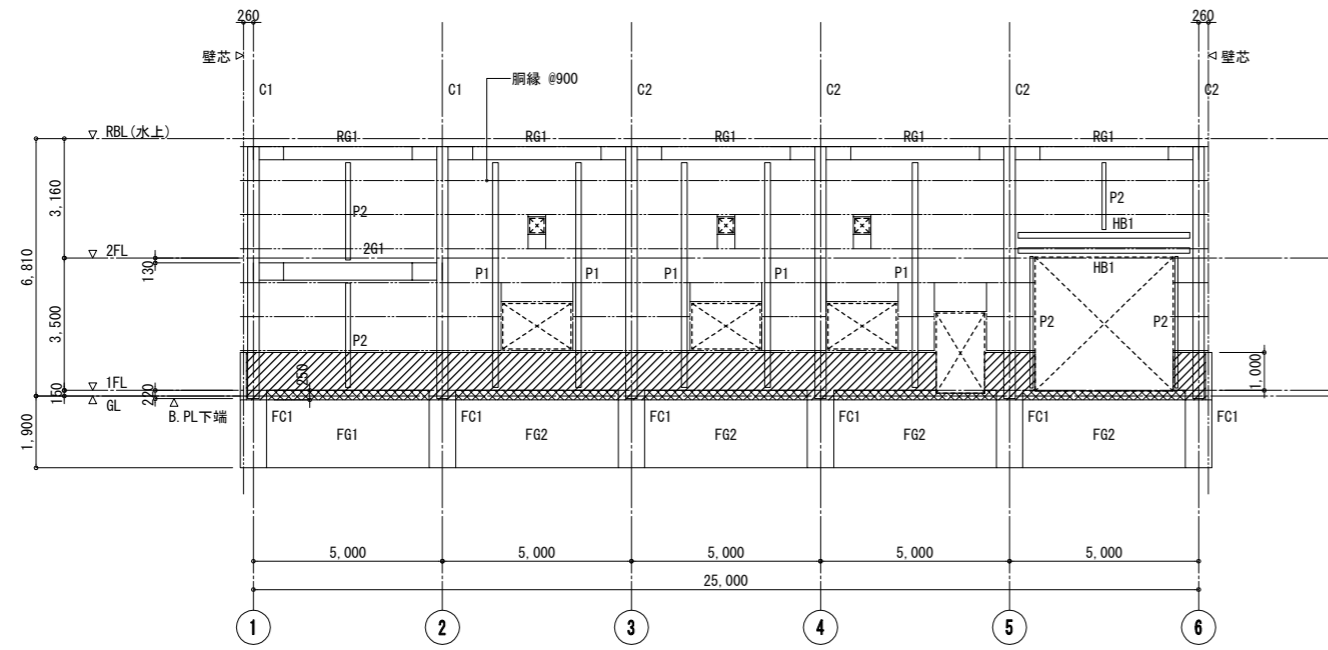
- 特記事項
- ・梁天端 : RBL±0 (A通り), RBL-210 (B通り)
 - ・屋根ブレース : HV1



2階伏図 S=1/100

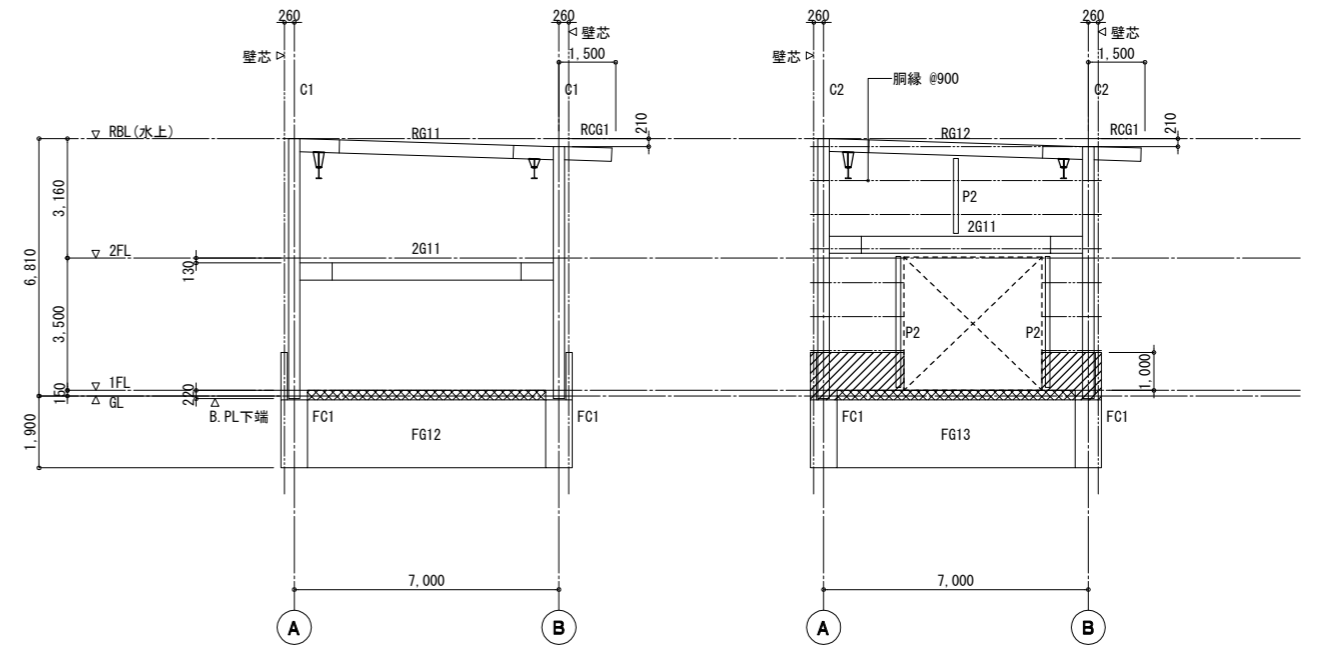
- 特記事項
- ・スラブ天端 : 2FL±0
 - ・梁天端 : 2FL-130

工事名	令和8年度 長泉第1浄水場倉庫建設工事
工事箇所	長泉町 納米里 地内
図面の種類	<資材倉庫> 各階伏図
縮尺	1/100
測量年月日 -	設計年月日 令和8年
事務所名	長泉町上下水道課



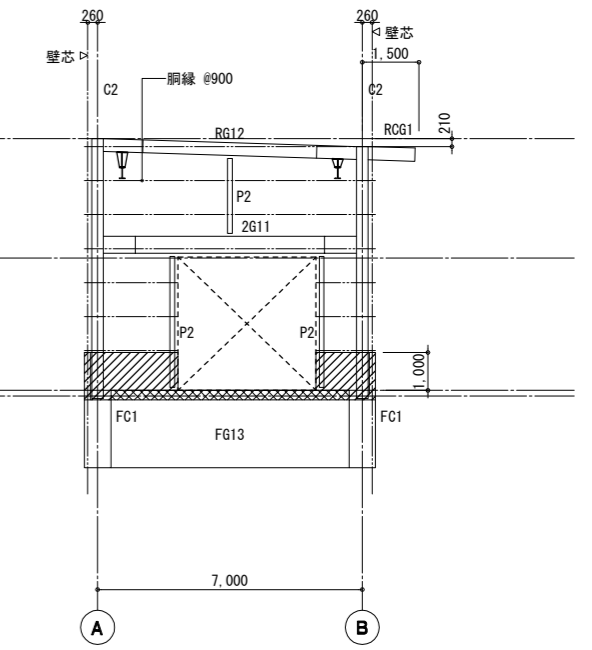
B 通り軸組図 S=1/100

※ 大梁JOINT長さは 柱芯より1,000とする。



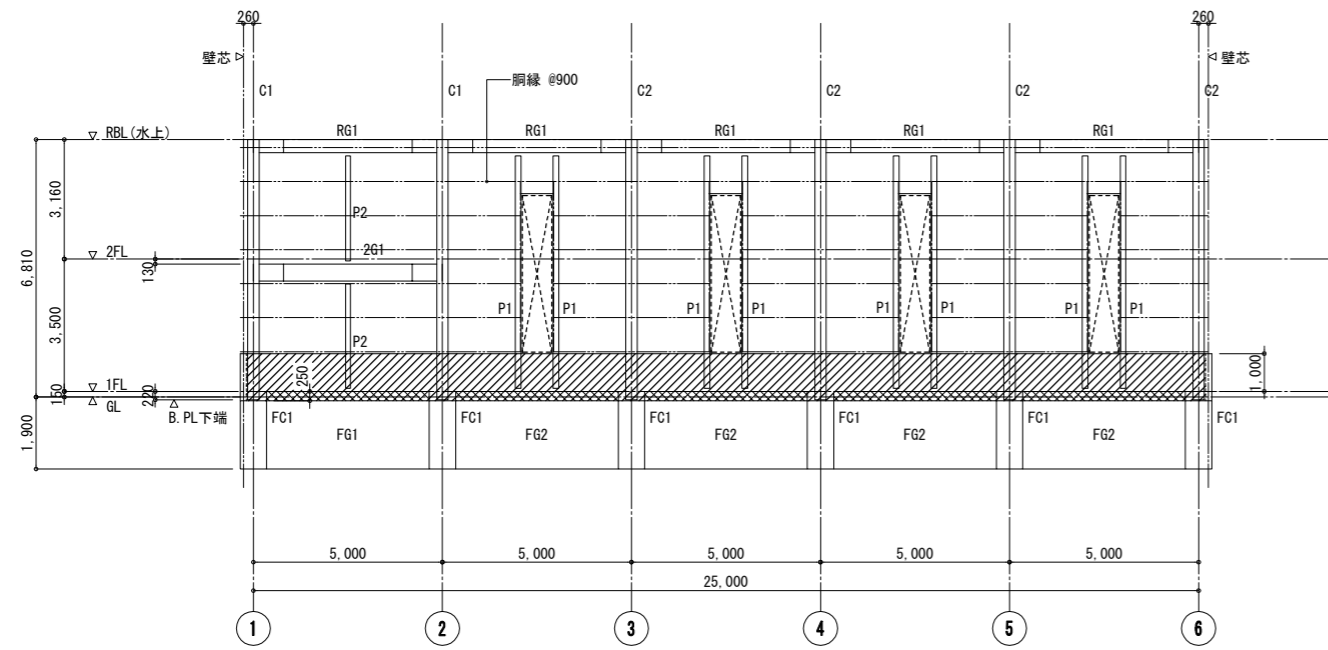
2 通り軸組図 S=1/100

※ 大梁JOINT長さは 柱芯より1,200とする。



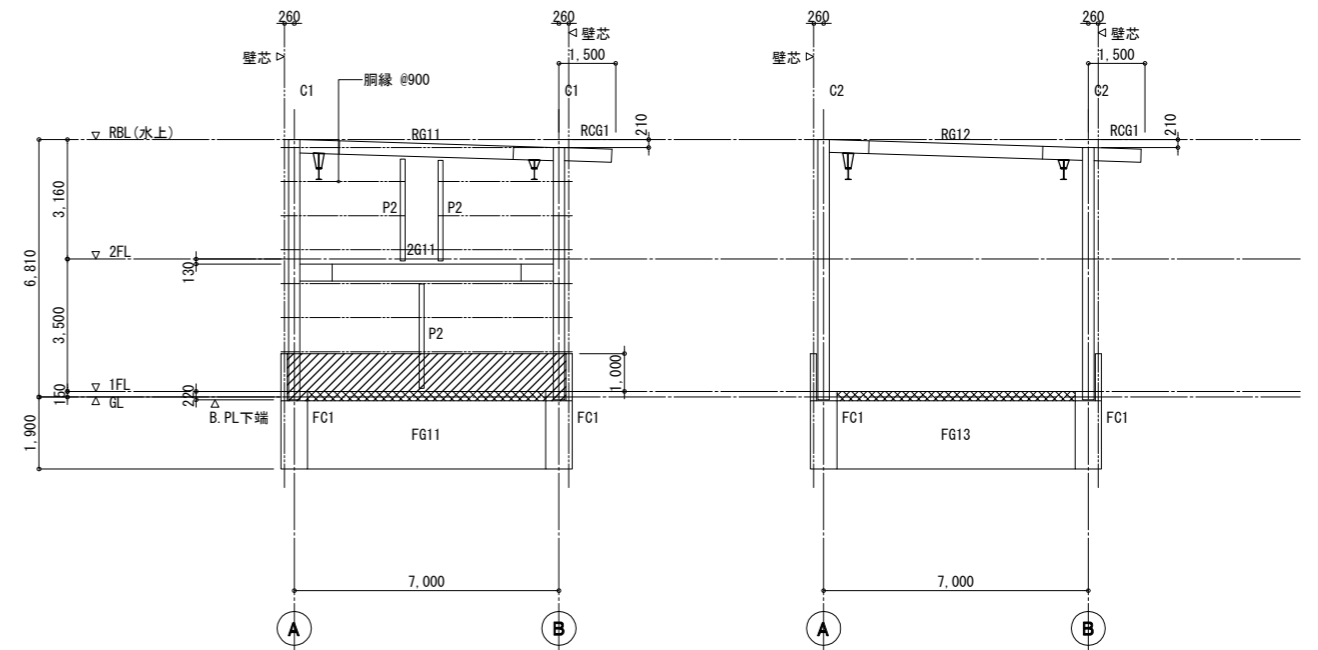
6 通り軸組図 S=1/100

※ 大梁JOINT長さは 柱芯より1,200とする。



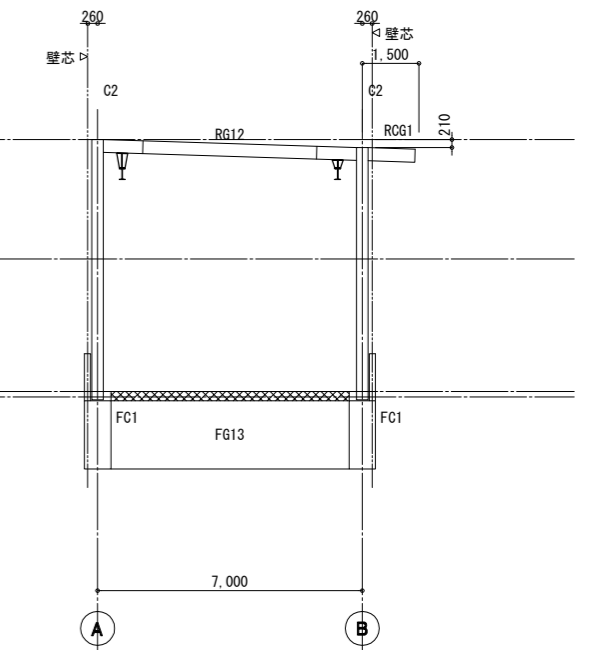
A 通り軸組図 S=1/100

※ 大梁JOINT長さは 柱芯より1,000とする。



1 通り軸組図 S=1/100

※ 大梁JOINT長さは 柱芯より1,200とする。



3, 4, 5 通り軸組図 S=1/100

※ 大梁JOINT長さは 柱芯より1,200とする。

軸組図 特記事項	
・ [Hatched Box]	： 梁天端増打ちを示す
・ [Diagonal Lines]	： 壁壁 : W15

工事名	令和8年度 長泉第1浄水場倉庫建設工事
工事箇所	長泉町 納米里 地内
図面の種類	<資材倉庫> 軸組図
縮尺 1/100	S-13
測量年月日 -	設計年月日 令和8年
事務所名	長泉町上下水道課

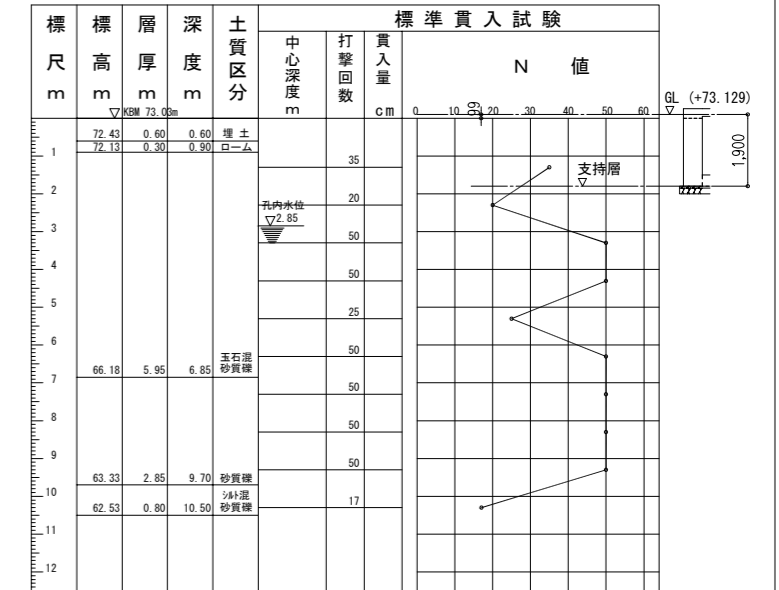
地中梁リスト S=1/30

特記なき限り 幅止め筋 : D13@1,000

使用材料
 ・コンクリート強度 : Fc24
 ・鉄筋 : SD295 (D10~D16), SD345 (D19~D25)

符号	FG1	FG2			FG11	FG12	FG13
位置	全断面				全断面		全断面
断面							
上端筋	3-D25	4-D25			3-D25	4-D25	4-D25
下端筋	3-D25	4-D25			3-D25	4-D25	7-D25
スターラップ	□-D13@200	□-D13@200			□-D13@200	□-D13@200	□-D13@200
腹筋	10-D13	10-D13			10-D13	10-D13	10-D13
備考							
符号	FB1	B1		B2		B3	
位置	全断面	外端・中央	内端	端部	中央	全断面	
断面							
上端筋	4-D22	4-D22	5-D22	5-D22	4-D22	4-D22	
下端筋	4-D22	4-D22	4-D22	4-D22	5-D22	4-D22	
スターラップ	□-D13@200	□-D13@200		□-D13@200		□-D13@200	
腹筋	10-D13	2-D13		2-D13		2-D13	
備考							

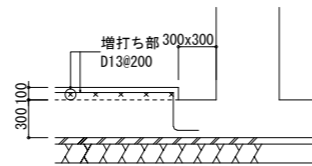
柱状図



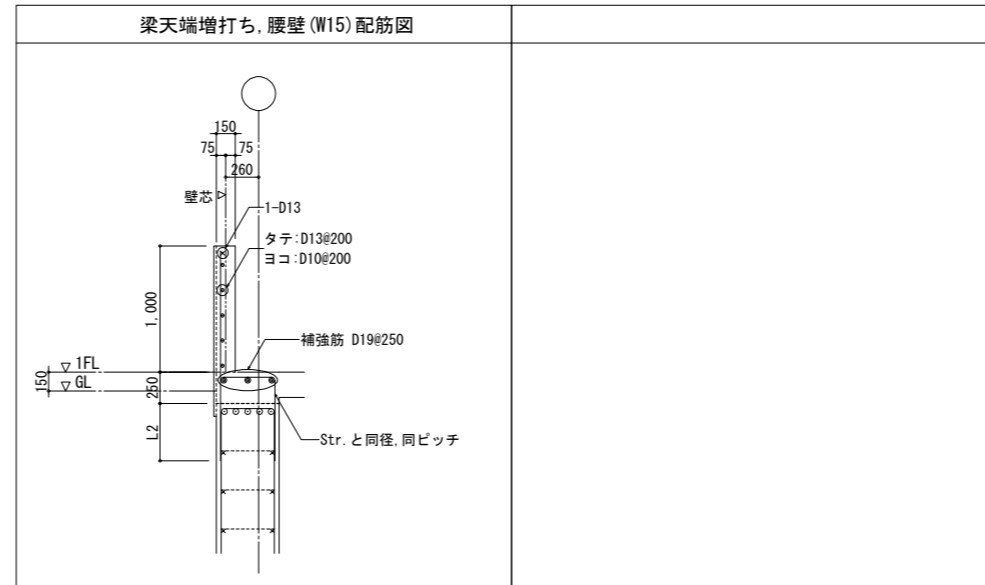
スラブリスト

符号	版厚	位置	短辺方向配筋 (主筋方向)	長辺方向配筋 (副筋方向)	備考
S1	200	上端筋	D13 @200	D13 @200	
		下端筋	D13 @200	D13 @200	
S2	200	上端筋	D13 @200	D13 @200	
		下端筋	D13 @200	D13 @200	
S3	250	上端筋	D13 @200	D13 @200	
		下端筋	D13 @200	D13 @200	
FS30	300	上端筋	D16 @150	D16 @150	幅止め筋: D13@1,000
		下端筋	D16 @150	D16 @150	
		上端筋			
		下端筋			
		上端筋			
		下端筋			

溜め桁断面配筋図



梁天端増打ち、腰壁(W15)配筋図



工事名	令和8年度 長泉第1浄水場倉庫建設工事
工事箇所	長泉町 納米里 地内
図面の種類	<資材倉庫> 地中梁、スラブリスト
縮尺	1/30
	S-14
測量年月日 -	設計年月日 令和8年
事務所名	長泉町上下水道課

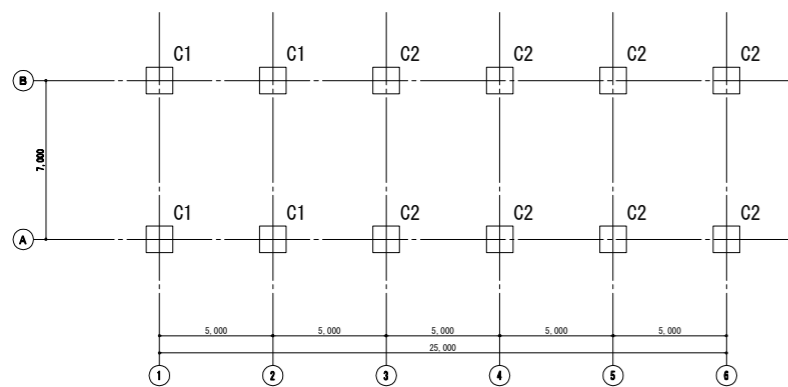
柱リスト S=1/20

符号	C1	C2	P1	P2
2階	□-300x300x12 (BCR295)	□-300x300x12 (BCR295)	H-194x150x 6x 9 (SN400B)	H-148x100x 6x 9 (SN400B)
1階	□-300x300x12 (BCR295)	□-300x300x12 (BCR295)	H-194x150x 6x 9 (SN400B)	H-148x100x 6x 9 (SN400B)
柱脚				
ベースプレート	520 x 520 x 32	520 x 520 x 32	B. PL-16x200x250	B. PL-16x200x200
アンカーボルト	8-M30 (BPM-SD490)	8-M30 (BPM-SD490)	2-M20 L=600 ダブ ねじ締	2-M20 L=600 ダブ ねじ締
備考	ベースパック 30-12F2	ベースパック 30-12F2		
柱型				
主筋	16-D25	16-D25		
フープ	□-D13@100	□-D13@100		
備考				
備考				

鉄骨大梁リスト S=1/20

特記なき限り H.T.B S10T S.PL SN400B , ○印はSN490Bを示す。

符号	RG1, RG11, RCG1	RG12
部材	H-350x175x 7x11 (SN400B)	H-340x250x 9x14 (SN400B)
断面		
取合	フランジ 外S. PL-9, 内2S. PL-9 4-M20 ウェブ 2S. PL- 6 3-M20	外S. PL-12, 内2S. PL-12 6-M22 2S. PL- 9 3-M22
備考		
符号	2G1, 2G11	2G12
部材	Ⓜ-450x200x 9x14 (SN490B)	H-340x250x 9x14 (SN400B)
断面		
取合	フランジ 外S. Ⓜ-12, 内2S. Ⓜ-12 8-M20 ウェブ 2S. Ⓜ- 9 2x3-M20	外S. PL-12, 内2S. PL-12 6-M22 2S. PL- 9 3-M22
備考		



柱キープラン

工事名	令和8年度 長泉第1浄水場倉庫建設工事
工事箇所	長泉町 納米里 地内
図面の種類	<資材倉庫> 部材リスト (1)
縮尺	1/20
測量年月日	-
設計年月日	令和8年
事務所名	長泉町上下水道課

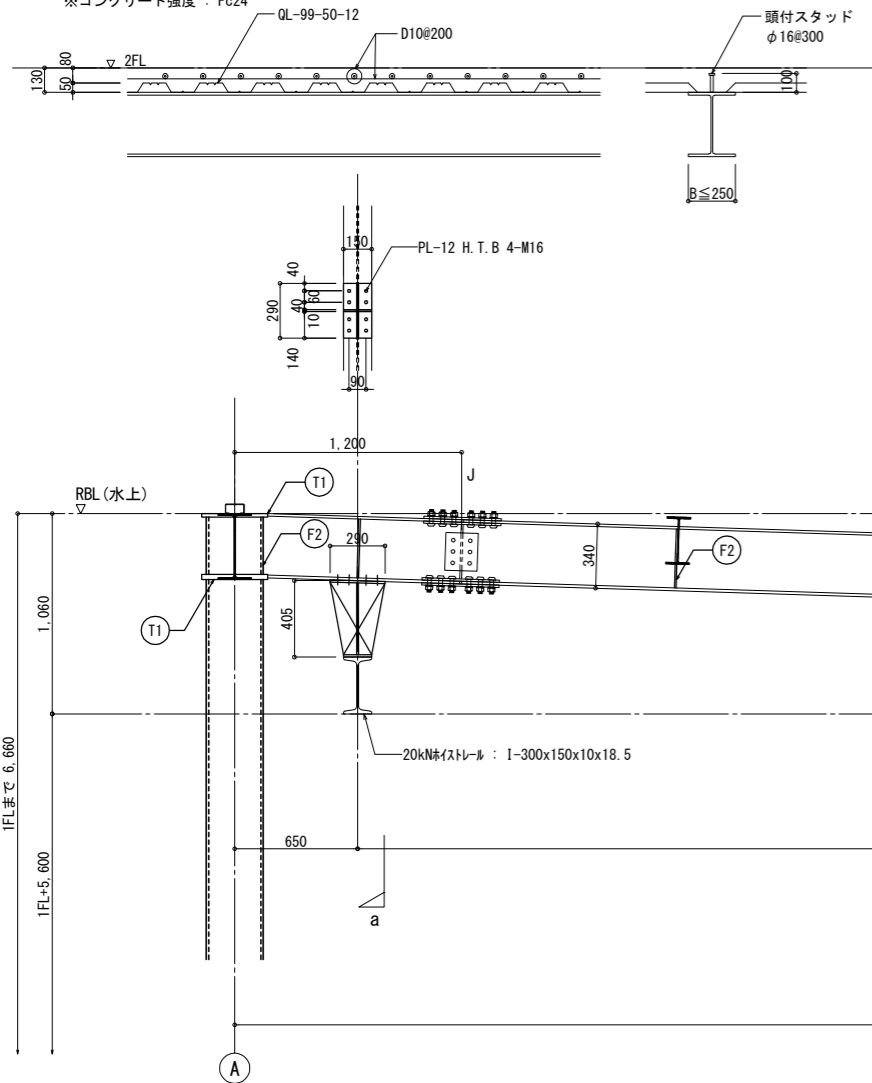
鉄骨部材リスト S=1/20

特記なき限り H.T.B S10T G.PL SN400B

符号	SB25	SB35	HB1	V1	HV1	胴縁
部材	H-250x125x 6x 9 (SN400B)	H-350x175x 7x11 (SN400B)	H-194x150x 6x 9 (SN400B)	[-100x 50x 5x7.5 (SS400)	1-M24 チェンパ付 (SS400)	C-100x50x20x2.3 @900 (SSC400)
断面						
取合	フランジ ウェブ					
備考	G.PL-6 3-M16	G.PL-9 4-M20	G.PL-6 2-M16	G.PL-6 2-M16	G.PL-12 2-M20	PL-6加工, 中ボルト 2-M12

DS1 詳細図 S=1/20

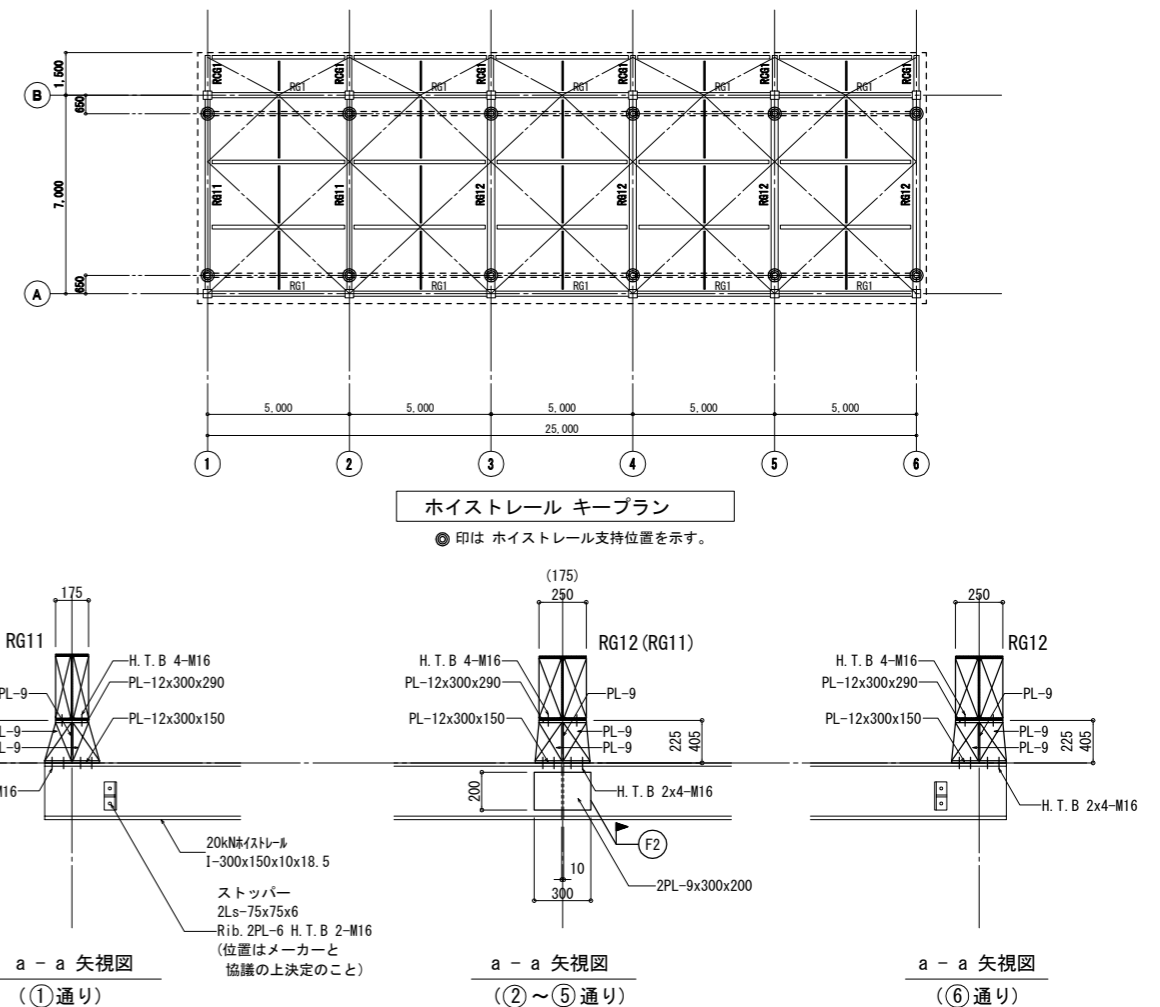
※コンクリート強度: Fc24



クレーンレール詳細図 S=1/20

注) 溶接記号の説明は S-7 図参照の事

使用材料
・鉄骨一般: SS400
・H.T.B: S10T

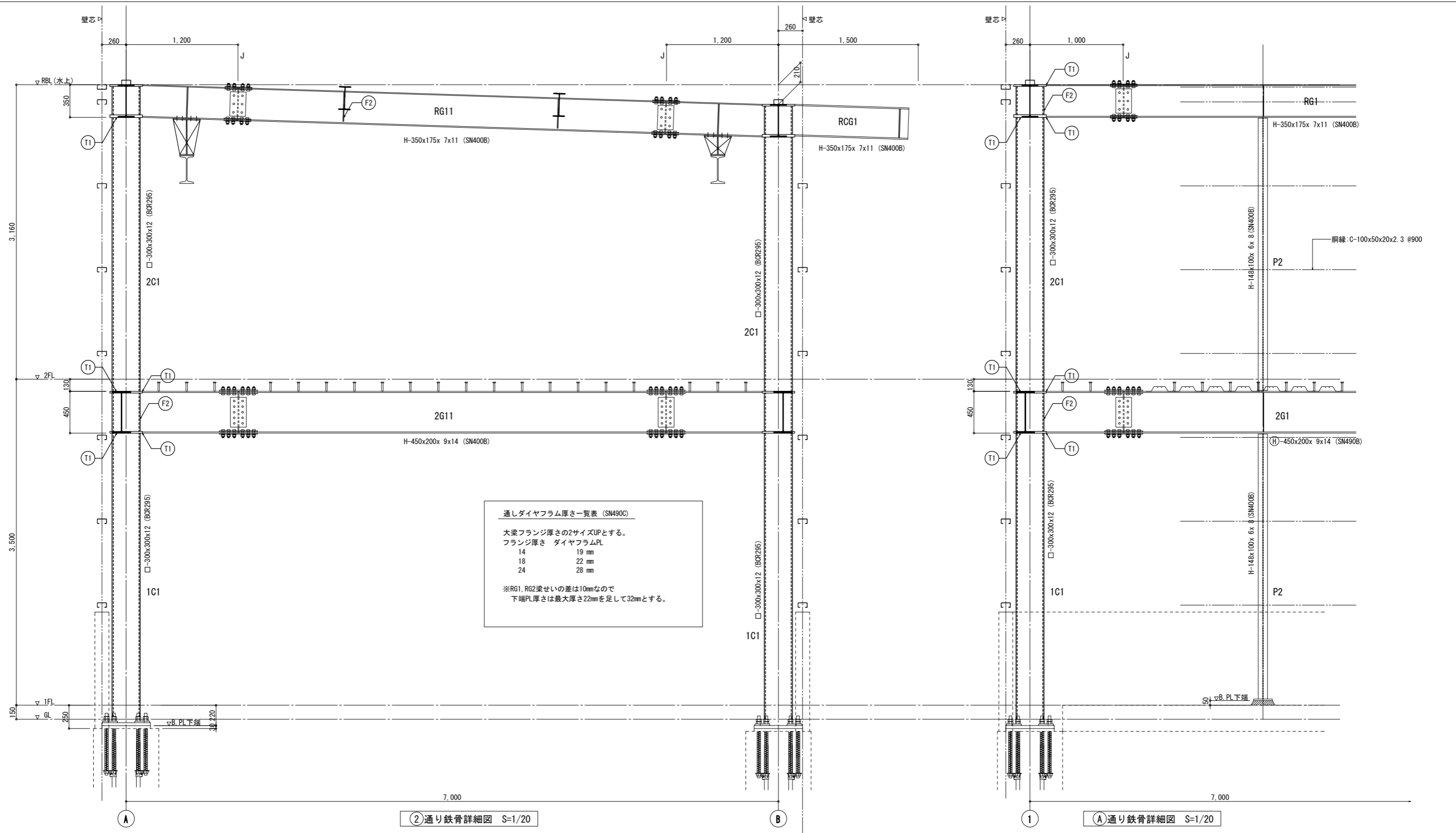


ホイストレール キープラン

●印は ホイストレール支持位置を示す。

※ 株式会社キトー 2tローヘッドクレーン同等品 とする。(S-18図 参考図 参照)

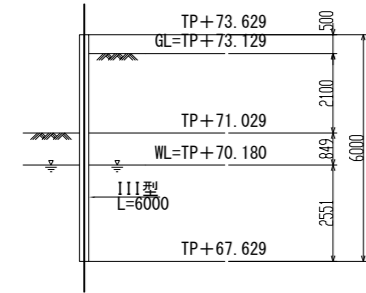
工事名	令和8年度 長泉第1浄水場倉庫建設工事
工事箇所	長泉町 納米里 地内
図面の種類	<資材倉庫> 部材リスト (2)
縮尺	1/20 S-16
測量年月日	設計年月日 令和8年
事務所名	長泉町上下水道課



共通事項

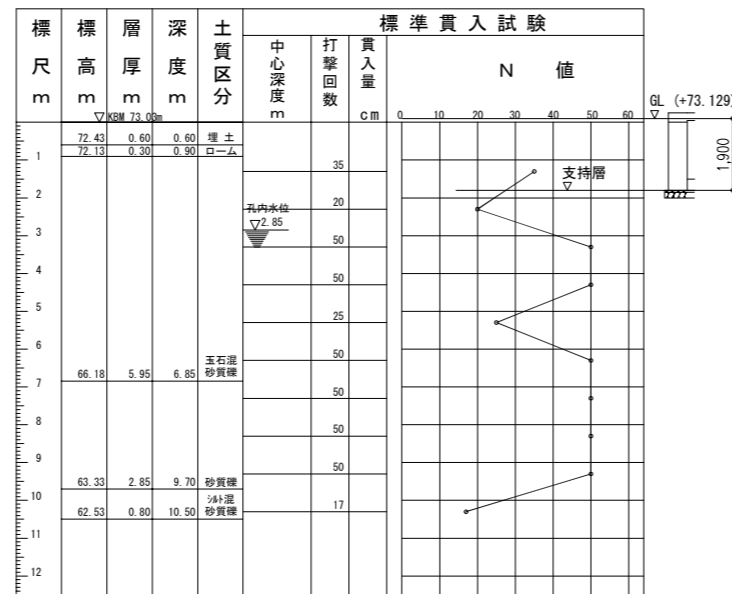
- ・ダイヤフラムは SN490Cとする。
- ・溶接に関しては全て工場溶接とする。
- ・JOINT部の詳細については大梁リスト参照の事。

工事名	令和8年度 長泉第1浄水場倉庫建設工事
工事箇所	長泉町 納米里 地内
図面の種類	<資材倉庫> 部材リスト (3)
縮尺	1/20
縮尺	S-17
測量年月日	-
設計年月日	令和8年
事務所名	長泉町上下水道課



A-A断面図 (参考図) S=1/100

柱状図

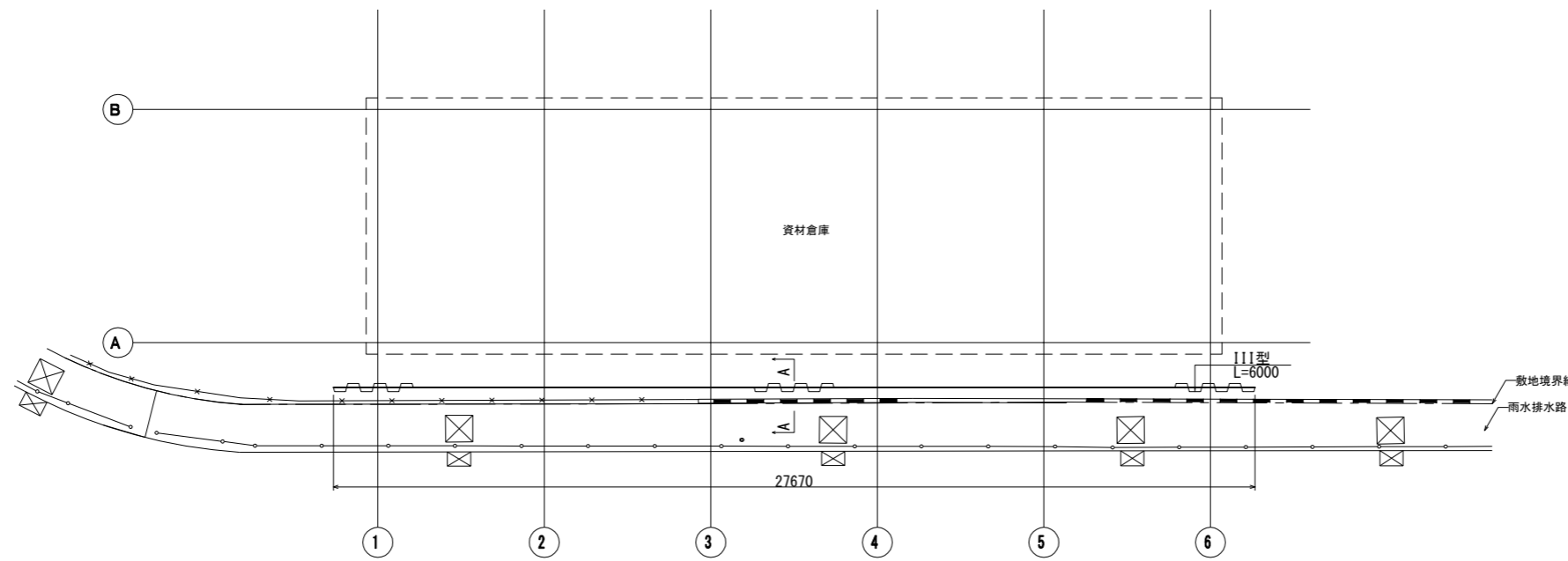


主要部材数量表

部材名	寸法	単位	数量	単位質量	質量	備考
土留め壁(鋼矢板)	111型	m	420.000	60.0kg/m	25.200t	
計						

設計条件

対象構造物	橋脚
掘削面積	6.750m × 27.670m
掘削深さ	71.029m
水位	WL+70.180m
土圧	安定計算 断面計算
	側圧係数法 断面計算用土圧
水圧	台形
地表面上載荷重	10.00kN/m ²
切ばりの温度軸力	-



仮設平面図 (参考図) S=1/100

※この「参考図」は、入札参加者の適正かつ迅速な見積りに資するための資料であり、設計図書ではない。
したがって、「参考図」は請負契約上の拘束力を生じるものでなく、受注者は施工条件(地質条件)を十分考慮して、仮設、施工方法、安全対策等、工事目的物を完成させるための一切の手段について受注者の責任において定めるものとする。
なお、この「参考図」の有効期限は、この工事の入札日までとする。

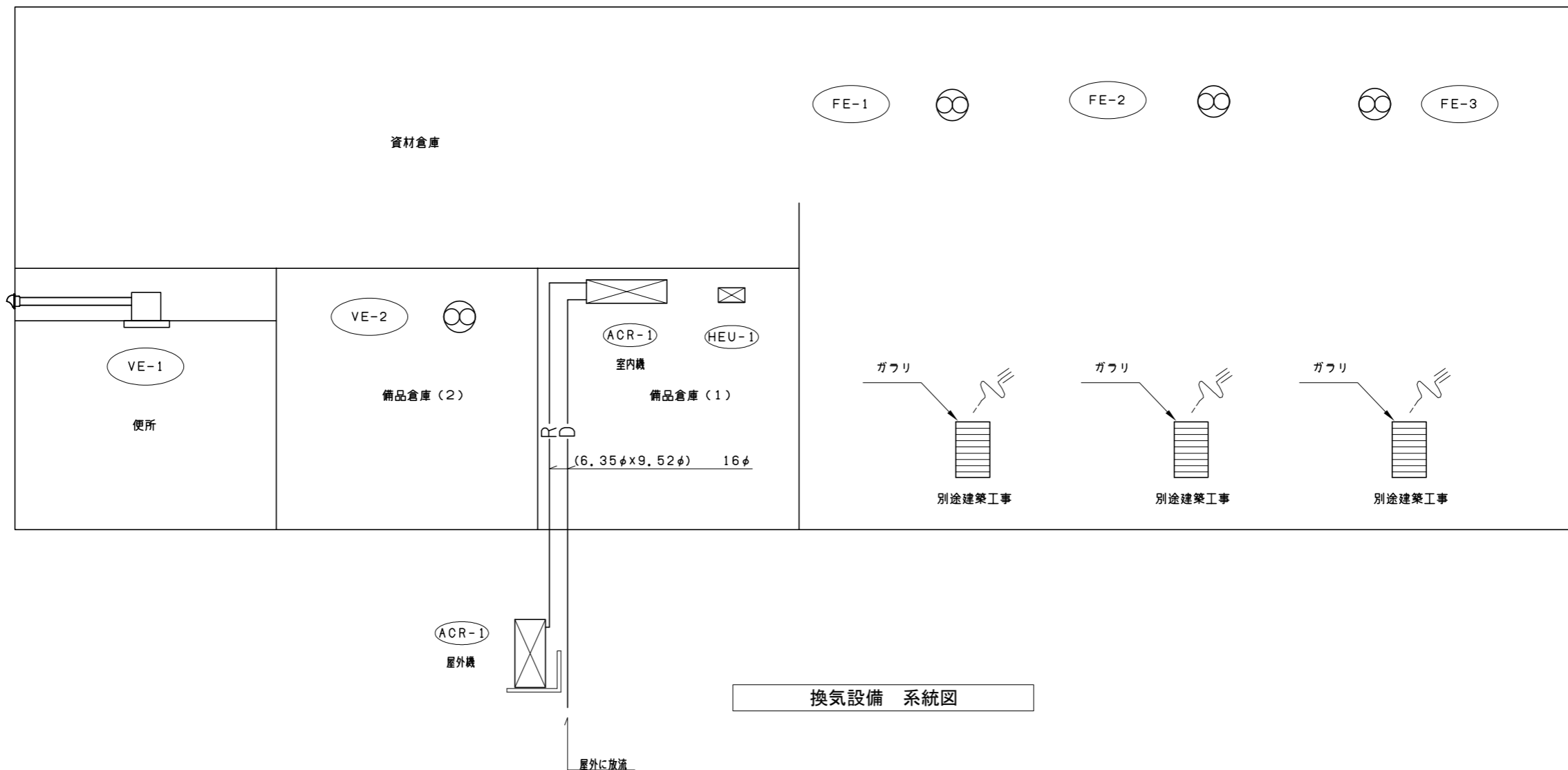
工事名	令和8年度 長泉第1浄水場倉庫建設工事
工事箇所	長泉町 納米里 地内
図面の種類	<資材倉庫> 仮設図 (参考図)
縮尺	1/100
設計年月日	令和8年
事務所名	長泉町上下水道課

機 器 表

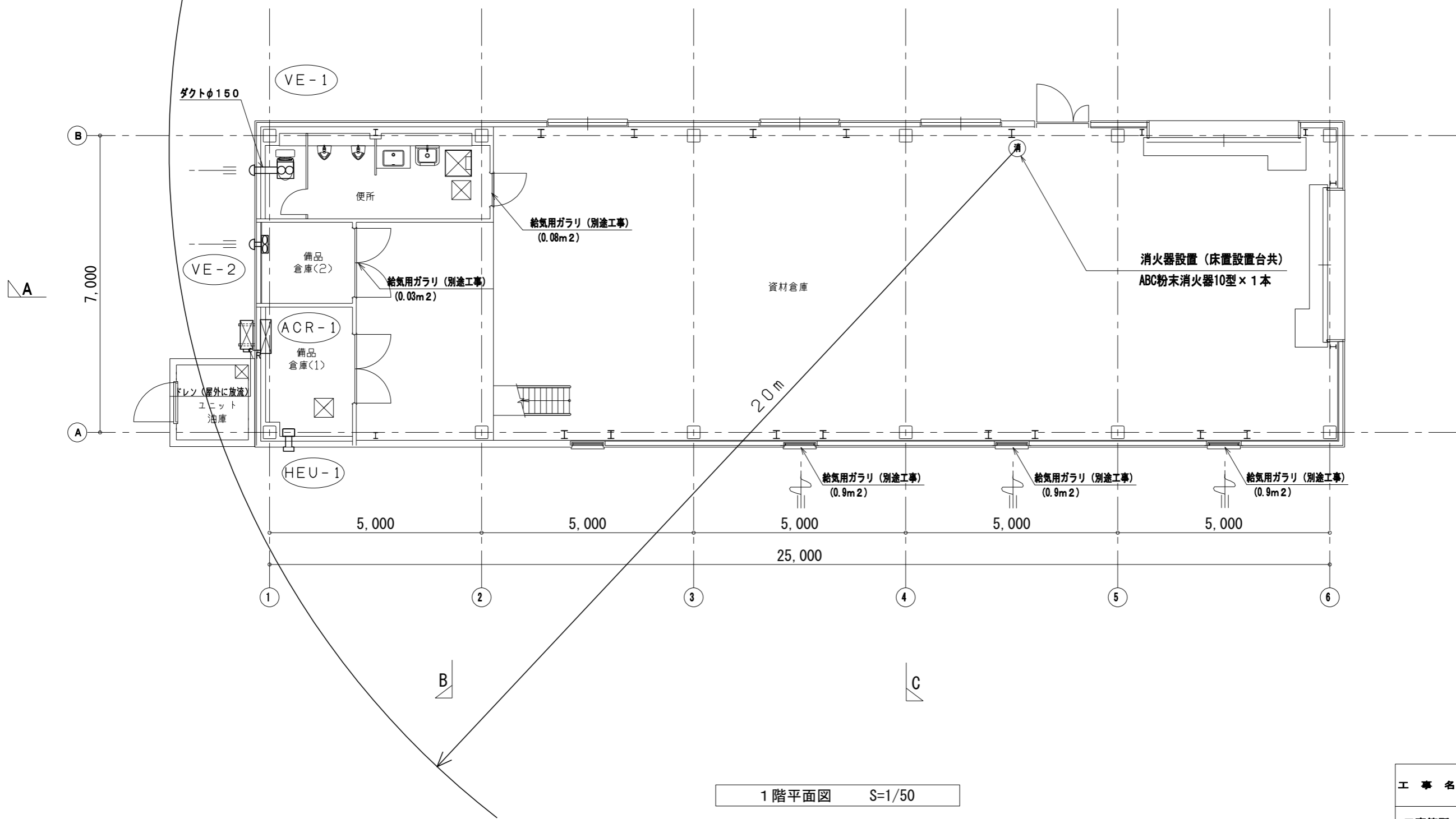
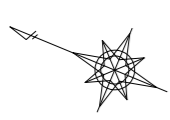
記号	機器名	設置場所 (系統名)	材質等	形式	番手 羽根径	風量 (m³/h)	静圧 (Pa)	付属品	連動	電気 (50HZ)		台数	備考	対応
										容量	電源			
FE-1	有圧換気扇	資材倉庫	鋼板製	排気形	φ350	2200	50	風圧シャッター 取付枠共 ステンレス製ウェザーカバー (給排気標準 防鳥網付) 他一式		130W	1φ100V	1		
FE-2	有圧換気扇	資材倉庫	鋼板製	排気形	φ350	2200	50	風圧シャッター 取付枠共 ステンレス製ウェザーカバー (給排気標準 防鳥網付) 他一式		130W	1φ100V	1		
FE-3	有圧換気扇	資材倉庫	鋼板製	排気形	φ350	2200	50	風圧シャッター 取付枠共 ステンレス製ウェザーカバー (給排気標準 防鳥網付) 他一式		130W	1φ100V	1		
VE-1	天井扇	便所	鋼板製	排気形	φ150	270		SUS製ベンドキャップ (深型) 他一式		20W	1φ100V	1		
VE-2	パイプ用ファン	備品倉庫 (2)	鋼板製	排気形	φ100	80		SUS製ベンドキャップ (深型) 他一式		10W	1φ100V	1		
HEU-1	全熱交換機	備品倉庫 (1)			φ100	60		単独運転 壁掛式 引きひも式又はワイヤレスリモコン SUS製屋外フード (防虫網付) 接続グロウト		30W	1φ100V	1		

凡例	
— R —	冷媒管
— D —	ドレン管

記号	機器名	設置場所 (系統名)	機 器 仕 様	電気 (50HZ)		台数	備考	対応
				容量	電源			
ACR-1	ル-ムエアコン	(内) 備品倉庫 (1) (外) 屋外	冷房能力 2.2 kW 暖房能力 2.5 kW (JIS条件値) 圧縮機 0.60 kW 送風機 (内) 30W (外) 30W リモコンスイッチ ワイヤレス 屋外機壁掛用架台 (溶融亜鉛めっき製) 室内ユニット据付板 共	1100W	1φ100V	1		
			冷媒配管 (液側φ6.35 ガス側φ9.52) ドレン配管φ16					

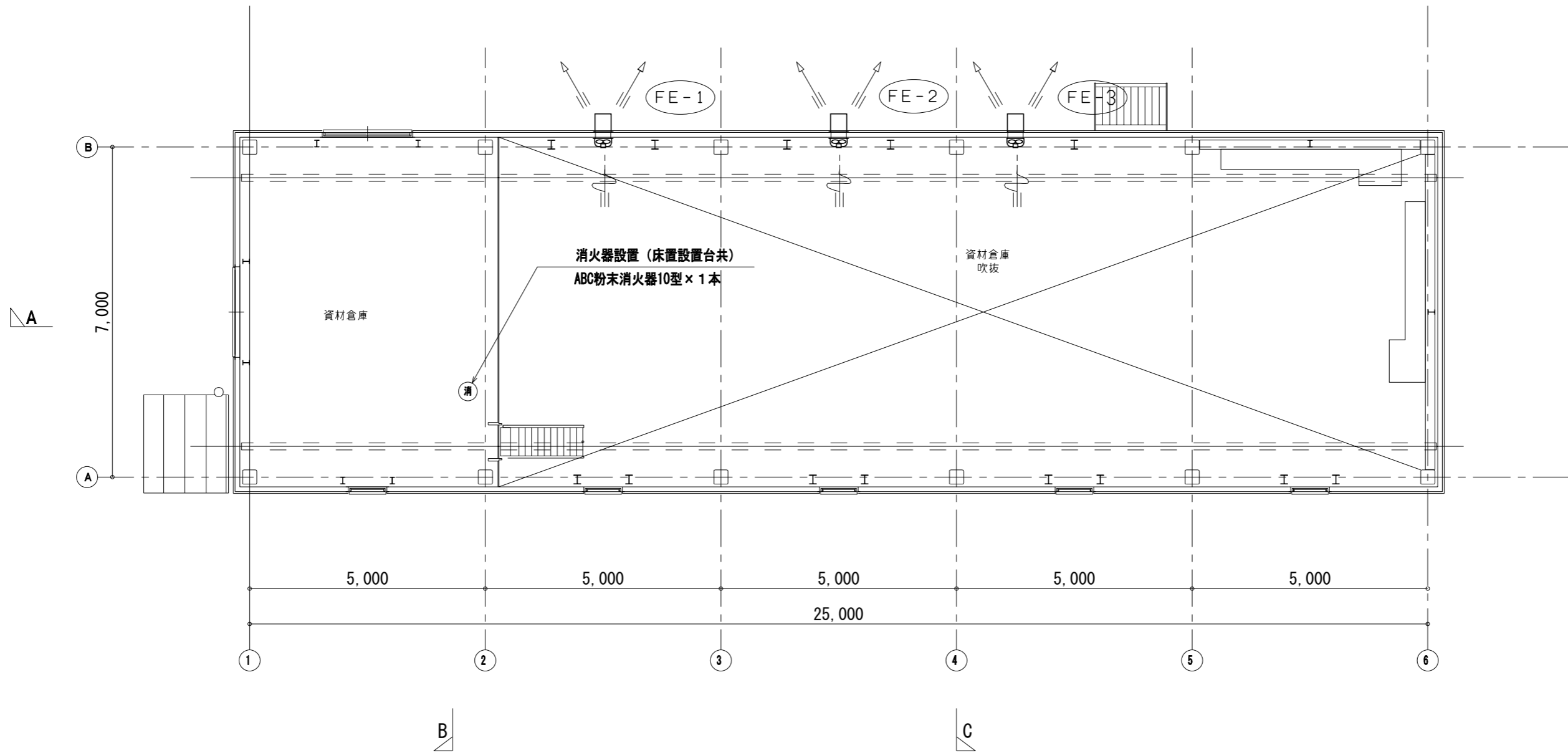
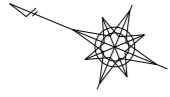


工事名	R8年度 長泉第1浄水場倉庫建設工事
工事箇所	長泉町 納米里 地内
図面の種類	<資材倉庫> 換気設備 系統図
縮尺	NONE AM-2
測量年月日	- 設計年月日 令和8年
事務所名	長泉町上下水道課



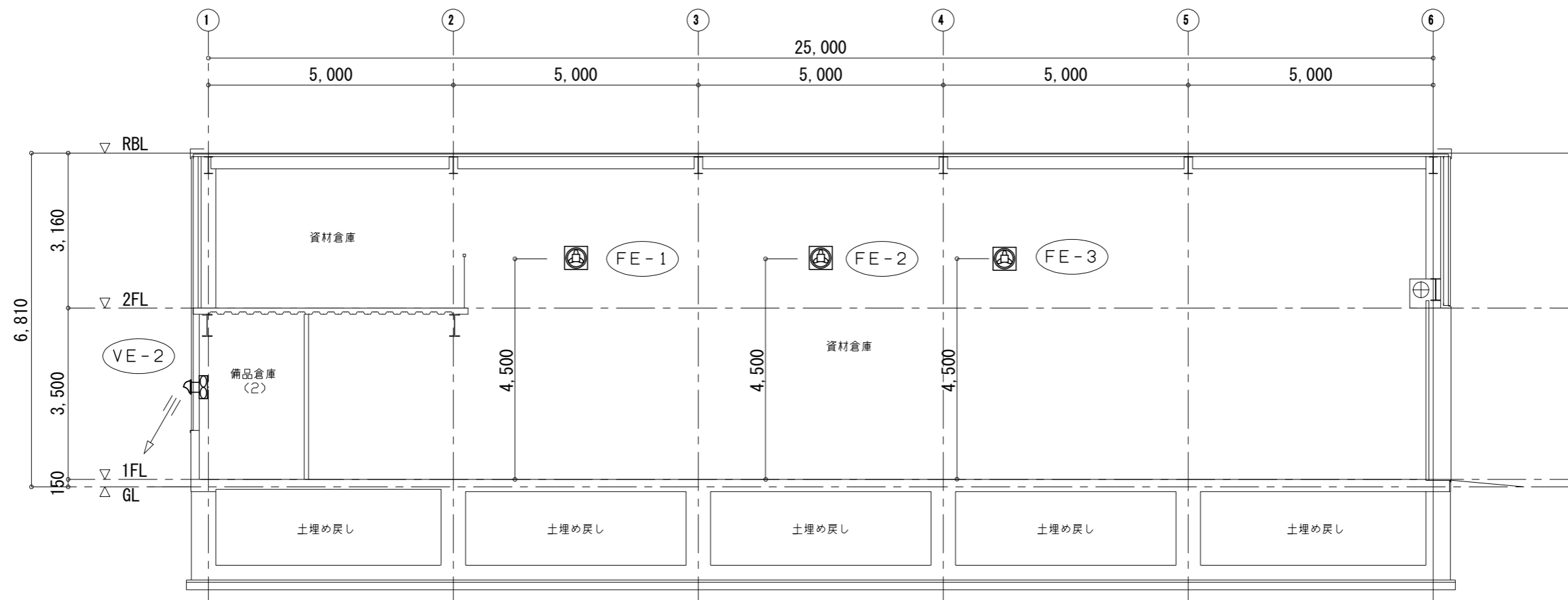
1階平面図 S=1/50

工事名	R8年度 長泉第1浄水場倉庫建設工事
工事箇所	長泉町 納米里 地内
図面の種類	<資材倉庫> 換気設備 1F平面図
縮尺	1/50
測量年月日	設計年月日 令和8年
事務所名	長泉町上下水道課

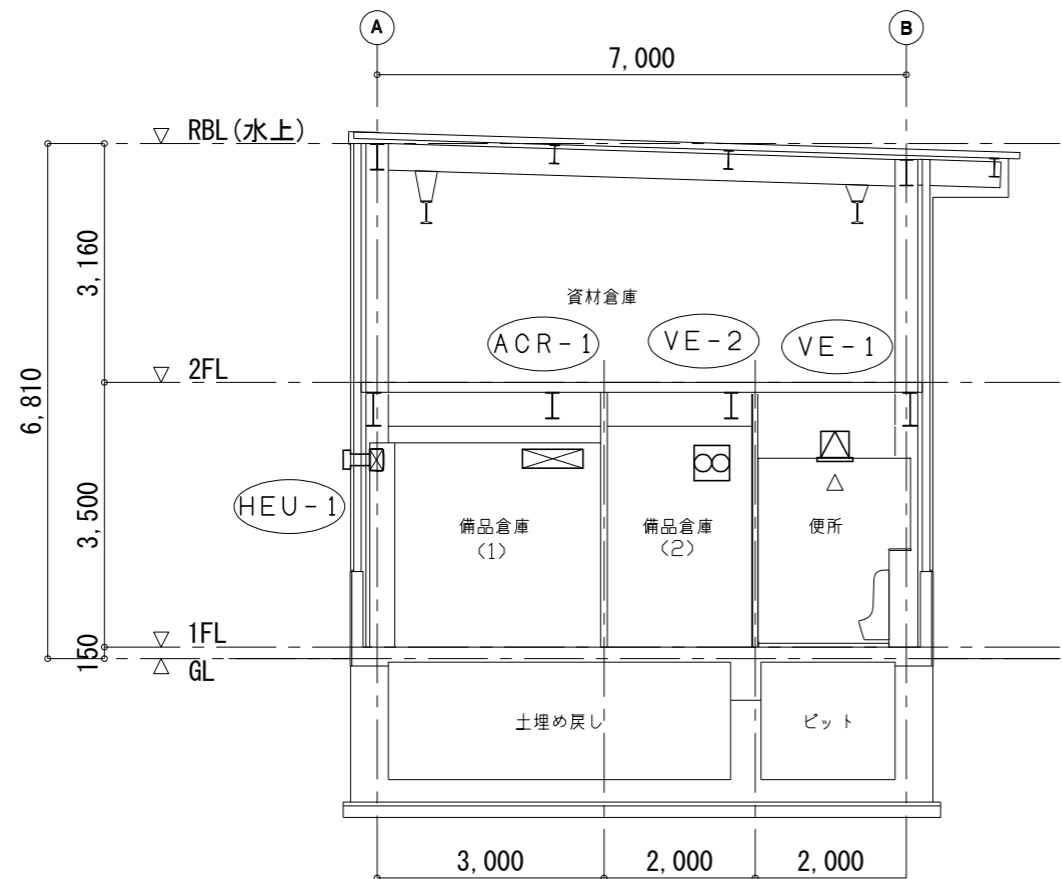


2階平面図 S=1/50

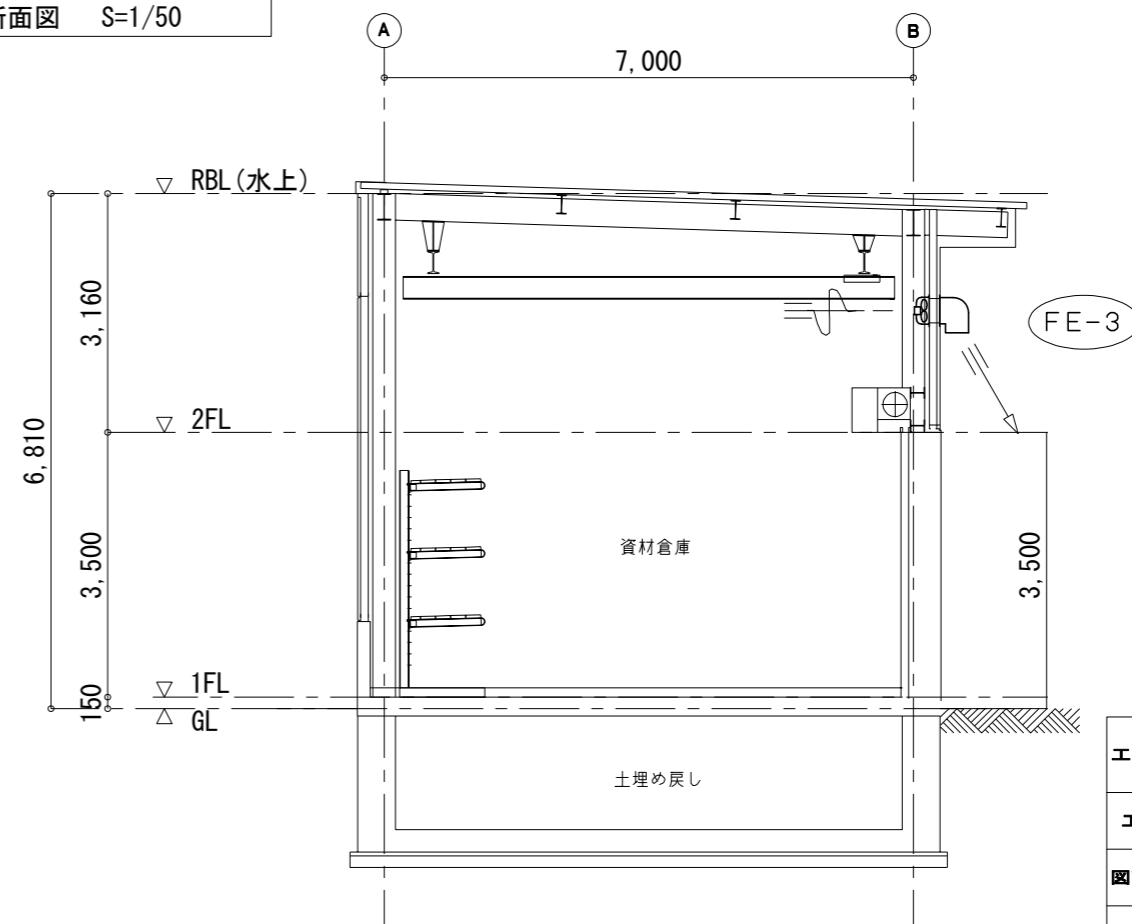
工事名	R8年度 長泉第1浄水場倉庫建設工事	
工事箇所	長泉町 納米里 地内	
図面の種類	<資材倉庫> 換気設備 2F平面図	
縮尺	1/100	AM-4
測量年月日	-	設計年月日 令和8年
事務所名	長泉町上下水道課	



A-A 断面図 S=1/50



B-B 断面図 S=1/50



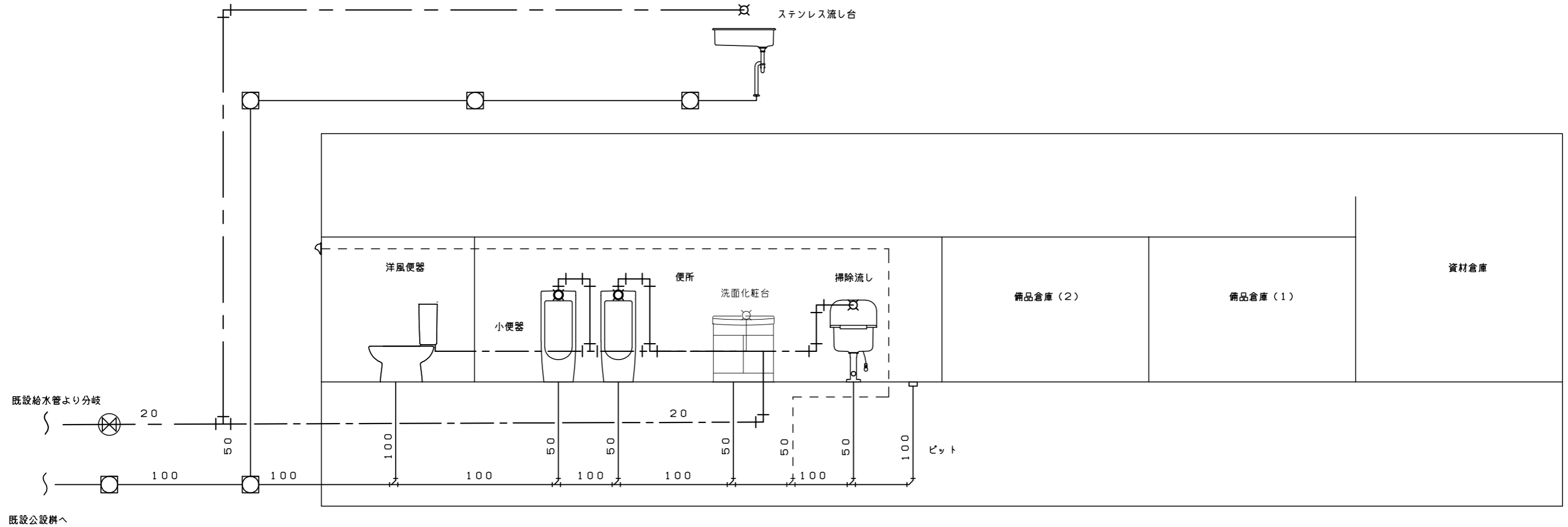
C-C 断面図 S=1/50

工事名	R8年度 長泉第1浄水場倉庫建設工事
工事箇所	長泉町 納米里 地内
図面の種類	<資材倉庫> 換気設備 断面図
縮尺	1/50
AM-5	
測量年月日	-
設計年月日	令和8年
事務所名	長泉町上下水道課

衛生設備 器具表

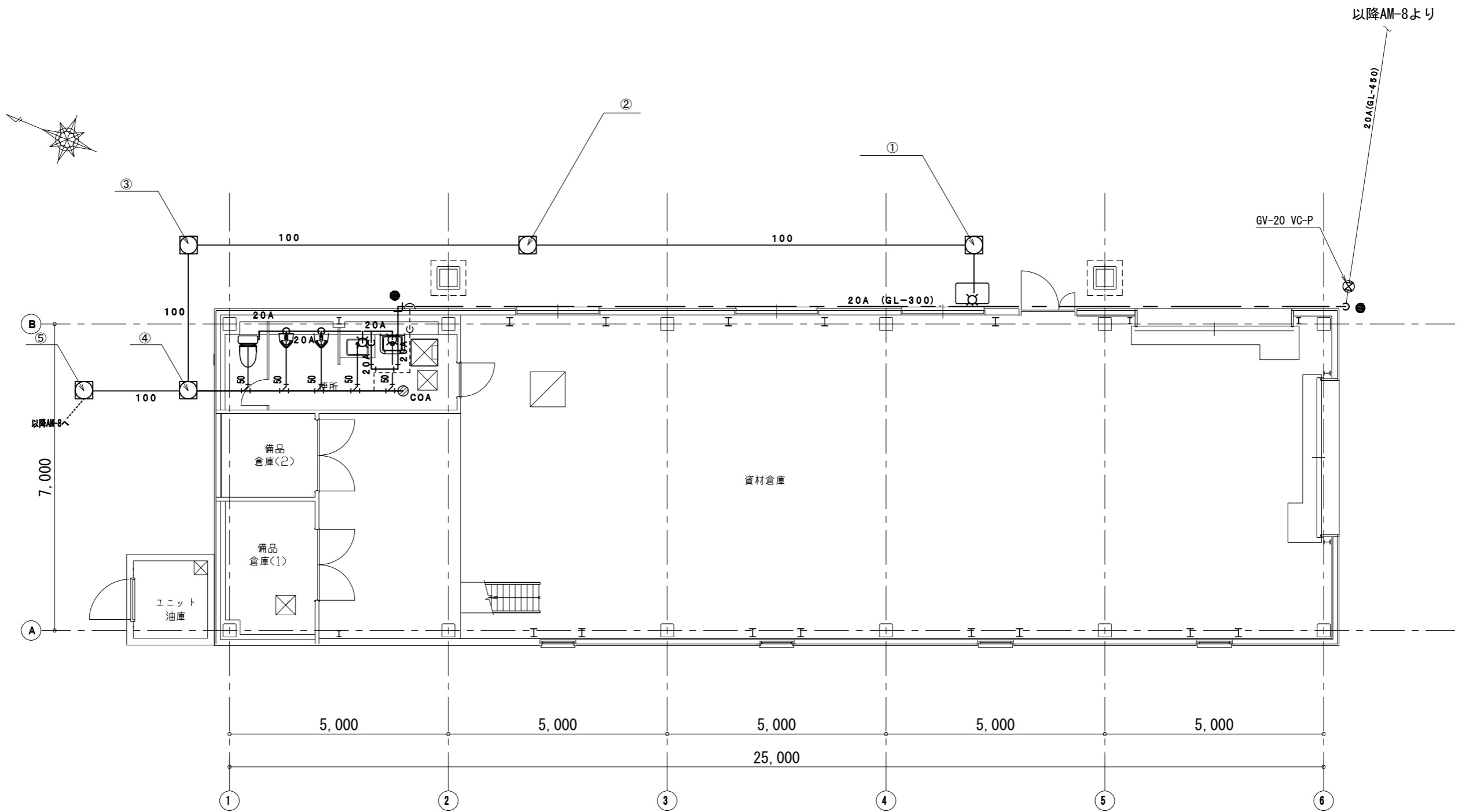
器具名	形番	設置場所 仕様・付属品	1階		数量
			便所	場内	
洋風便器	C1200S	タンク式床置床排水Ⅱ形大便器 手洗付防露式密結形ロータンク 暖房洗浄便座 紙巻器 他、付属品一式	1		1
小便器	U610	個別感知フラッシュ装置 他、付属品一式	2		2
洗面化粧台		別途建築工事	1		1
掃除流し	S210	掃除流し 横水栓20 Sトラップ 他、付属品一式	1		1
ステンレス流し台		600×450×800 他、付属品一式		1	1
水栓	F5	横水栓(自在型) ステンレス流し台用		1	1

凡例		
	給水管	HIVP
	排水管	VP
	塩ビ継	プラスチック製
	通気管	VP
	埋設弁	10K



給排水衛生設備 系統図

工事名	R8年度 長泉第1浄水場倉庫建設工事
工事箇所	長泉町 納米里 地内
図面の種類	<資材倉庫> 給排水衛生設備 系統図
縮尺	NONE AM-6
測量年月日	- 設計年月日 令和8年
事務所名	長泉町上下水道課

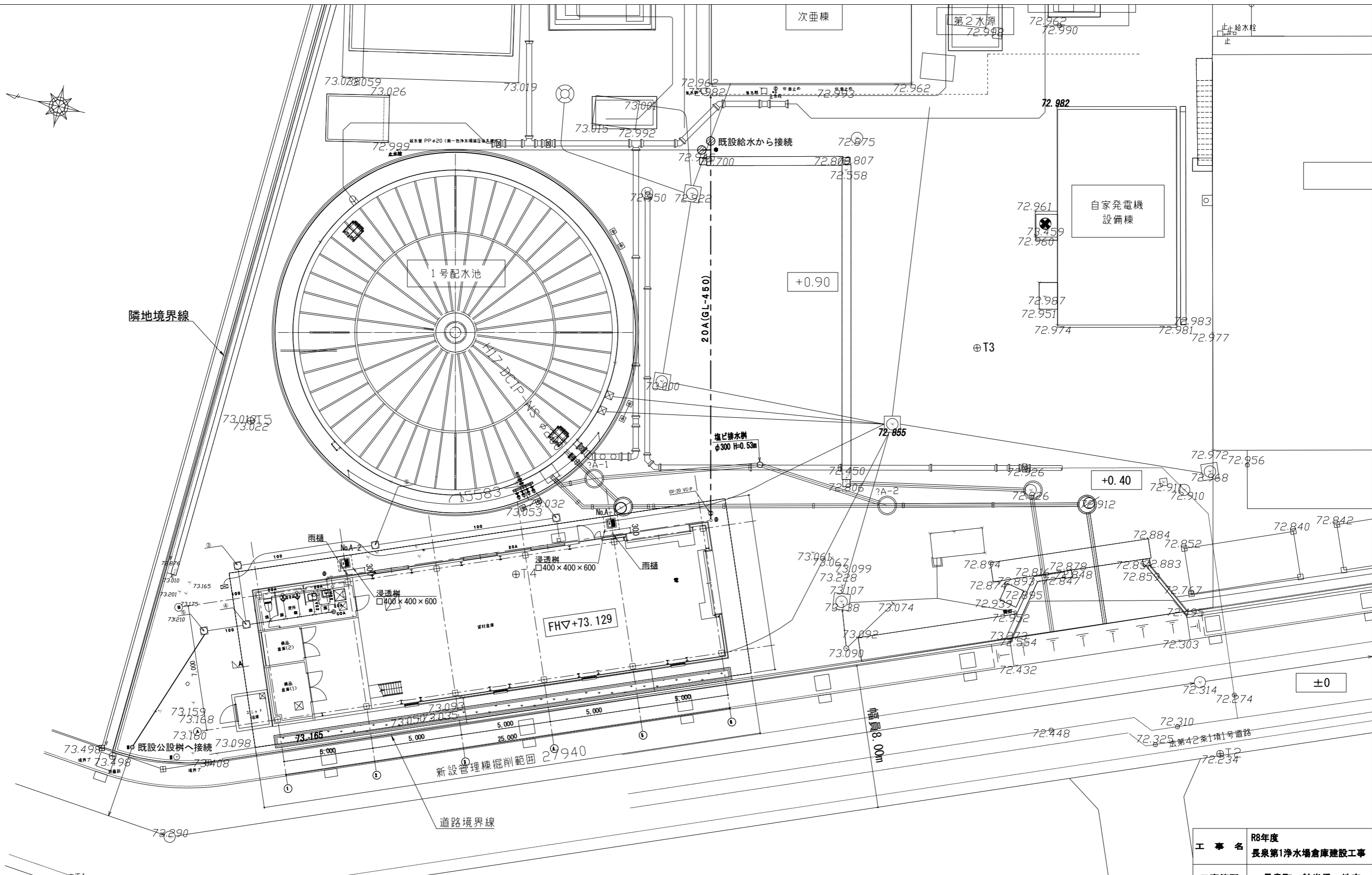
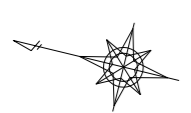


1階平面図 S=1/50

凡例		
	給水管	HIVP
	排水管	VP
	塩ビ弁	プラスチック製
	埋設弁	10K
	埋設標	鉄製
	通気管	VP

番号	流入口径	桁径	深さ	型式
①	100	200	350	90L
②	100	200	450	ST
③	100	200	530	90L
④	100	200	560	90L
⑤	100	200	580	45Y

工事名	R8年度 長泉第1浄水場倉庫建設工事
工事箇所	長泉町 納米里 地内
図面の種類	<資材倉庫> 給排水衛生設備 1F平面図
縮尺	1/50
測量年月日	設計年月日 令和8年
事務所名	長泉町上下水道課



工事名	R8年度 長泉第1浄水場倉庫建設工事
工事箇所	長泉町 納米里 地内
図面の種類	<資材倉庫> 場内整備図
縮尺	1/100
測量年月日	-
設計年月日	令和8年
事務所名	長泉町上下水道課

記号	名称	摘要
	LED器具・蛍光灯器具1灯用 天井付	(40形) ボックスなしを示す。
	LED器具・蛍光灯器具2灯用 天井付	(40形) ボックスなしを示す。
	LED器具・蛍光灯器具1灯用 壁付	(40形)
	LED器具・蛍光灯器具2灯用 壁付	(40形)
	LED器具・蛍光灯器具1灯用 天井付	(40形) (発電機回路)
	LED器具・蛍光灯器具2灯用 天井付	(40形) (発電機回路)
	LED器具・蛍光灯器具1灯用 壁付	(40形) (発電機回路)
	LED器具・蛍光灯器具2灯用 壁付	(40形) (発電機回路)
	非常用LED器具・蛍光灯器具1灯用 天井付	(40形) 電池内蔵形
	非常用LED器具・蛍光灯器具2灯用 天井付	(40形) 電池内蔵形
	非常用LED器具・蛍光灯器具1灯用 壁付	(40形) 電池内蔵形
	非常用LED器具・蛍光灯器具2灯用 壁付	(40形) 電池内蔵形
	LED器具・蛍光灯器具1灯用 天井付	(20形)
	LED器具・蛍光灯器具2灯用 天井付	(20形)
	LED器具・蛍光灯器具1灯用 壁付	(20形)
	LED器具・蛍光灯器具2灯用 壁付	(20形)
	LED器具 角形天井付	
	LED器具 天井付	
	LED器具 壁付	
	LED器具 天井付	(発電機回路)
	LED器具 壁付	(発電機回路)
	非常用LED器具 天井付、壁付	電池内蔵形、表記■は壁付を示す。
	高天井用LED器具 天井付	
	LED器具 投光器	
	屋外用LED器具 ボールライト	形式は傍記による。
	LED階段通路誘導灯 天井、壁付	(40形) 電池内蔵形
	LED階段通路誘導灯 天井、壁付	(20形) 電池内蔵形
	LED避難用・通路誘導灯 天井、壁付	電池内蔵形、避難方向矢印は傍記による。
●RAS	熱線式自動スイッチ 1P15A×1	センサ内蔵、切・自動・連続の切替スイッチ付
●RA	熱線式自動スイッチ 1P2A×1	センサ別置、切・自動・連続の切替スイッチ付
▽N	照明制御器 (人感センサ内蔵形点滅タイプ)	
▽n	照明制御器 (人感センサ内蔵形点滅タイプ、子機)	
▽NV	照明制御器 (人感センサ内蔵形点滅タイプ)	換気扇連動
▽nV	照明制御器 (人感センサ内蔵形点滅タイプ、子機)	換気扇連動
▽NWP	照明制御器 (人感センサ内蔵形点滅タイプ)	屋外用
▽nWP	照明制御器 (人感センサ内蔵形点滅タイプ、子機)	屋外用
R▽N	照明制御器 (人感センサ内蔵形点滅タイプ)	多重伝送式
R▽n	照明制御器 (人感センサ内蔵形点滅タイプ、子機)	多重伝送式
R▽NWP	照明制御器 (人感センサ内蔵形点滅タイプ)	多重伝送式、屋外用
R▽nWP	照明制御器 (人感センサ内蔵形点滅タイプ、子機)	多重伝送式、屋外用

記号	名称	摘要
●	タンブラスイッチ 1P15A×1	個数は傍記による。
●3	タンブラスイッチ 3W15A×1	個数は傍記による。
●4	タンブラスイッチ 4W15A×1	個数は傍記による。
●WP	タンブラスイッチ 1P15A×1	防水形
●3WP	タンブラスイッチ 3W15A×1	防水形
●4WP	タンブラスイッチ 4W15A×1	防水形
●RP	タンブラスイッチ 1P15A×1	防雨形、個数は傍記による。
●3RP	タンブラスイッチ 3W15A×1	防雨形、個数は傍記による。
●KP	タンブラスイッチ 1P15A×1	防滴プレート付、個数は傍記による。
●3KP	タンブラスイッチ 3W15A×1	防滴プレート付、個数は傍記による。
●H	タンブラスイッチ 1P15A×1	位置表示灯付
●L	タンブラスイッチ 1P15A×1	動作確認灯付
●2P	タンブラスイッチ 2P15A×1	個数は傍記による。
●2WP	タンブラスイッチ 2P15A×1	防水形
●2PRP	タンブラスイッチ 2P15A×1	防雨形、個数は傍記による。
●2PKP	タンブラスイッチ 2P15A×1	防滴プレート付、個数は傍記による。
●EX	タンブラスイッチ 2P15A×1	防塵形
○	パイロットランプ	
●R	リモコンスイッチ	
⊕	セレクタースイッチ	回路数は傍記による。
●RM	リモコンスイッチ (多重伝送用)	回路数は傍記による。
●RM-WP	リモコンスイッチ (多重伝送用)	防水形、回路数は傍記による。
⊕RM	セレクタースイッチ (多重伝送用)	回路数は傍記による。
▲	多重伝送式リモコンリレー	
▲▲▲	多重伝送式リモコンリレー-集合体	リレー数は傍記による。
●A	自動点滅器	容量は傍記による。
↗	調光器	容量は傍記による。
⊖	壁付コンセント 2P15A×1	2個以上は傍記による。
⊖20A	壁付コンセント 2P20A×1	20A以上は傍記による。
⊖3P	壁付コンセント 3P15A×1	3個以上は傍記による。
⊖LK	壁付コンセント 2P15A×1 (抜け止め形)	2個以上は傍記による。
⊖T	壁付コンセント 2P15A×1 (引掛形)	プラグ付とする。
⊖FC	壁付コンセント 3P15A×1 (引掛形)	ファンコイル用、一極は接地極とする。
⊖E	壁付コンセント 2P15A×1 (接地極付)	2個以上は傍記による。
⊖ET	壁付コンセント 2P15A×1 (接地端子付)	2個以上は傍記による。
⊖WP	壁付コンセント 2P15A×1 (防水形)	形式は傍記による。
⊖EX	壁付コンセント 2P15A×1 (防塵形)	プラグ付とする。
⊖U	床コンセント 2P15A×1 (上下動式)	2個以上は傍記による。
⊖LK	天井コンセント 2P15A×1 (抜け止め形)	2個以上は傍記による。
⊖RP	壁付コンセント 2P15A×2 (防雨、接地極付)	抜け止め、接地端子付とする。
⊖MP	壁付コンセント 2P15A×1 (防湿、接地極付)	抜け止め
⊖KP	壁付コンセント 2P15A×1 (接地極付)	抜け止め、防滴プレート付とする。
⊖	非常コンセント箱 埋込形	(消筋法によるもの)

記号	名称	摘要
	主幹盤	
	分電盤	二重幹のものは前熱分電盤とする。
	制御盤	
	警報盤	
	その他の盤	名称・形式は傍記による。
Ⓜ	電動機	別途
Ⓜ	電熱機	別途
Ⓜ	換気扇	別途
TN	サーモスタット	別途
H	ヒューミディスタット	別途
Ⓜ	電磁弁	別途
Ⓜ	電動弁	別途
Ⓜ	調湿器箱	仕様は傍記による。
ⓂB	電磁開閉器押しボタン	傍記しはパイロットランプ付とする。
ⓂLF	フロートレススイッチ電極	極数は傍記による。
Ⓜ	避雷針 (突針)	
—	避雷導線、線上げ導体、水平導体	
Ⓜ	接地極	種別は傍記による。
Ⓜ	接地抵抗測定用端子	
Ⓜ	接地用端子箱	形式は傍記による。
PBX	交換装置	形式は傍記による。
Ⓜ	電子ボタン電話主装置	形式は傍記による。
Ⓜ	局線表示器	局線は傍記による。
MDF	本配線盤	対数、形式は傍記による。
Ⓜ	端子箱	対数、形式は傍記による。
Ⓜ	集合保安器箱	対数、形式は傍記による。
Ⓜ	多機能電話機	停電補償付とする。
Ⓜ	内線電話機	
Ⓜ	電話機	防湿箱入とする。
ⓂBT	電子ボタン電話機	
ⓂBT	電子ボタン電話機	防湿箱入とする。
Ⓜ	ドアホン	
Ⓜ	壁付電話用アクトレット	通信コネクタの種類は傍記による。
Ⓜ	床付電話用アクトレット	通信コネクタの種類は傍記による。
Ⓜ	PHS接続装置	
Ⓜ	PHS接続装置	防湿箱入とする。
AMP	拡声増幅器	
RM	リモコンマイク	
Ⓜ	壁付スピーカ	
Ⓜ	天井埋込スピーカ	
Ⓜ	ホーン形スピーカ	
Ⓜ	マイクロホンジャック	
ⓂS	スピーカジャック	
Ⓜ	マイクロホンコンセント	極数は傍記による。
ⓂS	スピーカコンセント	極数は傍記による。
↗	アッチネータ	形式は傍記による。

記号	名称	摘要
Ⓜ	親時計	
Ⓜ	子時計	
Ⓜ	スピーカ付子時計	
Ⓜ	電話形インターホン兼機	
Ⓜ	電話形インターホン子機	
Ⓜ	スピーカ形インターホン子機	
Ⓜ	トイレ等呼出表示器	容量は傍記による。
Ⓜ	壁付呼出ボタン (確認灯付)	自己保持機能付は傍記による。
ⓂR	壁付復帰ボタン	
Ⓜ	壁付呼出表示灯	
Ⓜ	ベル	
T	テレビアンテナ	
▷	パラボラアンテナ	
ⓂW	テレビ端子1端子形 (2602MHz用)	
ⓂW	テレビ端子2端子形 (2602MHz用)	
ⓂW	1端子形並列ユニット、F形接続	傍記Rは鉄線抵抗器付とする。
Ⓜ	機器収容箱	
Ⓜ	防犯受信機	回路数は傍記による。
Ⓜ	分離型赤外線式検知器 (発光部)	
Ⓜ	分離型赤外線式検知器 (受光部)	
Ⓜ	検知器 (空間検知器)	種別は傍記による。
Ⓜ	検知器 (電気近接スイッチ)	
ⓂL	検知器 (リミットスイッチ)	
ⓂS	検知器 (シャッター検知器)	
ⓂG	検知器 (ガラス破壊検知器)	
ⓂC	防犯能解放スイッチ (カード式)	
ⓂT	防犯能解放スイッチ (テンキー式)	
ⓂK	防犯能解放スイッチ (キー式)	
Ⓜ	連動制御器 (連動制御盤)	1回使用
Ⓜ	連動制御器 (連動制御盤)	多回線用 (操作部を有するもの)
Ⓜ	壁感知器 3種 露出形	(専用のもの)
Ⓜ	壁感知器 3種 埋込形	(専用のもの)
Ⓜ	熱感知器	(専用のもの) 種別は傍記による。
ⓂD	自動閉鎖装置 (防火戸)	別途
ⓂSS	自動閉鎖装置 (防火シャッター)	別途
ⓂW	自動閉鎖装置 (防煙垂れ壁)	別途
ⓂSD	自動閉鎖装置 (防煙ダンパー)	別途
ⓂES	自動閉鎖装置 (排煙口)	別途
Ⓜ	動作区域番号	(防火戸、シャッター)
Ⓜ	動作区域番号	(防煙ダンパー)
Ⓜ	ガス漏れ警報受信器	回路数は傍記
Ⓜ	中継器	必要に応じ種別・個数を傍記する。
Ⓜ	中継器 表示灯付	必要に応じ種別・個数を傍記する。
Ⓜ	検知器	必要に応じ種別を傍記する。
Ⓜ	検知器 壁掛形	必要に応じ種別を傍記する。
Ⓜ	表示灯	
---	警戒区域境界線	
△△	警戒区域番号	

記号	名称	摘要
Ⓜ	受信機	
Ⓜ	複合機	
Ⓜ	副受信機	
Ⓜ	機器収納箱 埋込形	(P) (O) (B)
Ⓜ	機器収納箱 露出形	(P) (O) (B)
ⓂWP	機器収納箱 露出防湿形	(P) (O) (B)
Ⓜ	機器収納箱 屋内消火栓箱組込	(P) (O) (B)
ⓂWP	機器収納箱 防湿形 屋内消火栓箱組込	(P) (O) (B)
Ⓜ	機器収納箱 屋外消火栓箱組込	(P) (O) (B)
Ⓜ	機器収納箱 防塵形 屋外消火栓箱組込	(P) (O) (B)
Ⓜ	差動式スポット形感知器 2種	1種の場合は傍記による。
Ⓜ	差動式スポット形感知器 2種 埋込形	1種の場合は傍記による。
Ⓜ	定温式スポット形感知器 1種	
Ⓜ	定温式スポット形感知器 1種	
Ⓜ	定温式スポット形感知器 1種 防水形	特種の場合は傍記による。
Ⓜ	定温式スポット形感知器 1種 耐熱形	特種の場合は傍記による。
Ⓜ	定温式スポット形感知器 1種 耐アルカリ形	特種の場合は傍記による。
ⓂEX	定温式スポット形感知器 1種 防塵形	特種の場合は傍記による。
Ⓜ	壁感知器 2種 露出形	1種の場合は傍記による。
Ⓜ	壁感知器 2種 埋込形	1種の場合は傍記による。
Ⓜ	壁感知器 2種 点検ボックス付	1種の場合は傍記による。
Ⓜ	複合スポット型 感知器 2種・3種複合式 露出形	1種・2種の場合は傍記による。
Ⓜ	複合スポット型 感知器 2種・3種複合式 埋込形	1種・2種の場合は傍記による。
Ⓜ	壁感知器 3種 露出形 (専用のもの)	
Ⓜ	壁感知器 3種 埋込形 (専用のもの)	
Ⓜ→	光電式分離型 感知器 (送光部)	種別は傍記による。
→Ⓜ	光電式分離型 感知器 (受光部)	種別は傍記による。
Ⓜ	炎感知器	
Ⓜ	柱煙感知	
Ⓜ	差動式分布形感知器の検出部	種別は傍記による。
—	空気管	
Ⓜ	P型 発信機	種別は傍記による。
ⓂEX	P型 発信機 防塵形	種別は傍記による。
Ⓜ	P型 発信機 屋外用	種別は傍記による。
Ⓜ	警報ベル	
Ⓜ	警報ベル 屋外用	
Ⓜ	表示灯	
Ⓜ	表示灯 屋外用	
ⓂH	移報器 (消火栓)	消火栓ポンプ始動用
付属記号 ●	アナログ式	例 ●
付属記号 ●○	アナログ式自動試験機能付	例 ●○
付属記号 ○	自動試験機能付	例 ○
—	火災報知設備警戒区域境界線	
(N)	火災報知設備警戒区域番号	
Ⓜ	屋内・屋外消火栓ポンプ制御盤	別途
Ⓜ	不活性ガス消火設備制御盤	別途
—	天井いんべい配線	
---	床いんべい配線	
----	露出配線	
----	地中埋設配線	
↗	立上り	
↗	未通し	
↗	引下げ	

工事名	R8年度 長泉第1浄水場倉庫建設工事
工事箇所	長泉町 納米里 地内
図面の種類	建築電気設備 凡例
縮尺	NONE AE-2
測量年月日	- 設計年月日 令和8年
事務所名	長泉町役場上下水道課

姿 図	記号	電圧	光 源	器具記号
	LA1	100 242	LED	LSS1-2-15
	LA2	100 242	LED	LSS1-2-30
	LA3	100 242	LED	LSS1-4-23
	LA4	100 242	LED	LSS1-4-48
	LA5	100 242	LED	LSS1-4-30
	LA6	100 242	LED	LSS1-4-65
	LA1 MP/RP	100 242	LED	LSS1MP/RP-2-14
	LA3 MP/RP	100 242	LED	LSS1MP/RP-4-22
	LA6 MP/RP	100 242	LED	LSS1MP/RP-4-64
	LDS1- LA5	100 242	LED	LDS1-LSS1-4-29
	LDS1- LA6	100 242	LED	LDS1-LSS1-4-65
	LB1	100 242	LED	LSS9-2-15
	LB2	100 242	LED	LSS9-2-30
	LB3	100 242	LED	LSS9-4-23
	LB4	100 242	LED	LSS9-4-48
	LB5	100 242	LED	LSS9-4-30
	LB6	100 242	LED	LSS9-4-65
	LB5 MP/RP	100 242	LED	LSS9MP/RP-4-30
	LB6 MP/RP	100 242	LED	LSS9MP/RP-4-64
	LDS1- LB5	100 242	LED	LDS1-LSS9-4-29
	LDS1- LB6	100 242	LED	LDS1-LSS9-4-65
		LC1	100 242	LED
LC2		100 242	LED	LSS10-2-30
LC3		100 242	LED	LSS10-4-23
LC4		100 242	LED	LSS10-4-48
LC5		100 242	LED	LSS10-4-30
LC6		100 242	LED	LSS10-4-65
LC4 MP/RP		100 242	LED	LSS10MP/RP-4-46
LC6 MP/RP		100 242	LED	LSS10MP/RP-4-64
LDS1- LC4		100 242	LED	LDS1-LSS10-4-47
LDS1- LC6		100 242	LED	LDS1-LSS10-4-65
		LD1	100 242	LED
	LD2	100 242	LED	LRS3-2-30
	LD3	100 242	LED	LRS3-4-23
	LD4	100 242	LED	LRS3-4-48
	LD5	100 242	LED	LRS3-4-30
	LD6	100 242	LED	LRS3-4-65
	LD4 MP/RP	100 242	LED	LRS3MP/RP-4-46
	LD6 MP/RP	100 242	LED	LRS3MP/RP-4-62
	LD5 CG1A	100 242	LED	LRS3CG1A-4-25

姿 図	記号	電圧	光 源	器具記号	
	LE1	100 242	LED	LRS6-2-15	
	LE2	100 242	LED	LRS6-2-30	
	LE3	100 242	LED	LRS6-4-23	
	LE4	100 242	LED	LRS6-4-48	
	LE5	100 242	LED	LRS6-4-30	
	LE6	100 242	LED	LRS6-4-65	
	LF1	100 242	LED	LRS1-08	
	LF2	100 242	LED	LRS1-17	
	LF3	100 242	LED	LRS1-33	
	LDS1- LF4	100 242	LED	LDS1-LRS1-05	
	LDS2- LF5	100 242	LED	LDS2-LRS1-08	
	LDS2- LF6	100 242	LED	LDS2-LRS1-17	
	LF7 RP	100 242	LED	LRS1RP-08	
	LF8 RP	100 242	LED	LRS1RP-17	
		LG1	100 242	LED	LRS9-4-46
		LG2	100 242	LED	LRS9-6-84
		K1- LH1	100 242	LED	K1-LBF11
SK1- LH2		100 242	LED	SK1-LBF11	
	LDS1- K1-LH1	100 242	LED	LDS1-K1-LBF11	
	LDS2- SK1-LH2	100 242	LED	LDS2-SK1-LBF11	
	K1-LH1 MP/RP	100 242	LED	K1-LBF11相当 防湿防雨型	
	SK1-LH2 MP/RP	100 242	LED	SK1-LBF11相当 防湿防雨型	
	L11 MP/RP	100 242	LED	LBF3MP/RP-2-08	
	L12 MP/RP	100 242	LED	LBF3MP/RP-2-13	
	LDS1- L13MP	100 242	LED	LBF3MP/RP-2-13相当 センサー付天井付	
	LDS1- L14MP	100 242	LED	LBF3MP/RP-2-13相当 センサー付壁付	
	LDS1- L15MP	100 242	LED	LBF3MP/RP-2-13相当 センサー付壁付	
	LJ1 MP/RP	100 242	LED	32Wx1打用相当	
	LJ2 MP/RP	100 242	LED	32Wx2打用相当	
	LJ3 MP/RP	100 242	LED	16Wx1打用相当	
	LK1	100 242	LED	LRS3CG1A-4-25	

防湿・防雨形LED灯具
保護等級：IP55, SUS製

姿 図	記号	電圧	光 源	器具記号
	K1- IA1	100 242	LED	K1-LRS11-1
	K1- IA2	100 242	LED	K1-LRS11-2
	K1- IA3	100 242	LED	K1-LRS11-3
	K1- IB1	100 242	LED	K1-LSS11-1
	K1- IB2	100 242	LED	K1-LSS11-2
	K1- IB3	100 242	LED	K1-LSS11-3
	K1- IC1MP	100 242	LED	K1-LSS14MP-1
	K1- IC2MP	100 242	LED	K1-LSS14MP-2
	K1- IC3MP	100 242	LED	K1-LSS14MP-3
	K0- ID1	100	LED	K0-LRS11-D6
	K0- ID2	100	LED	K0-LRS11-D10
	K0- IE1	100	LED	電源別置形非常用照明 露出型
	K0- IE2MP	100	LED	電源別置形非常用照明 露出型、防水
	K1- IF1	100	LED	LED赤色灯 電池内蔵型、電源失 LED赤色灯 予備電源別置型
	K0- IF2	100	LED	

姿 図	記号	電圧	光 源	器具記号
	SH1- EA1	100	LED	SH1-FSF20-C 片面、天井埋込形
	SH1- EA2	100	LED	SH1-FSF21-C 両面、天井埋込形
	SH1- EA3	100	LED	SH1-FSF20-BL 片面、天井埋込形
	SH1- EA4	100	LED	SH1-FSF21-BL 両面、天井埋込形
	SH1- EA1MP	100	LED	SH1-FSF20-C 相当品、防湿型
	SH1- EA2MP	100	LED	SH1-FSF21-C 相当品、防湿型
	SH1- EA3MP	100	LED	SH1-FSF20-BL 相当品、防湿型
	SH1- EA4MP	100	LED	SH1-FSF21-BL 相当品、防湿型
	SH1- EB1	100	LED	SH1-FBF20-C 片面、壁付形
	SH1- EB2	100	LED	SH1-FBC20-C 片面、壁付形
	SH1- EB3	100	LED	SH1-FBF20-BL 片面、壁付形
	SH1- EB4	100	LED	SH1-FBC20-BL 片面、壁付形
	SH1- EB1MP	100	LED	SH1-FBF20-C 相当品、防湿型
	SH1- EB2MP	100	LED	SH1-FBC20-C 相当品、防湿型
	SH1- EB3MP	100	LED	SH1-FBF20-BL 相当品、防湿型
	SH1- EB4MP	100	LED	SH1-FBC20-BL 相当品、防湿型
	SH1- EC1	100	LED	SH1-FRF20P-C 片面、天井埋込形
	SH1- EC2	100	LED	SH1-FRF21P-C 両面、天井埋込形
	ST1- ED1	100	LED	ST1-FSF22-C 片面、壁付形
	ST1- ED2	100	LED	ST1-FSF23-C 両面、天井埋込形
	ST1- ED1MP	100	LED	ST1-FSF22-C 相当品、防湿型
	ST1- ED2MP	100	LED	ST1-FSF23-C 相当品、防湿型
	ST1- EE1	100	LED	ST1-FBF22-C 片面、壁付形
	ST1- EE2	100	LED	ST1-FBC22-C 片面、壁付形
	ST1- EE3	100	LED	ST1-FBF22-BL 片面、壁付形
	ST1- EE4	100	LED	ST1-FBC22-BL 片面、壁付形
	ST1- EE1MP	100	LED	ST1-FBF22-C 相当品、防湿型
	ST1- EE2MP	100	LED	ST1-FBC22-C 相当品、防湿型
	ST1- EE3MP	100	LED	ST1-FBF22-BL 相当品、防湿型
	ST1- EE4MP	100	LED	ST1-FBC22-BL 相当品、防湿型
	ST1- EF1	100	LED	ST1-FRF22P-C 片面、天井埋込形
	ST1- EF2	100	LED	ST1-FRF23P-C 両面、天井埋込形

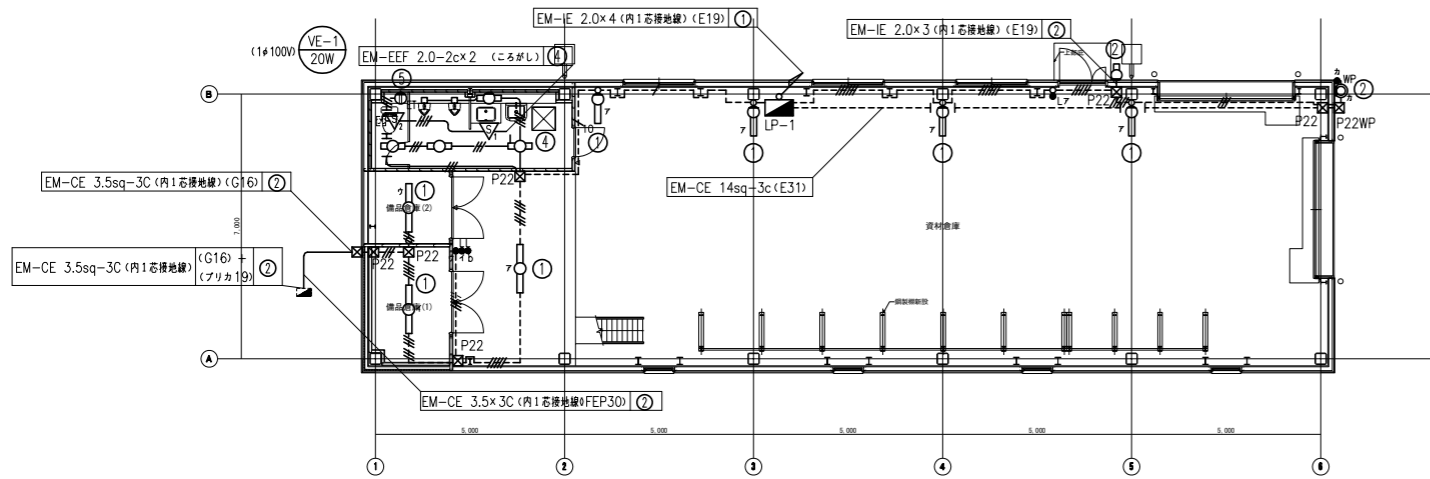
姿 図	記号	電圧	光 源	器具記号
	HA1	200	LED	LSR1M-200
	HA2	200	LED	LSR1W-200
	HA3	200	LED	LSR1W-400
	HA4	200	LED	LSR1AM-170
	HA5	200	LED	LSR1AM-340
	HB1	200	LED	LSR2M-200
	HB2	200	LED	LSR2W-200
	HB3	200	LED	LSR2W-400
	HB4	200	LED	LSR2AM-170
	HB5	200	LED	LSR2AM-340
	HC1	200	LED	LPJ1N-180
	HC2	200	LED	LPJ1M-180
	HC3	200	LED	LPJ1W-180
	HC4	200	LED	LPJ1N-500
	HC5	200	LED	LPJ1M-500
	HC6	200	LED	LPJ1W-500
	HD1	100 MP/RP 242	LED	防湿型天井灯 21000L _m 、中角型
	HD2	100 MP/RP 242	LED	防湿型天井灯 21000L _m 、広角型
	HD3	100 MP/RP 242	LED	防湿型天井灯 13800L _m 、中角型
	HD4	100 MP/RP 242	LED	防湿型天井灯 13800L _m 、広角型

保護等級：IP65, 防雨型・防塵型

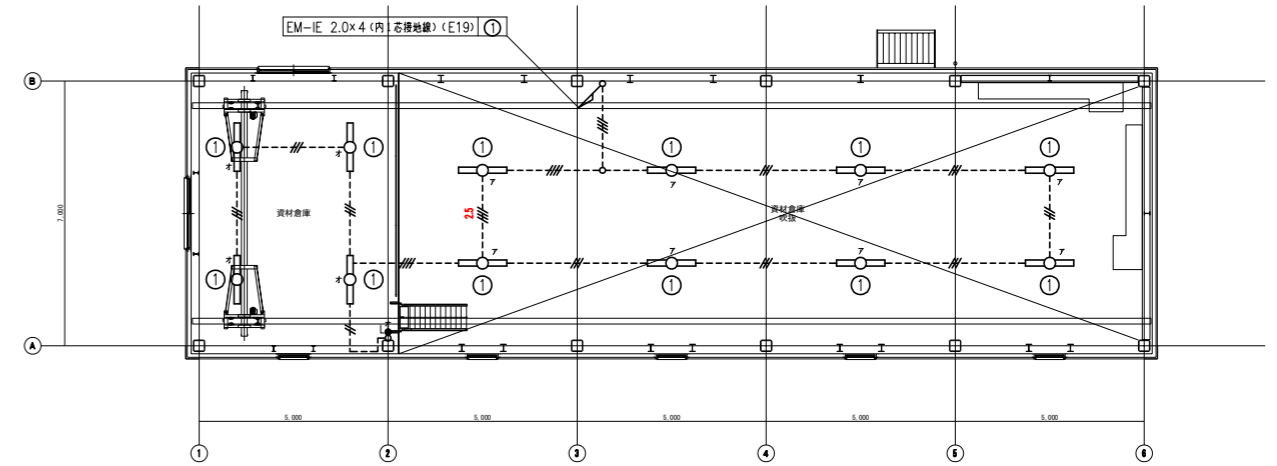
凡例

K0	電源別置形非常用照明
K1	電池内蔵形非常用照明
SK1	階段灯と非常灯を兼用する器具
ST1	通路誘導灯
SH1	避難口誘導灯
LDS1	センサー内蔵 (ON-OFF)
LDS2	センサー内蔵 (調光)
G	ガード付
MP/RP	防湿防雨形

工 事 名	R8年度 長泉第1浄水場倉庫建設工事
工事箇所	長泉町 納米里 地内
図面の種類	照明器具姿図
縮 尺	NONE AE-3
測量年月日 -	設計年月日 令和8年
事務所名	長泉町役場上下水道課



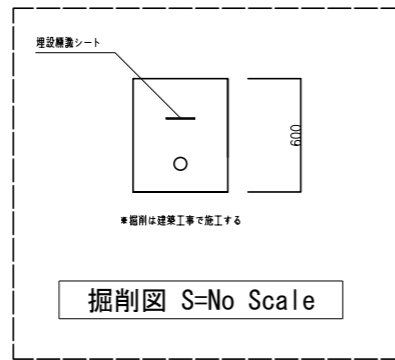
1階平面図 S=1/100



2階平面図 S=1/100

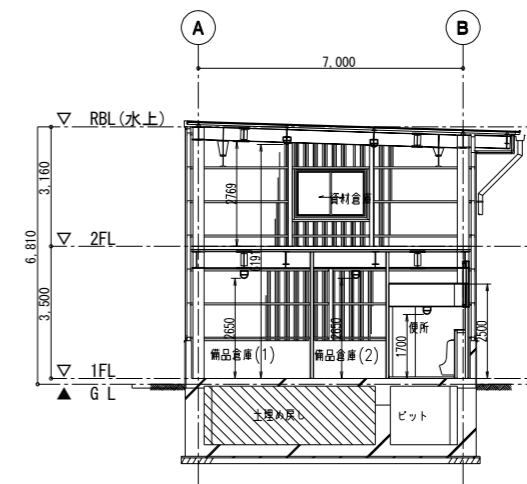
便所		
LI1MP/RP	x 1	
LF1	x 3	
精品倉庫 (2)		
LA1MP/RP	x 1	
精品倉庫 (1)		
LA3MP/RP	x 1	
資材倉庫		
LA1MP/RP	x 4	
LA6MP/RP	x 8	
資材倉庫 (2F)		
LA3MP/RP	x 4	

屋外		
LDS1-L15MP	x 1	
LPJ1N-180	x 1	



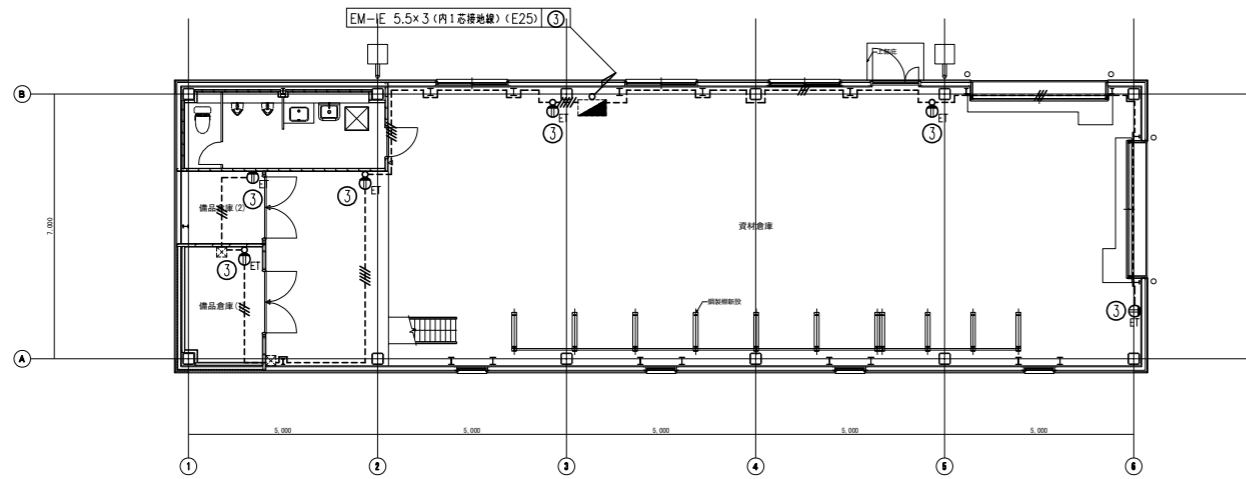
掘削図 S=No Scale

- 注記—
- 明記なき配線シンボルは下記による。
 - EM-IE 2.0x2 (内1芯接地線) (E19)
 - EM-IE 2.0x3 (内1芯接地線) (E19)
 - EM-IE 2.0x4 (内1芯接地線) (E25)
 - EM-IE 2.0x5 (内1芯接地線) (E25)
 - EM-IE 2.0x6 (内1芯接地線) (E25)
 - EM-EEF 2.0-2c (ころがし)
 - EM-EEF 2.0-2c x 2 (ころがし)
 - 熱線センサーのシンボルは下記による。
 - 熱線センサー (電線)
 - 熱線センサー (子機・換気扇接続用)
 - プルボックスは下記による。
 - P22 P,BOX SS 200x200x200 WP
 - P22WP P,BOX SUS200x200x200 WP

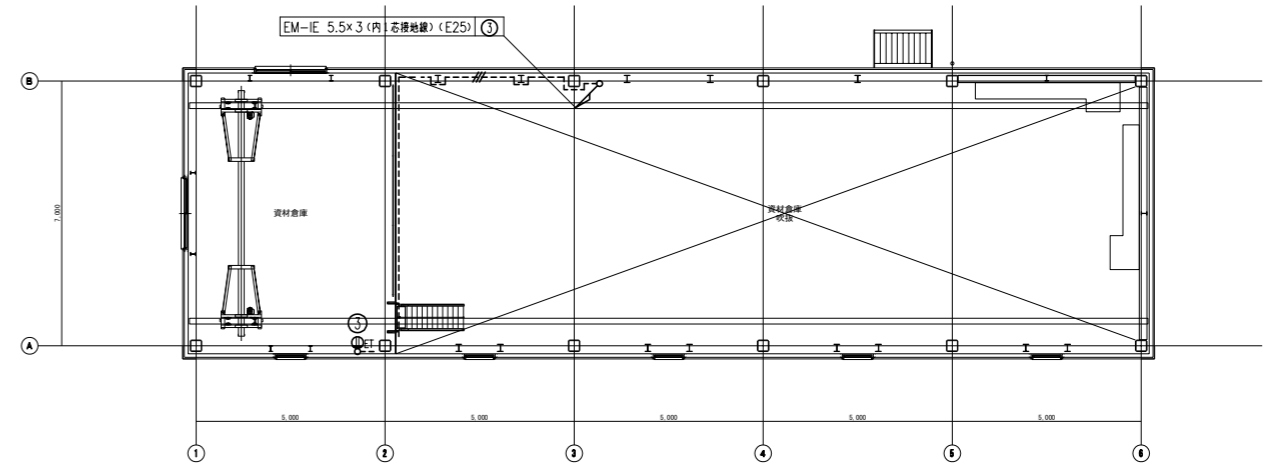


断面図 S=1/100

工事名	R8年度 長泉第1浄水場倉庫建設工事
工事箇所	長泉町 納米里 地内
図面の種類	電灯設備 平・断面図
縮尺	1/100 AE-4
測量年月日	設計年月日 令和8年
事務所名	長泉町役場上下水道課

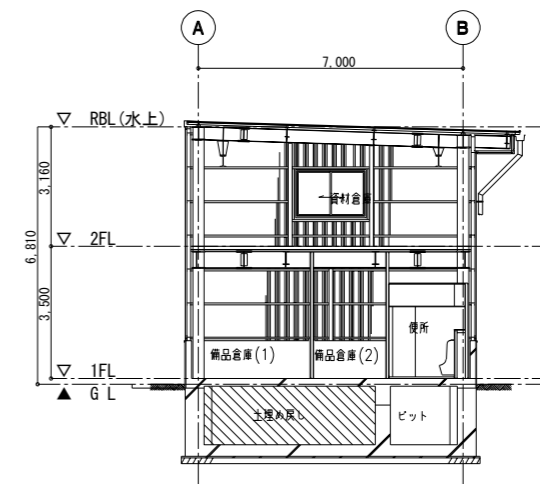


1階平面図 S=1/100



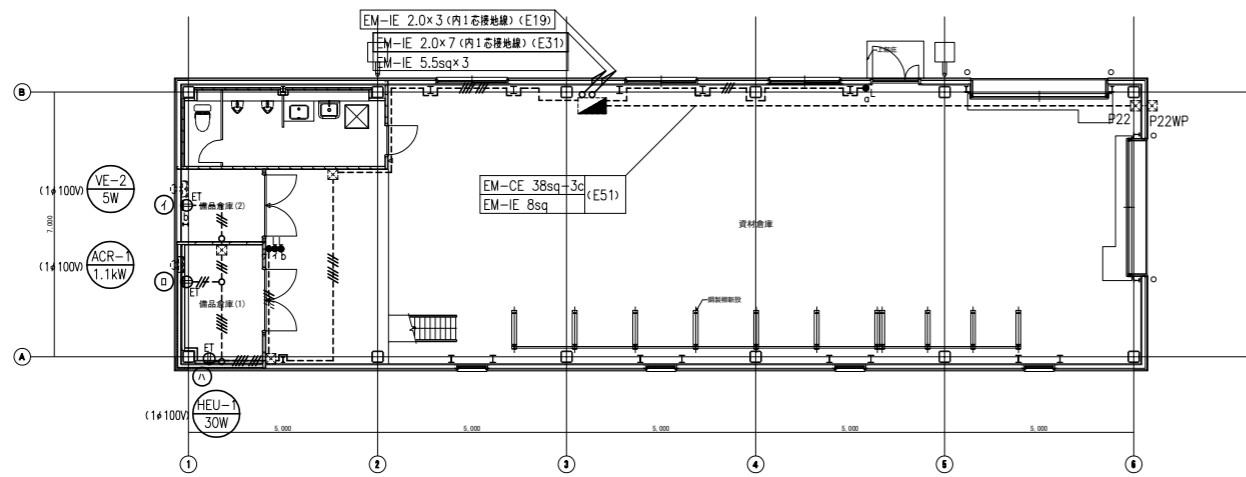
2階平面図 S=1/100

- 注記—
1. 明記なき配線シンボルは下記による。
- EM-IE 2.0x3 (内1芯接地線) (E19)
 - EM-IE 2.0x4 (内1芯接地線) (E25)
 - EM-IE 2.0x5 (内1芯接地線) (E25)
2. プルボックスは下記による。
- P22 P.BOX SS 200x200x200
 - P22WP P.BOX SS 200x200x200 WP

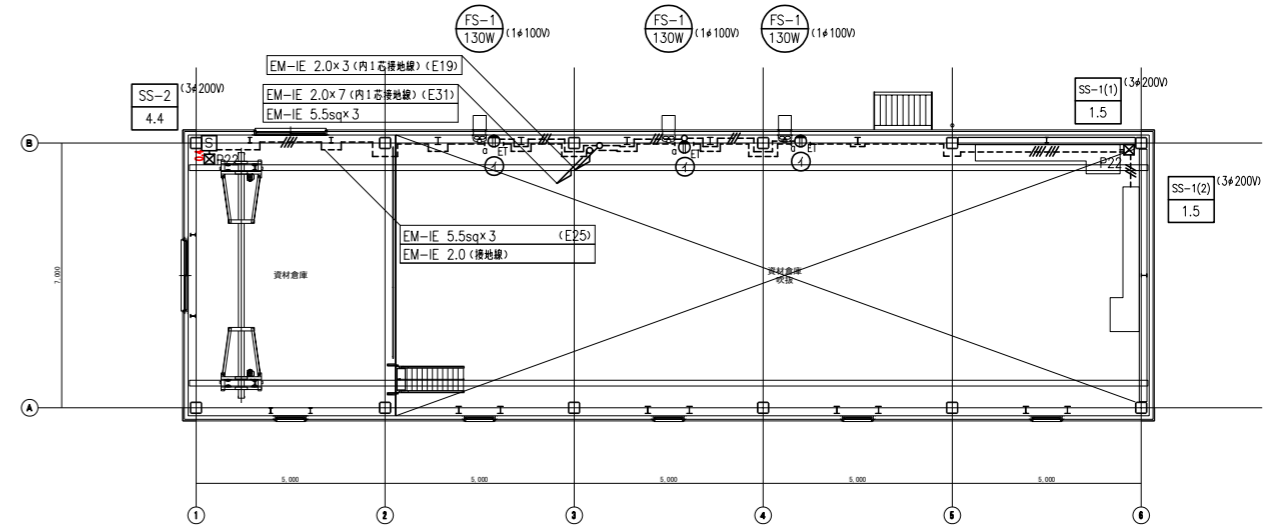


断面図 S=1/100

工事名	R8年度 長泉第1浄水場倉庫建設工事
工事箇所	長泉町 納米里 地内
図面の種類	コンセント設備 平面図
縮尺	1/100
AE-5	
測量年月日	-
設計年月日	令和8年
事務所名	長泉町役場上下水道課



1階平面図 S=1/100

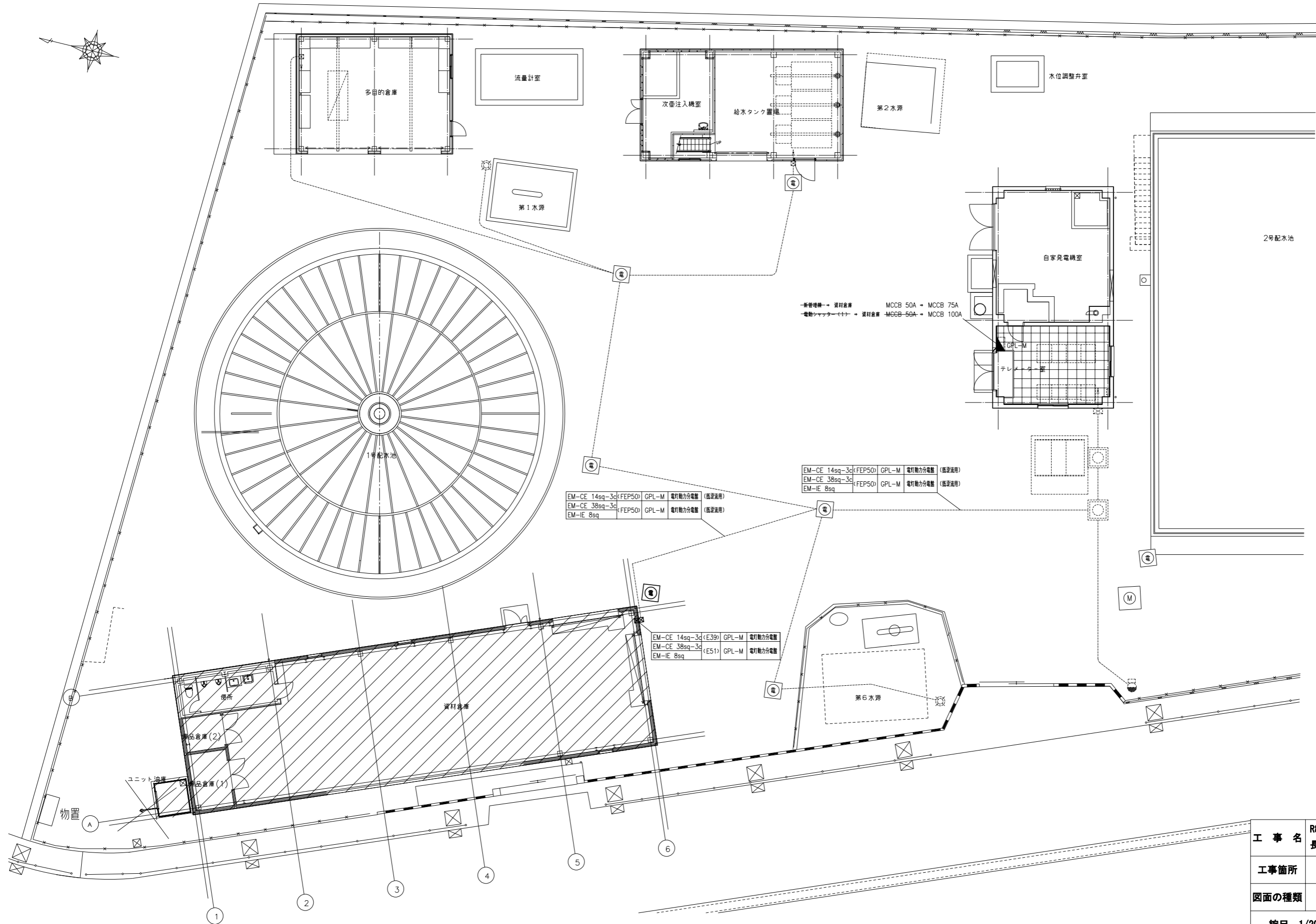


2階平面図 S=1/100

- 注記—
- 明記なき配線シンボルは下記による。
 - EM-IE 2.0x3 (内1芯接地線) (E19)
 - EM-IE 2.0x4 (内1芯接地線) (E25)
 - EM-IE 2.0x5 (内1芯接地線) (E25)
 - EM-IE 2.0x6 (内1芯接地線) (E25)
 - EM-IE 2.0x7 (内1芯接地線) (E31)
 - EM-IE 2.0x8 (内1芯接地線) (E31)
 - EM-EEF 2.0-2c,E2.0 (コロガシ)
 - プルボックスは下記による。
 - P22 P,BOX SS 200x200x200
 - P22WP P,BOX SS 200x200x200 WP

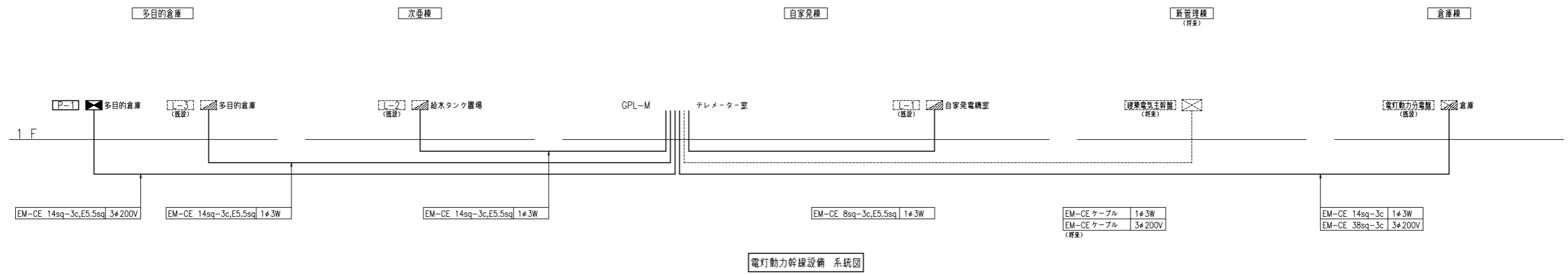
工事名	R8年度 長泉第1浄水場倉庫建設工事
工事箇所	長泉町 納米里 地内
図面の種類	動力設備 平面図
縮尺	1/100
AE-7	
測量年月日	-
設計年月日	令和8年
事務所名	長泉町役場上下水道課

改修後



場内 平面図(改修後) S=1:100
(電灯動力幹線・外灯設備)

工事名	R8年度 長泉第1浄水場倉庫建設工事
工事箇所	長泉町 納米里 地内
図面の種類	幹線設備 平面図
縮尺	1/200 AE-8
測量年月日	- 設計年月日 令和8年
事務所名	長泉町役場上下水道課

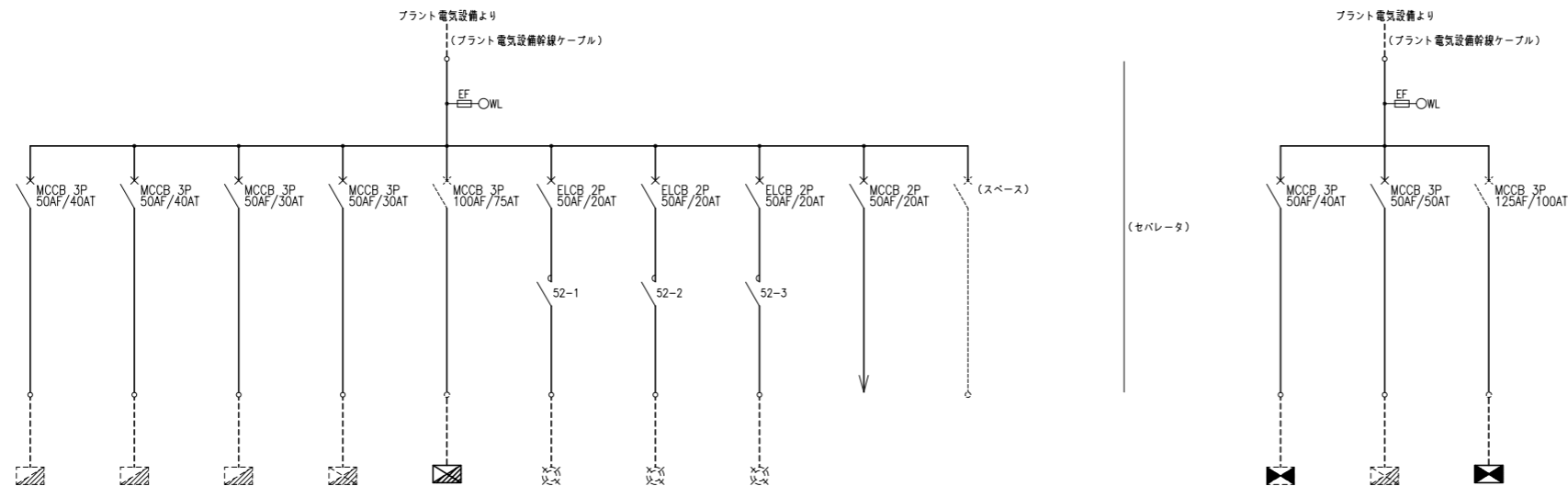


電灯動力幹線設備 系統図

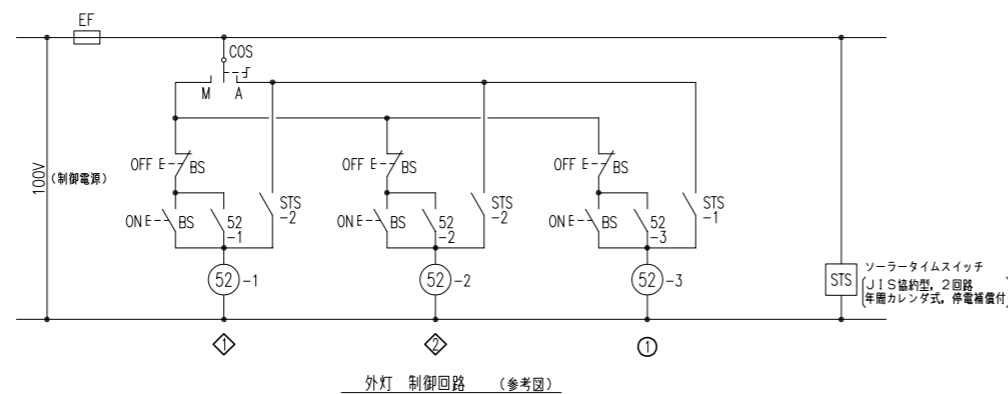
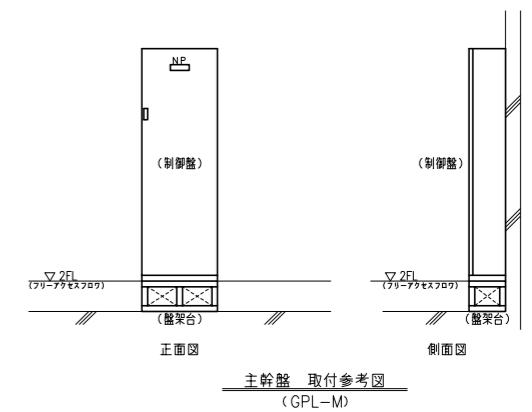
制御盤名称	GPL-M
キャビネット形式	V (盤架台共)

電気方式	種別	常用電源
	相線	1φ3W
	電圧	100V-200V
負荷容量		26.4482 kVA
主幹器具	端子の定格電流	150A

電気方式	種別	常用電源
	相線	3φ3W
	電圧	200V
負荷容量		20.4 kW
主幹器具	端子の定格電流	200A



負荷名称	L-1	L-2	L-3	電灯動力分電盤	LP-1	◇	◇	○	制御電源	予備			P-1	電灯動力分電盤	LP-1	
負荷容量	4.609 kVA	4.438 kVA	3.596 kVA	6.0 kVA	6.7552 kVA	450 VA	450 VA	150 VA					3.0 kW	10.0 kW	7.4 kW	
	(既設)	(既設)	(既設)	(既設)	(今回)	(既設)	(既設)	(既設)					(既設)	(既設)	(今回)	
備考	自家発棟	次亜棟	多目的倉庫	倉庫棟	資材倉庫	一般灯 (1) (1φ200V-300W)	一般灯 (2) (1φ200V-300W)	門扉外灯 (1φ100V-100W)	(100V)				多目的倉庫	倉庫棟	資材倉庫	



外灯 制御回路 (参考図)

工事名	R8年度 長泉第1浄水場倉庫建設工事
工事箇所	長泉町 納米里 地内
図面の種類	主幹盤 結線図
縮尺	NONE AE-9
測量年月日	設計年月日 令和8年
事務所名	長泉町役場上下水道課